JR北海道バドミントン部

シャトルの軌跡60

創部60周年記念誌（2003.4~2013.8）



第62回 北海道実業団 男女優勝

HOKKAIDO

JR北海道

JR北海道バドミントン部

JR HOKKAIDO BADMINTON TEAM

ＪＲ北海道バドミントン部創部６０周年記念誌「シャトルの軌跡６０」

目次

挨拶･祝辞	1～6
活動概要	7
歴代役員･部員	8
OB会会員名簿	9
部のあゆみ	10～22
戦績(団体戦)	23～42
(個人戦)	43～76
講　習　会	77
平成25年度部員名簿・大会日程	78
バドミントン日本リーグ2013	79
編集後記	80









挨拶・祝辞

祝　ＪＲ北海道バドミントン部創部６０周年

JR北海道グループ

旭川ターミナルビル㈱
（ロワジールホテル旭川）

札建工業㈱

札新開発㈱
（桑園自動車学校）

札幌駅総合開発㈱
（アピア／エスタ／パセオ／札幌ステラプレイス）

札幌工営㈱

札幌交通機械㈱

ジェイ・アール道東トラベルサービス㈱

ジェイ・アールはこだて開発㈱
（函館駅ビアポ／クロフォード・イン大沼）

ジェイ・アール北海道バス㈱

ＪＲ北海道ホテルズ㈱
（JRタワーホテル日航札幌／JRイン札幌
ホテル日航ノースランド帯広／JRイン帯広）

ジェイアール北海道レンタリース㈱
（駅レンタカー／カーリース）

㈱ドウデン

北海道軌道施設工業㈱

北海道キヨスク㈱

北海道クリーン・システム㈱

北海道ジェイ・アール運輸サポート㈱

㈱北海道ジェイ・アール・エージェンシー

㈱北海道ジェイアール・コンサルタンツ

㈱北海道ジェイ・アール・サービスネット

北海道ジェイ・アール・サイバネット㈱

㈱北海道ジェイ・アール・システム開発

㈱北海道ジェイ・アール商事

北海道ジェイ・アール都市開発（株）

㈱北海道ジェイ・アール・ビルト

㈱北海道ジェイ・アール・フレッシュネス・リテール
（ジェイ・アール生鮮市場）

北海道リネンサプライ㈱

JR北海道グループ

ご挨拶



オーナー　　野島　誠

北海道旅客鉄道（株）代表取締役社長

バドミントン部は当社の数ある運動部の中でも、全日本や国際大会で活躍している数少ないチームの一つです。特に、この数年は、男子チームが全日本実業団バドミントン選手権では６回の３位入賞を果たしたほか、２００４年に参戦したバドミントン日本リーグ１部では４回のＡクラスの成績を残しております。個人では竹村選手がカナダオープンと大阪国際で準優勝、その他４回のベスト８と国際大会で結果を残し、全日本でもランキングサーキット大会２連覇と全日本社会人バドミントン選手権大会の優勝と３冠に輝いており、着実に成果を上げております。このような歴史と伝統のあるバドミントン部が、創部６０周年を迎えられましたことを、社員の皆様と共に心からお喜び申し上げます。

バドミントン競技は、数多くのスポーツのなかでも、見た目以上に運動量が多く、過酷な競技と承知しておりますが、勤務終了後の日々の鍛錬と精進により、輝かしい成績を上げられてきたものと思います。６０年の歴史と伝統を刻むには、その時代のそれぞれの部員が与えられた役割を確実に果たすとともに、ＯＢを含め多くの人たちに多大なご支援とご協力をいただいてのことと思います。

ＪＲ北海道グループは「北海道に根ざす企業グループ」として、その事業を通じて地域の経済、文化の発展に貢献していきたいと考え、様々な活動を行っておりますが、運動部の活動を通じて、北海道の活性化に少しでもお役に立つことができればと考えております。

ＪＲ北海道は、お客様の安全を最優先に考え、鉄道の安全性を向上させ、お客様の信頼回復を図り、社会的責任を果たします。バドミントン部も業務と部活の両立を継続し、伝統と栄光を引き継ぎ、さらに発展させる気概を持ちつづけることを、オーナーとして切に期待するものであります。

創部６０周年を契機に、伝統の重みに負けず挑戦する心と感謝の気持ちを持ち続け、ＯＢと部員が、がっちりとスクラムをくみ、力強く前進することを願って止みません。

最後に当社バドミントン部発展のためにご尽力いただきました、日本バドミントン協会、北海道バドミントン協会、日本実業団バドミントン連盟、バドミントン日本リーグ運営委員会・実行委員会、全ＪＲバドミントン連盟、北海道実業団バドミントン連盟、北海道教職員バドミントン連盟、北海道レディスバドミントン連盟、北海道学生バドミントン連盟、北海道内各地区協会、メーカー、専門店、および関係各位に心からお礼申し上げご挨拶といたします。

６０周年記念誌の発刊にあたって



ＪＲ北海道バドミントン部
部長　　小山俊幸
北海道旅客鉄道（株）常務取締役

ＪＲ北海道バドミントン部は昭和２８年に札幌鉄道管理局バドミントン同好会として発足し「国鉄北海道」そして昭和６２年４月国鉄分割民営化により「ＪＲ北海道」と、チーム名を変えながら、６０年の長きにわたり皆様の温かいご支援をいただき活動してまいりました。この間、全日本実業団選手権大会に５７回出場、準優勝１回、３位９回。全国鉄・全ＪＲ大会では４０回連続優勝、北海道実業団選手権大会では男子が優勝２１回、女子が７回の優勝。日本のバドミントン団体戦の最高峰の日本リーグで男子は２００３年に２部優勝、翌年から１部に昇格しＡクラスの４位を４回、女子も２部リーグに２００４年から参戦し4位３回と健闘しており、女子チームも１部昇格を目指し強化に励んでおります。

個人戦では過去、全日本実業団大会で渋井　明、山本晴通が３０歳単で準優勝、藤田富雄、山田好明組が４５歳複で優勝と年齢別の種目で活躍してましたが、５０周年以降は竹村　純が、カナダオープン、大阪国際で準優勝と国際大会でも結果を残しております。全日本の大会では、ランキングサーキット大会で竹村 純が３度の準優勝、高島雅彦、後藤佳代組も準優勝と全日本制覇は今一歩のところで何度も涙を流しましたが２０１２・２０１３年と竹村　純が２連覇を果たす快挙を達成し、また、全日本社会人選手権も竹村が２度の準優勝の末、２０１２年に優勝を果たし、日本の頂点に登り詰める悲願を達成しました。

道内でも実業団大会で男子が優勝２１回、女子が７回の優勝、北海道選手権の優勝者は延べ３５名を輩出。北海道のトップチームとしての責任を果たしてまいりました。

創部以来、活動は業務終了後の短時間での練習であり、競技に専念できる環境にあるチームとの練習量の差はありますが、企業スポーツの原則を貫き、業務と部活の両立と結果を求めて今後も健全な活動を心がけ、多くの皆様に支えられ、６０年の歴史を刻むことができましたことの重さを深く受け止め、さらに前進して参ります

最後に、今日まで永年にわたり、バドミントン部の活動にご支援、ご協力、ご理解をいただきました社員、グループ会社各位、各協会、各連盟、メーカ様、専門店の皆様、そのほか関係各位の皆様に心から感謝申し上げ、ご挨拶といたします。

ＪＲ北海道バドミントン部創部６０周年を祝して



ＪＲ北海道バドミントン部ＯＢ会
会長　　青山繁樹

ＪＲ北海道バドミントン部は今年で創部６０年を経過することになりました。
この間、多くの先輩諸兄から指導、助言等をいただき、又、関連する各企業からの援助等をいただき、感謝の念に堪えません。

当部は、1953年（昭和２８年）に国鉄札幌鉄道管理局の同好会としてスタートし、翌年の昭和２９年にバドミントン部として活動を始めることになりました。
生みの親である、当時、総務部人事課に所属していた、西本秀一郎（故人）氏が中心となり、その後、新規採用された中に高校時代バドミントンで国民体育大会等にも出場した先輩が入社し、当時の幹部が部への昇格を認めていただいたことで、対外的な大会にも参加することになりました。

部、昇格翌年の昭和３０年の北海道実業団バドミントン選手権大会では初優勝することができました。当時は炭鉱産業が全盛期の時代で、ほとんどの炭鉱会社がチームを結成し、極めて大きな大会だった記憶があります。

当部が長きにわたって活動を続けられた原動力は、高校時代に活躍した選手が少なからず採用され、仕事と運動の両立にそれぞれの選手が頑張ったことが大きな力になっております。

旧国鉄の時代からＪＲ北海道になっても、仕事第一の精神は引き継がれて、今日に至っております。

現在は、オーナー、部長等のもとに選手１４名（男子８名、女子６名）の体制で全国の各種大会をはじめ、道内各地の指導等にも力を入れております。

ＯＢは総数８１名で各種大会のサポートや選手への応援等、ＯＢ会として、この役割を果たしております。

北海道全体のバドミントン競技のさらなる発展のためにも、ＪＲ北海道バドミントン部のレベルアップは必需の条件だと思いますので、ＯＢ、選手も含めてこれからも一層の努力をしてまいります。

引き続きのご支援とご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

ＪＲ北海道バドミントン部６０周年祝辞



公益財団法人 日本バドミントン協会
専務理事　　今井　茂満
日本実業団バドミントン連盟理事長

この度は、ＪＲ北海道バドミントン部が創部６０周年を迎えられた事、誠におめでとうございます。これも偏に、諸先輩方の永年にわたる並々ならぬバドミントン競技に対する努力と情熱の、賜と存じ、深く敬意を表する次第であります。

貴部は全国に先駆けて実業団チームを発足され、創部以来、日本の実業団スポーツの中心となり活動されてきました。全日本実業団選手権大会に第４回目から出場され６３回に及ぶ大会の歴史のなか５７回出場の実績があり、過去の成績においても１９５９年第９回大会では決勝進出を果たし、優勝に手が届きながらの準優勝など輝かしい実績を残しております。日本リーグにおいても２００４年に１部参戦し、優勝こそありませんが常に上位を脅かす存在感を発揮しております。また、女子においても実業団大会は第５１回から参加し、今年で１２回目の出場を果たし、日本リーグにおいても男子と同じく２００４年から２部リーグに加わり活躍を続けております。このような積極的な部の活動に対しての日頃の努力、情熱が練習の成果として結果に表れており素晴らしいチーム力を感じます。

私と貴部の関わりは昭和４７年に私が実業団チームの河崎ラケットに入社してからの交流になります。同期には山田（元）、柴田、山田（好）がおり、特に親しくさせていただき、歴代監督の渋井氏、乙武氏、松村氏、小倉氏、関野氏とは常に連絡を取り合う間柄になっております。特に渋井氏には公私にわたりあたたかい指導いただき、バドミントンに対する姿勢は渋井氏から学んだことが多く、現在も親交を深めております。このような長い付き合いが貴部関係者とできるのもバドミントン競技を通してのものであり、ありがたく思っております。

チームの印象としては皆、真面目でチームワークが良く、仲のいいチームでありました。現在のチームはと言うと竹村選手を筆頭に真面目に一生懸命プレイする選手が多く、当時と同じ印象を持っており、チームカラーを継続出来ると言うことは伝統あるチームの証明であります。日本リーグ開催地からもその姿を高校生に模範として見せたいとの希望が多くあり、リーグ運営にも大きく貢献しております。

さらに特記しておきたいことはそれぞれの部員の方が部を離れても各方面でご尽力され、ご活躍されているということです。

昨今、企業スポーツの活動は大変厳しい環境下にありますが貴部のバドミントン競技に対する努力と情熱は誠に有り難く、心より感謝申し上げ、引き続きのご活躍を切にお願い申し上げるところでございます。

終わりにＪＲ北海道バドミントン部の関係者の皆様のますますのご発展をお祈り申し上げ創部６０周年の祝辞とさせて頂きます。

ＪＲ北海道バドミントン部６０周年を祝して



北海道バドミントン協会
会長　　栗原　進
北海道キヨスク（株）代表取締役社長

ＪＲ北海道バドミントン部の創部６０周年を心からお祝い申し上げます。
個人的には昭和６０年に当時の国鉄札幌鉄道管理局バドミントン部の部長に就任してから２６年余りバドミントン競技とお付き合いさせていただいています。

この間、平成１５年には創部５０周年の祝賀会が盛大に催されたことが記憶に残っています。そしてこれ以降、ＪＲ北海道の快進撃が始まった訳ですが、北海道での長年のライバルであり、幾度か撥ね返されてきた大きな壁であるＮＴＴ北海道チームを始め企業チームが姿を消す中でチームが存続できたのは幸いでした。
この直近１０年間の活躍は、今や日本リーグ１部の常連となるまでになった選手諸君の奮闘努力によるものであり、大いに評価したいと思います。同時に選手強化に理解を示し支援をいただいたＪＲ北海道にも感謝の意を表します。

ロンドンオリンピックでの女子ダブルスの銀メダル獲得、男子シングルスで北海道出身の佐々木選手の活躍でバドミントン競技への興味と関心が盛り上がっています。ＪＲ北海道バドミントン部も竹村選手がランキングサーキットで平成２４、２５年度の２連覇、全日本社会人選手権男子シングルス優勝と輝かしい成績を収めています。日本リーグでも上位３強に次ぐ存在としてバドミントン競技の振興に大いに寄与しているところであり、２部リーグで活躍する女子部とともに北海道地区のレベルアップに大いに貢献していただいています。

少子化の時代を迎え競技人口の減少が懸念されるこの頃ですが、北海道地区におけるバドミントン人口は日本協会登録者が約２万人と地区単位で最大となっています。バドミントン競技の隆盛とレベルアップのためには底辺の拡大と頂点をより高く保つことが求められます。ＪＲ北海道バドミントン部には、この頂点をより高く求め、日本一を目指した努力と挑戦を期待しています。

昨今、企業スポーツを取り巻く環境は厳しいものがあり、バドミントン競技においても、いくつかの名門企業チームが姿を消しているのが現状です。６０年にわたって、数多くの先輩が築き上げてきた仕事とスポーツの両立、無名の選手を発掘して一流へと育て上げるチーム力、地域への貢献といった現役の皆さんが受け継いだ財産を次の世代にしっかりと引き継いでいただきたいと思います。

結びに、ＪＲ北海道バドミントン部の更なる発展をお祈りし、これからも北海道地区のバドミントン競技の振興とレベル向上にご助力いただくことをお願いして、お祝いの言葉といたします。

ＪＲ北海道バドミントン部創立６０周年を祝して



北海道実業団バドミントン連盟
会長　　一條昌幸
札建工業（株）代表取締役社長

ＪＲ北海道バドミントン部が創立６０周年を迎えられましたことに北海道実業団バドミントン連盟としてお祝いを申し上げます。

特にここ１０年のＪＲ北海道バドミントン部の活躍に敬意を表しますとともに当連盟の活動に貢献していただきましたことに感謝を申し上げます。

貴部は創部以来「選手である前に企業人である」という企業人としての自覚を尊重され、仕事を終えた後の勤務時間外に部活動を行うという伝統を維持されてきました。毎夜７時頃にようやく各職場から体育館に集合し、夜１０時過ぎまでの限られた時間での練習という条件下で活動されてきました。このような練習環境にも拘わらず、セミプロ化している昨今のバドミントン界において全国トップレベルの成績を残されており、この活躍ぶりに他の企業チームからもＪＲ北海道侮れぬと評価されていて、当連盟としましても活躍を大変誇りに思っているところです。

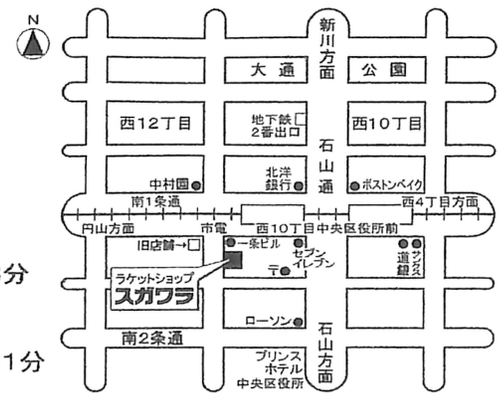
これは選手諸君の弛まぬ努力と精神力は勿論のことですが、先輩諸氏の選手諸君に対する物心両面からのサポート、そして選手が所属する職場の皆さんの協力と応援、さらには企業の理解と協力な支援があったればこそだと思います。実業団チームとして本来あるべき姿というか望ましい体制ができていて、ＪＲ北海道バドミントン部の更なる活躍が期待されるところです。

平成１５年、新設されたＪＲタワーホテルで５０周年式典が挙行されたことは記憶に新しいところですが、この１０年間のＪＲ北海道（男子）の活躍には特筆すべきものがあります。第５３回全日本実業団選手権大会（２００３年岡山大会）から５年連続の３位入賞と２００４年からの日本リーグ参戦（２００４年昇格）、等ですが、個人では竹村選手の活躍が群を抜いています。ランキングサーキット優勝（２０１２、２０１３年２連覇）、全日本社会人選手権優勝（２０１２年）等大活躍で、北海道実業団連盟として大変嬉しく、誇りに思っています。７年前の都市対抗野球で優勝した、にかほ市代表のＴＤＫは、勤務時間終了後の短時間集中練習により栄冠を勝ち得たと聞いています。ＪＲ北海道バドミントン部においても是非とも日本リーグで活躍され、いつの日か栄冠を勝ち取られんことを期待しています。

最後になりましたが、永年にわたり当連盟の活動に対し、ＪＲ北海道バドミントン部が協力していただいていることに感謝を申し上げるとともに、ＪＲ北海道バドミントン部の更なる飛躍を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。

部活動の記録

信頼と実績でお届けするプロショップ!!

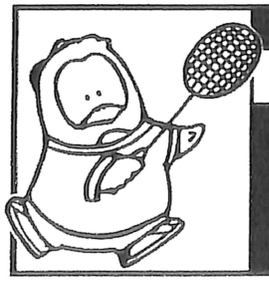


●地下鉄東西線
『西11丁目駅』下車 徒歩3分
（2番出口）

●市電 西10丁目
『中央区役所前』下車 徒歩1分

張人 GOSEN HARIBITO
あなたのプレイは『張人』で変わる

日本バドミントン専門店会
ストリンガー認定店



http://www.rs-sugawara.co.jp
TENNIS & BADMINTON SHOP
S-U-G-A-W-A-R-A

(有) ラケットショップ
スガワラ
〒060-0061
札幌市中央区南1条西11丁目
第3一条ビル
Tel (011) 271-3855
Fax (011) 290-1668

ＪＲ北海道バドミントン部活動概要

2013/8/31現在

創部年　1953年（昭和28年）札幌鉄道管理局バトミントン同好会として発足

チーム名の変遷
① 1954年（昭和29年）札幌鉄道管理局バドミントン部（略称：札鉄）
② 1972年（昭和47年）国鉄北海道総局バドミントン部（組織改正）（略称：国鉄北海道）
③ 1078年（昭和53年）札幌鉄道管理局バドミントン部（組織改正）（略称：札鉄）
④ 1987年（昭和62年）ＪＲ北海道バドミントン部(分割民営化により北海道旅客鉄道株式会社発足)

体育館の変遷
① 札鉄体育館（札幌市中央区北６条西２丁目　旧札幌駅北口横）
② 札鉄体育館（札幌市東区北６条東１９丁目 苗穂社宅横）
③ ＪＲ北海道札幌体育館（札幌市東区北５東１３丁目苗穂工場内）



メーカー　① サンバタ　② カワサキ③ ゴーセン④ミズノ(2006～)

スポーツ店　① 藤井運動具店　②ラケットショップ・スガワラ

ＯＢ会員　81名(男子54名・女子13名・特別会員14名)　会長：青山繁樹

チーム編成　オーナー・部長・副部長・総監督・監督・コーチ・男子選手8名　女子選手６名

主な戦績 ☆ バドミントン日本リーグ
《団体》　《男子》・１部リーグ　９回(63戦24勝39敗)　第４位:４回・第５位:１回・第６位:３回・第７位:１回
・２部リーグ１３回(89戦45勝44敗)　優　勝:１回・準優勝:１回・第３位:１回
・予　選　会　３回(11戦　1勝10敗)
《女子》・２部リーグ　９回(58戦21勝37敗)　第４位:３回・第５位:２回・第６位:３回・第７位:１回

☆ 全日本実業団バドミントン選手権大会
《男子》・５７回出場(202戦142勝60敗) 準優勝:１回・第３位:９回・第４位:３回・第５位(ﾍﾞｽﾄ8):１６回
《女子》・１２回出場(　28戦　16勝12敗) 第５位:１回

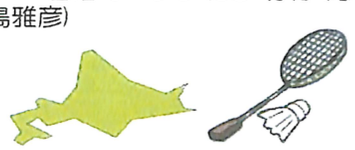
☆ 全ＪＲバドミントン大会（男女混成）　優勝:２４回(連続２４回　96戦96勝0敗)

☆ 全国鉄バドミントン大会（男女別）
・連盟主催（１２回開催）　優勝:１２回(45戦45勝0敗)
・国鉄主催（　４回開催）《男子》優勝:　４回(16戦16勝0敗)　《女子》４回出場(14戦3勝11敗)

☆ 北海道実業団バドミントン選手権大会
《男子》・５９回出場(優勝：２１回　準優勝38回)　《女子》１６回出場(優勝：　７回　準優勝　7回)

☆ 国際大会・北海道・ソ連極東親善(84･85･高橋 進)
《団体》・札幌・韓国仁川親善(93･松村徳市･馬木貴之･米田紀興･高嶋 進･田口英史)
・北海道・ロシア極東親善(97･98･寺尾隆司･米田紀興･田口英史･高嶋 進･西村美香･小倉隆司)
・日韓競技会(08･竹村 純)

主な戦績 ☆ 国際大会・台湾サテライト(05･竹村 純)　・ジャパンオープン(05･06･08･竹村 純)
《個人》（日本代表）・ジャカルタサテライト(06･竹村 純)　・フィリピンオープン(06･竹村 純)
・オーストラリア国際(07･竹村 純)　・カナダオープン(07)竹村 純=準優勝
・ニュージランドオープン(07･竹村 純)・ポルトガル国際(08･竹村 純)
・アジア選手権(08･竹村 純)　・クロアチア国際(08･竹村 純)　・香港オープン(08･竹村 純)
・大阪国際(07～13･竹村 純=準優勝･早坂幸平･鈴木知道･後藤佳代･高島雅彦)



☆ 全日本総合選手権
第３位(男子単)竹村 純(2006・2007)

☆ 全日本社会人選手権
優　勝(男子単)竹村 純(2012)
準優勝(男子単)竹村 純(2009・2011)
第３位(男子単)竹村 純(2003・2007・2008)　(男子複)松本 章/竹村 純(2002)関野有起/鈴木知道(2009)
第３位(混合複)高島雅彦/後藤佳代(2011・2012)

☆ 日本ランキングサーキット
優　勝(男子単)竹村 純(2012・2013)
準優勝(男子単)竹村 純(2006・2008・2010)(混合複)高島雅彦/後藤佳代(2012)
第３位(男子単)竹村 純(2009・2011)　(男子複)早坂幸平/高島雅彦(2011)



☆ 北海道選手権優勝者(単・複・混合複)
熊倉昭二･島 辰夫･平沢啓裕･有路信彦･渋井 明･大石興徳･伊藤善夫･村田泰子･高森幸子･福田由美子･福島智徳
山田好明･高橋 進･松村徳市･松岡 誠･馬木貴之･小倉隆司･西村美香･松本 章･山重直美･竹村 純･橋村竜彦
田中美与子･佐藤あゆみ･関野有起･多田亮太･工藤亜紀･小林徹太郎･牧野公亮･鈴木知道･後藤佳代･早坂幸平
永野陽子･阿野加代子･高島雅彦・渡部 大　(以上36名)

主な表彰《団体》
①技能賞　(1958) 北海道バドミントン協会
②特別功労賞　(1969) 北海道バドミントン協会
③功労賞　(1979) 北海道実業団バドミントン連盟
④加賀山賞　(1981) 日本国有鉄道
⑤特別功労賞　(1984) 国鉄バドミントン連盟
⑥ 社長賞　(1989)　北海道旅客鉄道株式会社
⑦ スポーツ賞 (1992)　株式会社　交通新聞社
⑧ 技能賞　(2003～5･7) 北海道バドミントン協会
⑨ 特別功労賞 (2010)　日本実業団ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ連盟

主な表彰《個人》
①日本実業団連盟功労賞　山田好明･山本晴通(1985)高橋 進(1991)七崎悦範･松村徳市･松岡 誠(1993)
田口英史(2001)松本 章(2010)竹村 純(2013)
②ＪＲ北海道社会貢献賞　乙武重丸(2002)松村徳市(2010)
③日本ﾘｰｸﾞ２部殊勲選手賞　松本 章・竹村 純・橋村竜彦(2003)
④日本リーグ新人賞　竹村 純(2004)
⑤日本リーグ敢闘選手賞　竹村 純(2005～2010)早坂幸平・高島雅彦(2011)牧野公亮・渡部 大(2012)
⑥交通新聞スポーツ賞　竹村 純(2007・2012)
⑦全ＪＲ連盟特別功労賞　乙武重丸(2009)
⑧ＪＲ北海道社長賞　竹村 純(2012)
⑨ＪＲ北海道総務部長賞 高島雅彦・後藤佳代(2012)
⑩鉄道弘済会表彰　竹村 純(2012)
⑪札幌市民スポーツ賞　竹村 純(2012)
⑫北海道協会小林純幸賞 竹村 純(2012)



記念事業
国鉄加賀山賞受賞記念祝賀会　1981(S56)　11/6(金)　18:30　札幌弥生会館
創部３０周年記念祝賀会　1983(S58)　1/29(土)　18:00　札幌パレスホテル 競技会　1/29(土)　札鉄体育館
創部４０周年記念祝賀会　1992(H 4)11/27(金)　18:30　札幌弥生会館　「記念誌シャトルの軌跡」発刊
創部５０周年記念祝賀会　2003(H15)　6/13(金)　18:30　ＪＲタワーホテル「TAIYO」・「記念誌」発刊

歴代役員

オーナー

（初代）	大森　義弘	（1991・11 ～1996・ 6）
（二代）	坂本　眞一	（1996・ 6 ～2003・ 6）
（三代）	小池　明夫	（2003・ 6 ～2007・ 6）
（四代）	中島　尚俊	（2007・ 6 ～2011・ 9）
（五代）	小池　明夫	（2011・11 ～2013・ 6）
（六代）	野島　　誠	（2013・ 6～　　）

オーナー代行

（初代）	栗原　進	（1997・4 ～2013. 6）

部　長

初代		野村　信一	（1955・ 4 ～1957・ 6）
二代		伊藤　豊治	（1957・ 7 ～1960・ 2）
三代		矢戸哲治郎	（1960・ 2 ～1961・ 2）
四代		副島　　治	（1961・ 2 ～1962・12）
五代		升田　嘉夫	（1962・12 ～1964・ 7）
六代		鈴木　俶也	（1964・ 7 ～1966・ 7）
七代		塩川　良平	（1966・ 7 ～1968・ 2）
八代		藤田　好一	（1968・ 2 ～1970・11）
九代		土田　　洋	（1970・11 ～1972・ 2）
十代		神先　惣平	（1972・ 2 ～1974・ 2）
十一代		平田　建州	（1974・ 2 ～1976・ 2）
十二代		虎竹　雄二	（1976・ 2 ～1979・ 2）
十三代		佐々木信幸	（1979・ 3 ～1981・ 4）
十四代		富田　哲郎	（1981・ 4 ～1983・ 6）
十五代		真鍋　精志	（1983・ 6 ～1984・ 3）
十六代		栗原　　進	（1984・ 3 ～1987・ 4）
十七代	（初代）	山崎　正博	（1987・ 4 ～1990・ 6）
十八代	（二代）	飯塚　一力	（1990・10 ～1992・ 6）
十九代	（三代）	小林　徳宏	（1992・ 6 ～1995・ 6）
二十代	（四代）	高坂　清和	（1995・ 6 ～1999・ 4）
二十一代	（五代）	一條　昌幸	（1999・ 4 ～2012・ 6）
二十二代	（六代）	小山　俊幸	（2012・ 6 ～　　）

副部長

初代		井川　誠一	（1983・ 4 ～1984・ 3）
二代	（初代）	渋井　　明	（1987・ 4 ～1994・ 3）
三代	（二代）	栗原　　進	（1987・ 4 ～1997・ 3）
四代	（三代）	乙武　重丸	（1995・ 4 ～2011・ 3）
五代	（四代）	小笠原憲生	（2003・ 6 ～2005・ 6）
六代	（五代）	吉野　伸一	（2005・ 6 ～2007・ 6）
七代	（六代）	幅口　堅二	（2007・ 6 ～2010・ 6）
八代	（七代）	新宮　康弘	（2010・ 6 ～2012・ 6）
九代	（八代）	高橋　　進	（2012・ 4 ～　　）
十代	（九代）	高橋　敬治	（2012・ 6 ～2013・ 6）
十一代	（十代）	長縄　誠司	（2013. 6 ～　　）

総監督

（初代）	乙武　重丸	（2000・ 4 ～2002・ 3）
（二代）	松村　徳市	（2002・ 4 ～2007・ 3）
（三代）	乙武　重丸	（2007・ 4 ～2008・ 3）
（四代）	松村　徳市	（2008・ 4 ～2011・ 3）
（五代）	松岡　　誠	（2011・ 4 ～　　）

監　督

初代		西本秀一郎	（1954・ 4 ～1963・ 4）
二代		青山　繁樹	（1963・ 4 ～1969・ 4）
三代		渋井　　明	（1969・ 4 ～1979・ 4）
四代		山田　　元	（1979・ 4 ～1980・ 4）
五代	（初代）	乙武　重丸	（1980・ 4 ～1995・ 2）
六代	（二代）	高橋　　進	（1995・ 2 ～1996・ 3）
七代	（三代）	松村　徳市	（1996・ 4 ～2000・ 3）
八代	（四代）	寺尾　隆司	（2000・ 4 ～2003・ 3）
九代	（五代）	小倉　隆司	（2003・ 4 ～2005・10）
十代	（六代）	小野　敏和	（2006・ 4 ～2007・ 6）
十一代	（七代）	乙武　重丸	（2007・ 6 ～2008・ 3）
十二代	（八代）	小倉　隆司	（2008・ 4 ～2013・ 3）
十三代	（九代）	関野　有起	（2013. 4～　　）
女子	（初代）	松村　徳市	（2008・ 4 ～2011・ 3）
女子	（二代）	松岡　　誠	（2011・ 4 ～　　）

※（　　）はＪＲ北海道として。　副部長は複数名在籍あり。

平成15年から平成24年までの部役員

役職別就任順


小池明夫 オーナー


中島尚俊 オーナー


栗原　進 オーナー代行


一條昌幸 部長


小山俊幸 部長


乙武重丸 副部長


小笠原憲生 副部長


吉野伸一 副部長


幅口堅二 副部長


新宮康弘 副部長


高橋　進 副部長


高橋敏治 副部長


松村徳市 総監督


松岡　誠 総監督


小倉隆司 監督


小野敏和 監督

H25年は別掲

部員名簿

役職	2003 (H15)	2004 (H16)	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)
オーナー	小池明夫	小池明夫	小池明夫	小池明夫	中島尚俊	中島尚俊	中島尚俊	中島尚俊	小池明夫	小池明夫
ｵｰﾅｰ代行	栗原　進	栗原　進	栗原　進	栗原　進	栗原　進	栗原　進	栗原　進	栗原　進	栗原　進	栗原　進
部長	一條昌幸	一條昌幸	一條昌幸	一條昌幸	一條昌幸	一條昌幸	一條昌幸	一條昌幸	一條昌幸	小山俊幸
副部長	小笠原憲生 乙武重丸	小笠原憲生 乙武重丸	小笠原憲生 乙武重丸	吉野伸一 乙武重丸	幅口堅二 乙武重丸	幅口堅二 乙武重丸	幅口堅二 乙武重丸	新宮康弘 乙武重丸	新宮康弘 乙武重丸	高橋敏治 高橋　進
総監督	松村徳市	松村徳市	松村徳市	松村徳市	乙武重丸	松村徳市	松村徳市	松村徳市	松岡　誠	松岡　誠
監督(男) 監督(女)	小倉隆司	小倉隆司	小倉隆司	小野敏和	乙武重丸	小倉隆司 松村徳市	小倉隆司 松村徳市	小倉隆司 松村徳市	小倉隆司 松岡　誠	小倉隆司 松岡　誠
コーチ			小野敏和		松村徳市 小野敏和 橋村竜彦	小野敏和 橋村竜彦	松本　章	松本　章	多田亮太	松本　章 鈴木知道 関野有起
主将(男) 主将(女)	小野敏和	小野敏和	松本　章	松本　章	松本　章 川口美与子	松本　章 川口美与子	関野有起 佐藤あゆみ	関野有起 佐藤あゆみ	関野有起 佐藤あゆみ	高島雅彦 後藤佳代
選手	小倉隆司 松本　章 橋村竜彦 竹村　純 西村美香 早山里子 山重直美 高橋律恵 平林千佳 佐藤あゆみ	小倉隆司 松本　章 橋村竜彦 多田亮太 竹村　純 西村美香 早山里子 高橋律恵 田中美与子 平林千佳 佐藤あゆみ	小野敏和 橋村竜彦 多田亮太 竹村　純 鈴木知道 関野有起 西村美香 早山里子 田中美与子 平林千佳 佐藤あゆみ 阿野加代子	小野敏和 橋村竜彦 多田亮太 竹村　純 鈴木知道 関野有起 早山里子 田中美与子 平林千佳 佐藤あゆみ 阿野加代子 木村有里	橋村竜彦 多田亮太 竹村　純 鈴木知道 関野有起 佐藤あゆみ 後藤佳代 阿野加代子 木村有里	橋村竜彦 多田亮太 竹村　純 鈴木知道 関野有起 小林徹太郎 佐藤あゆみ 後藤佳代 阿野加代子 木村有里 工藤亜紀	松本　章 多田亮太 竹村　純 鈴木知道 阜坂幸平 小林徹太郎 牧野公亮 高島雅彦 阿野加代子 後藤佳代 工藤亜紀 永野陽子 中川まどか	多田亮太 竹村　純 鈴木知道 阜坂幸平 小林徹太郎 牧野公亮 高島雅彦 阿野加代子 後藤佳代 工藤亜紀 永野陽子 中川まどか	多田亮太 竹村　純 阜坂幸平 小林徹太郎 牧野公亮 高島雅彦 渡邊一磨 渡部　大 後藤佳代 工藤亜紀 永野陽子 中川まどか	関野有起 竹村　純 阜坂幸平 牧野公亮 田淵雄喜 渡邊一磨 渡部　大 阿野加代子 工藤亜紀 永野陽子 中川まどか 平敷祥子

JR北海道バドミントン部OB会名簿

2013/8/31現在

(年齢順)

特別会員

NO	氏　名	生年月日	役職	
1	武田　哲	S10・4・20		北海道バドミントン協会顧問
2	山崎　正博	S17・5・1		
3	飯塚　一力	S18・2・5		
4	小林　徳宏	S21・9・2		
5	高坂　清和	S24・9・8	北海道軌道施設工業（株）代表取締役社長	
6	吉野　伸一	S24・12・11	（株）北海道ｼﾞｪｲｱｰﾙ･ｺﾝｻﾙﾀﾝﾂ 代表取締役社長	
7	一條　昌幸	S27・1・14	札建工業(株) 代表取締役社長	北海道実業団バドミントン連盟会長
8	小笠原憲生	S27・5・3	（株）ドウデン 代表取締役社長	
9	栗原　進	S28・5・21	北海道キヨスク（株）代表取締役社長	北海道バドミントン協会会長
10	高橋　敏治	S28・12・14	北海道旅客鉄道（株）取締役 函館支社長	
11	幅口　堅二	S29・12・21	（株）北海道ｼﾞｪｲ･ｱｰﾙ･ｴｰｼﾞｪﾝｼｰ代表取締役社長	
12	小山　俊幸	S32．5・21	北海道旅客鉄道（株）常務取締役総合企画本部長	北海道バドミントン協会副会長
13	新宮　康弘	S33．8・1	北海道軌道施設工業（株）常務取締役	
14	長縄　誠司	S34，10・23	北海道旅客鉄道（株）財務部長	

一般会員

(年齢順)

NO	氏　名	生年月日	出身校	(旧姓)
1	西本秀一郎	(H11･9･21没)	中央鉄道学園	
2	新田　豊	S9・10・2	小樽潮陵高	
3	青山　繁樹	S10・6・13	札幌南高	
4	井川　誠一	S10・7・11	小樽潮陵高	
5	長山　森久	S12・3・8	札幌工業高	
6	熊倉　昭二	S13・10・5	北海高	
7	美藤　恭久	S14・3・4	神戸大学	
8	笠松　敏夫	(H17･6･21没)	札幌南高	
9	渋井　明	S14・7・29	夕張北高	
10	島　辰雄	S15・1・5	札幌工業高	
11	有路　信彦	(H15･1･16没)	札幌東高	
12	平沢　啓裕	S15・10・5	北海高	
13	大石　興徳	S15・11・2	小樽千秋高	
14	本郷　賜	S16・4・12	北海高	
15	伊藤　善夫	(S63･6･25没)	札幌工業高	
16	吉沢　彰	S18・1・2	札幌工業高	
17	田中　昭夫	S18・7・28	札幌工業高	
18	岩本　政昭	S20・1・13	小樽千秋高	
19	佐々木泰子	S20・8・14	札幌静修高	(村田)
20	市川　幸子	(H8･12･8没)	札幌北斗高	(高森)
21	福島　智徳	S21・1・5	帯広三条高	
22	藤田　富雄	S23・2・18	小樽緑陵高	
23	渡辺由美子	S23・3・12	札幌北斗高	(福田)
24	東　政文	(H18･2･12没)	札幌商業高	
25	越前まり子	S24・1・1	札幌北斗高	(斉藤)
26	乙武　重丸	S24・3・23	帯広北高	
27	山田　好明	S24・9・13	帯広農業高	
28	古沢　明	S24・10・1	栗山高	
29	山田　元	S24・10・9	羽幌高	
30	柴田　賢治	S25・3・30	羽幌高	
31	山本　晴通	S25・4・24	帯広白樺高	
32	柴田　充	S25・12・15	栗山高	
33	斉藤　利幸	S26・2・2	伊達高	
34	山田　篤	S27・2・4	羽幌高	
35	白川　秀則	S31・3・17	室蘭工業大	
36	平　秋義	S31・10・2	旭川龍谷高	
37	野沢　明	S32・11・2	帯広白樺高	

NO	氏　名	生年月日	出身校	(旧姓)
38	廣川　幸児	S32・11・30	帯広農業高	
39	岸田　晃	S33・5・30	帯広北高	
40	中川　弘明	S34・3・28	帯広農業高	
41	高橋　進	S35・7・26	滝川高	
42	高崎　厚生	S35・11・30	帯広農業高	
43	七崎　悦範	S36・4・13	上富良野高	
44	松村　徳市	S37・9・22	鵡川高	
45	島田　健司	S38・7・11	札幌第一高	
46	松岡　誠	S38・7・31	札幌第一高	
47	奥名　泰光	S39・3・19	札幌琴似工業高	
48	郷路　一郎	S46・12・16	青山学院大	
49	寺尾　隆司	S47・5・1	法政大	
50	馬木　貴之	S47・5・2	旭川工業高	
51	米田　紀興	S47・5・12	旭川工業高	
52	高嶋　進	S48・6・22	帯広緑陵高	
53	小倉麻由子	S48・12・6	北星学園女子高	(渡辺)
54	田口　英史	S48・12・19	帯広緑陵高	
55	小倉　隆司	S49・9・5	日大	
56	小野　敏和	S50・10・25	東北学院大	
57	西村　美香	S52・2・13	札幌大女子短期	
58	早山　里子	S52・12・2	北海道女子短大	
59	武藤　律恵	S53・12・18	北海道女子短大	(高橋)
60	香川　祐一	S54・1・5	法政大	
61	竹村　直美	S55・2・18	北海道女子短大	(山重)
62	山口　陽介	S55・3・4	函館水産高	
63	松本　章	S55・4・2	旭川工業高	
64	橋村　竜彦	S55・6・16	中央大	
65	川口美与子	S56・12・15	東京女子体育大	(田中)
66	多田　亮太	S57・1・10	中央大	
67	鈴木　知道	S57・6・8	法政大	
68	関野　有起	S57・8・19	法政大	
69	高山　千佳	S58・1・24	旭川実業高	(平林)
70	渡邊あゆみ	S58・7・16	旭川実業高	(佐藤)
71	山田加代子	S60・3・24	浅井学園短期	(阿野)
72	松浦　有里	S60・11・25	東海女子短大	(木村)
73	小林徹太郎	S61・2・19	法政大	



故 東 政文氏



故 笠松敏夫氏



故 有路信彦氏



故 西本秀一郎氏



故 市川幸子氏



故 伊藤善夫氏

NO1

ＪＲ北海道バドミントン部のあゆみ

1953年（昭和28年）

『NHKテレビ放送開始』
『日本鉄道OB会発足』
『プロレス協会設立』


故 西本秀一

西本秀一郎(運転部総務課)を中心にバドミントン同好会として活動を開始。
新田 豊（小樽潮陵高）入部。

1954年（昭和29年）

『台風１５号洞爺丸遭難』
『トマス杯大会に日本初参加』
『自衛隊発足』

井川誠一（小樽潮陵高）入部。
札幌鉄道管理局（札鉄）バドミントン部として正式に発足（初代監督に西本秀一郎が就任）
第４回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）初出場（三井芦別に惜敗で準優勝）

1955年（昭和30年）

『自民党・社会党の５５年体制スタート』
『紫雲丸沈没事件』
『新潟市大火』



初代バドミントン部長に野村信一（人事課長）が就任。
青山繁樹（札幌南高）入部。
第５回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）初優勝。
第４回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト８

1956年（昭和31年）

『鉄腕アトム連載開始』
『日本国国連加盟』
『神武景気始まる』

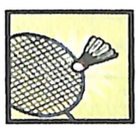


長山森久（札幌工業高）入部。
第６回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）優勝。
第５回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト８

1957年（昭和32年）

『ソ連が人工衛星第１号打ち上げ』
『東海村原子炉第１号』
『五千円札発行』





熊倉昭二（北海高）入部。
第７回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）優勝。
伊藤豊治（人事課長）２代目の部長に就任。
第６回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト８
第７回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト16

1958年（昭和33年）

『東京でアジア大会開催』
『東京タワー完成』
『１万円札登場』


アジア大会

笠松敏夫（札幌南高）渋井 明（夕張南高）島 辰雄（札幌工業高）入部。
第８回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）優勝。
第８回全日本実業団バドミントン選手権大会が札幌で開催。男子団体第３位。
（男子単）ベスト16　熊倉昭二（男子複）ベスト８　熊倉昭二/島 辰雄
北海道バドミントン協会より技能賞（団体）を受賞。
第１１回北海道選手権兼国体道予選（男子複：優勝 熊倉昭二/島 辰雄）


第９回　普通寺大会

1959年（昭和34年）

『伊勢湾台風で東海地方大被害』
『皇太子・美智子妃ご成婚』
『三井三池争議』



有路信彦（札幌東高）平沢啓裕（北海高）大石興徳（小樽千秋高）入部。
第９回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）優勝。
第９回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
（男子単）ベスト８　　平沢啓裕
（男子複）ベスト１６　平沢啓裕/有路信彦・熊倉昭二/島 辰雄


普通寺市で旅館の人達と

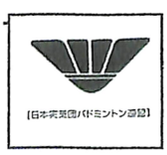
1960年（昭和35年）

『カラーテレビ放送開始』
『三井三池争議』
『安保闘争』

矢戸哲治郎（人事課長）が３代目部長に就任。
本郷　賜（北海高）入部。
第１０回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）優勝。
第１３回北海道選手権兼国体道予選会(男子複：優勝　平沢啓裕/有路信彦　　準優勝：島 辰雄/熊倉昭二)

1961年（昭和36年）

『米・ソ、人間衛星打上げ成功』
『日本実業団バドミントン連盟創立』
『大鵬・柏戸が横綱に』



副島 治（人事課長）が４代目の部長に就任。
伊藤善夫・吉沢　彰（札幌工業高）入部。
第１０回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト１６
（男子複）第４位　　熊倉昭二/島 辰雄
ベスト８　平沢啓裕/有路信彦
第１１回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）優勝。
第４回北海道社会人バドミントン選手権大会（男子単）優勝：熊倉昭二・準優勝：伊藤善夫
（男子複）優勝　熊倉昭二/平沢啓裕
第１１回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）第３位。
（男子複）ベスト１６　熊倉昭二/島 辰雄・平沢啓裕/有路信彦・渋井 明/大石興徳
第１４回北海道選手権兼国体道予選会(男子単優勝：渋井 明・準優勝：熊倉昭二)(男子複優勝：平沢啓裕/有路信彦)
第１回全国鉄大会(国鉄主催)３種目優勝(男子団体)個人戦優勝(男子単：渋井 明)(男子複：平沢啓裕/有路信彦)
女子は江崎智恵子（物資部小樽配給所）・鈴木玲子・工藤和子（室蘭電務区）が出場。


初代の札鉄体育館

ＪＲ北海道バドミントン部のあゆみ

１９６２年（昭和３７年）

『ヨットで太平洋単独横断成功』
『常磐線三河島事故』
『キューバ危機』

田中昭夫（札幌工業高）入部。
第１２回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）優勝。
第５回北海道社会人バドミントン選手権大会（男子単）優勝:渋井 明　準優勝:平沢啓裕
（男子複）優勝　平沢啓裕/伊藤善夫　準優勝　渋井 明/大石興徳
第１２回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）第４位。
（男子単）ベスト８　渋井 明　ベスト１６　島 辰雄
（男子複）ベスト16　青山繁樹/大石興徳・島 辰雄/有路信彦
第２回国鉄大会（団体）連続優勝　個人戦（男子単）伊藤善夫初優勝
第１５回北海道選手権兼国体道予選会（男子単・複）優勝　道代表独占。
（男子単）優勝　渋井 明　準優勝　伊藤善夫
（男子複）優勝　渋井 明/大石興徳　準優勝　平沢啓裕/伊藤善夫
升田嘉夫（人事課長）５代目部長に就任。





１９６３年（昭和３８年）

『ＮＨＫ大河ドラマ始まる』
『米大統領ケネディ暗殺』
『黒部第４発電所完成』
『横須賀線鶴見事故』

青山繁樹が２代目監督に就任。
第１３回北海道実業団バドミントン選手権大会(男子)９年連続優勝。
第１３回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト８
（男子複）ベスト16　平沢/伊藤・熊倉/島 ・渋井/大石
第３回国鉄大会（団体）３連覇　個人戦（男子単）平沢啓裕が初優勝。
第１６回北海道選手権兼国体道予選会（男子単複）優勝。道代表独占。
（男子単）優勝　渋井 明　準優勝　伊藤善夫
（男子複）優勝　伊藤善夫/平沢啓裕　準優勝　渋井 明/大石興徳
（混合複）優勝　渋井 明/小山内（道日産）





１９６４年（昭和３９年）

『東海道新幹線　東京・新大阪間開通』
『羽田・浜松町間モノレール開通』
『日本鉄道建設公団発足』
『東京オリンピック開催』
『新潟大地震 M7.2』

村田泰子（札幌静修高）福島智徳（帯広三条高）入部。
第１４回北海道実業団バドミントン選手権大会でアベック優勝。
（男子団体）１０年連続　（女子団体）初優勝。
第７回北海道社会人バドミントン選手権大会（男子単）優勝:渋井 明・準優勝:平沢啓裕
（男子複）優勝　渋井 明/大石興徳　準優勝　平沢啓裕/伊藤善夫
第１４回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）第４位。
（男子複）ベスト１６　伊藤善夫/福島智徳・大石興/田中昭夫
第４回国鉄大会（団体）４年連続優勝　個人戦男女優勝。
（男子単）平沢啓裕が連覇（女子単）村田泰子が初優勝。
第１７回北海道バドミントン選手権大会（男子単）で渋井 明が４連覇。
（女子単複）村田泰子が初優勝。複ﾊﾟｰﾄﾅｰは菊池
（混合複）優勝　渋井 明/(水上：札幌明治屋)準優勝　平沢啓裕/(加藤)
第１９回国民体育大会道予選会で（男子単・複・女子複）優勝。
（男子単）優勝　渋井 明　準優勝　田中昭夫
（男子複）優勝　渋井 明/大石興徳　準優勝　伊藤善夫/平沢啓裕
（女子複）優勝　村田泰子　（女子単）準優勝　村田泰子
鈴木俶也（人事課長）が６代目部長に就任。





１９６５年（昭和４０年）

『主要駅にみどりの窓口設置』
『米軍ベトナム北爆開始』
『シンザン五冠馬』

高森幸子（札幌北斗高）入部。
第１５回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）１１年連続優勝。
第８回北海道社会人バドミントン選手権大会
（男子複）優勝　伊藤善夫/福島智徳
第１８回北海道選手権兼国体道予選会
（女子単）優勝　高森幸子（女子複）優勝　村田泰子/高森幸子
（混合複）優勝　平沢啓裕/村田泰子
第１５回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）第３位。
ベスト8（男子単）伊藤善夫（女子単)高森幸子
ベスト16（男子複）平沢啓裕/田中昭夫・伊藤善夫/福島智徳
ベスト16（女子複）高森幸子/村田泰子





１９６６年（昭和４１年）

『全日空機羽田沖墜落』
『ザ・ビートルズ来日』
『中国文化大革命』

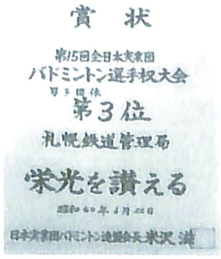
福田由美子（札幌北斗高）入部。
第１６回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）１２年連続優勝　（女子団体）優勝。
第１６回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）第４位。
（男子複）ベスト１６　伊藤善夫/福島智徳
第１９回北海道バドミントン選手権大会
優　勝（女子単）　村田泰子
優　勝（女子複）　村田泰子/福田由美子
優　勝（混合複）　伊藤善夫/渡辺由美子
準優勝（男子複）　伊藤善夫/福島智徳
塩川良平（人事課長）７代目部長に就任。



■第14回　松山大会



■第16回　大阪大会



ＪＲ北海道バドミントン部のあゆみ

NO3

１９６７年（昭和４２年）

『国民総生産、世界第３位』
『日本児童の数学世界一』
『中東戦争』

東 政文（札商高）乙武重丸（帯広北高）杉本寿門（旭川西高）斉藤まり子（札幌北斗高）入部。
第１７回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝　（女子団体）２年連続優勝。
第１０回北海道社会人バドミントン選手権大会（男子単）優勝　福島智徳　（女子単）優勝　村田泰子
第１７回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト８
（男子複）ベスト１６　伊藤善夫/福島智徳　（女子単）ベスト１６　村田泰子
第２０回北海道バドミントン選手権大会
優勝（男子複）伊藤善夫/福島智徳（女子単）村田泰子（女子複）村田泰子/福田由美子（混合複）福島智徳/村田泰子



１９６８年（昭和４３年）

『三億円強奪事件』
『国労の順法闘争』
『東京大学紛争』

藤田好一（人事課長）７代目の部長に就任。
山田 元・柴田賢治（羽幌高）山田好明（帯広農業高）古沢　明（栗山高）入部。
第１８回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第１１回北海道社会人バドミントン選手権大会
（男子単）優勝　東 政文　　準優勝　福島智徳
（女子単）優勝　斉藤まり子
（男子複）優勝　渋井　明/福島智徳
第１８回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト１６
第２１回北海道バドミントン選手権大会（男子複）準優勝　渋井　明/福島智徳



１９６９（昭和４４年）

『アポロ１１号人類初の月面着陸』
『ユーバー杯東京で開催　優勝』
『東名高速道路全線開通』
『定山渓鉄道の廃止』

渋井 明（３代目）監督に就任。
柴田 充（栗山高）山本晴通（帯広白樺高）入部。
第１９回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第１２回北海道社会人バドミントン選手権大会
（男子単）準優勝:福島智徳　（男子複）準優勝:渋井 明/東 政文
第２２回北海道バドミントン選手権大会
（男子単）準優勝:福島智徳（男子複）準優勝:渋井 明/福島智徳
（混合複）準優勝　福島智徳/松田（ｻﾝｽﾎﾟｰﾂ）
北海道バドミントン協会表彰（団体）特別功労賞
（個人）功労賞　西本秀一郎　　技能賞　青山繁樹・渋井 明
第１９回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ﾍﾞｽﾄ８
（男子複）ベスト１６　福島智徳/柴田賢治





１９７０年（昭和４５年）

『よど号ハイジャック事件』
『プロ野球・黒い霧事件』
『大阪万国博覧会開催』

山田　篤（羽幌高校卒）入部。
第２０回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第２３回北海道バドミントン選手権大会（男子複）優勝　渋井 明/堺（河崎ﾗｹｯﾄ）
第１３回全日本社会人バドミントン選手権大会（男子複）ベスト１６　乙武重丸/柴田賢治
土田　洋（人事課長）９代目部長に就任



１９７１年（昭和４６年）



『札幌地下鉄南北線開通』
『日中国交樹立共同声明調印』
『沖縄返還協定調印』
『大横綱大鵬引退』

組織改正によりチーム名を「国鉄北海道」に改称。
第２０回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト８
（男子３０歳単）準優勝　渋井 明
第２１回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第２１回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト１６　（３０歳単）ベスト８　渋井 明

１９７２年（昭和４７年）

『山陽新幹線　新大阪・岡山間開業』
『札幌オリンピック開催』
『赤軍派浅間山荘事件』
『ユーバー杯３連勝』
『沖縄本土復帰』

神先惣平（人事課長）１０代目部長に就任。
第２２回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第２２回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト１６
（男子３０歳単）ベスト８　渋井 明　（男子３０歳複）ベスト８　渋井 明/大川 浩

１９７３年（昭和４８年）

『春闘史上初の交通ゼネスト』
『女子銀行員９億円詐欺事件』
『駅売店がキヨスクと命名』
『金大中事件』

第２３回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第２６回北海道バドミントン選手権大会（男子複）準優勝　山田 元/山田好明
（男子複）準優勝　山田 元/山田好明
（混合複）優勝　　山田好明/田村（地崎工業）
（混合複）準優勝　東 政文/斉藤まり子（OB）
第２３回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト１６
（男子複）ベスト１６　山田好明/山田 元
第２８回国民体育大会北海道予選会
（男子単）準優勝　山田 元
（男子複）準優勝　山田好明/山田 元







ＪＲ北海道バドミントン部のあゆみ

NO4

１９７４年（昭和４９年）

『巨人軍　長嶋選手現役引退』
『ルパング島で元軍人発見』
『堀江謙一ヨット世界一周』

平田建州（人事課長）１１代目部長に就任。
全道実業団バドミントン大会（団体）東選手の大活躍で優勝（電電に３－２で勝利）
第２７回北海道バドミントン選手権大会
（男子単）準優勝　山本晴通　　（混合複）優勝　山田好明/田村（地崎工業）
第２４回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト１６

１９７５年（昭和５０年）

『山陽新幹線　岡山・博多間開業』
『日本女子登山隊エベレスト登頂』
『スト権スト』

平 秋義（旭川龍谷高）入部。
第２５回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第２５回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト16
第１回全国鉄バドミントン大会（国鉄バドミントン連盟主催）優勝。



１９７６年（昭和５１年）

『ロッキード事件』
『鹿児島で五つ子誕生』
『酒田市大火』

虎竹雄二（人事課長）１２代目部長に就任。
広川幸児（帯広農業高）入部。
第２６回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第２０回北海道社会人バドミントン選手権大会（男子複）準優勝　柴田賢治/山田好明
第２６回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト１６
第２回全国鉄バドミントン大会（団体）優勝。



１９７７年（昭和５２年）

『巨人の王選手本塁打世界新』
『日航機ハイジャック事件』
『有珠山噴火』

野沢 明（帯広白樺高）岸田 明（帯広北高）中川弘明（帯広農業高）入部。
第２７回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）第３位。
第２７回全日本実業団選手権大会は勤務、怪我等で選手不足の為不参加。
第２１回北海道社会人選手権大会（混合複）優勝　山田好明/遠藤（札幌）
第３回全国鉄バドミントン大会（団体）優勝。



１９７８年（昭和５３年）

『植村直巳単身で北極点到達』
『インベーダーゲーム流行』
『新東京国際空港開港』

組織改正によりチーム名を「札幌鉄道管理局」に改称。
第２８回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第２８回全日本実業団選手権大会は勤務、怪我等により不参加。
第４回全国鉄バドミントン大会（団体）優勝。
北海道バドミントン協会表彰（個人）技能賞　大石興徳・渋井 明





１９７９年（昭和５４年）

『バドミントン日本リーグ発足』
『初の東京サミット開催』
『第二次オイルショック』

佐々木信幸（人事課長）13代目部長に。山田 元４代目監督に就任。
高崎厚生（帯広農業高）高橋 進（滝川高）入部。
北海道実業団バドミントン連盟表彰（団体）功労賞。
第２９回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）第３位・Ｂチームは２部準優勝。
第２９回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）２回戦敗退。
第２３回北海道社会人バドミントン選手権大会（混合複）優勝　山田好明/杉本（トヨタ）
第２３回北海道社会人バドミントン選手権大会(混合複)優勝　山田好明/杉本(ﾄﾖﾀ)
第５回全国鉄バドミントン大会を札幌市で開催（主管）優勝。



１９８０年（昭和５５年）

『現金１億円拾得事件』
『イラン・イラク戦争』

七崎悦範（上富良野高）入部。　乙武重丸が５代目監督に就任。
第３０回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第３３回北海道バドミントン選手権大会（混合複）準優勝　山田好明/佐藤（札幌）
第３０回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト16でシード権獲得。
（男子３０歳単）準優勝　山本晴通
第２４回北海道社会人バドミントン選手権大会（混合複）優勝　山田好明/遠藤（札幌）
第６回全国鉄バドミントン大会（団体）優勝。



１９８１年（昭和５６年）

『第９回ユ杯日本で開催・５度目の優勝』
『石狩川流域の水害』
『石勝線開通』

昭和５５年度札幌選手権大会（男子単）高崎厚生　（男子複）高橋 進/高崎厚生が優勝。
富田哲郎（人事課長）１４代目部長に就任。
松村徳市（鵡川高）白川秀則（札幌開成高・室蘭工業大）入部。
第３１回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝（Ｃチーム２部準優勝）
第３４回北海道バドミントン選手権大会
優勝(混合複)山田好明/遠藤(札幌)準優勝(男子単)高崎厚生(混合複)高橋 進/高野/(札幌)
第３１回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）４回戦（ｼｰﾄﾞの為初戦）敗退。
第７回全国鉄バドミントン大会（団体）優勝。
第２４回全日本社会人バドミントン選手権大会が登別市で開催される。
（男子３０歳複）第３位　山田好明/山本晴通（男子４０歳単）ベスト８　渋井 明
第２５回北海道社会人バドミントン選手権大会（混合複）優勝　山田好明/鏡山（山陽国策）
昭和５６年度「国鉄加賀山賞」団体の部受賞　　祝賀会開催（札幌弥生会館）



ＪＲ北海道バドミントン部のあゆみ

１９８２年（昭和５７年）

『ﾎﾃﾙ･ﾆｭｰｼﾞｬﾊﾟﾝ火災』『羽田で日航機墜落』
『東北新幹線　大宮・盛岡間開業』『上越新幹線開業』

松岡 誠・島田健司（札幌第一高）奥名泰光（琴似工業高）入部。
第３２回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝（Ｂチーム２部優勝）
第３２回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）４回戦敗退（ベスト３２）
第８回全国鉄バドミントン大会（団体）優勝。
第３５回北海道バドミントン選手権大会(混合複)優勝　高橋 進/渡辺(札幌レディス・OG)
北海道クラブ対抗　初出場初優勝。



『ソ連、大韓航空機撃墜』
『青函トンネル貫通』
『日本海中部地震』



１９８３年（昭和５８年）

札鉄体育館（札幌駅北口）から苗穂に新築移転。
第３６回北海道バドミントン選手権大会
(混合複)高橋 進/渡辺(札ﾃﾞｲ)他、年齢別４種目優勝。
第３３回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
真鍋精志（人事課長）１５代目部長に就任。
第３３回全日本実業団バドミントン選手権大会が札幌市で開催。
　男子団体で地元勢最高の第５位（ベスト８）
北海道・ソ連極東親善国際大会が札幌市で開催。
　北海道代表として、高橋 進が出場（北海道チームが優勝）
第９回全国鉄バドミントン大会（団体）優勝。
札幌鉄道管理局バドミントン部「３０周年記念祝賀会」開催。
札幌パレスホテル



■第33回　札幌大会



『グリコ・森永事件』
『珍獣コアラ初来日』
『ロス五輪』

１９８４年（昭和５９年）

平成５８年度札幌選手権大会（男子複）準優勝　高橋 進/高崎厚生
栗原 進（人事課長）１６代目部長に就任。
第３４回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第３７回北海道バドミントン選手権大会（男子単）１６年振りに優勝　高橋 進
　（混合複）３年連続優勝　高橋 進/渡辺由美子（札幌レディス・OG）
　準優勝(男子複)高崎厚生/高橋 進(混合複)高崎厚生/山本(札幌)
第３４回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト16
第２８回北海道社会人バドミントン選手権大会
　（男子複）準優勝　高橋 進/松村徳市
　（混合複）優勝　　高橋 進/和田（地崎）準優勝　高崎厚生/中里（北海道ﾘｰｽ）
北海道・ソ連極東親善国際大会（ソビエト）高橋 進が初の海外遠征（北海道チーム優勝）
第１０回全国鉄バドミントン大会（団体）優勝。連盟表彰「団体特別功労賞」受賞。





『東北、上越新幹線　上野・大宮間開業』
『電電公社が民営化でNTTに』
『科学万博筑波で開催』
『日航ジャンボ機墜落』

１９８５年（昭和６０年）

昭和５９年度札幌選手権大会（男子複）準優勝　高橋 進/松村徳市
組織改正により事業所名「国鉄北海道総局」チーム名「札鉄」に改称。
第３５回北海道実業団バドミントン選手権大会（団体）準優勝。
第３８回北海道バドミントン選手権大会（男子単）で高橋 進が連覇。
　（混合複）優勝　松村徳市/市川幸子（札幌レディス・札鉄OG）全６種目優勝。
第３５回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト１６
　（男子３０歳複）第３位　山田好明/山本晴通
日本実業団バドミントン連盟表彰（個人）功労賞　山田好明・山本晴通
第１１回全国鉄バドミントン大会（団体）優勝。





『ソ連・原子力発電所大事故』
『東京サミット開催』
『三原山大噴火』

１９８６年（昭和６１年）

昭和６０年度札幌選手権大会（男子複）優勝　高橋 進/松村徳市
第３６回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第３９回北海道バドミントン選手権大会
　（男子複）準優勝　高崎厚生/松岡 誠
　（混合複）優勝　　松村徳市/市川（OG）準優勝　高橋 進/渡辺（OG）
第３６回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト１６
第３０回北海道社会人バドミントン選手権大会（男子単）準優勝　松村徳市
第１２回全国鉄バドミントン大会（団体）１２年連続優勝。



『大韓航空機爆破事件』
『石原裕次郎逝く』

１９８７年（昭和６２年）

国鉄分割民営化により新会社「北海道旅客鉄道株式会社」誕生。
バドミントン部の存続決定。チーム名「ＪＲ北海道」として再スタート。
新陣容は部長に山崎正博（工務部長）副部長に栗原 進（経営管理室副室長）・渋井 明（総務部勤労課）
　監督･乙武重丸(札幌保線区)コーチ･田中昭夫(工事二課)山田好明(札幌保線区)
　主将･高橋 進・選手に七崎悦範・松村徳市・松岡 誠・奥名泰光
札鉄体育館（苗穂）が国鉄精算事業団に移管し売却決定。ジプシー練習に。
第３７回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第４０回北海道バドミントン選手権大会（混合複）優勝　松岡 誠/鈴木（札幌）
第４０回全日本実業団バドミントン選手権大会(男子団体)4回戦敗退(ベスト32)
第３１回北海道社会人バドミントン選手権大会（男子単）準優勝　松岡 誠
第１回札幌市混合大会・２種目に優勝。



ＪＲ北海道バドミントン部のあゆみ

１９８８年（昭和６３年）







練習体育館が苗穂工場体育館に決定。
岩本政昭（苗転所）山本晴通（ＪＲ貨物）が特別コーチに就任。
第３８回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第４１回北海道バドミントン選手権大会（混合複）優勝　高橋 進/加藤(地崎)
第３８回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト１６
　３回戦でＮＴＴ北海道と対戦。大熱戦の末３－２で勝利。
伊藤善夫氏が逝去（６月２５日　４５歳にて永眠）
北海道バドミントン協会より表彰（個人）技能賞　高橋 進
第１０回日本リーグ予選会に初出場。準々決勝で北國銀行（石川県）に惜敗。
第４３回国民体育大会道予選会（男子複）準優勝　高橋 進/松村徳市
第３２回北海道社会人バドミントン選手権大会（男子複）優勝　高橋 進/松村徳市
第１回全ＪＲバドミントン大会（連盟主催）初優勝。

『青函トンネル/瀬戸大橋開通』
『リクルート事件』
『東京ドーム開業』

１９８９年（平成元年）



北海道旅客鉄道株式会社「社長賞」受賞。
藤田富雄（シニア・ＪＲ大会）登録。
第３９回北海道実業団バドミントン選手権大会(男子)準優勝。
第３９回全日本実業団バドミントン選手権大会(男子)ベスト16
第１１回日本リーグ予選会出場　準決勝でJATCO（静岡県）に惜敗。
第４２回北海道バドミントン選手権大会
　（混合複）優勝　松村徳市/加藤（地崎）　準優勝　高橋 進/渡辺由美子（OG）
第２回全ＪＲバドミントン大会を札幌市で開催。優勝。OB主体のBﾁｰﾑは４部優勝。
第３３回北海道社会人バドミントン選手権(男子複)２年連続優勝　高橋 進/松村徳市
　（混合複）優　勝　高橋　進/和田（地崎）３位まで独占。

『昭和天皇崩御・明仁親王即位』
『美空ひばり逝去』
『消費税３%実施』



１９９０年（平成２年）



平野朝也（札幌第一高）入部。
第４０回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第４３回北海道バドミントン選手権大会
　（混合複）優勝　松村徳市/加藤（地崎）　準優勝　高橋 進/渡辺由美子（OG）
第４０回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト１６・シード権獲得。
日本リーグが第１２回大会より２部を創設。実行委員会から推薦を受ける。第９位。
第３４回北海道社会人バドミントン選手権大会優勝(混合複)松村徳市/加藤(地崎)
　準優勝(男子複)松村徳市/小飼(RSｽｶﾞﾜﾗ)(混合複)松岡 誠/岩崎（地崎）
飯塚一力（工務部長）２代目部長（通算１８代目）に就任。
第１２回日本リーグ予選会第９位。
第３回ＪＲバドミントン大会（団体）優勝。
全ＪＲバドミントン連盟２代目理事長に渋井 明が就任。

『株価暴落・バブル崩壊』
『雲仙普賢岳噴火』
『ドイツ統一』





１９９１年（平成３年）

馬木貴之・米田紀興（旭川工業高）入部。
第４１回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第４１回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト１６・シード権獲得。
日本実業団バドミントン連盟表彰（個人）功労賞　高橋 進
第３５回北海道社会人バドミントン選手権大会(混合複)優勝　松村/星(チザキ)準優勝(男子単)松岡
第４回全ＪＲバドミントン大会（団体）優勝。
チームオーナーに大森義弘代表取締役社長
第１３回日本リーグ（２部リーグ）第３位。

『東北新幹線　東京・上野間開業』
『湾岸戦争・ソビエト連邦崩壊』
『横綱・千代の富士引退』
『バブル経済崩壊』



馬木貴之　米田紀興



高橋 進

１９９２年（平成４年）

高嶋 進・田口英史（帯広緑陽高）入部。
小林徳宏工務部長がバドミントン部長に就任。
第４２回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第４５回北海道バドミントン選手権大会（男子複）準優勝　松村徳市/小飼（RSｽｶﾞﾜﾗ）
第４２回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト１６・シード権獲得。
第３回交通新聞スポーツ賞（団体）受賞。
第３６回北海道社会人バドミントン選手権大会（単）準優勝　米田紀興
　（複）準優勝　松村徳市/小飼（RSｽｶﾞﾜﾗ）
第５回全ＪＲバドミントン大会（団体）優勝。
バドミントン日本リーグ２部で準優勝（６勝１敗）
創部４０周年記念祝賀会開催(11/27・札幌弥生会館)記念誌「シャトルの軌跡」発刊。

『バルセロナオリンピックでバドミントン競技が正式種目』
『山形新幹線　福島・山形間開業』
『佐川事件で政界激動』





高嶋 進



田口英史





ＪＲ北海道バドミントン部のあゆみ

1993年（平成5年）

『サッカーＪリーグ開幕』
『北海道南西沖地震』
『釧路沖地震発生』
『皇太子ご成婚』

平成４年度札幌選手権大会（男子複）準優勝　馬木貴之/米田紀興
佐竹友昭（札幌第一高）入部。
第４３回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第４６回北海道バドミントン選手権大会（男子複）準優勝　松村徳市/小飼（RSｽｶﾞﾜﾗ）
日本実業団バドミントン連盟より個人表彰として七崎悦範・松村徳市・松岡 誠が功労賞受賞。
第４３回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）４回戦敗退（ベスト３２）
第３７回北海道社会人バドミントン選手権大会（男子複）準優勝　馬木貴之/米田紀興
第６回全ＪＲバドミントン大会（団体）優勝。
バドミントン日本リーグ２部　第５位（３勝４敗）



1994年（平成6年）

『関西国際空港が開港』
『北海道東方沖地震』
『松本サリン事件』

郷路一郎（札幌第一高・青山学院大）入部。
第４４回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子）準優勝。
第４７回北海道バドミントン選手権大会（混合複）優勝　馬木/岩崎（ﾁｻﾞｷ）
第４４回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）２回戦敗退。
第３８回北海道社会人バドミントン選手権大会
（混合複）優勝　郷路一郎/日原（ﾁｻﾞｷ）　準優勝　米田紀興/梶原(ﾁｻﾞｷ)
第４回全日本混合複バドミントン選手権大会（混合複）ベスト16　馬木貴之/岩崎（チザキ）
第７回全ＪＲバドミントン大会（団体）優勝。
バドミントン日本リーグ２部　第４位（３勝３敗）


郷路一郎



1995年（平成7年）

『オウムの地下鉄サリン事件』
『ＪＲ北海道本社ビル竣工』
『阪神淡路大震災』



高橋 進が助監督から監督に昇格。
寺尾隆司（金沢二水高・法政大）渡辺麻由子（北星女子高・米国語学留学）入部。
第４５回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第４８回北海道バドミントン選手権大会（混合複）準優勝　馬木貴之/岩崎（ﾁｻﾞｷ）
高坂清和工務部長がバドミントン部長に就任。
第４５回全日本実業団バドミントン選手権大会　札幌市で開催。
（中島体育センター・北区、豊平区・白石区体育館）４回戦敗退。
第３８回全日本社会人バドミントン選手権大会（混合複）ベスト16　馬木貴之/岩崎（チザキ）
第３９回北海道社会人バドミントン選手権大会（混合複）優勝　米田紀興/梶原（ﾁｻﾞｷ）
第８回全ＪＲバドミントン大会（団体）優勝。
バドミントン日本リーグ２部　第６位（３勝４敗）


寺尾隆司


渡辺麻由子



1996年（平成8年）

『ペルー日本大使公邸人質事件』
『病原性大腸菌O157大発生』
『豊浜トンネル崩落事故』



平成７年度札幌選手権大会（男子複）準優勝　馬木貴之/寺尾隆司
松村徳市が監督就任。沼尻裕昭(茨城常総学院・近畿大)入部。
第４６回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
オーナーに坂本眞一(社長)が就任。
第４６回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）４回戦敗退（ベスト３２）
（男子４５歳複）優勝　山田好明/藤田富雄
市川幸子（旧姓　高森）氏が逝去（１２月８日　５２歳にて永眠）
平成８年度　北海道バドミントン協会より、東 政文・藤田富雄が特別技能賞を受賞。
第９回全ＪＲバドミントン大会（団体）優勝。
バドミントン日本リーグ２部　第６位（２勝５敗）



1997年（平成9年）

『秋田新幹線　盛岡・秋田間開業』
『北陸新幹線　高崎・長野間開業』
『コンサドーレＪリーグ昇格』
『長野オリンピック開催』
『北海道拓殖銀行破綻』
『消費税５％実施』

小倉隆司（札幌第一高・日本大学）入部。
西村美香（札幌静修高・札幌大学女子短期）入部。
第４７回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第５０回北海道バドミントン選手権大会(混合複)準優勝:米田紀興/西村美香
第４７回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）ベスト１６
第１０回全ＪＲバドミントン大会（団体）優勝。
バドミントン日本リーグ２部　第７位（２勝５敗）


小倉隆司


西村美香

1998年（平成10年）

『和歌山の夏祭りカレー事件』
『サッカーW杯日本初出場』
『若・貴の兄弟横綱』
『明石大橋開通』

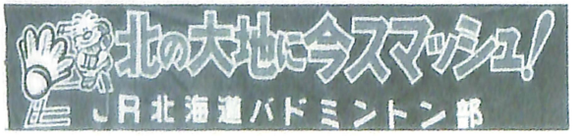
小野敏和（日大山形高・東北学院大）山口陽介（函館水産高）入部。
早山里子（札幌丘珠高・北海道女子短期大）吉川隆博（旭川実業高）入部。
北海道バドミントン協会より功労賞（個人）を乙武重丸が受賞。
第４８回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第４８回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）３回戦敗退。
第１１回全ＪＲバドミントン大会（団体）優勝。
バドミントン日本リーグ２部　第６位（３勝４敗）




小野敏和


早山里子


山口陽介



ＪＲ北海道バドミントン部のあゆみ

１９９９年（平成１１年）

『礼文浜トンネルでコンクリート片落下事故』
『東海村核燃料工場で臨界事故』
『山形新幹線　新庄延伸開業』

一條昌幸工務部長がバドミントン部長に就任。松本 章（旭川工業高）入部。
第４９回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第４９回全日本実業団バドミントン選手権大会（男子団体）４回戦敗退（ベスト３２）
初代監督の西本秀一郎氏が逝去（９月２１日　７６歳にて永眠）
第１２回全ＪＲバドミントン大会（団体）優勝
バドミントン日本リーグ２部　第７位（２勝５敗）




松本 章

２０００年（平成１２年）

『有珠山大噴火』
『三宅島再噴火で全島避難』
『福岡バスジャック事件』
『シドニー五輪で高橋尚子・初の金メダル』

寺尾隆司が監督に就任。
山重直美（旭川実業高・北海道女子短期大）入部。
第５０回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
第５３回北海道バドミントン選手権大会（混合複）優勝　小倉隆司/西村美香
高橋律恵（札幌丘珠高・北海道女子短期大）入部。
第１３回全ＪＲバドミントン大会（団体）優勝。
バドミントン日本リーグ２部　第７位（２勝５敗）




山重直美


高橋律恵

２００１年（平成１３年）

『アメリカ同時多発テロ発生』
『新宿歌舞伎町雑居ビル火災』
『旧石器発掘ねつ造事件』
『狂牛病感染牛確認』

香川祐一（千葉敬愛高・法政大）・竹村 純（旭川工業高）入部。
第５１回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）準優勝。
　女子選手が４名となり女子団体に初出場。　ＮＴＴ北海道に敗れ準優勝。
日本実業団バドミントン連盟表彰（個人）功労賞　　田口英史
第４４回全日本社会人バドミントン選手権大会（男子複）ベスト１６　小倉隆司/竹村 純
第４５回北海道社会人バドミントン選手権大会（男子単）準優勝　竹村 純
第１４回全ＪＲバドミントン大会（団体）優勝。
平林千佳（旭川実業高・北海道ｼﾞｪｲ･ｱｰﾙ･ﾄﾗﾍﾞﾙｻｰﾋﾞｽ入社）入部。
バドミントン日本リーグ２部　第４位（４勝３敗）


香川祐一


竹村 純


平林千佳

２００２年（平成１４年）



『東北新幹線　盛岡・八戸間開業』
『北朝鮮拉致家族帰国』
『牛肉偽装事件』

総監督に松村徳市が就任。
佐藤あゆみ（旭川実業高・札建工業入社）入部。
第５２回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体・女子団体）準優勝。
第５５回北海道バドミントン選手権大会
　男子単で松本 章がチームとしては１７年振りの優勝を果たす。
　女子複で西村美香/山重直美がチームとしては３５年振りの優勝。
　混合複で小倉隆司/西村美香が準優勝。
第５７回国民体育大会北海道予選会で女子複が初優勝。
　（女子複）優勝･西村美香/山重直美（男子複）準優勝･小倉隆司/竹村 純
第４５回全日本社会人バドミントン選手権大会（男子複）で松本 章/竹村 純が第３位。
バドミントン競技を通じて地域の体育振興に寄与した功績により乙武重丸が「社会貢献賞」受賞
第５７回国民体育大会バドミントン競技北海道選手団の副団長に一條昌幸部長。
　（成年女子）監督　寺尾隆司　　選手　西村美香・山重直美
平成１４年度全日本総合バドミントン選手権大会（男子複）で松本 章/竹村 純がベスト16
第１５回全ＪＲバドミントン大会（団体）優勝　１５連覇達成。
バドミントン日本リーグ２部　第５位（４勝３敗）


山重直美/西村美香


高橋律恵


佐藤あゆみ





『札幌駅にＪＲタワーオープン』
『台風１０号による大災害発生』
『六本木ヒルズ開業』
『十勝沖地震発生』

２００３年（平成１５年）

有路信彦氏が永眠（１月１６日）
小倉隆司が監督就任。　　橋村竜彦（中央大学）入部。
第５３回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体・女子団体）準優勝。
第５８回国体北海道予選会で男子単：橋村竜彦・男子複：松本 章/竹村 純が準優勝。
ＪＲ北海道バドミントン部５０周年記念祝賀会開催（6/13ＪＲタワー日航札幌36階）
　ＪＲ北海道坂本社長・ＪＲグループ各社社長・小林北海道バドミントン協会会長
　宮永日本リーグ運営委員長ほか役員、社員、協会連盟役員、OB、選手の総勢１３０名。
　記念誌「世紀を超えて半世紀　シャトルの軌跡」を発刊。１１４頁　３００部。
小池オーナー就任（坂本会長・小池社長）一條部長が釧路支社長に、小笠原工務部長が副部長に。
第５３回全日本実業団バドミントン選手権大会で第３位。
　北都銀行（日本リーグ２部）NTT北海道・ベスト電器（日本リーグ１部）を撃破。
北海道バドミントン協会よりチームに技能賞を受ける（竹村・橋村・小野・松本・小倉）
第５６回北海道バドミントン選手権大会で男子複　松本 章/竹村 純が初優勝。
　（男子単）竹村 純（女子複）西村美香/山重直美（混合複）竹村 純/西村美香が準優勝。
第４６回全日本社会人バドミントン選手権大会（男子単）で竹村 純が第３位入賞に輝く。
　（混合複）小倉隆司/西村美香がベスト８（男子複）小倉隆司/橋村竜彦がベスト１６
第４７回北海道社会人バドミントン選手権大会で男子単：竹村 純が準優勝。
第１６回全ＪＲバドミントン大会（団体）優勝。１６連覇達成。
平成１５年度全日本総合バドミントン選手権大会
　ベスト１６（男子複）松本 章/竹村 純（混合複）小倉隆司/西村美香
２００３バドミントン日本リーグ２部秋田大会で初優勝（７戦全勝）殊勲選手賞：松本 章・竹村 純・橋村竜彦
　優勝祝賀会（12/11　OB会主催：三川屋会館）優勝報告会(12/12　会社主催昼食会　小池社長・栗原、一條常務ほか)


橋村竜彦





ＪＲ北海道バドミントン部のあゆみ

２００４年（平成１６年）

『九州新幹線　新八代～西鹿児島間開業』
『イチローが米大リーグで最多安打記録』
『駒大苫小牧高校野球全国制覇』
『スマトラ沖地震・大津波』
『アテネオリンピック』
『新潟県中越地震』


早山里子


多田亮太


田中美与子

２００４日本リーグ１部昇格決定（１月１０日付）
多田亮太（中央大学）田中美与子（東京女子体育大）入部。
第５４回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子・女子）準優勝。
竹村 純選手が北海道バドミントン協会より技能賞受賞。
第５９回国民体育大会北海道予選会
　(男子複)松本 章/竹村 純が初優勝(男子単)竹村が準優勝。
北海道バドミントン協会より技能賞を受賞。
日本ランキングサーキット大会に初出場（竹村・松本）
第５４回全日本実業団バドミントン選手権大会で２年連続の第３位。
　準決勝でＮＴＴ東日本に１－３で惜敗。
第４７回全日本社会人バドミントン選手権大会でベスト16。(男子単) 竹村（男子複）松本/竹村
第１７回全ＪＲバドミントン大会（団体）優勝。１７連覇。
第５９回国民体育大会秋季大会「彩の国まごころ国体」成年男子 第３位。
　副団長　一條昌幸　　監督　小倉隆司　　選手　松本 章・竹村 純・（長原正博　NTT）
全日本総合選手権に出場（男子単）竹村 純（男子複）松本 章/竹村 純（混合複）早山里子/竹村 純
バドミントン日本リーグ2004に男子は１部・女子は２部に初出場。
　女子は初勝利をあげ第４位・男子はNTT北海道に勝利し第７位、竹村 純が新人選手賞受賞。
　男子の関野有起（法政大）が内定選手として出場。鈴木知道（法政大）は怪我のため登録のみ。



２００５年（平成１７年）

『中部国際空港開港』
『愛知万博・愛・地球博』
『尼崎ＪＲ福知山線事故』

竹村 純が日本代表（ﾅｼｮﾅﾙﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟﾁｰﾑ部）強化合宿に招集され参加 1/31～
竹村 純が2005年日本代表選手（ﾅｼｮﾅﾙﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟﾁｰﾑ部）となる。
部・初の国際大会（ジャパンオープン）に竹村が日本代表として出場。単予選２回戦に進出。
鈴木知道・関野有起（法政大学）阿野加代子（浅井学園短大・ｼﾞｪｲｱｰﾙｺﾝｻﾙﾀﾝﾂ入社）が入部。
第５５回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）NTTを破り３９年ぶり１３回目の優勝。
第60回国民体育大会北海道予選会で男子単で橋村竜彦が準優勝。
第５５回全日本実業団バドミントン選手権大会で３年連続の第３位。
小笠原副部長（工務部長）取締役函館支社長に栄転、後任に吉野工務部長が副部長就任。
第１８回全ＪＲ大会が尼崎脱線事故を受け中止を連盟副理事長会で決定、１８年度に北海道で開催。
笠松敏夫氏が逝去（６月２１日）
北海道バドミントン協会より技能賞を受賞。
第５８回北海道選手権大会（男子単）で橋村竜彦が初優勝。
竹村 純が台湾サテライト国際大会に出場　男子複（中西洋介）でベスト８
第４８回全日本社会人選手権大会で竹村・関野/竹村・橋村/鈴木がベスト16
小倉監督が本社営業部に転勤のため勇退。総監督が年度末まで臨時に指揮をとる。
バドミントン日本リーグ（男子）で地元初勝利。
　（２－１　VS くまもと八代YKKAP）11/23　きたえ～る
全日本総合選手権で竹村選手が単ベスト１６
日本ランキング（男子単）竹村 純：13位・橋村竜彦：47位
　　（男子複）竹村 純/関野有起：29位・橋村竜彦/鈴木知道：41位
日本リーグ（男子）第４位でAクラス（４勝３敗）竹村 純選手が敢闘選手賞受賞。
日本リーグ２部（女子）故障者続出で第７位（０勝６敗）


関野有起


鈴木知道


阿野加代子


乙武副部長の胴上げ

２００６年（平成１８年）

『バドミントン国別対抗世界一決定戦の日本開催』
『バドミントン競技でラリーポイント制導入』

竹村 純が前年に引き続き2006年日本代表選手（ﾅｼｮﾅﾙﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟﾁｰﾑ部）に決定。
東 政文氏が逝去（２月１２日）
青山繁樹OB会長が北海道バドミントン協会副会長を勇退。後任に栗原 進オーナー代行が就任。
小野敏和が監督に就任。
使用メーカーをゴーセンからミズノに変更。
木村有里（札幌第一高・東海女子短大・北海道軌道施設工業（株）入社）が入部。
竹村選手が国際大会「ジャカルタサテライト２００６」に参戦（新ｽｺｱﾘﾝｸﾞｼｽﾃﾑ･ﾗﾘｰﾎﾟｲﾝﾄ制）
　シングルス２回戦・ミックスダブルス（今別府靖代・ヨネックス）１回戦敗退。
第５６回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）NTTを破り２年連続１４回目の優勝。
第61回国体道予選で竹村選手が成年男子シングルスで初優勝（3位：関野・４位：橋村）
竹村選手国際大会「がフィリピンオープン２００６」に出場（単・混合）
第５６回全日本実業団バドミントン選手権大会で男子は４年連続の第３位。
　準決勝でＮＴＴ東日本に１－３で惜敗。女子はリーグ戦で敗退。
日本ランキングサーキット大会で男子シングルス　竹村 純が準優勝。
第５０回北海道社会人選手権大会で男子複の鈴木知道/関野有起が優勝。
第４９回全日本社会人選手権大会で竹村選手が単でベスト８
第６１回「のじぎく兵庫国体」で成年男子が第４位（竹村出場）
ﾖﾈｯｸｽジャパンオープンに竹村選手が男子単に出場。
第１８回全ＪＲバドミントン大会(江別市民体育館)団体優勝１８連覇。
　乙武副部長が全ＪＲバドミントン連盟４代目理事長に就任。
全日本総合選手権で男子シングルスの竹村 純が第３位。竹村 純/田中美与子がベスト１６
日本リーグ（男子）２勝４敗で第６位。
　単で竹村選手が中西（ﾗﾝｷﾝｸﾞ３）佐藤（ﾗﾝｷﾝｸﾞ１）に勝利し４勝２敗で敢闘賞。
NTT北海道（男女）が今大会を最後に日本リーグから撤退。事実上の廃部となる。
竹村 純選手が日本ランキング４位に躍進。


木村有理


多田亮太


竹村 純


全日本総合バドミン



ＪＲ北海道バドミントン部のあゆみ

２００７年（平成１９年）

『ノルディックスキー世界選手権で夏見 円選手が５位入賞』
『ＪＲ北海道発足２０周年』

NTT北海道への「感謝と激励の会」を札幌協会と道実連共催で開催(1/11 ホテル東急イン)
「日本リーグ２００６東西対抗オールスター戦バレンタインカップ札幌大会」に竹村 純・関野有起が出場。
　関野が敢闘選手賞・竹村がパフォーマンス賞を受賞。
NTT北海道の廃部に伴い、後藤佳代選手が移籍加入(3/１付工務技術センター)
全日本実業団選手権大会主管のため高橋・松村の大会事務局入りにともない
　乙武副部長が総監督兼任。松村総監督が部事務局に変更し全日本実業団大会の開催準備に対応。
2007大阪インターナショナルチャレンジに竹村　純が出場(男子単　ベスト１６)
日本ランキングサーキット大会で男子(単)竹村 純(複)橋村/竹村組出場。
第５７回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子）３年連続１５回目の優勝。女子は他にエントリーがなく不成立。
第62回国体道予選で(男子単)関野(男子複)で橋村/多田が初優勝。竹村は国際大会出場のため単は棄権。
竹村選手「ニュージーランドオープン」「オーストラリア国際」に出場のため長期遠征(5/13～28)
　「ニュージーランドオープン」ベスト３２・「オーストラリア国際」ベスト16
竹村選手が第１８回(平成１８年度)交通新聞スポーツ賞(個人賞)受賞。
人事異動に伴いオーナーに中島尚俊、副部長に幅口堅二(工務部長)が就任。栗原、一條氏は常務に。
　小野監督が栗原常務秘書に転勤のため乙武総監督が監督兼任。
国体予選で竹村が(単)棄権のため二次選考会を実施(6/23 JR体育館)竹村が関野に勝利し代表に決定。
第５７回全日本実業団バドミントン選手権大会が１２年ぶりに札幌市で開催。
　男子は準決勝でＮＴＴ東日本に破れたが５年連続の第３位。女子は予選リーグ２勝１敗。
第60回北海道バドミントン選手権大会で優勝は男子単の竹村(２年連続) 複の橋村/竹村、女子単の佐藤。
　北海道バドミントン協会より技能賞受賞(全日本実業団３位に対して)
第５１回北海道社会人バドミントン選手権大会でタイトル独占。
カナダオープン国際大会で竹村 純が男子単で準優勝。創部以来初の国際大会入賞。
第５０回全日本社会人選手権大会で竹村選手が男子(単)で第３位。
　男子(単)多田亮太・男子(複)関野有起/鈴木知道、女子(複)阿野加代子/後藤佳代がベスト１６。
第６２回「わかすぎ秋田国体」で成年男子が第４位。副団長で幅口副部長が参加(監督：松村　選手：橋村・多田・竹村)
第１９回全ＪＲバドミントン大会(主管：JR東海)で優勝(19回連続通算35回目)
平成１９年度全日本総合選手権で竹村選手が男子(単)で２年連続第３位。ﾗﾝｷﾝｸﾞ３位に躍進。
バドミントン日本リーグ２００７(２部)で女子が第５位(３勝４敗)
竹村選手が２００８年日本代表(ナショナルチーム部)に選出される。JOC強化指定選手となる。
バドミントン日本リーグ２００７(男子１部)で第４位(Aクラス)４勝３敗。
　個人賞・竹村選手が３年連続敢闘選手賞受賞。


後藤佳代







２００８年（平成２０年）

『中国・四川省大地震とミャンマーのサイクロン被害』
『洞爺湖サミット開催』
『北京オリンピック開催』

工藤 亜紀が移籍入部(2/１付)ｼﾞｪｲｱｰﾙｻｰﾋﾞｽﾈｯﾄ(株)法人札幌支店。（札幌静修高ーヨネックス）
竹村 純が日本代表としてクロアチア国際２００８・ポルトガル国際２００８に出場。ベスト８
定期人事異動に伴い新体制。　総監督兼女子監督に松村徳市　男子監督に小倉隆司
小林徹太郎(法政大)が入部。(旅行センター新札幌支店)
竹村 純が日本代表として大阪インターナショナルチャレンジ２００８に出場。ベスト８。
竹村 純が日本代表としてアジア選手権に出場。
　男子シングルス本戦１回戦で世界ランキング３位のBAO Chunlai(中国)に敗退。
第５８回北海道実業団バドミントン選手権大会（男子団体）４年連続１６回目の優勝。
　女子は２部優勝・準優勝混成チームとのチャレンジマッチに勝利し初優勝(通算３回目)
一條昌幸部長が北海道実業団連盟会長に就任。山田 元OBが副会長に。
第63回国体道予選で関野が男子単２連覇、橋村/関野と女子複の後藤/工藤が初優勝。
第２５回日韓バドミントン競技大会が日本で開催。(香川県坂出市・岡山県倉敷市)
　坂出市大会で竹村が日本唯一の勝利をあげるも1-4で日本は準優勝。
タイオープンに日本代表での出場予定の竹村は体調不良で辞退。
日本ランキングサーキット大会で男子シングルス　竹村 純が２度目の準優勝。
第５８回全日本実業団バドミントン選手権大会は男子が準々決勝で２－３の惜敗。ベスト８の第５位。
　女子はリーグ戦３勝０敗で決勝トーナメント進出。３年ぶり２度目のベスト16
第61回北海道バドミントン選手権大会で３種目で優勝(関野・松本/小林・工藤/多田)
北海道バドミントン協会創立60周年記念祝賀会がJRタワーホテル36階で開催。
　(栗原、一條、渋井、乙武、山田元、渡辺由、G会社の小林社長、高木社長、水口社長出席)
第５１回全日本社会人選手権大会で竹村選手が男子(単)で２年連続第３位。
　混合複で鈴木知道/後藤佳代組が第５位(ベスト8)入賞
第５２回北海道社会人バドミントン選手権大会でタイトル独占。(男女単複１位～３位)
　優勝者：(男子単)小林・(女子単)佐藤・(男子複)竹村/関野・(女子複)後藤/工藤
YONEXオープンジャパンバドミントン選手権大会に竹村選手が男子単に出場。予選１回戦で惜敗。
第６３回「チャレンジ大分国体」で成年男子が大阪府に、成年女子が大分県に１－２で共に１回戦で敗退。
香港オープン2008に男子単で出場の竹村は予選２回戦に進出したが中国選手に惜敗。
第２０回全ＪＲバドミントン大会北九州記念大会で優勝(20回連続通算36回目)
　乙武全ＪＲバドミントン連盟理事長が勇退。後任にＪＲ東日本の松田氏が就任。
平成２０年度全日本総合選手権大会で男子(単)の竹村が２回戦で敗退する波乱。混合複の鈴木/後藤が
　本戦１回戦で惜敗。関野(男子単)・松本/小林(男子複)・多田/工藤(混合複)は予選で敗退。
バドミントン日本リーグ２００８(２部)で女子が初の第４位(４勝３敗)永野陽子(早大)が内定選手で出場。
バドミントン日本リーグ２００８(男子１部)が新潟で開幕。２勝５敗で第５位。
バドミントン２００８(１部)の閉幕戦は札幌の「きたえーる」で初の開催。4,300名の超満員(過去最多)
　２勝５敗で第５位。竹村選手が単５勝２敗で４年連続で敢闘選手賞を受賞。６年連続個人賞受賞。
　小池会長・中島社長・栗原、一條常務がベンチ入り。応援団、チャガール、社員家族・ＯＢが多数応援。
竹村選手が日本代表(ナショナルチーム部)からはずれる。(ﾗﾝｷﾝｸﾞ7位に後退)


工藤亜紀

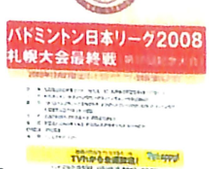

小林徹太郎











ＪＲ北海道バドミントン部のあゆみ

２００９年（平成２１年）

『衆議院選挙で民主党勝利・政権交代なる』
『新型インフルエンザ大流行』


牧野公亮　永野陽子　中川まどか　早坂幸平

橋村達彦が退社(ヨネックス)に移籍。・川口美与子、木村有里が退社。
牧野公亮(旭川実業)・永野陽子(札幌静修ー早大)・中川まどか(とわの森高)入部。
コーチ兼任に松本　章、男子主将に関野有紀、女子主将に佐藤あゆみが就任。
竹村 純が日本代表として大阪インターナショナルチャレンジ２００９に出場。
　前回準優勝者を破るも準々決勝で惜敗しベスト８
第５９回北海道実業団は男子は５年連続17回目、女子は２年連続４回目の優
早坂幸平が移籍入部(札幌第一高ー筑波大ー日本ユニシス)
第64回国体道予選で成年男子(単・複)成年女子(複)優勝。
日本ランキングサーキット大会で竹村は３位、早坂は５位、永野は18位。
第64回国体道予選で成年男子単・複、成年女子複の３種目で優勝。
第５９回全日本実業団バドミントン選手権大会が広島市で開催、男子は２年連続５位。女子は初の５位。
第62回北海道バドミントン選手権大会で男子単と混合複の２種目のみ制覇。新人の牧野が優勝。
第５２回全日本社会人選手権大会で竹村選手が男子(単)で佐々木翔に勝利し初の決勝進出。
　竹村は佐藤翔治に惜敗し準優勝。関野有起/鈴木知道組はベスト４で第３位。
　第5位（ベスト8）に早坂幸平（男子単）・多田亮太/工藤亜紀（混合複）第9位（ベスト16）に
　永野陽子（女子単）・松本 章/牧野公亮・竹村/早坂組（男子複）鈴木/後藤佳代（混合複）が入賞。


鈴木知道
関野有起

第５３回北海道社会人バドミントン選手権大会でタイトル独占。(男女単複1位～3位)
　優勝者：(男子単)早坂・(女子単)永野・(男子複)多田/小林・(女子複)後藤/工藤
第64回「トキめき新潟国体」が五泉市で開催。成年男子に監督・小倉、
　選手に竹村、早坂、高島(内定)が出場。成年女子は監督に松村、選手に永野の出場。
十勝バドミントン協会60周年記念式典(10/2)において「感謝状」を受賞。乙武副部長出席。
第２１回全ＪＲバドミントン大会(主管：JR貨物)で優勝(21回連続通算37回目)
　初の個人戦でＡクラス(一般)で松本/牧野、Ｂクラス(40才以上及び女子)で佐藤/永野が初優勝。
　乙武副部長が全ＪＲ連盟より特別功労賞を受賞。


工藤亜紀


佐藤あゆみ

平成２１年度全日本総合選手権大会で男子(単)の竹村が１回戦で有田(東海興業)に敗退する大波乱。
　男子(単)の早坂幸平、混合複の鈴木知道/後藤佳代、多田亮太/工藤亜紀が第９位。
　牧野公亮が高校卒新人選手としては初の単複出場したが予選敗退。
バドミントン日本リーグ２００９(２部)で女子が２年連続のＡクラス入りで第４位(４勝３敗)
バドミントン日本リーグ２００９(男子１部)４勝３敗で第４位。Aｸﾗｽ入りを果たす。
　竹村選手が単５勝２敗で５年連続で敢闘選手賞を受賞。６年連続個人賞受賞。

２０１０年（平成２２年）

『日本航空経営破綻』
『大相撲「野球賭博」問題。NHK中継中止』

岩崎昭郎会長死去に伴い、栗原 進オーナー代行が北海道バドミントン協会会長に就任。
　北海道協会選手強化委員長に松村総監督が就任。　松本 章選手兼コーチが現役引退しコーチに専任。
高島雅彦(日本体育大学・札幌第一高出身)が入部。
大阪インターナショナル大会に男子単に竹村、早坂、混合複に鈴木/後藤が出場。
　混合ダブルスの鈴木知道/後藤佳代は本戦から出場。１回戦タイ国、２回戦台湾
　のペアーを破り準々決勝で日本の橋本/藤井に1-2で惜敗。ベスト８となった。
　竹村 純、早坂幸平は予選２試合を勝って本戦に進出したが１回戦で惜敗。


高島雅彦

第６０回北海道実業団バドミントン選手権大会（男女団体）優勝。
　男子は６年連続１８回目の優勝。女子は３年連続５回目の優勝。
　竹村 純・関野有起・鈴木知道に北海道協会より技能賞の授与。


牧野公亮/小林徹太郎

テレビ放映特集「道産子トリオで全国トップに挑む」4/29(TY北海道 4分　竹村・早坂・高島)
第65回国体道予選で成年男子(単・複)成年女子(単・複)優勝。単は竹村・永野、複は竹村/早坂・永野/工藤
日本ランキングサーキット大会で竹村が準決勝で佐々木翔(トナミ運輸)を破り3度目の決勝進出で惜敗。
　準優勝（男子単）　竹村　　ベスト８（混合複）　多田亮太/工藤亜紀



第６０回全日本実業団バドミントン選手権大会が神戸市で開催され、男子は準々決勝で日立情報システム
　に３－０で快勝。準決勝でトナミ運輸と対戦、複０－２の後、竹村が佐々木翔に２－０、早坂が古財に
　２－１で勝利し、第３シングルの関野が園田に１ゲームを先取したが逆転の末１－２で惜敗。対戦成績
　２－３で敗れ３年振り９度目の第３位。女子は決勝トーナメント１回戦で敗退。
開会式後の記念式典・祝賀会に於いて５０回以上の出場チーム（トヨタ自動車・三菱重工長崎・ＪＲ北海道
　島津製作所・NTT東日本)が特別功労賞として表彰され、乙武副部長が代表して秋草直之全日本実業団連盟
　会長より盾を受け取った。ＪＲ北海道は出場５５回である。
栗原ｵｰﾅｰ代行、一條部長が6/22付で専務取締役に就任。幅口副部長が函館支社長に。後任に新宮工務部長。
北海道バドミントン協会より技能賞(全日本実業団第3位に対し)を受賞。
北海道バドミントン協会より技能賞(全日本実業団第3位に対し)を受賞。
第63回北海道バドミントン選手権大会で男子単・複と女子単・混合複の４種目制覇。
　優勝者は(男子単)高島雅彦・(複)関野有起/鈴木知道・(女子単)永野陽子・(混合複)牧野公亮/阿野加代子
第５３回全日本社会人選手権大会で竹村が５位・複の関野/鈴木、混合複の鈴木/後藤、阿野/(亀ヶ森)第９位。
第５３回全日本社会人選手権大会でタイトル独占。(男女単複1位～3位)
第５４回北海道社会人バドミントン選手権大会でタイトル独占。(男女単複1位～3位)
　優勝者：(男子単)関野・(女子単)永野・(男子複)多田/小林・(女子複)永野/工藤
第65回「ゆめ半島千葉国体」成年男子に監督・小倉、選手に竹村・関野・高島(早坂は故障)
　が出場。成年女子は監督に松本、選手に永野、工藤。男子は４位。女子は１回戦敗退。
松村徳市がＪＲ北海道社会貢献賞を受賞。バドミントンでは乙武重丸に次いで２人目の受賞。
第２２回全ＪＲバドミントン大会(主管：JRシステム・鉄道総研)が東京都立川市で開催。
　22回連続通算38回目の優勝。日本リーグ１部の試合の関係で女子が主体。男子は２名。
日本リーグ２部（女子）が山口県光市で開催。初日２勝したが２勝５敗の６位。
平成２２年度全日本総合選手権大会で男子(単)の竹村が５位。早坂は棄権。
　混合（復）の鈴木/後藤、多田/工藤はともに９位。牧野/阿野は本戦２回戦優勝者に惜敗。
バドミントン日本リーグ２０１０(男子１部)２勝５敗で第６位。Aｸﾗｽ入りを果たせず。
　竹村選手が単４勝３敗で６年連続で敢闘選手賞を受賞。６年連続個人賞受賞。


永野陽子

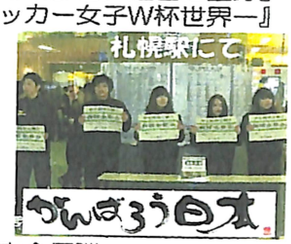


ＪＲ北海道バドミントン部のあゆみ

２０１１年（平成２３年）

『3.11東日本大震災(地震・大津波・原発事故)』
「石勝線トンネル脱線火災事故」『追分駅信号機誤操作』
『小笠原諸島(自然)・平泉(文化)世界遺産に登録』
『サッカー女子W杯世界一』

女子選手が第２３回昭和新山国際雪合戦に初出場(2/26･27)
定期異動に伴い松村氏が室蘭に。部の役職を降板、協会連盟役員のみ継続。
　平成２３年度の新体制は総監督兼女子監督に松岡 誠氏が就任。男子監督は小倉隆司の留任。
　多田選手がコーチ兼任となる。松本コーチは退部。鈴木知道選手が病気のため引退、退部。
「東日本大震災」に対する義援金の募金活動を札幌駅で実施。（３時間で総額 ８１１,５０８円）
大阪インターナショナル大会に男子シングルスに竹村が出場。２回戦で台北の選手に1-2で惜敗。
第６１回北海道実業団バドミントン選手権大会（男女団体）優勝。
　男子は７年連続１９回目の優勝。女子は４年連続６回目の優勝。
2011ランキングサーキットで男子単の竹村、男子複の早坂/高島組が第３位。
　混合複の牧野/阿野組が第５位、多田/工藤組、亀ヶ森(新潟)/後藤組が第９位に入賞。
国体北海道予選会で成年男子単で竹村、複で多田/関野。成年女子単で永野、複で工藤/永野の男女完全優勝。
5/27 石勝線トンネル脱線炎上事故等で部活動を８月末まで自粛。全日本実業団・北海道選手権は出場辞退。
第２３回全ＪＲ大会の主管(旭川市予定)を辞退。ＪＲ東日本支部に依頼。



第５５北海道社会人バドミントン選手権大会でタイトル独占。(男女単複1位～３位)
　優勝者：(男子単)竹村・(女子単)佐藤・(男子複)早坂/高島・(女子複)後藤/阿野
第５４回全日本社会人選手権大会で男子単で竹村が準優勝、混合複の高島/後藤が３位。
　男子複の小林/牧野が５位(ﾍﾞｽﾄ8)、関野/多田、混合複の多田/工藤が９位(ﾍﾞｽﾄ16)
中島オーナー（社長)が逝去(9/12失踪・9/18発見) 10/28 お別れ会(京王ﾌﾟﾗｻﾞﾎﾃﾙ)
第２３回全ＪＲバドミントン大会が岩手県北上市で開催。23回連続通算39回目の優勝を果たす。
第66回「おいでませ山口国体」が光市で開催。成年男子に監督･小倉、選手に竹村、多田、関野
　成年女子は監督に松岡、選手に永野、工藤、佐藤が出場。男子は３回戦。女子は１回戦敗退。
日本リーグ2011札幌大会(開幕戦)が札幌市の「北海きたえ～る」で開催。関野主将が選手宣誓。
　２戦目のトナミ運輸には早坂/高島が平田/橋本(日本Ｒ１位・世界Ｒ１０位）に２－１で勝利の金星。
　単の竹村は佐々木(日本Ｒ１位・世界Ｒ９位)に１ゲーム先取するも１－２で惜敗。第２複の多田/関野は
　ヘンドラ･セティアワン(08北京五輪優勝)/園田(11大阪国際単複優勝)に善戦するも敗退し1-2で惜敗。
日本リーグ2011(2部)が岐阜県池田町で開催。２勝５敗で第６位。
新オーナーに小池明夫氏(会長から社長に復帰)就任。11/25
全日本総合選手権で男子単の竹村、男子複の早坂/高島、小林/牧野、混合複の多田/工藤、高島/後藤が９位。
日本リーグ１部(男子)は２勝５敗で第６位。早坂幸平・高島雅彦が５勝で敢闘選手賞を受賞。





２０１２年（平成２４年）

『ロンドン五輪で女子複が初の銀メダル』
『竹村 純が全日本大会２冠に輝く』

札幌選手権で（単）小林・永野（複）早坂/高島・阿野/後藤が優勝。
佐藤あゆみ・多田亮太・小林徹太郎が引退。
女子選手が第２４回昭和新山国際雪合戦に事務局推薦で２回目の出場(2/25～26)
乙武副部長が退社・退部(3/31付)
副部長に高橋 進氏。コーチに松本、鈴木、選手兼任で関野。男子主将に高島、女子主将に後藤が就任。
田淵雄喜(明治大-札幌第一高)・渡邊一磨(日大)・渡部大(旭実高)・平敷祥子(北翔大-沖縄)入部。
大阪インターナショナルチャレンジ2012に高島雅彦/後藤佳代組が出場。２回戦敗退。
第６２回北海道実業団バドミントン選手権大会(男子)８年連続２０回目(女子)５年連続７回目の優勝。
2012ランキングサーキットで男子単の竹村 純が初優勝。混合複の高島雅彦/後藤佳代が準優勝。
会社主催祝勝会をJRタワーホテル日航札幌で開催(5/23)
　小池オーナー･栗原オーナー代行･一條部長･松岡総監督･小倉監督･竹村･高島･後藤選手が出席。
一條昌幸専務が札建工業（株）の社長に就任しバドミントン部長を退任。小山俊幸常務取締役が就任。
　副部長が新宮工務部長から高橋財務部長に。









第６７回国体北海道予選会（ランキングサーキット大会と開催期日重複のため成年の部は別開催。
　(7/15・16苫小牧駒澤大学体育館）優勝は(男子単)竹村(男子複)牧野/渡部(女子単)永野
第６５回北海道選手権で男子単の早坂幸平、男子複の早坂/高島、混合複の高島/後藤が優勝。
　女子単で新人の平敷祥子が決勝の３ゲーム目で足の故障により棄権。連覇ならず。
第５６回北海道社会人バドミントン選手権大会でタイトル独占。
　優勝者(男子単)竹村 純(女子単)永野陽子(男子複)早坂幸平/高島雅彦　(女子複)工藤亜紀/永野陽子
第５５回全日本社会人選手権大会で男子単で竹村が初優勝、混合複の高島/後藤が３位。
第２４回全ＪＲバドミントン大会が北海道旭川市で開催。２４回連続、通算４０回目の優勝。
全日本社会人選手権大会の栄誉により竹村 純が社長賞、高島雅彦・後藤佳代が総務部長賞を受賞(10/2)
第６７回「きふ清流国体」が10/5～10/8まで岐阜市で開催。
竹村 純選手の「第55回全日本社会人バドミントン選手権大会」の「優勝を祝う会」を道協会･道実業団
札幌協会･ＪＲ北海道バドミントン部の主催で10/26(金)「ホテル･モントレエーデルホフ札幌」で開催。
日本リーグ江別大会において、ランキングサーキット大会の男子単の優勝、竹村選手、混合複準優勝の
　高島、後藤選手に北海道実業団バドミントン連盟の一條会長より「記念パネル」が贈呈される。
日本リーグ2部(女子)で永野選手が単で5勝、後藤/工藤、平敷/中川が3勝と善戦したが4勝3敗で第5位。
全日本総合選手権大会でランキング、全日本社会人とあわせて3冠に挑戦した竹村 純が２回戦で敗退。
竹村純が全日本社会人選手権の優勝が評価され、鉄道弘済会・佐々木会長より表彰状を授与される。(11/28本社会議室)
日本リーグ2012は３勝４敗で第４位。３年ぶりのAクラス。牧野公亮・渡部大が敢闘選手賞受賞。















ＪＲ北海道バドミントン部のあゆみ

NO13

2013年（平成25年） 8／31まで

『昭和の大横綱「大鵬」逝去』
『富士山が世界遺産に登録』

札幌選手権が南区体育館で開催。優勝者は(男子単)渡邊一磨(女子単)永野陽子(女子複)後藤佳代/工藤亜紀
阿野加代子が引退。会社を退社(1/31付)。実家の家業(旅館)を継ぐため壮瞥に。
竹村 純選手が平成２４年度札幌市民スポーツ賞を受賞(2/13)
小倉隆司男子監督が勇退。後任は関野有起コーチ兼選手。早坂幸平が選手兼任のコーチに。
小倉隆司が北海道バドミントン協会強化委員長に就任。
竹村 純に北海道バドミントン協会・小林純幸賞受賞(3/8)
内藤浩司(日本体育大学)・鈴木麻友(旭川実業高校・JRｺﾝｻﾙﾀﾝﾂ)が入部


内藤浩司


鈴木麻友

大阪インターナショナルチャレンジで竹村 純が準優勝。
第６３回北海道実業団バドミントン選手権大会（男女団体）優勝。
　男子は９年連続２１回目の優勝。女子は６年連続８回目の優勝
竹村 純が第２４回(2012年度)交通新聞スポーツ賞(個人賞)を受賞(4/30付)
　2007年に続き２度目の受賞。
　高島雅彦、後藤佳代も推薦されたが惜しくも受賞ならず。







札幌市民スポーツ賞

第６８回国体北海道予選会が函館市民体育館で開催
　優勝者：（男子単）竹村 純（男子複）牧野公亮/渡部 大（女子単）永野陽子
2013ランキングサーキット大会で竹村 純が(男子単)２連覇達成。
第５７回北海道社会人バドミントン選手権大会でタイトル独占。
　優勝者(男子単)竹村 純(女子単)永野陽子(男子複)竹村 純/渡邊一磨　(女子複)永野陽子/平敷祥子
　男子単の竹村は３年連続３度目、女子単の永野は２年連続４度目
小池昭夫社長が会長に社長に野島 誠専務が昇格。高橋敏治財務部長が旭川支社長に異動(6/21付)
役員の人事異動に伴い部の新体制決定(6/21付)
栗原 進専務がグループ会社に転出のためオーナー代行を勇退。高橋敏治副部長に替わり長縄誠司財務部長が就任。
栗原 進専務が北海道キヨスク（株）代表取締役社長に就任(6/27付)
第６３回全日本実業団バドミントン選手権大会が札幌市の
　北海道立総合体育センター(北海きたえ～る」・中央体育館で開催。
　　開会式で北海道バドミントン協会 栗原　進会長
　　北海道実業団バドミントン連盟 一條昌幸会長が「歓迎の挨拶」
　開会式で高島雅彦男子主将と後藤佳代女子主将が選手宣誓。
　本大会10回出場の竹村 純が功労賞を受賞。
　男子は第５位、女子は予選リーグ１勝１敗で決勝トーナメント進出ならず。
交通新聞スポーツ賞表彰式が本社内で行われ、小池明夫会長、野島 誠社長らが
　出席し江頭社長から竹村 純に賞状・トロフィーが贈られた(7/10)
創部60周年記念祝賀会を9月１３日(金)にＪＲタワーで
　計画していたが会社事情で無期延期となった。
相次ぐ列車トラブルを受け8月の繁忙期の大会出場辞退。
　北海道選手権は土日のみ参加と決定(8/2)
第６６回北海道バドミントン選手権・混合複は不参加。
　優勝者：（男子単）竹村 純
　　（男子複）牧野公亮/渡部 大
　　（女子単）永野陽子

編集は８月３１日まで


選手宣誓：
高島雅彦・後藤佳代




地元の雄・JR北海道はベスト8に

背番号の変遷

※青・赤は現役選手

背番号	選手
0	内藤浩司(2012～)
1	松村徳市(1996～1997)・吉川隆博(1998)・松本 章(2000～2009)・渡部 大(2012～)
2	乙武重丸(1992～1994)・髙橋 進(1995)・松本 章(1999)・髙島雅彦(2010～)
3	髙橋 進(1992～1994)・寺尾隆司(1995～2002)・関野有起(2004～2012)
4	七崎悦範(1992～1993)・田淵雄喜(2012～)
5	松村徳市(1992～1994･2000･2003)・郷路一郎(1995～1996)・山口陽介(1998～1999) 香川祐一(2001～2002)・多田亮太(2004～2011)
6	松岡　誠(1992～1993)・郷路一郎(1994)・松村徳市(1995)・小倉隆司(1997～2002) 小野敏和(2003～2005)・早坂幸平(2009～)
7	馬木貴之(1992～1999)・竹村 純(2001～)
8	米田紀興(1992～1999)・鈴木知道(2004～2010)・渡邊一磨(2012～)
9	髙嶋 進(1992～1997)・小野敏和(1998～2002) 小倉隆司(2003～2005)・小林徹太郎(2008～2011)
10	田口英史(1992～2001)・橋村竜彦(2003～2008)・牧野公亮(2009～)
11	佐竹友昭(1993)・平林千佳(2004～2006)・後藤佳代(2007～)
12	早山里子(2004～2006)・工藤亜紀(2008～)
13	田中(川口)美与子(2004～2008)・中川まどか(2012～)
14	佐藤あゆみ(2004～2011)鈴木麻友(2013～)
15	西村美香(2004～2005)・木村有里(2006～2008)・中川まどか(2009～2011)・平敷祥子(2012～)
16	高橋律恵(2004)・阿野加代子(2005～2012)
17	永野陽子(2009～)

戦績

団体戦

北海道実業団バドミントン選手権大会……(P23～26)
全日本実業団バドミントン選手権大会……(P27～30)
バドミントン日本リーグ……(P31～36)
全国鉄・全ＪＲバドミントン大会……(P37～40)
国民体育大会バドミントン競技会……(P41)
バドミントン国際交流大会……(P42)

個人戦

バドミントン国際大会……(P43～44)
全日本ランキングサーキット大会……(P45～46)
全日本社会人バドミントン選手権大会……(P47～52)
全日本総合バドミントン選手権大会……(P53)
全日本大会個人戦入賞者一覧……(P54～55)

国民体育大会バドミントン競技北海道予選会……(P56～60)
北海道バドミントン選手権大会……(P61～65)
北海道社会人バドミントン選手権大会……(P66～70)
札幌バドミントン選手権大会……(P71～74)
北海道大会個人戦優勝者一覧……(P75～76)

世界バドミントン連盟　日本バドミントン協会　日本実業団バドミントン連盟　バドミントン日本リーグ　国民体育大会

北海道章　北海道バドミントン協会　北海道実業団バドミントン連盟　札幌市章　札幌バドミントン協会

全ＪＲバドミントン連盟　ＪＲ北海道　ＪＲ北海道バドミントン部旗　バドミントン部バックボード

掲載紙（誌）　順不同

北海道新聞・読売新聞・道新スポーツ・日刊スポーツ・スポーツニッポン・スポーツ報知・わかば交通新聞・十勝毎日新聞・あさひかわ新聞・函館新聞・国鉄スポーツ・バドミントンマガジン

北海道実業団バドミントン選手権大会《男子団体》

回	年	開催地	成績	チーム名	監督	登録選手団
4	S29		準優勝	札鉄	西本秀一郎	新田 豊・井川誠一・江原
5	S30		優勝	札鉄	西本秀一郎	井川誠一・新田 豊・牧野・西崎・江原
6	S31		優勝	札鉄	西本秀一郎	新田 豊・青山繁樹・井川誠一・牧野
7	S32		優勝	札鉄	西本秀一郎	井川誠一・長山森久・新田 豊・青山繁樹
8	S33		優勝	札鉄	西本秀一郎	新田 豊・熊倉昭二・青山繁樹・井川誠一・島 辰夫・笠松敏夫・長山森久
9	S34		優勝	札鉄	西本秀一郎	新田 豊・青山繁樹・井川誠一・長山森久・有路信彦・熊倉昭二・島辰夫・渋井 明・平沢啓裕
10	S35		優勝	札鉄	西本秀一郎	渋井 明・平沢啓裕・有路信彦・大石興徳・長山森久・熊倉昭二・島 辰夫・村上 村上
11	S36	函館	優勝	札鉄	西本秀一郎	渋井 明・平沢啓裕・有路信彦・大石興徳・伊藤善夫・長山森久・熊倉昭二・島 辰夫・吉沢 彰
12	S37	旭川	優勝	札鉄	西本秀一郎	(A) 渋井 明・平沢啓裕・有路信彦・大石興徳・伊藤善夫・田中昭夫 (B) 新田豊・井川誠一・青山繁樹
13	S38		優勝	札鉄	青山繁樹	渋井 明・平沢啓裕・島 辰雄・大石興徳・熊倉昭二・伊藤善夫・田中昭夫 長山森久
14	S39	札幌	優勝	札鉄	青山繁樹	(A) 平沢啓裕・伊藤善夫・渋井 明・大石興 (B) 田中昭夫・熊倉昭二・福島智徳
15	S40		優勝	札鉄	青山繁樹	渋井 明・平沢啓裕・伊藤善夫・大石興徳・田中昭夫・福島智徳
16	S41	苫小牧	優勝	札鉄	青山繁樹	(A) 伊藤善夫・渋井 明・福島智徳 (B) 平沢啓裕・大石興徳・田中昭夫
17	S42	札幌	準優勝	札鉄	渋井 明	(A) 伊藤善夫・渋井 明・福島智徳・大石興徳 (B) 田中昭夫・杉本寿門・乙武重丸・東 政文
18	S43	函館	準優勝	札鉄	青山繁樹	(A) 渋井 明・福島智徳・乙武重丸・東 政文 (B) 田中昭夫・山田 元・山田好明・柴田賢治
19	S44	札幌	準優勝	札鉄	渋井 明	福島智徳・田中昭夫・東 政文・乙武重丸・柴田 充・山田好明・山田 元・柴田賢治
20	S45	札幌	準優勝	札鉄	渋井 明	(A) 福島智徳・東 政文・伊藤善夫・渋井 明・山田 元・山田好明 (B) 田中昭夫・乙武重丸・柴田賢治・古沢 明・山本晴通・山田 篤・柴田 充 渋井 明
21	S46	札幌	準優勝	国鉄北海道	渋井 明	東 政文・山田好明・柴田賢治・山田 元・山本晴通・山田 篤・柴田 充・福島智徳・伊藤善夫
22	S47	札幌	準優勝	国鉄北海道	渋井 明	東 政文・山田好明・柴田賢治・山田 元・山本晴通・山田 篤・柴田 充・渋井 明
23	S48	札幌	準優勝	国鉄北海道	渋井 明	東 政文・山田好明・柴田賢治・山田 元・山本晴通・山田 篤・柴田 充・渋井 明
24	S49	札幌	準優勝	国鉄北海道	渋井 明	東 政文・山田好明・柴田賢治・山田 元・山本晴通・山田 篤・柴田 充・渋井 明
25	S50	札幌	準優勝	国鉄北海道	渋井 明	東 政文・山田好明・柴田賢治・山田 元・山本晴通・山田 篤・平 秋義・渋井 明
26	S51	札幌	準優勝	国鉄北海道	渋井 明	東 政文・山田好明・柴田賢治・山田 元・山本晴通・山田 篤・平 秋義・廣川幸児・渋井 明
27	S52	札幌	準優勝	札鉄	渋井 明	東 政文・山田好明・柴田賢治・山本晴通・山田 篤・平 秋義・廣川幸児・野沢 明・中川弘明・岸田 晃
28	S53	札幌	準優勝	札鉄	渋井 明	東 政文・山田好明・柴田賢治・山本晴通・山田 篤・平 秋義・廣川幸児・野沢 明・中川弘明・岸田 晃
29	S54	札幌	準優勝	札鉄	山田 元	(A) 山本晴通・山田好明・柴田賢治・山田 篤・平 秋義・廣川幸児・山田 元 (B) 中川弘明・野沢 明・岸田 晃・高橋 進・高崎厚生・渋井 明・東 政文
30	S55	江別	準優勝	札鉄	乙武重丸	(A) 山本晴通・山田好明・柴田賢治・平 秋義・廣川幸児・高崎厚生・高橋 進・山田 篤 (B) 中川弘明・田中昭夫・東 政文・岸田 晃・野沢 明・七崎悦範・渋井 明
31	S56	札幌	準優勝	札鉄	乙武重丸	(A) 平 秋義・廣川幸児・高橋 進・山本晴通・山田好明・高崎厚生 (B) 柴田賢治・野沢 明・松村徳市・七崎悦範 (C) 東 政文・山田 篤・田中昭夫・渋井 明・山田 元・大石興徳
32	S57	札幌	準優勝	札鉄	乙武重丸	(A) 廣川幸児・山本晴通・高橋 進・高崎厚生・山田好明・白川秀則 (B) 七崎悦範・松村徳市・松岡 誠・島田健司・渋井 明・野沢 明・田中昭夫・奥名泰光
33	S58	札幌	準優勝	札鉄	乙武重丸	(A) 廣川幸児・高橋 進・高崎厚生・松村徳市・松岡誠・山本晴通 (B) 七崎悦範・島田健司・奥名泰光・野沢 明・渋井 明・山田好明・田中昭夫
34	S59	札幌	準優勝	札鉄	乙武重丸	(A) 高崎厚生・高橋 進・松村徳市・松岡 誠・山本晴通 (B) 七崎悦範・島田健司・奥名泰光・野沢 明・山田好明・田中昭夫・渋井 明
35	S60	札幌	準優勝	札鉄	乙武重丸	(A) 高崎厚生・高橋 進・松村徳市・松岡 誠・野沢 明 (B) 七崎悦範・島田健司・奥名泰光・山本晴通・山田好明・田中昭夫・渋井 明
36	S61	札幌	準優勝	札鉄	乙武重丸	高崎厚生・山本晴通・高橋 進・七崎悦範・奥名泰光・松村徳市・松岡 誠・山田好明・野沢 明
37	S62	札幌	準優勝	JR北海道	乙武重丸	高橋 進・七崎悦範・松村徳市・松岡 誠・奥名泰光・山田好明・田中昭夫
38	S63	札幌	準優勝	JR北海道	乙武重丸	高橋 進・七崎悦範・松村徳市・松岡 誠・奥名泰光・山田好明・田中昭夫
39	H 1	札幌	準優勝	JR北海道	乙武重丸	高橋 進・松村徳市・七崎悦範・松岡 誠・奥名泰光・山田好明・乙武重丸・田中昭夫
40	H 2	札幌	準優勝	JR北海道	乙武重丸	松村徳市・高橋 進・七崎悦範・松岡 誠・奥名泰光・平野朝也・山田好明
41	H 3	札幌	準優勝	JR北海道	乙武重丸	松村徳市・高橋 進・七崎悦範・松岡 誠・奥名泰光・馬木貴之・米田紀興
42	H 4	札幌	準優勝	JR北海道	乙武重丸	松村徳市・高橋 進・七崎悦範・松岡 誠・馬木貴之・米田紀興・田口英史・高嶋 進
43	H 5	札幌	準優勝	JR北海道	乙武重丸	松村徳市・松岡 誠・七崎悦範・馬木貴之・米田紀興・高嶋 進・田口英史・佐竹友昭・高橋 進
44	H 6	札幌	準優勝	JR北海道	乙武重丸	松村徳市・高橋 進・郷路一郎・馬木貴之・米田紀興・高嶋 進・田口英史
45	H 7	札幌	準優勝	JR北海道	高橋 進	郷路一郎・松村徳市・寺尾隆司・馬木貴之・米田紀興・高嶋 進・田口英史・高橋 進
46	H 8	札幌	準優勝	JR北海道	松村徳市	馬木貴之・郷路一郎・寺尾隆司・松村徳市・米田紀興・高嶋 進・田口英史・沼尻裕昭
47	H 9	札幌	準優勝	JR北海道	松村徳市	馬木貴之・郷路一郎・寺尾隆司・松村徳市・米田紀興・高嶋 進・田口英史・小倉隆司
48	H10	恵庭	準優勝	JR北海道	松村徳市	馬木貴之・米田紀興・寺尾隆司・田口英史・小倉隆司・小野敏和・山口陽介・吉川隆博
49	H11	千歳	準優勝	JR北海道	松村徳市	馬木貴之・米田紀興・田口英史・小倉隆司・吉川隆博・寺尾隆司・小野敏和・山口陽介・松本
50	H12	札幌	準優勝	JR北海道	寺尾隆司	小倉隆司・田口英史・小野敏和・山口陽介・寺尾隆司・松本 章
51	H13	小樽	準優勝	JR北海道	寺尾隆司	小倉隆司・田口英史・小野敏和・香川祐一・寺尾隆司・松本 章・竹村 純
52	H14	岩見沢	準優勝	JR北海道	寺尾隆司	小倉隆司・小野敏和・香川祐一・寺尾隆司・松本 章・竹村 純
53	H15	札幌	準優勝	JR北海道	小倉隆司	小野敏和・松本 章・橋村竜彦・竹村 純・小倉隆司
54	H16	札幌	準優勝	JR北海道	小倉隆司	小野敏和・松本 章・橋村竜彦・竹村 純・多田亮太・小倉隆司
55	H17	札幌	優勝	JR北海道	小倉隆司	松本 章・橋村竜彦・多田亮太・竹村 純・関野有起・鈴木知道・小野敏和
56	H18	札幌	優勝	JR北海道	小野敏和	松本 章・橋村竜彦・多田亮太・竹村 純・関野有起・鈴木知道・小野敏和
57	H19	札幌	優勝	JR北海道	小野敏和	松本 章・橋村竜彦・多田亮太・竹村 純・関野有起・鈴木知道・小野敏和
58	H20	札幌	優勝	JR北海道	小倉隆司	松本 章・橋村竜彦・多田亮太・竹村 純・関野有起・鈴木知道・小林徹太郎
59	H21	札幌	優勝	JR北海道	小倉隆司	関野有起・松本 章・多田亮太・竹村 純・鈴木知道・牧野公亮・小林徹太郎
60	H22	札幌	優勝	JR北海道	小倉隆司	関野有起・多田亮太・竹村 純・鈴木知道・牧野公亮・早坂幸平・小林鉄太郎・高島雅彦・松本
61	H23	札幌	優勝	JR北海道	小倉隆司	関野有起・多田亮太・竹村 純・早坂幸平・牧野公亮・高島雅彦・小林徹太郎
62	H24	札幌	優勝	JR北海道	小倉隆司	高島雅彦・関野有起・竹村 純・早坂幸平・牧野公亮・田淵雄喜・渡邊一磨・渡部 大
63	H25	札幌	優勝	JR北海道	関野有起	高島雅彦・竹村 純・早坂幸平・牧野公亮・田淵雄喜・渡邊一磨・渡部 大・内藤浩司

北海道実業団バドミントン選手権大会《詳細》

NO2

≪男子団体≫

大会	成績	戦	勝敗	対戦チーム	第1ダブルス	第2ダブルス	第1シングルス	第2シングルス	第3シングルス
53 H15	準優勝	ﾘｰｸﾞ	○ 3-0	札幌市役所	小倉 ○ 宇野 橋村 2-0 金本	松本 ○ 田辺 竹村 2-0 高崎	○ 橋村 2-0 金本	竹村 (打ち切り) 田辺	松本 (打ち切り) 宇野
		ﾘｰｸﾞ	○ 3-0	自衛隊北海道	松本 ○ 青田 竹村 2-0 木村	小倉 ○ 高杉 橋村 2-0 菊田	○ 松本 2-0 菅井	竹村 (打ち切り) 菊田	橋村 (打ち切り) 木村
		ﾘｰｸﾞ	● 2-3	NTT北海道	小倉 ● 水澤 橋村 0-2 三上	松本 ○ 井野 竹村 2-1 星	● 橋村 1-2 吉川	○ 竹村 2-1 井野	● 松本 1-2 三上
54 H16	準優勝	ﾘｰｸﾞ	○ 3-0	自衛隊北海道	松本 ○ 青田 竹村 2-0 木村	小倉 ○ 高杉 小野 2-0 菊田	○ 橋村 2-0 菅井	竹村 (打ち切り) 菊田	松本 (打ち切り) 木村
		ﾘｰｸﾞ	○ 3-0	札幌市役所	松本 ○ 宇野 竹村 2-0 金本	小倉 ○ 田辺 橋村 2-0 小林	○ 多田 2-1 金本	竹村 (打ち切り) 宇野	松本 (打ち切り) 田辺
		ﾘｰｸﾞ	● 1-3	NTT北海道	松本 ● 井野 竹村 1-2 中村	小倉 ● 水澤 橋村 0-2 三上	○ 竹村 2-1 長原	● 橋村 0-2 吉川	松本 (打ち切り) 中村
55 H17	優勝	ﾘｰｸﾞ	○ 3-0	自衛隊北海道	竹村 ○ 佐藤 関野 2-0 木村	松本 ○ 片岡 鈴木 2-0 菊田	○ 橋村 2-0 境田	竹村 (打ち切り) 片岡	関野 (打ち切り) 木村
		ﾘｰｸﾞ	○ 3-0	札幌市役所	竹村 ○ 小林 関野 2-0 福井	松本 ○ 田辺 鈴木 2-0 宇野	○ 橋村 2-0 福井	竹村 (打ち切り) 宇野	関野 (打ち切り) 牧野
		ﾘｰｸﾞ	○ 3-2	NTT北海道	竹村 ● 井野 関野 1-2 中村	松本 ● 三上 鈴木 1-2 米	○ 橋村 2-0 長原	○ 竹村 2-1 吉川	○ 関野 2-0 中村
56 H18	優勝	ﾘｰｸﾞ	○ 3-0	自衛隊北海道	関野 ○ 高杉 鈴木 2-0 境田	松本 ○ 石橋 多田 2-0 小椋	○ 橋村 2-0 境田	竹村 (打ち切り) 細田	関野 (打ち切り) 片岡
		ﾘｰｸﾞ	○ 3-0	札幌市役所	橋村 ○ 宇野 竹村 2-0 佐藤	多田 ○ 田辺 鈴木 2-0 小林	○ 関野 2-0 佐藤	竹村 (打ち切り) 宇野	橋村 (打ち切り) 福井
		ﾘｰｸﾞ	○ 3-1	NTT北海道	松本 ● 三上 竹村 1-2 米	関野 ○ 井野 鈴木 2-0 中村	○ 竹村 2-0 三上	○ 橋村 2-0 吉川	関野 (打ち切り) 米
57 H19	優勝	ﾘｰｸﾞ	○ 3-0	RS ｽｶﾞﾜﾗ	松本 ○ 菅原 多田 2-0 木下	関野 ○ 松村 鈴木 2-0 小飼	○ 多田 2-0 菅原	関野 (打ち切り) 木下	松本 (打ち切り) 小飼
		ﾘｰｸﾞ	○ 3-1	NTT北海道	関野 ○ 水澤 鈴木 2-0 一宮	松本 ○ 村井 多田 2-1 井野	● 関野 1-2 吉川	○ 多田 2-0 一宮	橋村 (打ち切り) 角谷
		ﾘｰｸﾞ	○ 3-0	札幌市役所	橋村 ○ 川島 多田 2-0 田中	関野 ○ 佐藤 鈴木 2-0 宇野	○ 竹村 2-0 川島	関野 (打ち切り) 宇野	橋村 (打ち切り) 田中
		ﾘｰｸﾞ	○ 3-0	自衛隊北海道	松本 ○ 佐藤 竹村 2-0 小椋	橋村 ○ 片岡 多田 2-0 長原	○ 関野 2-0 小西	竹村 (打ち切り) 長原	橋村 (打ち切り) 片岡
58 H20	優勝	ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	札幌市役所	鈴木 ○ 川島 小林 2-0 田中	松本 ○ 佐藤 多田 2-0 宇野	○ 小林 2-0 高野	○ 関野 2-0 田中	○ 橋村 2-0 宇野
		ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	自衛隊北海道	鈴木 ○ 佐藤 小林 2-0 朝日	橋村 ○ 高杉 関野 2-0 小椋	○ 小林 2-0 折笠	○ 関野 2-0 松浦	○ 多田 2-0 奥田
		ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	釧路市役所	多田 ○ 工藤 牧野 2-0 荒木	鈴木 ○ 大村 関野 2-0 首藤	○ 牧野 2-1 荒木	○ 竹村 2-0 工藤	○ 松本 2-1 首藤
59 H21	優勝	ﾘｰｸﾞ	○ 4-1	NTT OBク	竹村 ○ 村井 関野 2-0 井野	多田 ○ 角谷 鈴木 2-0 三上	● 牧野 1-2 吉川	○ 竹村 2-0 三上	○ 関野 2-0 角谷
		準決	○ 3-0	札幌市役所	松本 ○ 川島 竹村 2-0 田中	多田 ○ 佐藤 鈴木 2-0 宇野	○ 牧野 2-0 田中	関野 (打ち切り) 川島	竹村 (打ち切り) 佐藤
		決勝	○ 3-1	NTT OBク	竹村 ○ 井野 関野 2-0 三上	多田 ○ 村井 鈴木 2-0 角谷	● 牧野 0-2 吉川	○ 関野 2-0 三上	竹村 (打ち切り) 角谷
60 H22	優勝	ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	自衛隊北海道	早坂 ○ 菅井 高島 2-0 松浦	多田 ○ 原田 小林 2-0 小林	○ 牧野 2-0 奥田	○ 小林 2-0 西村	○ 高島 2-0 原田
		ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	札幌市役所	早坂 ○ 宇野 高島 2-0 高野	関野 ○ 田辺 鈴木 2-0 小林	○ 牧野 2-0 福井	○ 小林 2-0 宇野	○ 関野 2-0 高野
		ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	モア ｽﾎﾟｰﾂ	関野 ○ 吉田 鈴木 2-0 比内	早坂 ○ 諏訪内 高島 2-0 林	○ 竹村 2-0 比内	○ 牧野 2-0 林	○ 諏訪 小林 2-0 内
		ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	NTT OBク	関野 ○ 角谷 鈴木 2-0 吉川	早坂 ○ 井野 高島 2-0 三上	○ 竹村 2-0 吉川	○ 牧野 2-0 三上	○ 小林 2-0 角谷
61 H23	優勝	ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	札幌市役所	早坂 ○ 佐藤 高島 2-0 宇野	多田 ○ 小林 関野 2-0 田辺	○ 牧野 2-0 宇野	○ 竹村 2-0 佐藤	○ 小林 2-0 田辺
		ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	モア ｽﾎﾟｰﾂ	早坂 ○ 比内 高島 2-0 成田	多田 ○ 諏訪内 関野 2-0 三瓶	○ 竹村 2-0 比内	○ 小林 2-0 林	○ 早坂 2-0 成田
62 H24	優勝	ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	札幌市役所	早坂 ○ 川島 高島 2-0 大平	田淵 ○ 宇野 牧野 2-0 佐藤	○ 渡邊 2-0 川島	○ 渡部 2-0 大平	○ 田淵 2-0 佐藤
		ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	自衛隊北海道	早坂 ○ 松浦 高島 2-0 大澤	牧野 ○ 菅井 渡部 2-0 西村	○ 竹村 2-0 長原	○ 田淵 2-0 奥田	○ 渡邊 2-0 後藤
63 H25	優勝	ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	釧路市役所	牧野 ○ 松浦 渡部 2-0 荒木	早坂 ○ 首藤 田淵 2-0 工藤	○ 内藤 2-0 荒木	○ 渡邊 2-0 工藤	○ 竹村 2-0 清田
		ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	北海道電力	早坂 ○ 澤中 田淵 2-0 庄司	牧野 ○ 斉藤 渡部 2-0 山本	○ 渡邊 2-0 田中	○ 内藤 2-0 大西	○ 渡部 2-0 庄司
		準決	○ 3-0	自衛隊北海道	早坂 ○ 長原 田淵 2-0 後藤	竹村 ○ 松浦 渡部 2-0 原田	○ 内藤 2-1 長原	渡邊 (打ち切り) 後藤	竹村 (打ち切り) 松浦
		決勝	○ 3-0	NTT OBク	牧野 ○ 井野 渡部 2-0 山田	早坂 ○ 星 田淵 2-0 藤谷	○ 渡邊 2-0 山田	内藤 (打ち切り) 藤谷	竹村 (打ち切り) 星

私たちはJR北海道バドミントン部を応援しています。

MIZUNO

ミズノ株式会社

(有)ラケットショップ・スガワラ

RACKET SHOP SUGAWARA

北海道実業団バドミントン選手権大会《女子団体》

回	年	開催地	成績	チーム名	監督	登録選手団
14	S39	札幌		札鉄	青山繁樹	村田泰子・土橋和子・鈴木玲子
16	S41	苫小牧	優勝	札鉄	青山繁樹	村田泰子・福田由美子
17	S42	札幌	優勝	札鉄	青山繁樹	村田泰子・福田由美子・斉藤まり子
18	S43	札幌	準優勝	札鉄	青山繁樹	村田泰子・福田由美子・斉藤まり子
51	H13	小樽	準優勝	JR北海道	寺尾隆司	西村美香・早山里子・高橋律恵・山重直美
52	H14	岩見沢	準優勝	JR北海道	寺尾隆司	西村美香・早山里子・高橋律恵・山重直美・平林千佳・佐藤あゆみ
53	H15	札幌	準優勝	JR北海道	小倉隆司	西村美香・早山里子・高橋律恵・山重直美・平林千佳・佐藤あゆみ
54	H16	札幌	準優勝	JR北海道	小倉隆司	西村美香・早山里子・高橋律恵・平林千佳・佐藤あゆみ・田中美与子
55	H17	札幌	準優勝	JR北海道	小倉隆司	早山里子・西村美香・平林千佳・佐藤あゆみ・田中美与子・阿野加代子
56	H18	札幌	準優勝	JR北海道	小野敏和	早山里子・平林千佳・佐藤あゆみ・田中美与子・阿野加代子・木村有里
57	H19	札幌	ー	JR北海道	小野敏和	田中美与子・佐藤あゆみ・阿野加代子・後藤佳代・木村有里
58	H20	札幌	優勝	JR北海道	松村徳市	川口美与子・佐藤あゆみ・阿野加代子・後藤佳代・木村有里・工藤亜紀
59	H21	札幌	優勝	JR北海道	松村徳市	佐藤あゆみ・阿野加代子・後藤佳代・工藤亜紀・永野陽子・中川まどか
60	H22	札幌	優勝	JR北海道	松村徳市	佐藤あゆみ・阿野加代子・後藤佳代・工藤亜紀・永野陽子・中川まどか
61	H23	札幌	優勝	JR北海道	松岡　誠	佐藤あゆみ・阿野加代子・後藤佳代・工藤亜紀・永野陽子・中川まどか
62	H24	札幌	優勝	JR北海道	松岡　誠	後藤佳代・阿野加代子・工藤亜紀・永野陽子・平敷祥子・中川まどか
63	H25	札幌	優勝	JR北海道	松岡　誠	後藤佳代・工藤亜紀・永野陽子・平敷祥子・中川まどか・鈴木麻友

※　第57回(H19)大会は女子1部のエントリーがJR北海道チームのみで競技不成立。

北海道実業団バドミントン選手権大会《女子団体・詳細》

大会	成績	戦	勝敗	対戦チーム	第1ダブルス	第2ダブルス	第1シングルス	第2シングルス	第3シングルス
53 H15	準優勝	決勝	● 0-5	NTT 北海道	山重 ● 中 佐藤 0-2 岩松	早山 ● 星川 高橋 0-2 吉岡	● 平林 0-2 標	● 佐藤 0-2 吉岡	● 山重 0-2 中
54 H16	準優勝	決勝	● 0-5	NTT 北海道	早山 ● 中 佐藤 0-2 岩松	西村 ● 黒川 田中 0-2 吉岡	● 佐藤 0-2 柴山	● 平林 0-2 宮崎	● 田中 0-2 中島
55 H17	準優勝	決勝	● 0-5	NTT 北海道	早山 ● 中 田中 0-2 岩松	西村 ● 黒川 阿野 1-2 後藤	● 田中 0-2 柴山	● 平林 0-2 吉岡	● 阿野 0-2 宮崎
56 H18	準優勝	決勝	● 0-3	NTT 北海道	早山 ● 黒川 木村 0-2 後藤	田中 ● 吉岡 阿野 0-2 宮崎	● 平林 0-2 黒川	田中(打ち切り) 吉岡	阿野(打ち切り) 後藤
57 H19	ー	女子1部はエントリーが1チームのみで不成立							
58 H20	ｵｰﾌﾟﾝ	CM	○ 5-0	ヨネタ RSﾐｶﾐ	後藤 ○ 田中 工藤 2-0 平賀	佐藤 ○ 米田 阿野 2-0 大塚	○ 工藤 2-0 山田	○ 佐藤 2-0 三品	○ 後藤 2-0 塩崎
59 H21	優勝	ﾘｰｸﾞ	○ 4-1	モア ｽﾎﾟｰﾂ	工藤 ○ 高橋 永野 2-0 竹内	佐藤 ○ 種市 阿野 2-0 小嶋	○ 永野 2-0 竹内	● 中川 0-2 高橋	○ 佐藤 2-0 種市
		ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	RS ｽｶﾞﾜﾗ	工藤 ○ 西尾 永野 2-0 一宮	佐藤 ○ 櫛山 阿野 2-0 川口	○ 永野 2-0 塩崎	○ 工藤 2-0 一宮	○ 中川 2-0 川口
60 H22	優勝	決勝	○ 5-0	モア ｽﾎﾟｰﾂ	工藤 ○ 竹内 永野 2-0 小島	阿野 ○ 高橋 後藤 2-0 山内	○ 佐藤 2-0 竹内	○ 中川 2-0 高橋	○ 永野 2-0 小島
61 H23	優勝	決勝	○ 5-0	モア ｽﾎﾟｰﾂ	阿野 ○ 小島 後藤 2-0 阿部	佐藤 ○ 高橋 永野 2-1 八木	○ 中川 2-0 高橋	○ 永野 2-0 八木	○ 佐藤 2-0 小島
62 H24	優勝	決勝	○ 5-0	モア ｽﾎﾟｰﾂ	工藤 ○ 高橋 永野 2-0 八木	阿野 ○ 谷藤 後藤 2-0 阿部	○ 中川 2-0 高橋	○ 永野 2-0 阿部	○ 平敷 2-0 谷藤
63 H25	優勝	決勝	○ 3-0	モア ｽﾎﾟｰﾂ	中川 ○ 竹内 平敷 2-0 阿部	後藤 ○ 高橋 永野 2-0 宮下	○ 平敷 2-0 福田	永野(打ち切り) 宮下	中川(打ち切り) 八木

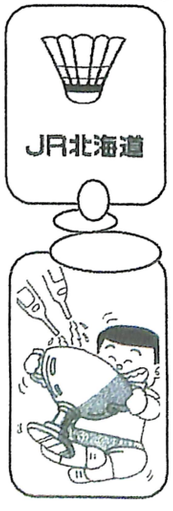

第55回(H17)大会


第56回(H18)大会


第57回(H19)大会


第58回(H20)大会


第59回(H21)大会




第60回(H22)大会


第61回(H23)大会


第62回(H24)大会

男女とも覇権奪還・チームとＯＢの悲願達成
連続優勝継続中

NO4

2013年（平成25年）4月22日（月曜日）

JR北海道V2

JR北海道V2

小野監督を胴上げするJR北海道の選手（左）竹村ピネーション

JR北海道39年ぶりV

JR北海道39年ぶりV

NTT北海道の35連覇阻止

NTT北海道の35連覇阻止

JR北海道V5

JR北海道V5

JR北海道8連覇

JR北海道8連覇

JR北海道V3

JR北海道V3

JR北海道7連覇

JR北海道7連覇

JR北海道若手で9連覇

JR北海道若手で9連覇

JR北海道が連覇

JR北海道が連覇

JR北海道が逆転V

JR北海道が逆転V

25年の借り返す

25年の借り返す

13度目小倉監督「やっと、ですね」

13度目小倉監督「やっと、ですね」

5年ぶり女子1部 札幌静修コンビ“永野・工藤ペア復活

5年ぶり女子1部 札幌静修コンビ“永野・工藤ペア復活

全日本実業団バドミントン選手権大会《男子団体》

回	年	開催地	参加	成績	チーム名	監督	登録選手
4	S30	愛知県名古屋市	24	8強	札幌鉄道管理局	西本秀一郎	井川誠一・新田 豊・牧野・西崎・江原
5	S31	富山県高岡市	29	8強		西本秀一郎	新田 豊・青山繁樹・井川誠一・牧野
6	S32	香川県高松市	29	8強		西本秀一郎	新田 豊・青山繁樹・井川誠一・長山森久・西本秀一郎
7	S32	岐阜県岐阜市	36	16強		西本秀一郎	新田 豊・長山森久・青山繁樹・井川誠一・笠松敏夫・熊倉昭二・西本秀一郎
8	S33	北海道札幌市	23	第3位		西本秀一郎	新田 豊・熊倉昭二・青山繁樹・井川誠一・島 辰雄・笠松敏夫
9	S34	香川県善通寺市	43	準優勝		西本秀一郎	井川誠一・島 辰雄・渋井 明・長山森久・平沢啓裕・熊倉昭二・有路信彦
10	S36	愛知県名古屋市	38	16強		西本秀一郎	熊倉昭二・平沢啓裕・島 辰雄・有路信彦・渋井 明
11	S36	岡山県倉敷市	42	第3位		西本秀一郎	渋井 明・平沢啓裕・伊藤善夫・熊倉昭二・大石興徳・島 辰雄・有路信彦
12	S37	熊本県熊本市	38	第4位		青山繁樹	渋井 明・伊藤善夫・大石興徳・熊倉昭二・島 辰雄・平沢啓裕・有路信彦
13	S38	新潟県三条市	56	8強		青山繁樹	渋井 明・島 辰雄・大石興徳・熊倉昭二・平沢啓裕・伊藤善夫・田中昭夫
14	S39	愛媛県松山市	50	第4位		青山繁樹	平沢啓裕・伊藤善夫・大石興徳・渋井 明・田中昭夫・福島智徳
15	S40	福岡県北九州市	40	第3位		青山繁樹	平沢啓裕・伊藤善夫・大石興徳・渋井 明・田中昭夫・福島智徳
16	S41	大阪府大阪市	61	第4位		青山繁樹	平沢啓裕・伊藤善夫・青山繁樹・渋井 明・田中昭夫・大石興徳・福島智徳
17	S42	福井県勝山市	67	8強		青山繁樹	伊藤善夫・田中昭夫・渋井 明・大石興徳・福島智徳・青山繁樹・井川誠一
18	S43	長崎県諫早市	68	16強		青山繁樹	渋井 明・福島智徳・乙武重丸・田中昭夫・東 政文・山田 元・柴田賢治
19	S44	岩手県釜石市	62	8強		渋井 明	福島智徳・渋井 明・乙武重丸・田中昭夫・東 政文・山田好明・柴田賢治・山田 元
20	S46	香川県高松市	66	8強		渋井 明	渋井 明・東 政文・山田好明・伊藤善夫・山本晴通・柴田 充・青山繁樹・山田 元
21	S46	鹿児島県鹿児島	69	16強	国鉄北海道	渋井 明	東 政文・山田好明・山本晴通・渋井 明・伊藤善夫・福島智徳・青山繁樹・柴田 充
22	S47	千葉県茂原市	87	16強		渋井 明	東 政文・山田 篤・山本晴通・柴田 充・渋井 明・山田好明・山田 元
23	S48	茨城県石岡市	86	16強		渋井 明	東 政文・山田好明・山本晴通・柴田賢治・渋井 明・山田 元・山田 篤・柴田 充
24	S49	三重県松阪市	102	16強		渋井 明	東 政文・山田好明・山本晴通・柴田 充・渋井 明・山田 元・山田 篤
25	S50	富山県高岡市	107	16強		渋井 明	東 政文・山田好明・山本晴通・柴田賢治・平 秋義・山田 元・山田 篤
26	S51	神奈川県藤沢市	117	16強		渋井 明	東 政文・柴田賢治・山本晴通・山田好明・平 秋義・山田 元・山田 篤
27	S52	大阪府大阪市	99	ー	札幌鉄道管理局	渋井 明	不参加
28	S53	東京都渋谷区	93	ー		渋井 明	不参加
29	S54	岡山県岡山市	101	2回戦		山田 元	山本晴通・高崎厚生・柴田賢治・平 秋義・山田好明・廣川幸児・山田 篤
30	S55	愛媛県新居浜市	101	16強		乙武重丸	山本晴通・廣川幸児・野沢 明・平 秋義・高崎厚生・高橋 進・柴田賢治
31	S56	愛知県名古屋市	113	4回戦		乙武重丸	廣川幸児・山本晴通・野沢 明・高崎厚生・高橋 進・七崎悦範・山田好明
32	S57	東京都立川市	124	4回戦		乙武重丸	廣川幸児・高橋 進・七崎悦範・高崎厚生・松村徳市・山田好明・乙武重丸
33	S58	北海道札幌市	105	第5位		乙武重丸	高崎厚生・松村徳市・七崎悦範・高橋 進・松岡 誠・山本晴通・山田好明
34	S59	大阪府大阪市	116	16強		乙武重丸	高崎厚生・山本晴通・松村徳市・高橋 進・七崎悦範・松岡 誠・乙武重丸
35	S60	神奈川県藤沢市	122	16強		乙武重丸	高崎厚生・松村徳市・山本晴通・高橋 進・松岡 誠・山田好明・乙武重丸
36	S61	京都府京都市	120	16強		乙武重丸	高崎厚生・七崎悦範・松岡 誠・高橋 進・松村徳市・奥名泰光・山本晴通・乙武重丸
37	S62	愛知県名古屋市	114	4回戦	JR北海道	乙武重丸	高橋 進・松村徳市・奥名泰光・七崎悦範・松岡 誠・田中昭夫・山田好明・乙武重丸
38	S63	石川県金沢市	128	16強		乙武重丸	高橋 進・七崎悦範・松村徳市・松岡 誠・奥名泰光・田中昭夫・山田好明・乙武重丸
39	H1	岡山県岡山市	128	16強		乙武重丸	高橋 進・七崎悦範・松村徳市・松岡 誠・奥名泰光・田中昭夫・山田好明・乙武重丸
40	H2	兵庫県神戸市	132	16強		乙武重丸	松村徳市・高橋 進・七崎悦範・松岡 誠・奥名泰光・平野朝也・田中昭夫・乙武重丸
41	H3	宮城県仙台市	132	16強		乙武重丸	松村徳市・高橋 進・七崎悦範・松岡 誠・奥名泰光・馬木貴之・米田紀興・乙武重丸
42	H4	広島県広島市	134	16強		乙武重丸	松村徳市・高橋 進・七崎悦範・松岡 誠・米田紀興・馬木貴之・田口英史・高嶋 進
43	H5	富山県高岡市	142	4回戦		乙武重丸	松村徳市・松岡 誠・米田紀興・馬木貴之・田口英史・高嶋 進・佐竹友昭・高橋 進
44	H6	福岡県福岡市	133	2回戦		乙武重丸	松村徳市・郷路一郎・米田紀興・馬木貴之・田口英史・高嶋 進・高橋 進・乙武重丸
45	H7	北海道札幌市	134	4回戦		高橋 進	郷路一郎・寺尾隆司・米田紀興・馬木貴之・田口英史・高嶋 進・松村徳市・高橋 進
46	H8	東京都渋谷区	149	4回戦		松村徳市	馬木貴之・郷路一郎・寺尾隆司・米田紀興・田口英史・高嶋 進・松村徳市
47	H9	熊本県八代市	135	16強		松村徳市	馬木貴之・寺尾隆司・米田紀興・田口英史・高嶋 進・小倉隆司・松村徳市
48	H10	愛知県名古屋市	150	3回戦		松村徳市	馬木貴之・寺尾隆司・小倉隆司・米田紀興・田口英史・小野敏和・山口陽介・吉川隆
49	H11	京都府長岡京市	152	4回戦		松村徳市	馬木貴之・寺尾隆司・小倉隆司・米田紀興・田口英史・小野敏和・山口陽介・松本 章
50	H12	東京都渋谷区	170	3回戦		寺尾隆司	小倉隆司・田口英史・小野敏和・松本 章・寺尾隆司
51	H13	愛媛県松山市	139	4回戦		寺尾隆司	小倉隆司・田口英史・小野敏和・松本 章・香川祐一・竹村 純・寺尾隆司
52	H14	福島県郡山市	144	4回戦		寺尾隆司	小倉隆司・田口英史・小野敏和・松本 章・香川祐一・竹村 純・寺尾隆司
53	H15	岡山県岡山市	152	第3位		小倉隆司	小野敏和・松本 章・橋村章彦・竹村 純・小倉隆司
54	H16	愛知県名古屋市	142	第3位		小倉隆司	小野敏和・松本 章・橋村章彦・多田亮太・竹村 純・小倉隆司
55	H17	大阪府大阪市	154	第3位		小倉隆司	小野敏和・松本 章・橋村章彦・多田亮太・竹村 純・鈴木知道・関野有起・小倉隆司
56	H18	東京都渋谷区	160	第3位		小野敏和	松本 章・橋村章彦・多田亮太・竹村 純・鈴木知道・関野有起・小野敏和
57	H19	北海道札幌市	139	第3位		乙武重丸	橋村章彦・松本 章・多田亮太・竹村 純・鈴木知道・関野有起
58	H20	熊本県八代市	150	第5位		小倉隆司	橋村章彦・松本 章・多田亮太・竹村 純・鈴木知道・関野有起・小林徹太郎
59	H21	広島県広島市	154	第5位		小倉隆司	関野有起・松本 章・多田亮太・竹村 純・早坂幸平・鈴木知道・小林徹太郎・牧野公亮
60	H22	兵庫県神戸市	167	第3位		小倉隆司	関村有起・多田亮太・竹村 純・早坂幸平・鈴木知道・牧野公亮・小林徹太郎・高島雅
61	H23	石川県金沢市	147	辞退		小倉隆司	関野有起・多田亮太・竹村 純・早坂幸平・高島雅彦・牧野公亮・小林徹太郎
62	H24	愛知県名古屋市	167	第5位		小倉隆司	高島雅彦・関野有起・竹村 純・早坂幸平・田淵雄喜・渡邊一磨・牧野公亮・渡部 大
63	H25	北海道札幌市	152	第5位		関野有起	高島雅彦・竹村 純・早坂幸平・田淵雄喜・渡邊一磨・牧野公亮・渡部大・内藤浩司

全日本実業団バドミントン選手権大会《女子団体》

回	年	開催地	参加	成績	チーム名	監督	登録選手
51	H13	愛媛県松山市	46	2回戦	JR北海道	寺尾隆司	西村美香・早山里子・高橋律恵・山重直美
52	H14	福島県郡山市	38	2回戦		松村徳市	西村美香・早山里子・高橋律恵・山重直美・平林千佳・佐藤あゆみ
53	H15	岡山県岡山市	38	リーグ		松村徳市	西村美香・早山里子・高橋律恵・山重直美・平林千佳・佐藤あゆみ
54	H16	愛知県名古屋市	31	1回戦		松村徳市	早山里子・西村美香・高橋律恵・田中美与子・平林千佳・佐藤あゆみ
55	H17	大阪府大阪市	32	16強		小倉隆司	早山里子・西村美香・田中美与子・阿野加代子・平林千佳・佐藤あゆみ
56	H18	東京都渋谷区	36	リーグ		小野敏和	早山里子・田中美与子・阿野加代子・平林千佳・佐藤あゆみ・木村有里
57	H19	北海道札幌市	38	リーグ		乙武重丸	田中美与子・阿野加代子・佐藤歩み・木村有里・後藤佳代
58	H20	熊本県八代市	39	16強		松村徳市	田中美与子・阿野加代子・後藤佳代・佐藤あゆみ・木村有里・工藤亜紀
59	H21	広島県広島市	37	第5位		松村徳市	佐藤あゆみ・阿野加代子・後藤佳代・工藤亜紀・永野陽子・中川まどか
60	H22	兵庫県神戸市	40	1回戦		松村徳市	佐藤あゆみ・阿野加代子・後藤佳代・工藤亜紀・永野陽子・中川まどか
61	H23	石川県金沢市	35	辞退		松岡 誠	佐藤あゆみ・阿野加代子・後藤佳代・工藤亜紀・永野陽子・中川まどか
62	H24	愛知県名古屋市	44	リーグ		松岡 誠	後藤佳代・阿野加代子・工藤亜紀・永野陽子・中川まどか・平敷祥子
63	H25	北海道札幌市	37	リーグ		松岡 誠	後藤佳代・工藤亜紀・永野陽子・中川まどか・平敷祥子・鈴木麻友

全日本実業団バドミントン選手権大会《男子団体詳細》 i

NO2

大会	戦	勝敗	対戦	第1ダブルス	第2ダブルス	第1シングルス	第2シングルス	第3シングルス
第53回 (H15) 岡山県 岡山市 第3位	1回	○ 5-0	松戸市役所	松本 ○ 山本 竹村 2-0 服部	小倉 ○ 花嶋 小野 2-0 大川	○ 橋村 2-0 服部	○ 竹村 2-0 山本	○ MC 松本 2-0 上田
	2回	○ 5-0	NTT通研	松本 ○ 吉野 竹村 2-0 森田	小倉 ○ 深澤 橋村 2-0 田中	○ 竹村 2-0 吉野	○ 小野 2-0 田中	○ 橋村 2-0 森田
	3回	○ 3-1	NTT北海道	松本 ● 水澤 竹村 0-2 三上	小倉 ○ 星 橋村 2-0 井野	○ 竹村 2-1 吉川	○ 橋村 2-1 中村	松本（打ち切り）井野
	4回	○ 3-0	川鉄マシナリー	松本 ○ 浅原 竹村 2-0 高山	小倉 ○ 三好 小野 2-1 野田	○ 松本 2-0 田中	橋村（打ち切り）三好	竹村（打ち切り）浅原
	5回	○ 3-0	北都銀行	松本 ○ 鈴木 竹村 2-1 平山	小倉 ○ 小笠原 橋村 2-0 藤田	○ 竹村 2-1 平山	橋村（打ち切り）山口	松本（打ち切り）藤田
	6回	○ 3-2	ベスト電器	松本 ○ 崔 竹村 2-0 松本	小倉 ● 武田 橋村 0-2 岡田	● 松本 0-2 宇治	○ 橋村 2-0 松本	○ 竹村 2-1 岡田
	準決	● 0-3	トナミ運輸	小倉 ● 舛田 橋村 0-2 大東	松本 ● ハルモノ 竹村 0-2 酒井	● 橋村 1-2 大東（真）	竹村（打ち切り）大東	松本（打ち切り）舛田
第54回 (H16) 愛知県 名古屋市 第3位	決2	○ 3-0	（株）丸杉	松本 ○ 深田 竹村 2-0 石川	小倉 ○ 伊藤 小野 2-0 小島	○ 橋村 2-0 岸	竹村（打ち切り）石川	松本（打ち切り）深田
	決3	○ 3-1	三菱自動車	松本 ○ 小森 竹村 2-0 関本	小倉 ● 高木 小野 1-2 森澤	○ 橋村 2-0 西村	○ 竹村 2-0 高木	松本（打ち切り）森澤
	決4	○ 3-0	富山トヨタ	松本 ○ 藤井 竹村 2-0 永井	小野 ○ 高島 橋村 2-0 前川	○ 竹村 2-0 山本	橋村（打ち切り）前川	松本（打ち切り）嘉藤
	準決	● 1-3	NTT東日本	松本 ● 松本 竹村 0-2 川口	小野 ● 片山 橋村 0-2 太田	○ 竹村 2-1 清水	● 橋村 1-2 松本	松本（打ち切り）川口
第55回 (H17) 大阪府 大阪市 第3位	決1	○ 3-0	大阪ガス	多田 ○ 森本 竹村 2-0 明地	松本 ○ 大井 鈴木 2-0 趙	○ 橋村 2-0 森本	関野（打ち切り）大井	竹村（打ち切り）明地
	決2	○ 3-0	本田技研	竹村 ○ 菊池 関野 2-0 黄倉	松本 ○ 田中 多田 2-0 水口	○ 橋村 2-0 黄倉	関野（打ち切り）菊池	竹村（打ち切り）村本
	決3	○ 3-0	東海興業	竹村 ○ 馬場 関野 2-0 稲垣	松本 ○ 高原 鈴木 2-0 宮本	○ 橋村 2-1 稲垣	関野（打ち切り）鎌田	竹村（打ち切り）宮本
	決4	○ 3-1	ウエンブレー	竹村 ○ 舟木 関野 2-0 深谷	松本 ● 花本 鈴木 1-2 會澤	○ 橋村 2-0 原田	○ 関野 2-1 花本	竹村（打ち切り）鈴木
	準決	● 1-3	NTT東日本	松本 ● 松本 鈴木 0-2 佐藤	竹村 ○ 川口 関野 2-1 川前	● 橋村 0-2 新開	● 竹村 0-2 佐藤	関野（打ち切り）清水
第56回 (H18) 東京都 第3位	決1	○ 3-0	相模原市役所	関野 ○ 大友 鈴木 2-0 高野	松本 ○ 六反 多田 2-0 上田	○ 竹村 2-0 北島	橋村（打ち切り）村田	関野（打ち切り）石原
	決2	○ 3-2	鳥取三洋	関野 ● 堂本 鈴木 0-2 福澤	松本 ○ 山本 多田 2-0 霜村	● 橋村 0-2 堂本	○ 竹村 2-0 福澤	○ 関野 2-0 小谷
	決3	○ 3-0	ジャトコ	橋村 ○ 山下 竹村 2-0 本田	松本 ○ 福島 多田 2-0 山下	○ 関野 2-0 栗	橋村（打ち切り）本田	竹村（打ち切り）山下
	決4	○ 3-2	日立ハイブリッド	橋村 ● 山下 竹村 0-2 舘田	関野 ○ 金田 鈴木 2-0 長原	○ 竹村 2-0 銭谷	● 橋村 1-2 長原	○ 関野 2-0 山下
	準決	● 1-3	NTT東日本	松本 ● 松本 多田 1-2 佐藤	関野 ● 川口 鈴木 1-2 川前	○ 竹村 2-0 佐伯	● 橋村 0-2 佐藤	関野（打ち切り）新開
第57回 (H19) 北海道 札幌市 第3位	決2	○ 3-0	横浜市役所	松本 ○ 濱路 竹村 2-0 庄司	橋村 ○ 村上 多田 2-0 佐藤	○ 関野 2-0 金床	竹村（打ち切り）濱路	橋村（打ち切り）村上
	決3	○ 3-0	トヨタ九州	関野 ○ 山浦 鈴木 2-0 斎藤	橋村 ○ 小澤 多田 2-0 姝尾	○ 竹村 2-0 新宅	関野（打ち切り）小澤	橋村（打ち切り）山浦
	決4	○ 3-0	YKK九州	橋村 ○ 花田 竹村 2-1 小林	関野 ○ 田上 鈴木 2-0 宮崎	○ 竹村 2-0 武山	関野（打ち切り）土田	橋村（打ち切り）花田
	準決	● 0-3	NTT東日本	関野 ● 川口 鈴木 0-2 川前	橋村 ● 松本 竹村 1-2 佐藤	● 関野 0-2 佐伯	竹村（打ち切り）新開	橋村（打ち切り）佐藤
第58回 (H20) 熊本県 八代市 第5位	決2	○ 3-0	宇部興産	橋村 ○ 渡邊 関野 2-1 河村	多田 ○ 山縣 鈴木 2-1 松尾	○ 小林 2-1 山縣	竹村（打ち切り）松尾	関野（打ち切り）山縣
	決3	○ 3-0	富士通G会津	橋村 ○ 寺田 関野 2-0 安藤	松本 ○ 渡辺 多田 2-0 大島	○ 竹村 2-0 寺田	小林（打ち切り）安藤	関野（打ち切り）渡辺
	決4	● 2-3	YKK九州	橋村 ● 田上 関野 1-2 園田	鈴木 ○ 花田 多田 2-0 小林	○ 竹村 2-0 土田	● 関野 0-2 園田	● 小林 0-2 武山
第59回 (H21) 広島県 広島市 第5位	決1	○ 3-1	宇部興産	竹村 ● 松尾 早坂 1-2 山平	多田 ○ 山縣 鈴木 2-1 河村	○ 関野 2-1 山平	○ 竹村 2-0 松尾	早坂（打ち切り）山縣
	決2	○ 3-0	トヨタ自動車	竹村 ○ 斉藤 早坂 2-1 斉藤	関野 ○ 長谷川 鈴木 2-0 谷村	○ 早坂 2-0 伊深	竹村（打ち切り）斉藤	関野（打ち切り）斉藤
	決3	○ 3-0	丸杉	松本 ○ 高木 竹村 2-0 安村	関野 ○ 中野 鈴木 2-0 黒田	○ 早坂 2-0 松本	竹村（打ち切り）中野	関野（打ち切り）黒田
	決4	● 1-3	NTT東日本	竹村 ● 川前 早坂 0-2 田児	関野 ● 佐藤 鈴木 1-2 堀川	○ 竹村 2-1 佐伯	● 早坂 0-2 佐藤	関野（打ち切り）田児
第60回 (H22) 兵庫県 神戸市 第3位	決1	○ 3-0	福井市役所	関野 ○ 安間 鈴木 2-0 内藤	多田 ○ 内藤 小林 2-0 島出	○ 牧野 2-0 野瀬	竹村（打ち切り）安間	早坂（打ち切り）内藤
	決2	○ 3-0	宇部興産	早坂 ○ 山平 高島 2-1 米元	関野 ○ 松尾 鈴木 2-0 山縣	○ 山縣 竹村 2-1 （真）	早坂（打ち切り）山平	関野（打ち切り）松尾
	決3	○ 3-1	富士通G会津	早坂 ○ 寺田 高島 2-0 大島	多田 ○ 五十嵐 小林 2-0 斉藤	● 牧野 1-2 寺田	○ 竹村 2-0 大島	関野（打ち切り）弓田
	決4	○ 3-0	日立システム	早坂 ○ 大嶋 高島 2-0 三橋	関野 ○ 山下 鈴木 2-1 舘田	○ 竹村 2-0 早崎	早坂（打ち切り）山下	関野（打ち切り）舘田
	準決	● 2-3	トナミ運輸	早坂 ● 平田 高島 0-2 橋本	関野 ● チャンドラ 鈴木 1-2 松澤	○ 佐々 竹村 2-0 木	○ 早坂 2-1 古財	● 関野 1-2 園田
第61回 (H23)	石川県 金沢市	会社事情により出場辞退。						

全日本実業団バドミントン選手権大会《男子団体詳細》ii

大会	戦	勝敗	対戦	第1ダブルス	第2ダブルス	第1シングルス	第2シングルス	第3シングルス
第62回 (H24) 愛知県 名古屋市 第5位	ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	キャノン栃木	早坂 ○ 舛田 / 高島 2-0 荒川	牧野 ○ 小坂 / 渡部 2-0 浮田	○ 渡邊 2-0 蓼沼	○ 田淵 2-0 浮田	○ 竹村 2-0 小坂
	ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	福井県庁	早坂 ○ 竹内 / 高島 2-0 杼木	牧野 ○ 村中 / 渡部 2-0 渡辺	○ 田淵 2-0 杼木	○ 渡邊 2-0 竹内	○ 渡部 2-0 村中
	決1	○ 3-0	ヨネックス	早坂 ○ 三上 / 高島 2-0 藤巻	牧野 ○ 橋村 / 渡部 2-1 瀧澤	○ 渡邊 2-0 藤巻	竹村 (打ち切り) 橋村	渡部 (打ち切り) 三上
	決2	○ 3-1	東北マーク	早坂 ● 小町谷 / 高島 1-2 鈴木	牧野 ○ 諸田 / 渡部 2-1 鈴木	○ 竹村 2-0 青山	○ 渡邊 2-0 大田	小町 早坂 (打ち切り) 谷
	決3	○ 3-0	トヨタ自動車	早坂 ○ 斉藤 / 高島 2-0 斉藤	牧野 ○ 高田 / 渡部 2-0 深尾	○ 竹村 2-0 斉藤	渡邊 (打ち切り) 児玉	早坂 (打ち切り) 斉藤
	決4	● 1-3	NTT東日本	牧野 ● 小松崎 / 渡部 0-2 竹内	早坂 ● 松丸 / 高島 0-2 大越	○ 小松 竹村 2-0 崎	● 渡邊 0-2 佐伯	早坂 (打ち切り) 竹内
第63回 (H25) 北海道 札幌市 第5位	決1	○ 3-0	ミズノ	田淵 ○ 日下 / 渡部 2-0 三宅	早坂 ○ 阿久津 / 高島 2-0 堀田	○ 渡邊 2-0 三宅	阿久 内藤 (打ち切り) 津	竹村 (打ち切り) 日下
	決2	○ 3-0	リオン	牧野 ○ 佐藤 / 渡部 2-0 牛島	竹村 ○ 市野 / 渡邊 2-0 富田	○ 内藤 2-0 牛島	渡邊 (打ち切り) 富田	竹村 (打ち切り) 市野
	決3	○ 3-0	丸杉	早坂 ○ 中野 / 高島 2-0 石川	牧野 ○ 安村 / 渡部 2-0 富山	○ 竹村 2-0 吉田	内藤 (打ち切り) 後藤	渡邊 (打ち切り) 石川
	決4	● 0-3	トナミ運輸	早坂 ● 園田 / 高島 0-2 嘉村	牧野 ● 平田 / 渡部 0-2 橋本	● 竹村 0-2 銭谷	渡邊 (打ち切り) 武下	佐々 内藤 (打ち切り) 木

全日本実業団バドミントン選手権大会《女子団体詳細》

大会	戦	勝敗	対戦	第1ダブルス	第2ダブルス	第1シングルス	第2シングルス	第3シングルス
第53回 (H15) 岡山県 岡山市	ﾘｰｸﾞ	○ 3-0	大同特殊鋼	西村 ○ 池田 / 山重 2-0 梅木	早山 ○ 都築 / 高橋 2-0 宮原	○ 平林 2-1 梅木	佐藤 (打ち切り) 池田	山重 (打ち切り) 都築
	ﾘｰｸﾞ	● 0-3	NEC九州	早山 ● 吉富 / 佐藤 0-2 引地	西村 ● 末綱 / 山重 0-2 中内	● 佐藤 0-2 幡谷	平林 (打ち切り) 上田	山重 (打ち切り) 今井
第54回 (H16) 愛知県 名古屋市	ﾘｰｸﾞ	○ 3-0	コニカミノルタ	早山 ○ 小塩 / 佐藤 2-0 豊泉	西村 ○ 本田 / 田中 2-0 伊藤	○ 平林 2-0 佐々木	佐藤 (打ち切り) 豊泉	田中 (打ち切り) 小塩
	ﾘｰｸﾞ	○ 3-0	島津製作所	西村 ○ 橋本 / 高橋 2-0 中矢	早山 ○ 葛本 / 佐藤 2-0 渡邊	○ 平林 2-0 橋本	佐藤 (打ち切り) 中矢	田中 (打ち切り) 渡邊
	決1	● 1-3	三菱電機	早山 ● 藤井 / 佐藤 0-2 橋本	西村 ○ 高野 / 田中 2-1 丸岡	● 佐藤 0-2 橋本	● 平林 0-2 高野	田中 (打ち切り) 丸岡
第55回 (H17) 大阪府 大阪市 ベスト16	ﾘｰｸﾞ	○ 3-0	東海興業	早山 ○ 北尾 / 西村 2-1 浜島	田中 ○ 川戸 / 阿野 2-1 戸枝	○ 平林 2-0 浜島	阿野 (打ち切り) 川戸	田中 (打ち切り) 北尾
	ﾘｰｸﾞ	○ 3-0	塩野義製薬	早山 ○ 田倉 / 西村 2-0 尾方	田中 ○ 矢野 / 阿野 2-0 近藤	○ 平林 2-0 佐藤	阿野 (打ち切り) 尾方	田中 (打ち切り) 矢野
	決1	● 0-3	NTT東日本	早山 ● 本田 / 西村 0-2 三浦	田中 ● 岩脇 / 阿野 0-2 媚山	● 平林 0-2 久家	阿野 (打ち切り) 岩脇	田中 (打ち切り) 媚山
第56回 (H18) 東京都	ﾘｰｸﾞ	○ 3-0	福井県庁	田中 ○ 毛利 / 阿野 2-0 田安	早山 ○ 田中 / 木村 2-0 前川	○ 佐藤 2-0 田安	○ 平林 2-0 毛利	○ 木村 2-0 前川
	ﾘｰｸﾞ	● 2-3	富山トヨタ	田中 ● 木下 / 阿野 1-2 今泉	早山 ○ 岩田 / 木村 2-1 江本	● 田中 0-2 佐藤	● 平林 0-2 尾方	○ 木村 2-0 矢野
第57回 (H19) 北海道 札幌市 ベスト16	ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	四国電力	阿野 ○ 堀部 / 後藤 2-0 玉井	佐藤 ○ 宇都宮 / 木村 2-0 稲垣	○ 後藤 2-0 五百原	○ 佐藤 2-0 玉井	○ 阿野 2-0 宇都宮
	ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	郵政郵政	阿野 ○ 岩井 / 後藤 2-0 関野	佐藤 ○ 江口 / 木村 2-0 青田	○ 後藤 2-0 関野	○ 佐藤 2-0 江口	○ 阿野 2-0 青田
	ﾘｰｸﾞ	● 1-4	七十七銀行	佐藤 ● 長縄 / 木村 0-2 高橋	阿野 ● 平山 / 後藤 0-2 服部	● 佐藤 0-2 徳永	○ 後藤 2-1 野口	● 阿野 0-2 平山
第58回 (H20) 熊本県 八代市 ベスト16	ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	HORIBA	佐藤 ○ 高木 / 阿野 2-0 中城	後藤 ○ 津田 / 工藤 2-0 佐伯	○ 佐藤 2-0 森脇	○ 川口 2-0 佐伯	○ 後藤 2-0 津田
	ﾘｰｸﾞ	○ 4-1	トヨタ自動車	後藤 ○ 高井 / 工藤 2-0 増田	佐藤 ○ 古田 / 阿野 2-0 板井	○ 工藤 2-0 津村	● 佐藤 0-2 高井	○ 後藤 2-0 佐藤
	ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	東京都庁	川口 ○ 前田 / 木村 2-0 山田	後藤 ○ 野嶽 / 工藤 2-0 菅原	○ 佐藤 2-0 前田	○ 阿野 2-0 野嶽	○ 川口 2-0 菅原
	決1	● 0-3	NTT東日本	佐藤 ● 大日方 / 阿野 0-2 田井	後藤 ● 樽野 / 工藤 0-2 奥	● 佐藤 0-2 後藤	工藤 (打ち切り) 樽野	後藤 (打ち切り) 奥
第59回 (H21) 広島市 第5位	決1	○ 3-0	豊田通商	永野 ○ 三条 / 工藤 2-0 木村	阿野 ○ 伏屋 / 後藤 2-0 土屋	○ 佐藤 2-0 清水	永野 (打ち切り) 本田	工藤 (打ち切り) 木村
	決2	● 0-3	NEC SKY	永野 ● 末綱 / 工藤 0-2 前田	阿野 ● 藤井 / 後藤 0-2 垣岩	● 永野 1-2 今井	佐藤 (打ち切り) 幡谷	工藤 (打ち切り) 藤井
第60回 (H22)	決1 神戸	● 0-3	岐阜トリパン	阿野 ● 脇田 / 後藤 0-2 江藤	工藤 ● 山田 / 永野 1-2 吉村	● 佐藤 1-2 梅津	永野 (打ち切り) 脇田	後藤 (打ち切り) 江藤
第61回 (H23)	石川県 金沢市	会社事情により出場辞退。						
第62回 (H24) 愛知県 名古屋市	ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	中部電力	永野 ○ 降簇 / 工藤 2-0 中村	阿野 ○ 小塚 / 後藤 2-0 林	○ 永野 2-0 中村	○ 平敷 2-0 降簇	○ 中川 2-0 林
	ﾘｰｸﾞ	● 1-4	ヨネックス	永野 ● 今別府 / 工藤 1-2 土井	阿野 ○ 亀谷 / 後藤 2-0 阿萬	● 永野 0-2 田村	● 平敷 0-2 土井	● 中川 0-2 亀谷
第63回 (H25) 北海道 札幌市	ﾘｰｸﾞ	○ 5-0	日立ソリューション	中川 ○ 石川 / 鈴木 2-0 大川	後藤 ○ 長岡 / 工藤 2-0 嶽	○ 永野 2-0 石川	○ 平敷 2-0 長岡	○ 中川 2-0 嶽
	ﾘｰｸﾞ	● 1-4	七十七銀行	中川 ● 今井 / 鈴木 0-2 大森	後藤 ● 服部 / 工藤 0-2 神	○ 永野 2-0 幡谷	● 平敷 0-2 阪口	● 中川 0-2 杉山

北の古豪・ＪＲ北海道
第５３回大会から連続５回３位入賞
3位6回・5位5回入賞（男子）

NO4

2003年（平成15年）7月11日　金曜日
交通新聞

実業団バドミントン大会

JR北海道 男子団体で3位



六日まで岡山市で開かれていた第五十三回全日本実業団バドミントン選手権大会で、ＪＲ北海道が男子団体で昨年に続き三位に入った。十一月から始まる一部リーグに向け、大きな自信となった。大会には地区予選を勝ち抜いた百四十二チームが参加。松本章、竹村純岡選手（いずれも苗穂工場）らの活躍で準々決勝まで危なげなく勝ち抜いたが、ＮＴＴ東日本と対した準決勝で1―3で敗れ、決勝進出を果たせなかった。

一部リーグ所属のベスト電撃、これを竹村純、橋村竜彦両選手の頑張りなどで3―2で取った。

準決勝の対戦相手は今大会優勝チームのトナミ運輸。0―3のストレートで敗れはしたものの、六年ぶり（昭和四十七）以来、三十八年ぶりの三位に輝いた。

選手を兼ねる小倉監督は「ベスト16以上が目標だったのでうれしい。日本リーグ一部チームを一つ破ったのは価値がある。さらに力をつけ、日本リーグ一部で優勝を狙いたい」と話している。

2003年（平成15年）7月7日（月曜日）
北海道新聞

バドミントン
実業団選手権

道内勢は準決勝敗退

バドミントンの第53回全日本実業団選手権は6日、岡山総合文化体育館で準決勝、決勝を行い、男子はトナミ運輸（富山）、女子はNEC九州が優勝した。

男子のJR北海道はトナミ運輸に、女子のNTT北海道はヨネックス（東京）に、それぞれ準決勝で敗れた。

▽男子準決勝
日本ユニシス（東京）3―1 NTT東日本
トナミ運輸（富山）3―0 JR北海道
▽同決勝
トナミ運輸（富山）3―0 NTT東日本

2004年（平成16年）6月11日　金曜日
交通新聞

全日本実業団バドミントン大会

JR北海道が男子団体3位

名古屋市内で六日まで開かれた第五十四回全日本実業団バドミントン選手権大会で、ＪＲ北海道が男子団体で昨年に続き三位に入った。十一月から始まる一部リーグに向け、大きな自信となった。大会には地区予選を勝ち抜いた百四十二チームが参加。松本章、竹村純岡選手（いずれも苗穂工場）らの活躍で準々決勝まで危なげなく勝ち抜いたが、ＮＴＴ東日本と対した準決勝で1―3で敗れ、決勝進出を果たせなかった。

2006年（平成18年）7月2日（日曜日）
北海道新聞

JR北海道 準決勝敗退

実業団バドミントン
バドミントンの第56回全日本実業団選手権第4日は1日、東京体育館で男女の準々決勝と準決勝を行った。男子準決勝でJR北海道（東京）に3―1で敗れて、決勝進出を逃した。

NTT北海道は準々決勝でNEC九州（熊本）に0―3でストレートで敗れた。女子のNTT北海道は準々決勝でNEC九州（熊本）に0―3で敗れた。

（記録は北海道関係分と準決勝）

【男子】▽準決勝
JR北海道 3―1 NTT東日本
（21―16、21―12、19―21、21―18）
▽決勝
トナミ運輸（富山）3―0 JR北海道
（21―12、21―16、21―18）

【女子】▽準決勝
NTT北海道 3―1 日本ユニシス（東京）
（21―16、21―12、19―21、21―18）
▽決勝
NTT東日本（東京）3―0 NTT北海道
（21―12、21―16、21―18）

2007年（平成19年）7月8日（日曜日）
スポーツ報知
（提供神奈川新聞社）

JR北海道48年ぶり決勝進出

価値ある5年連続4強入り



全日本実業団選手権 第4日

バドミントン

48年ぶり決勝進出逃す

NTT東日本に0―3で敗れる

JR北海道が男子団体で5年連続4強入りしても、価値ある5年連続の価値ある5年連続4強入りとなった。男子団体で昨年に続き3位に入った。

JR北海道が男子団体で5年連続4強入りしても、価値ある5年連続の価値ある5年連続4強入りとなった。男子団体で昨年に続き3位に入った。

2007年（平成19年）7月8日（日曜日）
ポーツニッポン

JR北海道また4強で涙



粘りを見せたJR北海道の橋村・竹村（手前から）ペア

散髪の瞬間、スタンドからほめ声が漏れた。地元

2013年（平成25年）7月4日（木曜日）
北海道新聞

JR北海道男子

地元で初V誓う

2010年（平成22年）6月13日（日曜日）
北海道新聞

バドミントン

男子

JR北海道が4強

準決勝はトナミに惜敗

全日本実業団選手権（12日・神戸市立中央体育館）第4日は、男女の準々決勝と準決勝を行った。男子のJR北海道はトナミ運輸（富山）に2―3で惜敗した。男子日立情報通信エンジニアリング（神戸）とルネサスSSVアリング（神戸）を（熊本）が破り準決勝に進出した。

2010年（平成22年）6月17日　木曜日
交通新聞

50回以上出場が評価

JR北海道バドミントン部 連盟から表彰

JR北海道バドミントン部は9日、日本実業団バドミントン連盟から特別功労賞を贈られた。今回記念式典の場で行われた。この間、1995年（昭和34年）に準優勝したのをはじめ、JR北海道としても2003年（平成15年）から5年連続でベスト4入り。今人

2010年（平成22年）6月16日　水曜日
交通新聞

バドミントン
JR北ベスト4
全日本実業団選手権

神戸市で13日まで開催された第60回全日本実業団バドミントン選手権大会男子で、JR北海道がベスト4に入った。会社発足以来でベスト4は3年ぶり6回目。

JR北海道は準々決勝で日立情報通信エンジニアリングを3―0でトしベスト4進出を決めたが、準決勝で今回優勝のトナミ運輸に2―3で惜敗、悲願の決勝進出を拒まれた。

2013年（平成25年）7月6日（土曜日）
北海道新聞

JR北海道 男子4強どまり

実業団バドミントン

バドミントンの実業団全日本実業団選手権は7日、男女の準々決勝、準決勝を行い、男子のJR北海道はトナミ運輸（富山）に3―1で勝ったが、準決勝でNTT東日本（東京）に0―3で敗れ、5年連続ベスト4に終わった。

8日、男子はNTT東日本とトナミ運輸（富山）が、女子は（熊本）とも4年ぶりの準優勝（大会コヨネックス（東京）



準決勝で善戦したJR北海道の橋村（手前）と竹村組



強豪と互角 手応えも

8年ぶりに4強入りしたJR北海道は準決勝でトナミ運輸に惜敗。4時間を超える熱戦の末に3―2で退けたが、第1

2013年（平成25年）7月3日（水曜日）
北海道新聞

新人内藤 活躍に期待

JR北海道男子





JR北海道 貫禄8強

きょう激突！トナミ運輸撃破だ

全日本実業団バドミントン選手権第4日は2日、東京体育館で男女の準々決勝と準決勝を行った。男子のJR北海道はトナミ運輸（富山）に3―1で勝ち、女子準決勝でNTT東日本（東京）に3―1で勝ち、決勝進出を果たした。

JR北海道は準々決勝で日立情報通信エンジニアリング（神戸）に3―0でストレート勝ち。準決勝でNTT東日本（東京）に3―1で勝った。

JR北海道は準々決勝で日立情報通信エンジニアリング（神戸）に3―0でストレート勝ち。準決勝でNTT東日本（東京）に3―1で勝った。

バドミントン日本リーグ

予選会《男子》

年	開催地	成績	勝敗	チーム名	監督	登録選手団
1988	大阪府箕面市	1回戦	0-1	JR北海道	乙武重丸	高橋 進·七崎悦範·松村徳市·松岡 誠·奥名泰光·山田好明·田中昭夫·乙武重
1989	兵庫県日野市	準決	0-1	JR北海道	乙武重丸	高橋 進·七崎悦範·松村徳市·松岡 誠·奥名泰光·山田好明·田中昭夫·乙武重
1990	兵庫県尼崎市	第9位	1-8	JR北海道	乙武重丸	高橋 進·七崎悦範·松村徳市·松岡 誠·奥名泰光·山田好明·田中昭夫·乙武重

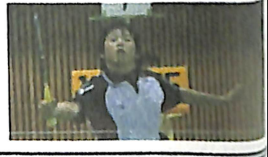
2部リーグ《男子》

年	開催地	成績	勝敗	チーム名	監督	登録選手団
1991	長岡京·大分市	第3位	4-2	JR北海道	乙武重丸	松村徳市·高橋 進·七崎悦範·松岡 誠·馬木貴之 米田紀興·奥名泰光·山田好明·乙武重丸
1992	兵庫県宝塚市	準優勝	6-1	JR北海道	乙武重丸	松村徳市·高橋 進·七崎悦範·松岡 誠·馬木貴之 米田紀興·高嶋 進·田口英史·乙武重丸
1993	福岡県福岡市	第5位	3-4	JR北海道	乙武重丸	松村徳市·高橋 進·七崎悦範·松岡 誠·馬木貴之 米田紀興·高嶋 進·田口英史·佐竹友昭
1994	熊本県熊本市	第4位	3-3	JR北海道	乙武重丸	松村徳市·高橋 進·郷路一郎·馬木貴之·米田紀興·高嶋 進·田口英史
1995	栃木県小山市	第6位	3-4	JR北海道	高橋　進	郷路一郎·寺尾隆司·馬木貴之·米田紀興·高嶋 進·田口英史·松村徳市·高橋
1996	愛知県名古屋市	第6位	2-5	JR北海道	松村徳市	馬木貴之·寺尾隆司·郷路一郎·米田紀興·高嶋 進·田口英史·松村徳市
1997	北海道旭川市	第7位	2-5	JR北海道	松村徳市	馬木貴之·寺尾隆司·小倉隆司·米田紀興·高嶋 進·田口英史·松村徳市
1998	栃木県宇都宮市	第6位	3-4	JR北海道	松村徳市	馬木貴之·寺尾隆司·小倉隆司·米田紀興·田口英史·小野敏和·山口陽介·吉川隆博
1999	広島県三原市	第7位	2-5	JR北海道	松村徳市	馬木貴之·寺尾隆司·小倉隆司·米田紀興·田口英史·小野敏和·山口陽介·松本 章
2000	香川県高松市	第7位	2-5	JR北海道	寺尾隆司	小倉隆司·田口英史·小野敏和·松本 章·松村徳市·寺尾隆司
2001	福島県会津若松	第4位	4-3	JR北海道	寺尾隆司	小倉隆司·田口英史·小野敏和·松本 章·香川祐一·竹村 純·寺尾隆司
2002	愛知県大府市	第5位	4-3	JR北海道	寺尾隆司	小倉隆司·小野敏和·松本 章·香川祐一·竹村 純·寺尾隆司
2003	秋田県秋田市	優勝	7-0	JR北海道	小倉隆司	小野敏和·松本 章·橋村竜彦·竹村 純·小倉隆司·松村徳市

2部リーグ《男子》詳細

年 成績	開催日	開催地	勝敗	対戦チーム	第1ダブルス	シングルス	第2ダブルス	個人賞
2003 (H15) 7-0 優勝	11/22	秋田県秋田市 県立体育館	○ 2-1	NTTｸﾞﾙｰﾌﾟ東北	松本 ○ 清元 竹村 2-0 永井	○ 橋村 2-1 草井	小倉 ● 関根 小野 0-2 ﾇﾇﾝ	殊勲選手賞 松本章·竹村 純 橋村竜彦
			○ 2-1	北都銀行	小倉 ● 福島 橋村 1-2 藤田	○ 竹村 2-0 平山	小野 ○ 小笠原 松本 2-1 鈴木	
			○ 2-1	トヨタ自動車	松本 ○ 西山 竹村 2-0 末吉	○ 橋村 2-0 和田	小倉 ● 坂上 小野 1-2 小谷	
	11/23		○ 3-0	富士通会津若松	松本 ○ 草ノ瀬 竹村 2-0 五十嵐	○ 橋村 2-0 大石	小倉 ○ 斎藤 松村 2-0 斉藤	
			○ 3-0	日立ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾈｯﾄﾜｰｸ	松本 ○ 高橋 竹村 2-0 金田	○ 橋村 2-0 松下	小倉 ○ 鈴木 松村 2-0 中橋	
	11/24		○ 2-1	北國銀行	松本 ○ 小池田 竹村 2-0 星	○ 橋村 2-0 宮本	小倉 ● 武田 小野 0-2 石本	
			○ 2-1	東海興業	松本 ○ 馬場 竹村 2-0 宮本	○ 橋村 2-0 稲垣	小倉 ● 高原 小野 0-2 藤田	






山田好明


高橋 進


七崎悦範


松村徳市


松岡 誠


奥名泰光


郷路一郎


寺尾


馬木貴之/米田紀興


高嶋 進/田口英史


松本 章


小野敏和


小倉隆司/橋

バドミントン日本リーグ1部リーグ《男子》

年	成績	勝敗	チーム名	監督	登録選手
2004	第7位	1-6	JR北海道	小倉隆司	小野敏和・松本 章・竹村 純・橋村竜彦・多田亮太・小倉隆司 (関野有起・鈴木知道)( )=内定
2005	第4位	4-3	JR北海道	松村徳市	松本 章・橋村竜彦・竹村 純・多田亮太・関野有起・鈴木知道・小野敏和
2006	第6位	2-5	JR北海道	小野敏和	松本 章・橋村竜彦・竹村 純・多田亮太・関野有起・鈴木知道・小野敏和
2007	第4位	4-3	JR北海道	乙武重丸	松本 章・橋村竜彦・竹村 純・多田亮太・関野有起・鈴木知道 (小林徹太郎)
2008	第5位	2-5	JR北海道	小倉隆司	松本 章・橋村竜彦・竹村 純・多田亮太・関野有起・鈴木知道・小林徹太郎
2009	第4位	4-3	JR北海道	小倉隆司	関野有起・多田亮太・竹村 純・鈴木知道・早坂幸平・牧野公亮・小林徹太郎 (高島雅彦)
2010	第6位	2-5	JR北海道	小倉隆司	関野有起・多田亮太・竹村 純・鈴木知道・早坂幸平・高島雅彦・牧野公亮・小林徹太郎
2011	第6位	2-5	JR北海道	小倉隆司	関野有起・多田亮太・竹村 純・鈴木知道・早坂幸平・高島雅彦・牧野公亮・小林徹太郎 (田淵・渡邊・渡部)
2012	第4位	3-4	JR北海道	小倉隆司	高島雅彦・関野有起・竹村 純・早坂幸平・牧野公亮・田渕雄喜・渡邊一磨・渡部 大 (内藤浩司)

1部リーグ《男子》詳細1

年 成績	開催日	開催地	勝敗	対戦チーム	第1ダブルス	シングルス	第2ダブルス	個人賞
2004 (H16) 1-7 第7位	11/20	富山県高岡市 市民体育館	● 0-3	トナミ運輸	松本 ● 今井 竹村 1-2 舛田	● 関野 0-2 大東	小野 ● ﾊﾙﾓﾉ 橋村 0-2 酒井	新人賞 竹村 純
	11/27	札幌市道立総合体育センター	● 0-3	NTT東日本	小野 ● 太田 橋村 0-2 川口	● 竹村 0-2 松本	松本 ● 新関 関野 1-2 川前	
	12/ 5	千葉県船橋市 総合体育館	● 0-3	日本ユニシス	松本 ● 仲尾 竹村 0-2 坂本	● 橋村 0-2 山田	小野 ● 劉 関野 0-2 中西	
	12/12	山口県周南市 総合スポセン	● 1-2	大阪ﾄﾘｯｷｰ ﾊﾟﾝﾀﾞｰｽ	竹村 ○ 平井 関野 2-0 櫻井	● 橋村 0-2 古川	小野 ● 黄 松本 0-2 岡野	
	12/19	秋田県美郷町 仙南総合体育館	○ 2-1	NTT北海道	小野 ● 井野 松本 0-2 中村	○ 竹村 2-0 長原	橋村 ○ 水澤 関野 2-0 三上	
	12/25	東京都渋谷区 国立代々木 第二体育館	● 1-2	くまもと八代 YKKAP	小野 ● ﾏｲﾅｷｰ 松本 0-2 田上	○ 竹村 2-0 花田	橋村 ● 山下 関野 0-2 小林	
	12/26		● 1-2	JATCO	橋村 ● 山下 関野 1-2 本田	○ 竹村 2-0 栗	小野 ● 清水 松本 1-2 岡山	
2005 (H17) 4-3 第4位	11/12	宮城県仙台市 体育館	○ 2-1	NTTｸﾞﾙｰﾌﾟ東北	関野 ○ 諸多 鈴木 2-0 山浦	○ 竹村 2-0 草井	橋村 ● ﾙﾃﾞｨ 多田 0-2 天野	敢闘選手賞 竹村 純
	11/13		● 0-3	NTT東日本	松本 ● 佐藤 竹村 0-2 松本	● 橋村 1-2 新関	関野 ● 川口 鈴木 0-2 川前	
	11/20	新潟県新潟市 東総合体育館	○ 2-1	NTT北海道	橋村 ● 三上 関野 0-2 米	○ 竹村 2-0 吉川	多田 ○ 井野 鈴木 2-0 中村	
	11/23	札幌市道立総合体育センター	○ 2-1	くまもと八代 YKKAP	松本 ● 花田 関野 1-2 田上	○ 竹村 2-0 土田	多田 ○ 村中 鈴木 2-0 小林	
	12/11	鳥取県鳥取市 県民体育館	● 1-2	トナミ運輸	橋村 ● 大東(忠 関野 0-2 舛田	○ 大東 竹村 2-1 (真)	松本 ● ﾊﾙﾓﾉ 多田 0-2 平田	
	12/18	千葉県船橋市 総合体育館	● 1-2	日本ユニシス	橋村 ● 坂本 多田 0-2 仲尾	○ 竹村 2-1 中西	関野 ● 福井 鈴木 1-2 池田	
	12/25	大阪府守口市 市民体育館	○ 2-1	大阪ﾄﾘｯｷｰ ﾊﾟﾝﾀﾞｰｽ	松本 ○ 松井 多田 2-0 ﾊﾞﾃﾞｨ	● 竹村 1-2 古川	関野 ○ 櫻井 鈴木 2-1 川口	
2006 (H18) 2-5 第6位	10/28	大阪府守口市 市民体育館	● 0-3	NTT北海道	橋村 ● 三上 多田 0-2 米	● 竹村 0-2 吉川	関野 ● 井野 鈴木 1-2 中村	敢闘選手賞 竹村 純
	10/29		● 1-2	大阪ﾄﾘｯｷｰ ﾊﾟﾝﾀﾞｰｽ	関野 ● 川口 鈴木 0-2 張	● 竹村 1-2 古川	橋村 ○ 松井 多田 2-1 櫻井	
	11/ 5	秋田県秋田市 県立武道館	○ 3-0	くまもと八代 YKKAP	関野 ○ 花田 鈴木 2-0 田上	○ 竹村 2-0 土田	橋村 ○ 小林 多田 2-0 宮崎	
	11/23	札幌市道立総合体育センター	● 1-2	日本ユニシス	関野 ● 坂本 鈴木 0-2 仲尾	○ 竹村 2-0 中西	橋村 ● 福井 多田 0-2 池田	
	12/16	山形県米沢市 市営体育館	● 1-2	NTT東日本	関野 ● 川口 鈴木 0-2 川前	○ 竹村 2-1 佐藤	松本 ● 松本 多田 0-2 新関	
	12/18	宮城県仙台市 青葉体育館	○ 2-1	日立情報通信 ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	関野 ● 山下 鈴木 1-2 館田	○ 竹村 2-0 銭谷	橋村 ○ 長原 多田 2-0 中山	
	12/24	富山県高岡市 市民体育館	● 0-3	トナミ運輸	橋村 ● 舛田 多田 0-2 大東	● 竹村 1-2 菊田	関野 ● 劉 鈴木 0-2 平田	
2007 (H19) 4-3 第4位	10/20	宮城県塩竈市 体育館	● 0-3	日本ユニシス	橋村 ● 池田(信 多田 0-2 坂本	● 池田 竹村 0-2 (雄)	関野 ● 王 鈴木 0-2 廣部	敢闘選手賞 竹村 純
	10/21		○ 2-1	くまもと八代 YKKAP	橋村 ○ 花田 多田 2-1 小林	○ 竹村 2-0 武山	関野 ● 田上 鈴木 1-2 宮崎	
	12/ 2	秋田県秋田市 県立武道館	● 0-3	NTT東日本	多田 ● 川口 関野 0-2 川前	● 竹村 1-2 佐伯	橋村 ● 松本 鈴木 0-2 佐藤	
	12/ 9	北海道帯広市 総合体育館	○ 2-1	日立情報通信 ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	松本 ○ 山下 鈴木 2-1 舘田	○ 竹村 2-0 長原	橋村 ● 中山 多田 1-2 中尾	
	12/15	高知県高知市 東部総合運動場	● 0-3	トナミ運輸	関野 ● ﾁｬﾝﾄﾞﾗ 鈴木 0-2 大東	● 竹村 0-2 舛田	橋村 ● 米 多田 0-2 平田	
	12/23	福島県会津若松 市総合体育館	○ 2-1	大阪ﾄﾘｯｷｰ ﾊﾟﾝﾀﾞｰｽ	橋村 ○ 中村 多田 2-0 ﾁﾄﾝ	○ 竹村 2-0 古川	関野 ● 川口 鈴木 0-2 松井	
	12/29	東京都代々木 第二体育館	○ 3-0	東海興業	松本 ○ 高原 鈴木 2-1 大滝	○ 竹村 2-0 有田	橋村 ○ 馬場 多田 2-1 宮本	

1部リーグ《男子》詳細II

年 成績	開催日	開催地	勝 敗	対戦チーム	第1ダブルス	シングルス	第2ダブルス	個人賞
2008 (H20) 2-5 第5位	10/13	新潟県新潟市 東総合体育館	● 1-2	トナミ運輸	松本 ● ﾁｬﾝﾄﾞﾗ 小林 0-2 舛田	○ 竹村 2-1 古財	多田 ● 平田 鈴木 0-2 橋本	敢闘選手賞 竹村　純
	11/30	広島県広島市中 区スポーツセン	● 1-2	東海興業	松本 ● 高原 小林 1-2 宮本	○ 竹村 2-0 田村	多田 ● 大滝 鈴木 0-2 有田	
	12/ 7	熊本県熊本市 県立体育館	○ 2-1	くまもと八代 YKKAP	松本 ○ 花田 橋村 2-0 小林	● 竹村 1-2 園田	多田 ○ 田上 鈴木 2-1 武山	
	12/14	宮城県仙台市 青葉体育館	● 1-2	日立情報通信 ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	松本 ● 山下 橋村 0-2 舘田	○ 竹村 2-0 銭谷	多田 ● 長原 鈴木 1-2 中尾	
	12/23	山形県奥州市 江刺中央体育館	● 0-3	NTT東日本	松本 ● 川口 橋村 0-2 川前	● 竹村 0-2 佐伯	関野 ● 佐藤 鈴木 0-2 山口	
	12/27	北海道札幌市 道立総合 体育センター	○ 3-0	金沢学院クラブ	橋村 ○ ﾏｲﾅｷｰ 多田 2-1 廣瀬	○ 竹村 2-0 坂井	関野 ○ 青山 鈴木 2-0 車	
	12/28		● 1-2	日本ユニシス	関野 ● 王 鈴木 0-2 早川	○ 竹村 2-0 山田	橋村 ● 坂本 多田 0-2 池田	
2009 (H21) 4-3 第4位	10/11	福岡県北九州市 総合体育館	○ 3-0	東海興業	関野 ○ 大滝(祐 鈴木 2-0 高原	○ 竹村 2-0 有田	早坂 ○ 大滝(涼 牧野 2-0 宮本	敢闘選手賞 竹村　純
	11/ 3	北海道旭川市 総合体育館	○ 2-1	くまもと八代 YKKAP	関野 ● 小林 鈴木 1-2 武山	○ 竹村 2-0 園田	早坂 ○ 花田 高島 2-1 田上	
	11/ 8	岡山県倉敷市 JEF倉敷体育館	● 1-2	NTT東日本	関野 ● 川前 鈴木 0-2 田児	○ 佐伯 竹村 2-1 (浩)	早坂 ● 佐藤 高島 0-2 山口	
	11/15	広島県福山市 ローズアリーナ	○ 2-1	金沢学院クラブ	関野 ● ﾏｲﾅｷｰ 鈴木 0-2 横山	○ 竹村 2-0 坂井	早坂 ○ 車 高島 2-0 青山	
	12/13	宮城県塩竈市 市体育館	○ 2-1	日立情報通信 ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	関野 ○ 大嶋 鈴木 2-1 三橋	● 竹村 0-2 早崎	早坂 ○ 山下 高島 2-0 舘田	
	12/20	愛媛県松山市 総合体育館	● 1-2	日本ユニシス	早坂 ● 数野 高島 0-2 早川	○ 竹村 2-1 山田	関野 ● ﾕﾘｱﾝﾄ 鈴木 0-2 池田	
	12/26	大阪府守口市 市民体育館	● 1-2	トナミ運輸	関野 ● 平田 鈴木 1-2 橋本	● 竹村 0-2 左々木	早坂 ○ ﾁｬﾝﾄﾞﾗ 高島 2-1 黒瀬	
2010 (H22) 2-5 第6位	10/10	富山県高岡市 市民体育館	● 1-2	日立情報通信 ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	関野 ● 三橋 高島 1-2 大嶋	○ 竹村 2-1 早崎	鈴木 ● 山下 小林 1-2 舘田	敢闘選手賞 竹村　純
	11/17	岐阜県岐阜市 岐阜アリーナ	○ 2-1	金沢学院クラブ	関野 ● ﾏｲﾅｷｰ 高島 0-2 伊東	○ 竹村 2-1 坂井	鈴木 ○ 車 小林 2-1 青山	
	10/23	東京都武蔵野市 総合体育館	○ 2-1	ハインナッセ 熊本	関野 ● ﾇｸﾞﾛﾎｰ 高島 0-2 宮崎	○ 竹村 2-0 土田	鈴木 ○ 古井 小林 2-0 大島	
	11/ 3	北海道函館市 市民体育館	● 1-2	トナミ運輸	多田 ● 平田 関野 0-2 橋本	● 竹村 1-2 左々木	鈴木 ○ 黒瀬 高島 2-1 園田	
	12/19	宮城県仙台市 青葉体育館	● 1-2	東北マークス	鈴木 ● 小町谷 高島 1-2 鈴木	○ 竹村 2-0 菊田	関野 ● 諸田 早坂 0-2 山田	
	12/23	埼玉県春日部市 総合体育館	● 0-3	日本ユニシス	小林 ● 早川 牧野 0-2 遠藤	● 池田 竹村 0-2 (雄)	鈴木 ● ｱﾙﾍﾟﾝ 高島 0-2 池田	
	12/26	東京都墨田区 体育館	● 1-2	NTT東日本	小林 ● 川前 牧野 1-2 竹内	● 竹村 0-2 田児	鈴木 ○ 小松崎 高島 2-1 佐藤	
2011 (H23) 2-5 第6位	10/15	北海道札幌市 道立総合 体育センター	○ 3-0	トリッキー パンダース	早坂 ○ ﾘｰ･ﾜﾝﾜｰ 高島 2-0 井谷	○ 竹村 2-0 福田	多田 ○ 川口 関野 2-0 高階	敢闘選手賞 早坂幸平 高島雅彦
	10/16		● 1-2	トナミ運輸	早坂 ○ 平田 高島 2-1 橋本	● 竹村 1-2 左々木	多田 ● ﾍｹﾝﾄﾞﾗ 関野 0-2 園田	
	10/22	神奈川県愛川町 第1号公園体育	● 1-2	日立情報通信 ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	早坂 ○ 大嶋 高島 2-0 山崎	● 竹村 0-2 早崎	多田 ● 三橋 関野 0-2 海野	
	10/29	広島県廿日市市 スポーツセン	○ 2-1	東北マークス	小林 ● 小町谷 牧野 0-2 鈴木	○ 竹村 2-0 菊田	早坂 ○ 諸田 高島 2-0 山田	
	11/ 3	宮崎県宮崎市 市総合体育館	● 0-3	日本ユニシス	小林 ● ｱﾙﾍﾟﾝ 牧野 0-2 池田	● 竹村 0-2 上田	早坂 ● 早川 高島 0-2 遠藤	
	12/18	石川県金沢市総 合スポセン	● 1-2	金沢学院クラブ	早坂 ○ 青山 高島 2-1 干	● 竹村 1-2 星野	関野 ● 伊東 牧野 0-2 山東	
	12/25	東京都代々木 第二体育館	● 1-2	NTT東日本	早坂 ● 小松崎 高島 0-2 竹内	● 竹村 1-2 田児	小林 ○ 松丸 牧野 2-0 大越	
2012 H24 3-4 第4位	10/14	宮城県塩竈市 塩竈ガス体育館	○ 2-1	日立情報通信 ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	早坂 ● 海野 高島 1-2 山崎	○ 竹村 2-0 松川	牧野 ○ 大嶋 渡部 2-0 三橋	敢闘選手賞 牧野公亮 渡部　大
	11/ 3	富山県高岡市 市民体育館	○ 3-0	トリッキー パンダース	早坂 ○ ﾘｰ･ﾜﾝﾜ 高島 2-1 高原	○ 竹村 2-0 小泉	牧野 ○ 川口 渡部 2-1 井谷	
	11/11	北海道江別市 市民体育館	○ 3-0	東北マークス	早坂 ○ 小町谷 高島 2-1 鈴木	○ 竹村 2-1 青山	牧野 ○ 鈴木 渡部 2-0 大田	
	12/16	愛媛県松山市総 合ｺﾐﾆｭﾃｨｾﾝﾀｰ	● 0-3	日本ユニシス	早坂 ● 佐伯 田淵 0-2 垰畑	● 竹村 0-2 坂井	牧野 ● 池田 渡部 1-2 廣部	
	12/23	岩手県北上市 総合体育館	● 0-3	トナミ運輸	早坂 ● 平田 田淵 0-2 橋本	● 竹村 0-2 左々木	牧野 ● 園田 渡部 1-2 嘉村	
	12/27	東京都代々木 第二体育館	● 1-2	NTT東日本	牧野 ○ 田児 渡部 2-0 佐藤	● 竹村 0-2 桃田	早坂 ● 川前 内藤 0-2 和田	
	12/28		● 1-2	金沢学院クラブ	牧野 ● 伊東 渡部 0-2 山東	● 内藤 0-2 宮本	早坂 ○ 青山 田渕 2-1 車	

バレンタインカップドリームマッチ《日本リーグ東西対抗オールスター戦》

2005 (H17)	2/6	大阪府守口 市民体育館	ウエスト チーム	竹村 ● 田上 (くまもと八代YKK) (中村) 0-2 舛田 (トナミ運輸) NTT北海道	敢闘選手賞：竹村 純 パフォーマンス賞：関野有起
2007 (H19)	2/3	北海道立 総合体育センター	ウエスト チーム	関野 ○ 田上 (くまもと八代YKK) (高橋) 2-0 (木村) (三菱電機) 七十七銀行	● 竹村 1-2 舛田 (トナミ運輸)

バドミントン日本リーグ2部リーグ《女子》

年	開催地	成績	勝敗	チーム名	監督	登録選手
2004	石川県松任市	第4位	1-3	JR北海道	小倉隆司	早山里子・西村美香・高橋律恵・田中美与子・平林千佳・佐藤あゆみ
2005	岩手県江刺市	第7位	0-6	JR北海道	松村徳市	早山里子・西村美香・田中美与子・平林千佳・佐藤あゆみ・阿野加代子
2006	秋田県美郷町	第6位	1-6	JR北海道	小野敏和	早山里子・田中美与子・平林千佳・佐藤あゆみ・阿野加代子・木村有里
2007	神奈川県藤沢市	第5位	3-4	JR北海道	乙武重丸	川口美与子・佐藤あゆみ・阿野加代子・後藤佳代・木村有里・早山里子
2008	愛知県大府市	第4位	4-3	JR北海道	松村徳市	川口美与子・佐藤あゆみ・阿野加代子・後藤佳代・木村有里(永野陽子)
2009	香川県坂出市	第4位	4-3	JR北海道	松村徳市	佐藤あゆみ・阿野加代子・後藤佳代・工藤亜紀・永野陽子・中川まどか
2010	山口県　光市	第6位	2-5	JR北海道	松村徳市	佐藤あゆみ・阿野加代子・後藤佳代・工藤亜紀・永野陽子・中川まどか
2011	岐阜県池田町	第6位	2-5	JR北海道	松岡　誠	佐藤あゆみ・阿野加代子・後藤佳代・工藤亜紀・永野陽子・中川まどか
2012	東京都町田市	第5位	4-3	JR北海道	松岡　誠	後藤佳代・阿野加代子・工藤亜紀・永野陽子・中川まどか・平敷祥子

2部リーグ《女子》詳細1

年 成績	開催日	開催地	勝敗	対戦チーム	第1ダブルス	シングルス	第2ダブルス
2004 (H16) 1-3 第4位	11/19	石川県松任市 総合文化体育館	○ 2-1	百十四銀行	西村 ○ 濱口 田中 2-1 西岡	● 平林 0-2 米田	早山 ○ 藤原 佐藤 2-0 谷川
	11/20		● 0-3	北都銀行	早山 ● 山崎 佐藤 0-2 金上	● 平林 0-2 三好	西村 ● 正木 田中 0-2 松浦
			● 1-2	北國銀行	西村 ● 西 田中 0-2 青山	● 平林 0-2 鍛冶	早山 ○ 西村 佐藤 2-0 加賀
	11/21		● 1-2	山陰合同銀行	西村 ○ 高木 田中 2-0 藤本	● 平林 0-2 江部	早山 ● 西川 佐藤 0-2 船橋
2005 (H17) 0-6 第7位	H18 1/20	岩手県江刺市 中央体育館	● 1-2	日立化成	田中 ○ 矢野 阿野 2-0 大塚	● 佐藤 0-2 吉見	早山 ● 古川 西村 0-2 杉山
	1/21		● 0-3	鳥取三洋電機	早山 ● 澤 田中 1-2 藤原	● 阿野 0-2 速水	西村 ● 岡野 佐藤 0-2 田中
			● 0-3	百十四銀行	早山 ● 濱口 田中 0-2 西岡	● 阿野 1-2 米田	西村 ● 藤原 佐藤 0-2 谷川
			● 0-3	三菱電機	田中 ● 藤澤 阿野 0-2 中村	● 早山 0-2 木村	西村 ● 田井 佐藤 0-2 高野
	1/22		● 0-3	山陰合同銀行	田中 ● 西川 阿野 0-2 丸岡	● 早山 0-2 江部	西村 ● 高木 佐藤 0-2 藤本
			● 0-3	北國銀行	田中 ● 西 阿野 1-2 青山	● 早山 0-2 鍛冶	西村 ● 中川 佐藤 0-2 渡辺
2006 (H18) 1-6 第6位	12/1	秋田県美郷町 仙南総合体育館	● 1-2	北國銀行	田中 ● 西 阿野 0-2 青山	● 平林 0-2 鍛冶	早山 ○ 加賀 佐藤 2-0 西村
			● 0-3	日立化成	田中 ● 古川 阿野 0-2 杉山	● 平林 0-2 大塚	早山 ● 綿引 佐藤 0-2 藤澤
	12/2		● 0-3	NTT北海道	田中 ● 黒川 阿野 0-2 後藤	● 木村 0-2 宮崎	早山 ● 吉岡 佐藤 0-2 柴山
			● 1-2	山陰合同銀行	田中 ○ 守屋 阿野 2-1 大田	● 平林 0-2 小室	早山 ● 西川 佐藤 0-2 高木
			○ 2-1	百十四銀行	田中 ○ 米田 阿野 2-1 濱口	● 平林 0-2 川西	早山 ○ 楠原 佐藤 2-0 安徳
	12/3		● 1-2	鳥取三洋電機	田中 ● 藤原 阿野 0-2 岡野	○ 平林 2-1 田中	早山 ● 澤 佐藤 1-2 西
2007 (H19) 3-4 第5位	12/1	神奈川県藤沢市 秋葉台文化 体育館	● 1-2	日立化成	阿野 ○ 古川 後藤 2-0 杉山	● 佐藤 0-2 犬飼	川口 ● 綿引 木村 0-2 藤澤
			● 0-3	山陰合同銀行	阿野 ● 高木 後藤 0-2 守屋	● 木村 0-2 小柳	川口 ● 丸岡 佐藤 0-2 山田
	12/2		○ 2-1	北國銀行	阿野 ○ 牧畠 後藤 2-0 中川	● 木村 0-2 鍛冶	川口 ○ 加賀 佐藤 2-1 村上
			● 0-3	鳥取三洋電機	阿野 ● 藤原 後藤 1-2 岡野	● 佐藤 0-2 宮崎	川口 ● 山本 木村 0-2 田中
			○ 2-1	TEAM神奈川	阿野 ○ 坂田 後藤 2-0 野村	○ 佐藤 2-0 武石	川口 ● 矢田 木村 0-2 村崎
	12/3		● 0-3	岐阜トリパン	阿野 ● 脇田 後藤 0-2 山田	● 佐藤 0-2 岩田	川口 ● 尾崎 木村 0-2 リンダン
			○ 2-1	百十四銀行	阿野 ○ 安藤 後藤 2-0 川西	○ 佐藤 2-0 安徳	川口 ● 楠原 木村 1-2 濱口
2008 (H20) 4-3 第4位	12/12	愛知県大府市 市民体育館	● 0-3	岐阜トリパン	後藤 ● 山田 工藤 0-2 脇田	● 永野 0-2 梅津	川口 ● 林 阿野 0-2 吉村
			● 1-2	山陰合同銀行	後藤 ○ 藤原 工藤 2-0 白山	● 永野 1-2 小柳	佐藤 ● 山田 阿野 0-2 吉岡
	12/13		● 0-3	三洋電機CE	佐藤 ● 山本 阿野 0-2 垣岩	● 永野 0-2 宮崎	後藤 ● 藤原 工藤 0-2 地神
			○ 2-1	日立化成	後藤 ○ 佐野 工藤 2-0 綿引	○ 永野 2-1 犬飼	川口 ● 藤澤 木村 0-2 名田
			○ 2-1	トヨタ自動車	後藤 ○ 古田 工藤 2-0 板井	● 永野 0-2 高井	佐藤 ○ 増田 阿野 2-1 佐藤
	12/14		○ 3-0	百十四銀行	後藤 ○ 西岡 工藤 2-0 濃口	○ 永野 2-0 安藤	川口 ○ 泥谷 阿野 2-0 川西
			○ 3-0	TEAM神奈川	後藤 ○ 野村 工藤 2-0 矢田	○ 佐藤 2-1 川井	川口 ○ 柿元 阿野 2-1 長原

2部リーグ《女子》詳細II

年 成績	開催日	開催地	勝 敗	対戦チーム	第1ダブルス	シングルス	第2ダブルス
2009 (H21)	11/21	香川県坂出市 市立体育館	○ 2-1	TEAM神奈川	後藤 ○ 川井 工藤 2 - 0 北條	○ 永野 2 - 0 遠藤	佐藤 ● 長原 阿野 1 - 2 井上
			● 0-3	日本ユニシス	後藤 ● 金森 工藤 0 - 2 浅原	● 永野 1 - 2 打田	佐藤 ● 高橋 阿野 0 - 2 松友
	11/22		○ 3-0	トヨタ自動車	後藤 ○ 増田 工藤 2 - 1 佐藤	○ 中川 2 - 0 岡	佐藤 ○ 前之園 阿野 2 - 1 高井
			○ 3-0	百十四銀行	永野 ○ 藤原 工藤 2 - 0 水口	○ 佐藤 2 - 0 安徳	後藤 ○ 安藤 阿野 2 - 1 中村
			● 0-3	広島ガス	佐藤 ● 早川 工藤 0 - 2 橋本	● 中川 0 - 2 後藤	後藤 ● 日野 阿野 0 - 2 小池
4-3 第4位	11/23		● 0-3	三洋電機CE	永野 ● 藤原 工藤 0 - 2 地神	● 佐藤 1 - 2 宮崎	後藤 ● 山本 阿野 1 - 2 垣岩
			○ 2-1	日立化成	永野 ○ 綿引 工藤 2 - 0 土田	○ 佐藤 2 - 1 名田	後藤 ○ 牧ノ瀬 阿野 2 - 0 藤澤
2010 (H22)	11/21	山口県光市 総合体育館	○ 3-0	北國銀行	永野 ○ 浜中 工藤 2 - 0 村上	○ 佐藤 2 - 1 松任	後藤 ○ 鈴木 阿野 2 - 0 木村
			○ 2-1	トヨタ自動車	永野 ● 高井 工藤 1 - 2 増田	○ 佐藤 2 - 0 松村	後藤 ○ 佐藤 阿野 2 - 0 前園
	11/22		● 1-2	百十四銀行	永野 ○ 安藤 工藤 2 - 0 藤原	● 佐藤 0 - 2 落合	後藤 ● 安藤 阿野 0 - 2 水口
			● 1-2	日立化成	永野 ○ 井上 工藤 2 - 0 土田	● 佐藤 1 - 2 名田	後藤 ● 綿引 阿野 1 - 2 七谷
			● 1-2	三菱電機	佐藤 ● 小椋 工藤 0 - 2 大迫	● 永野 0 - 2 木村	後藤 ○ 中村 阿野 2 - 1 西川
2-5 第6位	11/23		● 0-3	広島ガス	永野 ● 早川 工藤 0 - 2 小池	● 佐藤 0 - 2 後藤	後藤 ● 橋本 阿野 1 - 2 前田
			● 1-2	三洋電機CE	永野 ● 藤原 工藤 0 - 2 垣岩	● 佐藤 1 - 2 井田	後藤 ○ 山下 阿野 2 - 0 下農
2011 H23	11/18	岐阜県池田町 総合体育館	● 1-2	三菱電機	後藤 ● 中村 阿野 1 - 2 平野	○ 永野 2 - 0 木村	工藤 ● 小椋 中川 0 - 2 大迫
			● 0-3	ヨネックス	後藤 ● 作山 阿野 0 - 2 阿蔦	● 佐藤 0 - 2 田村	工藤 ● 今別府 中川 0 - 2 板垣
	11/19		● 0-3	日立化成	後藤 ● 牧ノ瀬 阿野 1 - 2 平山	● 永野 1 - 2 名田	工藤 ● 井上 中川 0 - 2 土田
			○ 2-1	三洋電機CE	工藤 ○ 日野 中川 2 - 0 垣岩	○ 永野 2 - 0 地神	後藤 ● 藤原 阿野 0 - 2 宮崎
			● 1-2	トヨタ自動車	永野 ● 増田 工藤 0 - 2 高井	○ 佐藤 2 - 1 坪井	後藤 ● 前之園 阿野 1 - 2 佐藤
2-5 第6位	11/20		● 1-2	ACTSAIKY	後藤 ● 安念 阿野 1 - 2 竹内	○ 永野 2 - 1 皆川	工藤 ● 小口 中川 0 - 2 北吉
			○ 2-1	北國銀行	工藤 ● 鈴木 中川 0 - 2 木村	○ 永野 2 - 1 市山	後藤 ○ 村上 阿野 2 - 0 浜中
2012 H24	11/23	東京都町田市	○ 2-1	三菱電機	後藤 ○ 中村 工藤 2 - 1 平野	○ 永野 2 - 0 恵良	阿野 ● 小椋 平敷 0 - 2 大迫
			● 0-3	広島ガス	後藤 ● 小池 工藤 0 - 2 桜井	● 永野 0 - 2 武田	阿野 ● 前田 中川 0 - 2 井上
	11/24		● 1-2	日立化成	後藤 ● 井上 工藤 0 - 2 土田	○ 永野 2 - 1 名田	阿野 ● 牧之瀬 中川 0 - 2 平山
			● 0-3	ACTSAIKY	後藤 ● 安念 工藤 0 - 2 小口	● 永野 0 - 2 稲葉	阿野 ● 竹内 中川 0 - 2 西川
			○ 3-0	トヨタ自動車	後藤 ○ 斉藤 工藤 2 - 1 前之園	○ 永野 2 - 0 坪井	平敷 ○ 増田 中川 2 - 0 中村
4-3 第5位	11/25		○ 3-0	北國銀行	後藤 ○ 鈴木 工藤 2 - 0 竹内	○ 永野 2 - 0 市山	平敷 ○ 松任 中川 2 - 0 木村
			○ 2-1	パナソニック 鳥取	後藤 ● 西川 工藤 0 - 2 井田	○ 永野 2 - 0 宮崎	平敷 ○ 地神 中川 2 - 1 下農


佐藤あゆみ




永野陽子

日本リーグ２部優勝（男子）
悲願の１部リーグ参戦・４度のＡクラス
女子は２部リーグ参戦・最高位は４位

2004年（平成16年）1月9日（金曜日）
北海道新聞

バドミントン
日本リーグ男子

JR北海道1部昇格

ベスト電器 事実上廃部
道内2チームに

バドミントンの日本リーグ男子部のJR北海道が、来季から同1部（8チーム）へ昇格することとなった。同リーグ男女1部のベスト4が8日までに、経営母体の広島ガスが昇格する。

JR北海道は1953年（昭和28年）、札幌鉄道局（当時）バドミントン同好会として発足し、91年から同リーグ男子2部。1月に3位、翌年2位となったが、その後は成績は伸び悩んでいた。

女子は2部優勝の広島ガスが昇格する。

JR北海道は、昨年11月に行われた日本リーグ2部で7戦全勝優勝、2月に1部最下位との入れ替え戦に臨む予定だったが、1部のベスト電器が事実上廃部したため繰り上げ昇格した。

昨年4月の道実業団選手権（団体戦）で、1部2位の実績がある日本リーグの名門N

2004年（平成16年）1月19日（月曜日）
北海道新聞

JR北海道バドミントン部が初めて、日本リーグ男子1部昇格を決めた。本道実業団の老舗が、創部50周年に悲願を果たした。

JR北海道は、昨年11月に行われた日本リーグ2部で7戦全勝優勝、2月に1部最下位との入れ替え戦に臨む予定だったが、1部のベスト電器が事実上廃部したため繰り上げ昇格した。

昨年4月の道実業団選手権（団体戦）で、1部2位の実績がある日本リーグの名門N

JR北海道バドミントン部男子
1部昇格
創部50周年 悲願果たす

TT北海道と4時間半に及ぶ死闘。負けはしたが、互角の戦いぶりは選手に確かな自信を与えた。

7月の全日本実業団選手権（団体戦）で山陽鉄・札幌鉄道局連合軍時代の1995年以来の3位、9月の全日本社会人選手権では竹村純（23）、相手の倒部以来のシングルス3位となり、チーム力の高さを証明した。「入れ替え戦になっても勝てる」と自信を深めている。

（松村穂市総監督）

スポーツ広場

身近な大会の FAX(0

2003年（平成15年）11月25日（火曜日）
北海道新聞

JR北海道が男子2部初V

バドミントンの日本リーグ2部男子は最終日の24日、秋田県立総合体育館で8試合を行い、ここまで5連勝のJR北海道が北国銀行（石川）と東海興業（愛知）をいずれも2―1で下して7戦全勝で初優勝した。

JR北海道は1部昇格をかけ来年2月22日、東京で1部最下位チームとの入れ替え戦に臨む。

2009年（平成21年）11月4日（水曜日）
北海道新聞

バドミントン
日本リーグ（3日、札幌・西岡）

JR北海道 開幕2連勝

道産子3選手が躍動

JR北海道は男子がTと予想しい立ちがりを勝利に導いただが、そこから盛り返していけば強さが



2004年（平成16年）1月19日（月曜日）
交通新聞

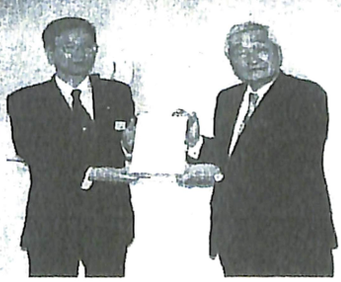
日本リーグ一部に昇格

JR北海道男子バドミントン部

当面の目標は、4年の雪辱

2004年（平成16年）3月23日（火曜日）
交通新聞

JR北海道バドミントン部
日本リーグ一部昇格
認定証の授与式



宮永委員長（右）から日本リーグ認定証を受ける小池JR北海道社長

2007年（平成19年）12月30日（日曜日）

2012年（平成24年）11月12日（月曜日）
北海道新聞（夕刊）

バドミントン
日本リーグ（11日、江別市民体育館ほか）

JR北海道が3連勝

男女各3試合を行い、JR北海道は第1ダフルスの高島・早坂組シングルスの竹村がそれぞれ2―1で逆転勝ち。第2ダブルスの野・瀧部組は2―0で勝った。（記事は関分）

▽男子
JR北海道 3―0 東北マクス
▽ラケット変え、復調
JR北海道はエース竹村の活躍もあり開幕から3連勝。



2005年（平成17年）11月24日（木曜日）
スポーツ報知

バドミントン
日本リーグ05札幌大会（23日・きたえーる）

JR北海道3勝目 Aクラス見えた

見えた初のAクラス入り。男子で1部昇格2年目のJR北海道は、エース竹村純（23）の活躍などで、くまもと八代YKAPを2―1で下し3勝目（1敗）をマーク、目標の上位4チ



2007年（平成19年）12月30日（日曜日）
スポーツ報知

バドミントン日本リーグ最終節

JR北海道 東海興業に3―0で4位

竹村“まな娘パワー”で勝利貢献

2年ぶりのAクラス復帰

男子のJR北海道は東海興業に3―0で快勝。通算4勝3敗で勝ち越し、昨年の6位を上回る4位で終えた。

2年ぶりAクラス復帰の原動力は、シングルスで勝利を積み重ねた日本



竹村 純





全国鉄バドミントン大会《主催：日本国有鉄道》

回	開催	開催地	参	成績	勝敗	チーム名	監督	登録選手団	個人戦		
第１回	S36	神奈川県川崎市	8	優勝	4-0	(男子)北海道		渋井 明・熊倉昭二・平沢啓裕 中村美次・伊藤善夫	男子単	優勝	渋井　明
			8	ﾌﾞﾛｯｸ3位	1-2	(女子)北海道		江端智恵子・鈴木玲子 工藤和子		準優勝	平沢啓裕
										第３位	伊藤善夫・熊倉昭二
									男子複	優勝	熊倉昭二/平沢啓裕
第２回	S37	大阪府大阪市	8	優勝	4-0	(男子)北海道	島　辰夫	渋井 明・山崎勇吉・平沢啓裕 伊藤善夫・西本秀一郎	男子単	優勝	伊藤善夫
			8		0-3	(女子)北海道	島　辰夫	土橋和子・工藤和子 鈴木玲子・坂東芙美子		準優勝	平沢啓裕
										第３位	大石興徳
第３回	S38	北海道札幌市	8	優勝	4-0	(男子)北海道	西本英一郎	渋井 明・富田 巌・平沢啓裕 伊藤善夫・西本秀一郎	男子単	優勝	平沢啓裕
				準優勝	3-0	(男子)札幌局	田中昭夫	熊倉昭二・中村美次 高野祐吉・島　辰雄		準優勝	大石興徳
			8		0-3	(女子)北海道		土橋和子・工藤和子 鈴木玲子・板東芙美子		第３位	渋井 明・田中昭夫
			8		0-2	(女子)札幌局	田中昭夫	川崎洋子・岡祐子・根本玲子 名兜那良子・石原絹子	女子単	第３位	土橋和子
第４回	S39	長崎県長崎市	8	優勝	4-0	(男子)北海道	青山繁樹	平沢啓裕・福島智徳・渋井 明 山崎勇吉・田中昭夫	男子単	優勝	平沢啓裕
										準優勝	渋井明
										第３位	田中昭夫
			8	ﾌﾞﾛｯｸ2位	2-1	(女子)北海道	青山繁樹	土橋和子・筒井輝子 鈴木玲子・村田泰子	女子単	優勝	村田泰子





全国鉄バドミントン大会《主催：国鉄バドミントン連盟》

回	開催	開催地	参	成績	勝敗	チーム名	監督	登録選手団
第１回	S51	東京都品川区	16	優勝	3-0	北海道総局	渋井　明	井川誠一・高沢孝一・新田　豊・東　政文・山田　元・柴田賢治 山本晴通・山田　篤・平　秋義
第２回	S51	宮城県仙台市	18	優勝	3-0	北海道総局	渋井　明	井川誠一・新田　豊・東　政文・平　秋義・柴田賢治・山田好明 山本晴通・山田　元・廣川幸児・中川弘明
第３回	S52	埼玉県上尾市	32	優勝	3-0	北海道総局	渋井　明	井川誠一・長山森久・東　政文・山田好明・柴田賢治・山本晴通 廣川幸児・柴田　充
第４回	S53	福岡県北九州市	29	優勝	4-0	札幌管理局	渋井　明	新田　豊・長山森久・熊倉昭二・山田　元・山田好明・柴田賢治 山本晴通・野沢　明・平　秋義・廣川幸児・岸田　晃・中川弘明
第５回	S54	北海道札幌市	26	優勝	4-0	札幌管理局	山田　元	山本晴通・柴田賢治・山田 篤・平 秋義・廣川幸児・野沢 明・中川弘明 高崎厚生・高橋　進・渋井　明・長山森久・島　辰夫・岸田晃
第６回	S55	兵庫県尼崎市	34	優勝	4-0	札幌管理局	乙武重丸	山本晴通・山田 篤・平 秋義・廣川幸児・野沢 明・高橋 進・島 辰雄・渋井 明 七崎悦範・大石興徳・中川弘明・高崎厚生・平沢啓裕・山田好明・柴田賢治
第７回	S56	宮城県仙台市	34	優勝	4-0	札幌管理局	乙武重丸	廣川幸児・山田好明・山本晴通・高橋　進・高崎厚生・七崎悦範 松村徳市・野沢　晃・大石興徳・渋井　明・白川秀則・松岡　誠
第８回	S57	東京都大田区	38	優勝	4-0	札幌管理局	乙武重丸	廣川幸児・山田好明・山本晴通・高橋　進・高崎厚生・七崎悦範 松村徳市・松岡　誠・大石興徳・渋井　明
第９回	S58	愛知県名古屋市	27	優勝	4-0	札幌管理局	乙武重丸	高崎厚生・山田好明・山本晴通・高橋　進・七崎悦範・松村徳市 島田健司・松岡　誠・奥名泰光・大石興徳・渋井　明
第10回	S59	東京都立川市	31	優勝	4-0	札幌管理局	乙武重丸	高崎厚生・山本晴通・高橋　進・七崎悦範・松村徳市・田中昭夫 松岡　誠・大石興徳・渋井明
第11回	S60	宮城県仙台市	25	優勝	4-0	北海道総局	乙武重丸	高崎厚生・山田好明・山本晴通・高橋　進・七崎悦範・松村徳市 島田健司・松岡誠・奥名泰光・岩本政昭・大石興徳・渋井　明
第12回	S61	福岡県福岡市	15	優勝	4-0	北海道総局	乙武重丸	高崎厚生・山本晴通・高橋　進・七崎悦範・松村徳市・奥名泰光 松岡　誠・田中昭夫・大石興徳



長山森久　渋井 明　大石興徳　田中昭夫　福島智徳　山本晴通　白川秀則　平 秋義　廣川幸児　中川弘明　高崎厚生　野沢 明

全ＪＲバドミントン大会

回	開催	開催地	参加	成績	勝敗	チーム名	監督	登録選手団
第1回	S63	宮城県 仙台市	17	優勝	4-0	JR北海道	乙武重丸	高橋　進・七崎悦範・松村徳市・松岡　誠・奥名泰光・田中昭夫・藤田富雄 岩本政昭・山田好明・渋井 明
第2回	H1	北海道 札幌市	17	優勝	4-0	JR北海道A	乙武重丸	高橋　進・七崎悦範・松村徳市・奥名泰光・山田好明・藤田富雄・田中昭夫 松岡　誠・乙武重丸
				4部 優勝	3-0	JR北海道B	山田　元	大石興徳・岩本政昭・柴田賢治・東 政文・山田 篤・野沢 明・岸田 晃・山田 元 廣川幸児・菅原好孝・石田俊雄・福島智徳・斉藤利幸・白川秀則・川上洋志端
第3回	H2	石川県 金沢市	20	優勝	4-0	JR北海道	乙武重丸	松村徳市・高橋　進・松岡　誠・山田好明・藤田富雄・田中昭夫・奥名泰光 七崎悦範・乙武重丸・渋井　明
第4回	H3	静岡県 浜松市	22	優勝	4-0	JR北海道	乙武重丸	松村徳市・高橋　進・松岡　誠・馬木貴之・米田紀興・藤田富雄・田中昭夫 七崎悦範・山田好明・乙武重丸・渋井　明
第5回	H4	福岡県 北九州市	19	優勝	4-0	JR北海道	乙武重丸	松村徳市・高橋　進・松岡　誠・馬木貴之・米田紀興・高嶋　進・田口英史 七崎悦範・藤田富雄・乙武重丸・渋井　明
第6回	H5	東京都 葛飾区	20	優勝	4-0	JR北海道	乙武重丸	松村徳市・高橋　進・松岡　誠・馬木貴之・米田紀興・高嶋　進・田口英史 七崎悦範・藤田富雄・佐竹友昭・乙武重丸・渋井　明
第7回	H6	北海道 札幌市	18	優勝	4-0	JR北海道	乙武重丸	松村徳市・郷路一郎・山田好明・馬木貴之・米田紀興・高嶋　進・田口英史 大石興徳・藤田富雄・東　政文・柴田賢治・斉藤利幸・高橋　進・渋井　明
第8回	H7	愛知県 春日井市	19	優勝	4-0	JR北海道	高橋　進	郷路一郎・松村徳市・馬木貴之・米田紀興・寺尾隆司・高嶋　進・田口英史 東　政文・藤田富雄・乙武重丸・渡辺麻由子
第9回	H8	京都府 福知山市	21	優勝	4-0	JR北海道	松村徳市	馬木貴・之米田紀興・寺尾隆司・高嶋　進・田口英史・郷路一郎・松村徳市 東　政文・藤田富雄・乙武重丸・渡辺麻由子
第10回	H9	鹿児島県 鹿児島市	20	優勝	4-0	JR北海道	松村徳市	馬木貴之・米田紀興・寺尾隆司・高嶋　進・田口英史・小倉隆司・松村徳市 東　政文・藤田富雄・乙武重丸・西村美香・渡辺麻由子
第11回	H10	東京都 葛飾区	18	優勝	4-0	JR北海道	松村徳市	馬木貴之・米田紀興・寺尾隆司・田口英史・小倉隆司・小野敏和・山口陽介 東　政文・吉川隆博・松村徳市・乙武重丸・西村美香・早山里子・渡辺麻由子
第12回	H11	宮城県 塩釜市	18	優勝	4-0	JR北海道	松村徳市	馬木貴之・米田紀興・寺尾隆司・田口英史・小倉隆司・小野敏和・山口陽介 東　政文・松本　章・松村徳市・乙武重丸・西村美香・早山里子
第13回	H12	北海道 札幌市	19	優勝	4-0	JR北海道	寺尾隆司	小倉隆司・田口英史・小野敏和・松本　章・寺尾隆司 西村美香・早山里子・高橋律恵・山重直美
第14回	H13	大阪府 吹田市	19	優勝	4-0	JR北海道	寺尾隆司	小倉隆司・田口英史・小野敏和・香川祐一・松本　章・竹村　純・寺尾隆司 西村美香・早山里子・高橋律恵・山重直美
第15回	H14	愛知県 大府市	18	優勝	4-0	JR北海道	寺尾隆司	小倉隆司・小野敏和・香川祐一・松本　章・竹村　純・寺尾隆司 西村美香・早山里子・高橋律恵・山重直美・平林千佳・佐藤あゆみ
第16回	H15	長崎県 長崎市	18	優勝	4-0	JR北海道	小倉隆司	小野敏和・小倉隆司・松本　章・橋村竜彦・竹村　純・松村徳市・乙武重丸 西村美香・早山里子・高橋律恵・山重直美・平林千佳・佐藤あゆみ
第17回	H16	新潟県 長岡市	20	優勝	4-0	JR北海道	小倉隆司	小野敏和・小倉隆司・松本　章・橋村竜彦・竹村　純・多田亮太・松村徳市 西村美香・早山里子・高橋律恵・平林千佳・佐藤あゆみ・田中美与子
第18回	H18	北海道 江別市	15	優勝	4-0	JR北海道	小野敏和	松本　章・橋村竜彦・多田亮太・竹村　純・関野有起・鈴木知道・小野敏和 早山里子・田中美与子・平林千佳・佐藤あゆみ・阿野加代子・木村有里
第19回	H19	愛知県 大府市	16	優勝	4-0	JR北海道	乙武重丸	松本　章・橋村竜彦・多田亮太・竹村　純・関野有起・鈴木知道・小野敏和 川口美与子・佐藤あゆみ・阿野加代子・後藤佳代・木村有里
第20回	H20	福岡県 北九州市	20	優勝	4-0	JR北海道	小倉隆司	松本　章・橋村竜彦・多田亮太・竹村　純・関野有起・鈴木知道・小林徹太郎 川口美与子・佐藤あゆみ・阿野加代子・後藤佳代・木村有里・工藤亜紀 小倉隆司・松村徳市・乙武重丸
第21回	H21	福島県 須賀川市	20	優勝	4-0	JR北海道	小倉隆司	松本 章・多田亮太・竹村 純・関野有起・鈴木知道・早坂幸平・小林徹太郎 佐藤あゆみ・阿野加代子・後藤佳代・工藤亜紀・永野陽子・中川まどか 牧野公亮・小倉隆司・松村徳市・乙武重丸
第22回	H22	東京都 立川市	23	優勝	4-0	JR北海道	小倉隆司	関野有起・竹村　純・鈴木知道・多田亮太・小林徹太郎・牧野公亮・早坂幸平 佐藤あゆみ・阿野加代子・後藤佳代・工藤亜紀・永野陽子・中川まどか 松本　章・小倉隆司・松村徳市
第23回	H23	岩手県 北上市	21	優勝	4-0	JR北海道	小倉隆司	関野有起・竹村　純・早坂幸平・多田亮太・高島雅彦・小林徹太郎・牧野公亮 佐藤あゆみ・阿野加代子・後藤佳代・工藤亜紀・永野陽子・中川まどか
第24回	H24	北海道 旭川市	21	優勝	4-0	JR北海道	小倉隆司	高島雅彦・関野有起・竹村 純・早坂幸平・牧野公亮・渡邊一磨・田渕雄喜 渡部 大・後藤佳代・阿野加代子・工藤亜紀・永野陽子・平敷祥子・中川まどか

個人戦

第21回	H21	福島県 須賀川市	20	優勝	4-0	Aクラス	トーナメント	松本　章/牧野公亮	各チーム代表２０組出場
			20	優勝	4-0	Bクラス	トーナメント	佐藤あゆみ/永野陽子	







全ＪＲバドミントン大会《詳細》

開催	勝敗	対戦	第１ダブルス	第２ダブルス	第３ダブルス(40歳又は女子)	第１シングルス	第２シングルス
第16回 (H15) 10/23･24 長崎県長崎市 県民総合体育館 4-0 優勝	○ 5-0	貨物(A)	小野 ○ 二階堂 松本 2-0 宮澤	小倉 ○ 石崎 橋村 2-0 香西	西村 ○ 山本 山重 2-0 菊池	○ 二階堂 竹村 2-0	MC ○ MC 平林 2-1 山本
	○ 4-1	東日本盛岡支社	松本 ○ 伊藤 竹村 2-0 尾形	小倉 ○ 石川 小野 2-0 玉熊	早山 ● 岩渕 佐藤 1-2 浅沼	○ 橋村 2-0 尾形	○ 松本 2-0 菅原
	○ 4-1	東日本東京	松本 ○ 下村 竹村 2-0 鈴木	小倉 ○ 佐川 小野 2-0 山本	高橋 ● 中島 平林 0-2 小林	○ 橋村 2-0 下村	○ 竹村 2-0 山本
	○ 5-0	東日本仙台支社	松本 ○ 黒田 竹村 2-0 村上	小倉 ○ 中村 小野 2-0 鍋倉	西村 ○ 黒澤 山重 2-0 石井	○ 橋村 2-0 黒田	MC ○ MC 佐藤 2-0 村上
第17回 (H16) 10/21･22 新潟県長岡市 市民体育館 4-0 優勝	○ 4-1	西日本(A)	松本 ○ 奥野 竹村 2-0 中村	小倉 ○ 浅井 小野 2-0 松下	田中 ● 船越 佐藤 1-2 竹中	○ 松本 2-0 中村	MC ○ 平林 2-1 竹中
	○ 5-0	貨物(A)	松本 ○ 畑中 竹村 2-0 寺原	小倉 ○ 渡辺 小野 2-0 金澤	平林 ○ 山本 佐藤 2-0 菊池	○ 二階堂 竹村 2-0	MC ○ 田中 2-0 金澤
	○ 5-0	東日本仙台支社	松本 ○ 黒田 竹村 2-0 二瓶	小倉 ○ 村上 小野 2-0 鈴木	田中 ○ 鈴木 佐藤 2-0 柳沼	○ 松本 2-0 鈴木	MC ○ 佐藤 2-0 鈴木
	○ 4-1	東日本盛岡	松本 ○ 千田 竹村 2-0 菅原	小倉 ● 伊藤 小野 0-2 尾形	田中 ○ 浅沼 佐藤 2-1 岩渕	○ 松本 2-0 尾形	○ 竹村 2-0 菅原
第18回 (H18) 10/19･20 北海道江別市 市民体育館 4-0 優勝	○ 5-0	貨物(A)	松本 ○ 香西 竹村 2-0 渡辺	関野 ○ 梅田 鈴木 2-0 金澤	早山 ○ 山本 佐藤 2-0 石崎	○ 橋村 2-0 天野	○ 二階堂 多田 2-0
	○ 5-0	東日本東京A	関野 ○ 斎藤 鈴木 2-0 中村	橋村 ○ 本間 多田 2-0 相馬	田中 ○ 加藤 阿野 2-0 小林	○ 竹村 2-0 斎藤	○ 松本 2-0 山内
	○ 5-0	東日本仙台支社	関野 ○ 佐々木 鈴木 2-0 黒田	松本 ○ 鈴木 多田 2-0 増子	早山 ○ 鍋倉 佐藤 2-1 石井	○ 竹村 2-0 鈴木	MC ○ 平林 2-1 黒田
	○ 4-1	東日本盛岡支社	関野 ○ 伊藤 鈴木 2-0 菅原	田中 ● 千田 阿野 0-2 小岩	早山 ○ 鬼柳 佐藤 2-0 浅沼	○ 橋村 2-0 尾形	○ 竹村 2-0 伊藤
第19回 (H19) 10/11･12 愛知県大府市 市民体育館 4-0 優勝	○ 5-0	東海(A)	松本 ○ 江頭 竹村 2-0 今西	関野 ○ 下島 鈴木 2-0 西山	阿野 ○ 山田 後藤 2-0 佐原	○ 関野 2-0 下島	○ 阿野 2-0 植松
	○ 5-0	東日本東京A	関野 ○ 長谷川 鈴木 2-0 斎藤	橋村 ○ 山内 松本 2-0 中村	川口 ○ 中島 阿野 2-1 小林	○ 松本 2-0 中村	○ 後藤 2-0 山内
	○ 5-0	東日本仙台支社	関野 ○ 黒田 鈴木 2-0 鈴木	橋村 ○ 日景 松本 2-0 二瓶	阿野 ○ 鍋倉 後藤 2-1 鈴木	○ 鈴木 2-0 黒澤	○ 後藤 2-0 石井
	○ 4-1	東日本盛岡支社	橋村 ○ 千田 松本 2-0 尾形	関野 ○ 菅原 鈴木 2-0 伊藤	阿野 ○ 岩渕 後藤 2-0 浅沼	○ 竹村 2-0 尾形	● 阿野 0-2 菅原
第２０回 (H20) 10/23･24 福岡県北九州市 市立体育館 4-0 優勝	○ 5-0	東日本仙台	多田 ○ 鈴木 関野 2-0 二瓶	後藤 ○ 鍋倉 工藤 2-0 中村	佐藤 ○ 鈴木 阿野 2-0 石井	○ 竹村 2-0 鈴木	MC ○ 川口 2-0 二瓶
	○ 4-1	西日本(A)	多田 ○ 健 鈴木 2-0 西	松本 ○ 奥野 小林 2-0 浅井	川口 ● 松下 木村 1-2 林	○ 関野 2-0 浦上	○ 竹村 2-0 西
	○ 5-0	東日本東京	多田 ○ 山本 鈴木 2-0 松岡	後藤 ○ 山内 工藤 2-0 天野	川口 ○ 加藤 木村 2-0 桜庭	○ 工藤 2-0 庄司	MC ○ 後藤 2-0 山内
	○ 5-0	東日本盛岡A	多田 ○ 伊藤 鈴木 2-0 小岩	松本 ○ 玉熊 小林 2-0 尾形	佐藤 ○ 岩渕 阿野 2-0 浅沼	○ 関野 2-0 尾形	○ 竹村 2-0 小岩
第２１回 (H21) 10/29･30 福島県須賀川市 須賀川アリーナ 4-0 優勝	○ 5-0	貨物(A)	多田 ○ 金澤 小林 2-0 菅原	松本 ○ 二階堂 牧野 2-0 石崎	工藤 ○ 渡辺 永野 2-0 香西	MC ○ 二階堂 永野 2-0	MC ○ 佐藤 2-0 金澤
	○ 5-0	西日本(A)	多田 ○ 西 小林 2-0 健	松本 ○ 奥野 牧野 2-0 青山	佐藤 ○ 松下 工藤 2-1 林	○ 小林 2-0 竹中	○ 牧野 2-0 西
	○ 5-0	東日本仙台A	多田 ○ 斎藤 小林 2-0 長濱	松本 ○ 鈴木 牧野 2-0 黒田	工藤 ○ 中村 永野 2-0 鍋倉	MC ○ 永野 2-1 長濱	MC ○ 佐藤 2-0 黒田
	○ 5-0	東日本盛岡A	多田 ○ 小岩 小林 2-0 菅原	松本 ○ 伊藤 牧野 2-0 千田	佐藤 ○ 斎藤 工藤 2-0 岩渕	○ 小林 2-0 伊藤	○ 牧野 2-0 千田
	個人戦	クラス		2回戦	3回戦	準決勝	決勝
個人戦 A・Bクラス 優勝		A (一般)		松本 ○ 丸山 牧野 2-0 栗林 (東日本長野)	松本 ○ 本城 牧野 2-0 首藤 (九州A)	松本 ○ 斎藤 牧野 2-0 長濱 (東日本仙台A)	松本 ○ 伊藤 牧野 2-0 小岩 (東日本盛岡A)
		優勝：松本　章/牧野公亮					
		B (40歳以上及び女子)		佐藤 ○ 玉川 永野 2-0 柄沢 (東日本長野)	佐藤 ○ 井上 永野 2-1 竹本 (九州A)	佐藤 ○ 香西 永野 2-0 渡辺 (貨物A)	佐藤 ○ 松下 永野 2-1 林 (西日本A)
		優勝：佐藤あゆみ/永野陽子					
第２２回 (H22) 11/1･2 東京都立川市 泉市民体育館 4-0 優勝	○ 5-0	東海(A)	小林 ○ 佐藤 牧野 2-0 井上	後藤 ○ 中山 阿野 2-1 諸井	佐藤 ○ 山本 工藤 2-0 一木	MC ○ 永野 2-1 中山	○ 小林 2-0 井上
	○ 5-0	貨物(A)	小林 ○ 坂口 牧野 2-0 佐瀬	佐藤 ○ 二階堂 工藤 2-0 金沢	後藤 ○ 香西 阿野 2-0 渡辺	○ 牧野 2-0 坂口	MC ○ 永野 2-0 金澤
	○ 4-1	東日本盛岡A	小林 ○ 伊東 牧野 2-0 長濱	工藤 ● 尾形 永野 0-2 外川	後藤 ○ 岩渕 阿野 2-0 斉藤	○ 小林 2-0 尾形	○ 牧野 2-0 外川
	○ 5-0	東日本仙台A	小林 ○ 落合 牧野 2-0 篠部	工藤 ○ 黒田 永野 2-0 日景	佐藤 ○ 中村 中川 2-0 鍋倉	MC ○ 佐藤 2-0 金野	MC ○ 中川 2-0 鈴木
第２３回 (H23) 9/21･22 岩手県北上市 総合体育館 4-0 優勝	○ 5-0	西日本	早坂 ○ 健 高島 2-0 西	小林 ○ 奥野 牧野 2-0 北村	阿野 ○ 松下 後藤 2-0 林	○ 竹村 2-0 日高	MC ○ 佐藤 2-0 山田
	○ 5-0	貨物A	関野 ○ 金澤 多田 2-0 菅原	早坂 ○ 渡辺 高島 2-0 坂口	工藤 ○ 石崎 中川 2-0 香西	○ 小林 2-0 菅原	MC ○ 永野 2-0 沖本
	○ 5-0	東海	関野 ○ 佐藤 多田 2-0 中島	工藤 ○ 高尾 永野 2-0 井上	阿野 ○ 西村 後藤 2-0 江本	○ 竹村 2-0 中山	MC ○ 佐藤 2-0 中島
	○ 5-0	東日本盛岡A	早坂 ○ 伊藤 高島 2-0 長濱	小林 ○ 外川 牧野 2-0 門脇	阿野 ○ 岩渕 後藤 2-0 斉藤	○ 関野 2-0 尾形	○ 竹村 2-0 門脇
第２４回 (H24) 9/20･21 北海道旭川市 総合体育館 4-0 優勝	○ 5-0	東日本横浜支社	早坂 ○ 中村 渡部 2-0 篠部	工藤 ○ 隅田 永野 2-0 堤	阿野 ○ 片瀬 後藤 2-0 荒井	○ 竹村 2-0 中村	○ 平敷 2-0 篠部
	○ 5-0	貨物(A)	早坂 ○ 金澤 田渕 2-0 菅原	牧野 ○ 石崎 渡部 2-0 坂口	中川 ○ 香西 平敷 2-0 天野	○ 渡邊 2-0 二階堂	○ 永野 2-0 坂口
	○ 5-0	西日本(A)	関野 ○ 西 田渕 2-0 健	早坂 ○ 日高 高島 2-0 斉藤	後藤 ○ 松下 工藤 2-0 林	○ 渡邊 2-0 北村	○ 永野 2-1 日高
	○ 5-0	東日本盛岡A	早坂 ○ 伊藤 高島 2-0 外川	牧野 ○ 尾形 阿野 2-0 門脇	中川 ○ 斉藤 平敷 2-0 岩渕	○ 渡部 2-0 外川	○ 永野 2-0 門脇

（株）交通新聞社・（財）鉄道弘済会は全ＪＲバドミントン大会を後援しています。

全ＪＲバドミントン大会（男女混成団体）
無敗の王者２４連覇
全国鉄大会から通算４０回の連続優勝

2006年（平成18年）10月25日　水曜日

交通新聞

全JRバドミントン大会
JR北海道34回目のV

第18回全JRバドミントン大会（全JRバドミントン連盟主催、JR北海道共催、交通新聞社など後援）が18日から20日まで、北海道江別市民体育館で開かれ、JRグループ7社から15チームが参加、3部に分かれてリーグ戦で熱戦を繰り広げた。

試合はダブルス3試合、シングルス2試合の5試合制で、ダブルスのうち1試合は40歳以上の男子か女子。熱気あふれる会場ではネットを挟んでシャトルが激しいスピードで行き交い、ショットが決まるたびにガッツポーズを決める姿が見られた。

1部ではJR北海道が優勝。これで初開催の全国鉄バドミントン大会以来の優勝記録を34回に伸ばした。

各部の上位は次の通り。

【1部】①JR北海道②JR東日本盛岡支社A③JR東日本仙台



熱戦が繰り広げられた全JRバドミントン大会

2009年（平成21年）11月12日　木曜日

交通新聞

北海道が総合21連覇
全JRバドミントン大会

全JRバドミントン連盟主催による「第21回全JRバドミントン大会」（交通新聞社、鉄道弘済会、福島県バドミントン協会など後援、主管・同連盟JR貨物支部）が10月29、30の両日、福島県須賀川市の須賀川アリーナで開かれた。

団体戦にはJRグループ各社（JR四国除く）、JRシステム、鉄道総研から20チームが出場。5チームごとに4つの部に分かれて総当たり戦を行い、総合優勝にはJR北海道が輝いた。JR北海道は同大会21連覇。

また、今大会から個人戦の部が行われ、「一般の部（Aクラス）」では松本章、牧野公亮ペア（JR北海道）、「40歳以上及び女子の部（Bクラス）」では佐藤あゆみ、永野陽子ペア（同）

2007年（平成19年）10月19日　金曜日

交通新聞

全JRバドミントン大会
JR北海道が19年連続V



第19回全JRバドミントン大会（全JRバドミントン連盟主催、交通新聞社など後援）が11、12日、北海道旭川市の市総合体育館で開催された。結果は次の通り。

【1部】①JR北海道（4戦全勝）②JR東日本盛岡B③JR貨物B④JR東日本本社⑤JRシステム⑥JR東海C⑦鉄道総研

【3部】①JR東海C②JR貨物B③JR東日本盛岡B④JR東日本本社⑤JRシステム⑥JR東海C

1部では、JR北海道が実力を発揮。対戦した4チーム、全20試合中、JR東日本盛岡支社Aに1点落としただけという強さを見せつけ



わかば　第56号　発行日　平成3年12月1日





全国鉄バドミントン大会で優勝旗を手にした全道No.1の渋井

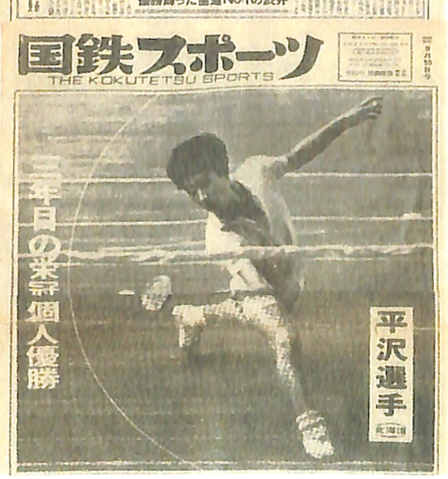
JR北海道が24連覇
JRバドミントン大会

第24回全JRバドミントン大会が20、21の両日、北海道旭川市の市総合体育館で開催された。1部ではJR北海道が圧倒的な強さを見せて優勝。初回からの連続優勝記録を24回に伸ばした。

大会にはJR各社から21チーム、175選手が参加。開会式で全JRバドミントン連盟の林康雄会長（JR東日本常務）が、8月のロンドン五輪で2冠を獲得した竹村純選手（30）を称するとあいさつ、JR北海道の高助雅彦主将の選手宣誓で試合がスタートした。

参加チームは4部に分かれ、それぞれリーグ戦方式でダブルス3試合（うち1試合は40歳以上か女子）、シングルス2試合が行われた。本年度の日本ランキングサーキット、全日本社会人選手権で2冠を獲得した竹村選手（30）を称するとあいさつ、JR北海道の高助雅彦主将の選手宣誓で試合がスタートした。

参加チームは4部に分かれ、それぞれリーグ戦



2012年（平成24年）9月26日　水曜日

交通新聞



サーブを打つ竹村選手（後）

国民体育大会バドミントン競技会

年 国体名	開催日	開催地	役員	種目 成績	戦	勝 敗	対戦 チーム	ダブルス	シングルス	シングルス
第59回 2004 (H16) 彩の国 まごころ 国体	10/24 ～27	埼玉県 久喜市 総合 体育館	副団長:一條 監　督:小倉	成年 男子 3位	2回	○ 2-0	石川県	松本　○　広瀬 竹村　2-0　酒井	NTT　○ (長原)　2-0　村上	竹村　(打ち切り)　広瀬
					3回	○ 2-1	大阪府	松本　○　櫻井 竹村　2-0　大滝	NTT　● (長原)　1-2　銭谷	○ 竹村　2-0　大滝
					準々	○ 2-1	神奈川	松本　●　山下 竹村　1-2　館田	NTT　○ (長原)　2-0　花本	○ 竹村　2-0　山下
					準決	● 0-2	富山県	松本　●　舛田 竹村　1-2　大東	NTT　● (長原)　0-2　大東	竹村　(打ち切り)　舛田
					3決	○ 2-1	滋賀県	松本　●　山口 竹村　1-2　数野	NTT　○ (長原)　2-1　数野	○ 竹村　2-0　山口
第61回 2006 (H18) のじぎく 兵庫国体	10/ 1 ～4	兵庫県 宝塚市 総合 体育館	副団長:吉野 監　督:小倉	成年 男子 4位	2回	○ 2-0	茨城県	NTT　○　黒田 (三上/米)　2-0　小松崎	○ 竹村　2-0　青山	NTT (米)　(打ち切り)　小松崎
					3回	○ 2-1	広島県	NTT　○　時原 (三上/米)　2-0　酒井	● 竹村　1-2　有田	NTT　○ (米)　2-0　酒井
					準々	○ 2-0	宮城県	NTT　○　諸田 (三上/米)　2-0　天野	○ 竹村　2-0　大島	NTT (米)　(打ち切り)　天野
					準決	● 0-2	富山県	NTT　●　舛田 (三上/米)　0-2　大東	● 竹村　0-2　劉	NTT (米)　(打ち切り)　舛田
					3決	● 1-2	秋田県	NTT　●　佐々木 (三上/米)　1-2　西浦	○ 竹村　2-0　佳平	NTT　● (米)　0-2　佐々木
第62回 2007 (H19) 秋田 わか杉 国体	10/ 5 ～8	秋田県 美郷町 仙南 総合 体育館 リリオス	副団長:幅口 監　督:小倉	成年 男子 4位	1回	○ 2-1	岡山県	橋村　○　佐伯 竹村　2-1　佐伯	●　浩 多田　0-2　佐伯	○　祐 竹村　2-1　佐伯
					準々	○ 2-0	宮城県	橋村　○　諸田 多田　2-1　天野	○ 竹村　2-0　大島	(打ち切り)
					準決	● 1-2	富山県	橋村　●　平田 多田　0-2　劉	○ 竹村　2-0　菊田	● 橋村　1-2　劉
					3決	● 0-2	滋賀県	橋村　●　数野 竹村　1-2　早川	● 多田　0-2　数野	(打ち切り)
第63回 2008 (H20) チャレンジ大分	9/27 ～ 10/2	大分県 日田市 総合 体育館	副団長:乙武 監　督:小倉 監　督:松村	成年 男子	1回	● 1-2	大阪府	鈴木　●　喜多 関野　1-2　巽	○ 竹村　2-0　銭谷	● 関野　1-2　喜多
				成年 女子	1回	● 1-2	大分県	後藤　●　赤尾 工藤　0-2　赤尾	○ 早大 (永野)　2-0　江藤	●　美 工藤　0-2　赤尾
第64回 2009 トキめき 新潟国体	10/2 ～5	新潟県 五泉市 総合 会館	団　長:栗原 副団長:一條 監　督:小倉 監　督:松村	成年 男子	1回	○ 2-0	岡山県	竹村　○　佐伯 (高島)　2-1　佐伯	○ 竹村　2-0　佐伯	(打ち切り)
					2回	● 1-2	熊本県	竹村　●　園田 (高島)　1-2　嘉村	○ 早坂　2-0　武山	● 竹村　1-2　園田
				成年 女子	1回	● 1-2	熊本県	工藤　●　岡 永野　1-2　横山	○ 北翔 (幡谷)　2-1　久後	● 永野　0-2　岡
第65回 2010 (H22) ゆめ半島 千葉国体	10/ 1 ～4	千葉県 野田市 関宿 総合 公園 体育館	団　長:栗原 総監督:松村 監　督:小倉 監　督:松本	成年 男子 4位	2回	○ 2-0	栃木県	関野　○　笠井 高島　2-0　福田	○ 竹村　2-0　中里	(打ち切り)
					3回	○ 2-0	岡山県	関野　○　橋村 高島　2-0　佐伯	○ 竹村　2-0　三宅	(打ち切り)
					準々	○ 2-0	宮城県	関野　○　木戸 高島　2-0　菊田	○ 竹村　2-1　佐藤	(打ち切り)
					準決	● 0-2	千葉県	関野　●　佐藤 高島　1-2　山口	● 竹村　1-2　佐藤	(打ち切り)
					3決	● 1-2	富山県	関野　●　橋本 高島　1-2　黒瀬	○ 竹村　2-0　黒瀬	● 関野　0-2　古財
				成年 女子	1回	● 0-2	大分県	工藤　●　赤尾 永野　1-2　三上	● 北翔 (幡谷)　0-2　田村	(打ち切り)
第66回 2011 (H23) おいでませ 山口国体	10/7 ～10	山口県 光市 総合 体育館	総監督:松村 監　督:小倉 監　督:松岡	成年 男子	2回	○ 2-0	石川県	多田　○　青山 関野　2-0　伊東	○ 竹村　2-0　坂井	(打ち切り)
					3回	● 1-2	山口県	多田　●　山平 関野　0-2　米元	○ 竹村　2-0　松尾	● 関野　1-2　山平
				成年 女子	1回	● 0-2	京都府	永野　●　西 工藤　0-2　高橋	● 佐藤　1-2　中川	(打ち切り)
第67回 2012 (H24) ぎふ 清流国体	10/5 ～8	岐阜県 池田町 総合 体育館	団　長:栗原 総監督:松村 監　督:小倉	成年 男子	2回	○ 2-0	茨城県	早坂　○　小松崎 高島　2-1　野口	○　翔 竹村　2-0　小松崎	(打ち切り)
					準々	● 1-2	富山県	早坂　●　園田 高島　0-2　嘉村	○ 竹村　2-1　武下	● 早坂　0-2　園田
				成年 女子	2回	● 0-2	石川県	北翔　●　伊東 (野村/本田)　0-2　樽野	● 永野　0-2　三谷	(打ち切り)



おいでませ山口国体成年男女選手団



ぎふ清流国体成年男女選手団(JR北海道)

NO1

バドミントン国際交流大会

◎過去の国際大会（１９８４～１９９８）

大会名	開催期日	開催地・開催会場	ＪＲ北海道出場選手
北海道・ソ連極東地区親善大会(第２戦)	1984.10.31	札幌中島体育センター	高橋 進(S)
北海道・ソ連極東地区親善大会(第２戦)	1985.7.14～17	ハバロフスク市 ナホトカ市	高橋 進(S)
札幌協会・韓国仁川協会親善交流大会(第１戦)	1993.1.31	札幌市厚別体育館	高嶋 進(S･W)松村徳市(W) 馬木貴之(W)田口英史(W)
札幌協会・韓国仁川協会親善交流大会(第２戦)	1993.2.1	札幌市厚別体育館	松村徳市(S)高嶋 進(S) 馬木貴之(W)米田紀興(W)
平成９年度北海道・ロシア極東地区親善交流大会	1997.7.5～6	NTT札幌体育館	寺尾隆司(S･W)田口英史(S･W) 高嶋 進(S･W)米田紀興(W) 西村美香(S)
平成10年度北海道・ロシア極東地区親善交流大会	1998.7.11～14	ウラジオストック市	小倉隆司(S･W)(MS･MD･XD)

◎２００８日韓バドミントン競技坂出大会(男子)（２００８．５．２４）香川県坂出市立体育館

開催	勝敗	対戦	第１ダブルス	第２ダブルス	第１シングルス	第２シングルス	第３シングルス
第25回 (H20)	● 1-4	韓国	坂本 ● 李在珍 池田 0 - 2 黄智萬	舛田 ● 柔軟性 大束 1 - 2 曹建雨	○ 竹村 2 - 0 洪智勲	● 田児 0 - 2 朴成奐	● 佐々木 0 - 2 孫升模

試合結果　男子 1-4 (W=0-2 S=1-2)・女子 2-3 (W1-1 S=1-2)

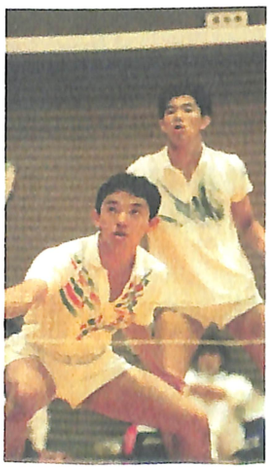


ＪＡＰＡＮ選手団とＫＯＲＥＡ選手団


超満員の坂出大会


高橋 進


松村徳市


高嶋 進/田口英史


米田紀興/馬木貴之


寺尾隆司


小倉隆司

祝・2020年オリンピック・パラリンピック東京開催決定

2013/9/8

バドミントン国際大会

◎ 2005ジャパンオープン（H17.4.5～10）　東京都代々木国立第二体育館
MS 予選 ○ 竹村　純 2-1 ｴﾘｯｸ･ｺﾞｰ(ｱﾒﾘｶ)　MS 予選 ● 竹村　純 0-2 ﾘｰ

◎ 台湾サテライト2005（H17.8.31～9.4）　台湾雲林県斗六市　雲林インドアスタジアム
MS 2回 ● 竹村　純 1-2 謝 裕 興（台湾）　MD 1回 ○ 竹村 / (中西) 2-0 鍾炙育/張世煩（台湾）
2回 ○ 竹村 / (中西) 2-1 ﾃﾞｨｴﾝﾁｪﾅﾍﾞｽ/ｱﾏﾋｯﾄ（ﾌｨﾘﾋﾟﾝ）
準々 ● 竹村 / (中西) 0-2 林家弘/郭任佑（台湾）
中西洋介(日本ユニシス)　ベスト8

◎ ジャカルタサテライト2006（H18.4.4～4.9）　インドネシア　ジャカルタ市
MS 1回 ○ 竹村　純 2-1 SETIAWAN Agus（ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ）XD
2回 ● 竹村　純 1-2 KUSUMA Stenny（ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ）1回 ● 竹村 / (今別府) 1-2 FADLILAH/IRENE（ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ）
今別府靖代（ヨネックス）

◎ フィリピンオープン2006（H18.5.24～28）　フィリピン　マニラ市
MS 1回 ● 竹村　純 0-2 ANAND Chetan（ｲﾝﾄﾞ）　XD 2回 ● 竹村 / (今別府) 0-2 Kennevic/Kennie（ﾌｨﾘﾋﾟﾝ）

◎ 2006ジャパンオープン（H18.10.10～18）東京都代々木国立第二体育館
MS 予選 ● 竹村　純 1-2 Santoso.Simon(ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ)

◎ 大阪国際2007（H19.4.3～8）　大阪府守口市民体育館
MS 1回 ○ 竹村　純 2-0 KARUNARATNE（米国）
2回 ● 竹村　純 0-2 中西洋介（日本ユニシス）

◎ ニュージーランドオープン2007（H19.5.15～20）　オークランド市
MS 1回 ○ 竹村　純 2-0 Dean Nuttaii（ﾆｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ）
2回 ● 竹村　純 0-2 Ander kumitawan（ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ）

◎ オーストラリア国際（H19.5.24～27）　ブリスベン市
MS 2回 ○ 竹村　純 2-0 Hung Pham（ｵｰｽﾄﾗﾘｱ）
3回 ● 竹村　純 1-2 Aian chan（ﾆｭｰｼﾞﾗﾝﾄﾞ）　ベスト8

◎ カナダオープン２００７（H19.9.4～8）サスカトゥーン市
MS 1回 ○ 竹村　純 2-0 TOMMY Mckee（ｶﾅﾀﾞ）
2回 ○ 竹村　純 2-0 Richard Vaughan（英国）
準々 ○ 竹村　純 2-0 Simon Manoury（ﾌﾗﾝｽ）
準決 ○ 竹村　純 2-0 遠藤大由（日本：日体大）
決勝 ● 竹村　純 0-2 Tsuen Seng Lee（ﾏﾚｰｼｱ）　準優勝

◎ ポルトガル国際２００８（H20.3.13～16）ﾗｲｰﾆｱ市
MS 1回 ○ 竹村　純 2-1 MARTINS Pedro（ﾎｰﾗﾝﾄﾞ）
2回 ○ 竹村　純 2-0 OLO YING PING（ﾌﾗﾝｽ）
準々 ● 竹村　純 1-2 PAWAR Anand（ｲﾝﾄﾞ）　ベスト8

◎ クロアチア国際２００８（H20.3.6～9）サグレブ市
MS 予選 ○ 竹村　純 2-0 ZDENJAK Luka（ｸﾛｱﾁｱ）
予選 ○ 竹村　純 2-0 VESLIGAJ Vinko（ｸﾛｱﾁｱ）　ベスト8
予選 ○ 竹村　純 2-1 VIDMIZ Maikov（ﾛｼｱ）
1回 ○ 竹村　純 2-1 PAIXAO Aiexandre（ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ）
2回 ○ 竹村　純 2-0 WOJCIKIEWICZ Stepan（ｶﾅﾀﾞ）
準々 ● 竹村　純 1-2 KEHLHOFNER Erwin（ﾌﾗﾝｽ

◎ 大阪国際2008（H20.4.2～6）大阪府守口市民体育館
MS 1回 ○ 竹村　純 2-1 THONGNUAN（ﾀｲ）
2回 ○ 竹村　純 2-1 菊田健一（日本：トナミ運輸）
準々 ● 竹村　純 1-2 古財和輝（日本：トナミ運輸）

◎ 08アジア選手権（H20.4.15～20）ﾏﾚｰｼｱｼﾞｮﾎｰﾙﾊﾞﾙ市
MS 1回 ● 竹村　純 0-2 BAO Chunlai（中国）

◎ 2008ジャパンオープン（H20.9.16～21）　東京都代々木国立第二体育館
MS 予選 ● 竹村　純 0-2 竹下利一(日本:敬和学園大)

◎ 香港オープン2008（H20.11.24～30）香港特別行政区
MS 予選 ○ 竹村　純 2-0 Qiu Yanbo（中国）
予選 ● 竹村　純 0-2 CHAn Yun Lung（中国）

◎ 大阪国際2009（H21.4.1～5）大阪府守口市民体育館
MS 1回 ○ 竹村　純 2-0 大滝直人（日本：日大）
2回 ○ 竹村　純 2-0 Saensomboonsuk（ﾀｲ）
準々 ● 竹村　純 1-2 KIM Sa Rang（韓国）

◎ 大阪国際2010（H22.4.7～11）　大阪府守口市民体育館
MS 予選 ○ 早坂幸平 2-0 Ehkhboid（ﾓﾝｺﾞﾙ）　XD 1回 ○ 鈴木 / 後藤 2-0 Phuanghua/Hongchoo（ﾀｲ）
予選 ○ 竹村　純 2-0 渡辺達哉（日本：日体大）　2回 ○ 鈴木 / 後藤 2-1 LinYen/Hung Shin Han（台湾）
予選 ○ 早坂幸平 2-0 堀内研人（日本：埼玉栄高）　準々 ● 鈴木 / 後藤 1-2 橋本/藤井（日本：ﾄﾅﾐ･ﾙﾈｻｽ）
予選 ○ 竹村　純 2-0 大滝直人（日本：日大）
1回 ● 早坂幸平 1-2 和田　周（日本：日体大）
1回 ● 竹村　純 1-2 佐藤　黎（日本：日体大）

◎ 大阪国際2011（H23.4.6～10）守口市
MS 1回 ○ 竹村　純 2-1 古賀　輝（日本：早大）
2回 ● 竹村　純 1-2 Han Chou Chu（台湾）

◎ 大阪国際2012（H24.4.4～8）守口市民体育館
XD 1回 ○ 高島 / 後藤 2-1 Chen Chung/Cheng（台湾）
2回 ● 高島 / 後藤 1-2 垉畑/横山（日本：ﾕﾆｼｽ･ﾙﾈｻｽ）

◎ 大阪国際2013（H25.4.3～7）　大阪府守口市民体育館
MS 予選 ○ 竹村　純 2-0 ﾏｲﾅｷｰ･ﾏｰﾌｨﾝ（ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ）
予選 ○ 竹村　純 2-0 ｷｯﾃｲﾌｫﾝ･ﾁｬｲﾛｼﾞ ｶﾝｼﾞｬﾅ（タイ）
1回 ○ 竹村　純 2-0 ﾌﾞｰﾄﾞﾁｬﾗｯﾄ･ﾋﾟｼｯﾄ（タイ）
2回 ○ 竹村　純 2-0 ﾀﾝ･ｷｬﾝﾒﾝ（ﾏﾚｰｼｱ）
準々 ○ 竹村　純 2-1 銭谷　翔（日本：トナミ運輸）
準決 ○ 竹村　純 2-1 西本幸太（日本：中大）
決勝 ● 竹村　純 0-2 古財和輝（日本：龍谷大職）　準優勝


竹村　純


竹村　純


早坂幸平


後藤佳代/高島雅彦


鈴木知道/後藤佳代


竹村 純

竹村 純が国際大会で準優勝
カナダオープン2007
大阪国際チャレンジ2013

2007年（平成19年）9月11日（火曜）
（19）11版B
スポーツニッポン
スポニチワイド
北海道
情報をお寄せください メルアド:hokkaidou@sponichi.co.jp

帰国した竹村（右）は乙武総監督と握手



バドミントン カナダオープンで準V

竹村 JR北海道「五輪に出たい」

凱旋帰国

バドミントン・カナダオープン07の男子シングルスで準優勝を飾った竹村純（25＝JR北海道）が10日、凱旋帰国した。今大会が7回目の世界大会挑戦で、これまでは今年5月のオーストラリア国際のベスト16が最高。JR北海道通算55年の歴史の中で世界大会の準Vは史上初で、竹村は「結果を残せて良かった。世界と差はなかった」と自信の笑み。乙武重丸総監督（58）も「代表選手とは違って、仕事との掛け持ちで競技をやっているから、この結果は快挙」と最敬礼した。

都市対抗3位の野球部の活躍が追い風となった。「自分も結果を残さないと影が薄くなる」と世界ランキング19位の男が、50位前後の外国人ランカーを相手に奮闘。苦しい時は携帯の待ち受け画面にしている愛娘・実優ちゃんの姿を見て心を落ち着かせたといい、「家族の力は大きい」と目尻を下げた。

次戦は全日本社会人（21日、鳥取）。竹村は「国内で結果を残して、代表に復帰して五輪に出たいですね」。海外で快挙を成し遂げた道彦子が、北京五輪に向けて走りだした。（橋本 大）

2007年（平成19年）12月1日
スポーツニッポン
スポニチワイド
北海道
情報をお寄せください メルアド:hokkaidou@sponichi.co.jp



竹村 純

9月バドミントン カナダオープンで準優勝

JR北海道 竹村 代表入り

同部初の快挙

JR北海道バドミントン部・竹村純（25）の08年日本代表（シングルス）入りが13日、決まった。55年の歴史を誇る同部からの日本代表選出は史上初の快挙となった。



竹村は9月のカナダオープン07の男子シングルスで準優勝。さらに同月の全日本総合選手権（ともにシングルス）でも3位と安定した成績を残し、「これまでの結果を評価していただきうれしい。不安も大きいが、1試合、1試合やるだけ。難しいとは思うが、北京の全日本総合選手権（ともにシングルス）でも3位と安定した成績を残し、「これまでの結果を評価していただきうれしい。不安も大きいが、1試合やるだけ。難しいとは思うが、北京

2007年（平成20年）11月26日（水曜）
海道新聞

短信

◇竹村、予選で敗退 バドミントンの香港オープンは25日、香港で行われ、男子シングルスの竹村純（JR北海道）は予選2回戦で中国選手に敗れ、予選突破はならなかった。女子シングルスの後藤愛（NTT東日本）は香港選手を下し、本戦に進んだ。（時事）



2位●竹村 純（JR北海道） 銭谷、西本などをファイナルの末に下し、勢いのある若手の壁となった

2007年（平成19年）9月10日
日刊スポーツ

バドミントン◆準優勝

8日にカナダ・サスカトウーンで行われたカナダ・オープンの男子シングルスで竹村純（JR北海道）が準優勝した。

▽混合ダブルス2回戦
鈴木 後藤 2 ＝JR北海道
藤井 橋本 2 ＝トナミ運輸
ネサス
21 21 15 — 14 7 21 1
21 21 15 — 18 18 21 1
▽同準々決勝
イェン ジュイ ハン ＝台湾

2010年（平成22年）4月10日（土曜日）
北海道新聞

バドミントン

鈴木、後藤組は準々決勝で敗退

■大阪国際チャレンジ

（9日・大阪府守口市民体育館） 第3日は、混合ダブルスで鈴木知道、後藤佳代（JR北海道）組が2回戦で台湾ペアを破ったが、準々決勝で橋本博且（トナミ運輸）藤井瑞希（ルネサス）組に21―15、7―21、14―21で敗れた。注目の池田信太郎（日本ユニシス）潮田玲子（三洋電機）組も、準々決勝で早川賢一（日本ユニシス）松尾静香（三洋電機）組に15―21、15―21で敗れた。

日本ランキングサーキット大会

◎ 2004(H16)年度大会（5/20～22）　神奈川県横須賀市横須賀アリーナ

MS 1回 ● 竹村　純 1-2 川口　（NTT東日本）
MD 1回 ○ 松本 / 竹村 2-1 山下/小林　（YKKAP）
2回 ● 松本 / 竹村 0-2 舛田/大東　（トナミ運輸）

◎ 2005(H17)年度大会（11/29～12/4）　兵庫県宝塚市立総合体育館

MS 1回 ● 関野有起 1-2 松本　（NTT東日本）
1回 ○ 竹村　純 2-1 長原　（NTT北海道）
2回 ● 竹村　純 0-2 中西　（日本ユニシス）
MD 1回 ● 竹村 / 関野 1-2 平田/小宮山　（日体大・日大助）
1回 ● 松本 / 鈴木 1-2 今井/沢田　（トナミ・日大講）
1回 ● 阿野 / 後藤 0-2 小椋/潮田　（三洋電機）

◎ 2006(H18)年度大会（8/15～17）　神奈川県横浜市日体大米本記念体育館

MS 1回 ○ 竹村　純 2-1 川口　（NTT東日本）
2回 ○ 竹村　純 2-1 佐伯　（NTT東日本）
3回 ○ 竹村　純 2-0 大東　（トナミ運輸）
準決 ○ 竹村　純 ｷｸｿ 佐藤　（NTT東日本）
決勝 ● 竹村　純 1-2 佐々木　（北都銀行）
MD 予選 ● 竹村 / 関野 1-2 福井/廣部　（日本ユニシス）

準優勝(男子単)　竹村 純



◎ 2007(H19)年度大会（4/20～4/22）　神奈川県藤沢市秩父宮記念体育館

MS 1回 ○ 竹村　純 2-1 和田　（埼玉栄高校）
2回 ● 竹村　純 0-2 大東　（トナミ運輸）
MD 1回 ● 橋村 / 竹村 1-2 数野/早川　（日本大学）

◎ 2008(H20)年度大会（5/29～6/1）　埼玉県幸手市アスカル幸手

MS 1回 ○ 竹村　純 2-0 千京　（勝山高校）
2回 ○ 竹村　純 2-0 上田　（早稲田大）
準決 ○ 竹村　純 2-0 古財　（トナミ運輸）
決勝 ● 竹村　純 0-2 佐々木　（北都銀行）
MD 1回 ● 橋村 / 竹村 0-2 平田/黒瀬　（トナミ運輸）
17決 ● 橋村 / 竹村 0-2 佐伯/大嶋　（日本大学）

準優勝(男子単)　竹村 純



◎ 2009(H21)年度大会（5/23～26）　埼玉県さいたま市記念総合体育館

第3位(男子単)　竹村 純

MS 1回 ○ 早坂幸平 2-1 佐藤　（日本体育大）
1回 ○ 竹村　純 2-0 平池　（立命館大学）
2回 ○ 早坂幸平 2-1 上田　（早稲田大学）
2回 ○ 竹村　純 2-1 和田　（日本体育大）
3回 ● 早坂幸平 0-2 佐々木　（トナミ運輸）
3回 ○ 竹村　純 2-1 古財　（トナミ運輸）
準決 ● 竹村　純 0-2 佐々木　（トナミ運輸）
WS 1回 ● 永野陽子 0-2 脇田　（岐阜トリバン）
17決 ● 永野陽子 1-2 柏原　（ヨネックス）



◎ 2010(H22)年度大会（5/22～26）　埼玉県さいたま市記念総合体育館

MS 1回 ● 早坂幸平 1-2 佐伯　（日本ユニシス）
1回 ○ 竹村　純 2-0 廣瀬　（金沢学院ｸﾗﾌﾞ）
17決 ○ 早坂幸平 2-0 堀内　（埼玉栄高校）
2回 ○ 竹村　純 2-1 山口　（NTT東日本）
3回 ○ 竹村　純 2-1 佐伯　（NTT東日本）
準決 ○ 竹村　純 2-1 佐々木　（トナミ運輸）
決勝 ● 竹村　純 1-2 竹下　（敬和学園大）
MD 1回 ○ 早坂 / 高島 2-0 山田/小宮山　（日本ユニシス）
2回 ● 早坂 / 高島 1-2 坂本/垉畑　（ユニシス・法政大）
XD 1回 ○ 多田 / 工藤 2-0 井手/布目　（東京都）
1回 ○ 鈴木 / 後藤 2-1 草井/高橋　（ﾏｰｸｽ・七十七銀）
2回 ○ 多田 / 工藤 2-0 車　/中村　（金沢学ク・三菱電）
2回 ● 鈴木 / 後藤 0-2 黒瀬/横山　（トナミ運輸・ルネサス）
3回 ● 多田 / 工藤 0-2 池田/潮田　（日本ユニシス）

準優勝(男子単)　竹村 純

◎ 2011(H23)年度大会（5/7～11）　埼玉県さいたま市記念総合体育館

MS 1回 ● 早坂幸平 0-2 川内　（NTT東日本）
1回 ○ 竹村　純 2-0 古川　（啓光学園高校）
17決 ● 早坂幸平 ｷｸｿ 小高　（日本大学）
2回 ○ 竹村　純 2-0 坂井　（日本ユニシス）
3回 ○ 竹村　純 2-1 池田　（日本ユニシス）
準決 ● 竹村　純 1-2 園田　（トナミ運輸）
WS 1回 ● 永野陽子 1-2 打田　（日本ユニシス）
17決 ○ 永野陽子 2-0 村松　〔星陵中高教〕
MD 1回 ○ 早坂 / 高島 2-1 車　/青山　（金沢学院ｸﾗﾌﾞ）
2回 ○ 早坂 / 高島 2-0 安村/石川　（丸杉）
3回 ○ 早坂 / 高島 2-0 鈴木/小町谷　（東北マークス）
準決 ● 早坂 / 高島 0-2 佐伯/垉畑　（日本ユニシス）
XD 1回 ○ 多田 / 工藤 2-0 舟木/田代　（ｳｪｯﾌﾞﾚｰ・神奈川）
1回 ○(亀ヶ森) 後藤 2-1 川嶋/赤澤　（千葉）
1回 ○ 牧野 / 阿野 2-0 三橋/芦川　（神奈川）
2回 ● 多田 / 工藤 0-2 小松崎/新玉　（NTT東日本）
2回 ●(亀ヶ森) 後藤 0-2 車　/中村　（金沢学ク・三菱電）
2回 ○ 牧野 / 阿野 2-0 櫻井/吉村　（トリッキーパンダース）
3回 ● 牧野 / 阿野 0-2 木村/小池　（ｼﾞｪｲﾃｸﾄ・広島ガス）

第3位(男子単)　竹村 純
第3位(男子複)　早坂幸平/高島雅彦

◎ 2012(H24)年度大会（5/12～16）　埼玉県さいたま市記念総合体育館

MS 1回 ○ 竹村　純 2-0 小高　（日本大学）
2回 ○ 竹村　純 2-0 星野　（金沢学院ｸﾗﾌﾞ）
3回 ○ 竹村　純 2-0 古賀　〔早稲田大学〕
準決 ○ 竹村　純 2-1 山田　（日本ユニシス）
決勝 ○ 竹村　純 2-1 古財　（トナミ運輸）
WS 1回 ○ 永野陽子 ｷｸｿ 桑原　（日本ユニシス）
2回 ● 永野陽子 1-2 玉木　〔早稲田大学〕
MD 1回 ● 関野 / 牧野 0-2 佐伯/垉畑　（日本ユニシス）
1回 ○ 早坂 / 高島 2-0 山村/大滝　（日本大学）
17決 ● 関野 / 牧野 1-2 東野/権藤　（日本大学）
2回 ● 早坂 / 高島 0-2 黒瀬/銭谷　（トナミ運輸）
XD 1回 ○ 牧野 / 阿野 2-1 栄元/竹内　〔宇部興産・ACT〕
1回 ○ 高島 / 後藤 2-0 本沢/樋口　（本沢S・江戸川区）
1回 ○(亀ヶ森) 工藤 2-0 長戸/美濃　（ナカト巧芸・松戸）
2回 ● 牧野 / 阿野 1-2 山東/木村　（金沢学ク・北國銀）
2回 ○ 高島 / 後藤 2-1 亀ヶ森/工藤　（新潟・JR北海道）
3回 ○ 高島 / 後藤 2-0 車　/中村　（金沢学ク・三菱電）
準決 ○ 高島 / 後藤 2-0 天野/川西　（タダノ・香川）
決勝 ● 高島 / 後藤 1-2 鈴木/小森　（ﾏｰｸｽ・北都銀行）



優　勝(男子単)　竹村 純
準優勝(混合複)　高島雅彦/後藤佳代

※ 亀ヶ森 有（新潟）

◎ 2013(H25)年度大会（5/1～9）　埼玉県さいたま市記念総合体育館

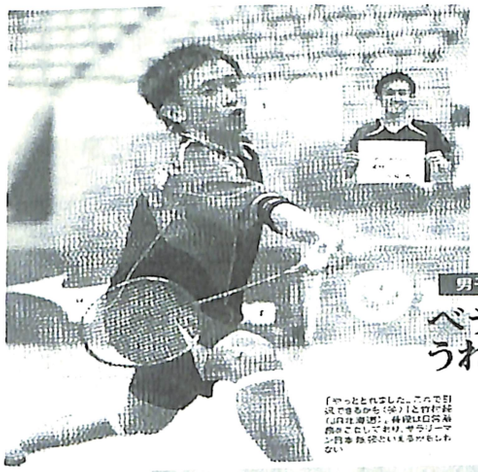
MS 1回 ○ 竹村　純 2-0 渡部　（ＪＲ北海道）
1回 ○ 内藤浩司 2-0 関口　（法政大学）
17決 ● 渡部　大 0-2 吉田　（丸杉）
2回 ○ 竹村　純 2-0 木戸　（日体大大学院）
2回 ● 内藤浩司 1-2 佐藤　（ＮＴＴ東日本）
3回 ○ 竹村　純 2-0 井上　（日本ユニシス）
準決 ○ 竹村　純 2-0 西本　（中央大学）
決勝 ○ 竹村　純 2-1 池田　（日本ユニシス）
WS 1回 ● 永野陽子 0-2 山本　（東海学院大）
17決 ○ 永野陽子 ｷｸｿ 音田　（七十七銀行）
MD 1回 ○ 高島 / 早坂 ｷｸｿ 大滝/権藤　（日本大学）
1回 ○ 牧野 / 渡部 2-1 大嶋/三橋　（日立情報通信Ｅ）
1回 ● 内藤 /(小林) 0-2 星野/竹内　（日本体育大学）
17決 ○ 内藤 /(小林) 2-0 北林/北林　（大同特殊鋼）
2回 ○ 高島 / 早坂 2-0 小町谷/鈴木　（東北マークス）
2回 ● 牧野 / 渡部 0-2 山田/数野　（日本ユニシス）
3回 ● 高島 / 早坂 0-2 小松崎/竹内　（ＮＴＴ東日本）
XD 1回 ○ 高島 / 後藤 2-0 井手/布目　（プリンスP・住信託銀）
1回 ○ 牧野 /(三好) 2-1 有田/木村　（東海興業・豊田通商）
1回 ○(亀ヶ森) 工藤 2-0 本沢/樋口　（本沢ｽﾎﾟｰﾂ・江戸川区）
2回 ● 高島 / 後藤 1-2 小町谷/杉山　（東北ﾏｰｸｽ・七十七銀）
2回 ● 牧野 /(三好) 0-2 橋本/前田　（トナミ運輸・ルネサス）
2回 ●(亀ヶ森) 工藤 1-2 石川/竹内　（丸杉・埼玉）



優　勝(男子単)　竹村 純

※ 小林徹太郎（JR北海道OB）・三好奈緒（北都銀行）

日本ランキングサーキット大会
竹村 純(男子単)が2連覇達成(2012・2013)
高島雅彦/後藤佳代(混合複)が準優勝(2012)
早坂幸平/高島雅彦(男子複)が第3位(2011)



若手とベテ
それぞれ

日本ランキング上位1～3
中心にトーナメント戦で順
ンキングサーキット。海外遠
メンバーを除くなかで開催
手とベテランが初優勝を
けてそれぞれが1歩踏み出

男子シングルス

ベテラン竹村が
うれしい初V!

「やっととれました。これで引退できるかも」(36)と竹村純(JR北海道)。体育は苦手で部活にも入っておらず、サラリーマン一家を経験したこともない

2012年(平成24年)5月17日(木曜日)
北海道新聞

バドミントン

男子シングルス
29歳の竹村初V

■日本ランキングサーキット大会(16日・さいたま市記念総合体育館) 最終日は各種目決勝を行い、男子シングルスは29歳の竹村純(JR北海道)が古財和輝(トナミ運輸)を2―1で破り、初優勝した。

混合ダブルスで初優勝を狙った高島雅彦・後藤佳代組(JR北海道)は1―2で鈴木大裕・小森美希組(東北マークス・北都銀行)に敗れた。

(記録は関係分)

▽男子シングルス決勝
竹村(JR北海道)2 21―18 21―9 古財(トナミ運輸)1
▽混合ダブルス決勝
鈴木(東北マークス)2 21―11 22―15 21―19 1 高島(JR北海道)・後藤(JR北海道)
小森(北都銀行)1 13―21 21―12 20―22



2013年(平成25年)6月6日(木曜日)
北海道新聞

バドミントン

竹村2連覇

■日本ランキングサーキット大会(5日・さいたま市記念総合体育館) 最終日は各種決勝を行い、男子シングルスは竹村純(JR北海道)が決勝で池田雄一(日本ユニシス)を2―1で破り、2年連続2度目の優勝を果たした。

(記録は関係分)

▽男子シングルス
竹村(JR北海道)2 21―18 18―21 21―10 1 池田(日本ユニシス)

▼第1ゲーム奪われ「開き直った」 男子シングルス決勝の第1ゲーム。竹村は日本ユニシスの28歳、池田の速攻に手を焼き、8―21で奪われてしまう。「大差で取られて、気持ちが開き直った」と竹村。続く第2、第3ゲームを連取して2連覇を果たし、「今季初の全国優勝は素直にうれしい」と笑顔を見せた。

8月で31歳を迎える今季のテーマは「緩急を付けた攻撃」。得意の速攻のほか、打つタイミングをずらしたり、高低を付けたショットで「相手を悩ませる戦いをしたい」と話

2012年(平成24年)5月16日(水曜日)
北海道新聞

バドミントン

高島・後藤組と
竹村が決勝へ

■日本ランキングサーキット大会(15日・さいたま市記念総合体育館) 第4日は各種目準決勝を行い、男子シングルスは竹村純(JR北海道)が山田和司(日本ユニシス)に2―1で逆転勝ちし、決勝に駒を進めた。混合ダブルスの高島雅彦・後藤佳代組(JR北海道)も天野真一・川西ゆかり組(タタノ・香川)を2―0で下し決勝に進出した。各種目の決勝は16日に行う



2013年(平成25年)6月6日(木曜日)
道新スポーツ

バドミントン 日本ランキングサーキット大会

JR北海道・竹村が2連覇

決勝は逆転勝ち



バドミントン2013日本ランキングサーキット大会は5日、さいたま市記念総合体育館で行われ、男子シングルス決勝で竹村純(30、JR北海道)=写真=が池田雄一(日本ユニシス)を下して2連覇を達成した。

日本ランキングの上位者が出場できるこの大会だが、代表チームのメンバーが不参加のため、現在7位の竹村が第1シードとして出場した。

「連覇できて素直にうれしい」と話す竹村。今シーズンは7月に札幌で全日本実業団選手権が開かれる。「皆さんの応援のおかげで連覇できた。地元の大会でも頑張っていい成績を残したい」と、活躍を誓った。

2012年(平成24年)5月17日(木曜日)
北海道新聞

バドミントン

男子シングルス
29歳の竹村初V

■日本ランキングサーキット大会(16日・さいたま市記念総合体育館) 最終日は各種目決勝を行い、男子シングルスは29歳の竹村純(JR北海道)が古財和輝(トナミ運輸)を2―1で破り、初優勝した。

混合ダブルスで初優勝を狙った高島雅彦・後藤佳代組(JR北海道)は1―2で鈴木大裕・小森美希組(東北マークス・北都銀行)に敗れた。

(記録は関係分)

▽男子シングルス決勝
竹村(JR北海道)2 21―18 21―9 古財(トナミ運輸)1
▽混合ダブルス決勝
鈴木(東北マークス)2 21―11 22―15 21―19 1 高島(JR北海道)・後藤(JR北海道)
小森(北都銀行)1 13―21 21―12 20―22



Tournament Report
2013-日本ランキングサーキット



Men's Singles
男子シングルス

ベテラン健在!

竹村純が2連覇を達成



全日本社会人バドミントン選手権大会
兼 国民体育大会バドミントン競技リハーサル大会

第４６回大会（平成１５年９月１２日～１６日）埼玉県春日部市ウイングハット春日部 他　※（ ）は参加数

MS	2回戦	○	竹村　純	2-0	木下	（富山県）
(286)	2回戦	○	松本　章	2-1	西田	（京都府）
	2回戦	○	橋村竜彦	2-0	鈴木	（栃木県）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	源河	（沖縄県）
	3回戦	○	松本　章	2-0	一宮	（大阪府）
	3回戦	○	橋村竜彦	2-0	宮本	（東京都）
	4回戦	○	竹村　純	2-0	松川	（岡山県）
	4回戦	○	松本　章	2-0	馬場	（愛知県）
	4回戦	●	橋村竜彦	0-2	古井	（熊本県）
	5回戦	○	竹村　純	2-1	町田	（東京都）
	5回戦	●	松本　章	0-2	大束	（富山県）
	6回戦	○	竹村　純	2-0	平松	（熊本県）
	7回戦	○	竹村　純	2-1	松本	（東京都）
	準決	●	竹村　純	0-2	藤本	（東京都）
LS	1回戦	●	平林千佳	0-2	谷川	（香川県）
(118)	1回戦	●	山重直美	0-2	亀井	（島根県）
	1回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	板東	（山形県）
	2回戦	●	佐藤あゆみ	0-2	上田	（熊本県）

MD	2回戦	○	小倉 / 橋村	2-0	中根/久濃	（愛知県）
(196)	2回戦	○	松本 / 竹村	2-0	松本/ 車	（石川県）
	3回戦	○	小倉 / 橋村	2-1	中島/武田	（東京都）
	3回戦	●	松本 / 竹村	1-2	藤原/永谷	（大阪府）
	4回戦	○	小倉 / 橋村	2-1	花本/ 堀	（神奈川）
	5回戦	●	小倉 / 橋村	0-2	太田/竹鼻	（東京都）
LD	1回戦	●	平林 / 佐藤	0-2	井山/佐藤	（岡山県）
(110)	1回戦	●	西村 / 山重	0-2	土屋/高井	（東京都）
XD	2回戦	○	小倉 / 西村	2-0	神谷/高井	（東京都）
(77)	3回戦	○	小倉 / 西村	2-0	川田/森山	（広島県）
	4回戦	○	小倉 / 西村	2-0	木田/今別府	（東京都）
	5回戦	●	小倉 / 西村	1-2	坂本/大熊	（埼玉・千葉）

第　３　位（男子単）　竹村　純
第５位(ﾍﾞｽﾄ 8)(混合複)　小倉隆司/西村美香
第９位(ﾍﾞｽﾄ16)(男子複)　小倉隆司/橋村竜彦

第４７回大会（平成１６年９月１７日～２１日）広島県立総合体育館・広島市中区スポーツセンター

MS	1回戦	○	橋村竜彦	2-0	西澤	（愛知県）
(311)	2回戦	○	橋村竜彦	2-0	寺崎	（神奈川）
	2回戦	○	竹村　純	2-0	城野	（沖縄県）
	2回戦	○	松本　章	2-0	大中	（愛媛県）
	3回戦	○	橋村竜彦	2-0	吉野	（東京都）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	佐々木	（埼玉県）
	3回戦	○	松本　章	2-1	稲垣	（愛知県）
	4回戦	●	橋村竜彦	ｷｹﾝ	平山	（秋田県）
	4回戦	○	竹村　純	2-0	源口	（愛知県）
	4回戦	●	松本　章	1-2	広瀬	（石川県）
	5回戦	○	竹村　純	2-0	山口	（東京）
	6回戦	●	竹村　純	0-2	舛田	（富山県）
WS	2回戦	●	平林千佳	0-2	松尾	（長崎県）
(131)	2回戦	○	佐藤あゆみ	ｷｹﾝ	井川	（神奈川）
	2回戦	●	田中美与子	0-2	小池	（広島県）
	2回戦	●	高橋律恵	0-2	鍛冶	（石川県）
	3回戦	○	佐藤あゆみ	ｷｹﾝ	小川	（宮城県）
	4回戦	●	佐藤あゆみ	0-2	今井	（熊本県）

MD	1回戦	○	小野 / 橋村	2-0	宇野/宮崎	（滋賀県）
(218)	2回戦	○	小野 / 橋村	2-0	岡田/北添	（高知県）
	2回戦	○	松本 / 竹村	2-0	高木/西崎	（香川県）
	3回戦	●	小野 / 橋村	0-2	松本/川口	（東京都）
	3回戦	○	松本 / 竹村	2-0	有田/有田	（大阪府）
	4回戦	○	松本 / 竹村	2-0	太田/青木	（東京都）
	5回戦	●	松本 / 竹村	1-2	池田/福井	（東京・埼玉）
WD	1回戦	○	早山 / 佐藤	2-1	川戸/戸枝	（愛知県）
(108)	1回戦	●	高橋 / 平林	0-2	宮島/渡邊	（兵庫県）
	1回戦	●	西村 / 田中	1-2	亀谷/小柳	（千葉県）
	2回戦	○	早山 / 佐藤	2-0	志村/上山	（東京都）
	3回戦	●	早山 / 佐藤	0-2	赤尾/松田	（千葉県）
XD	2回戦	○	小野 / 早山	2-1	斉藤/別所	（三重県）
(79)	2回戦	●	小倉 / 西村	ｷｹﾝ	中澤/栗野	（東京都）
	3回戦	●	小野 / 早山	0-2	山下/引地	（熊本県）

第９位(ﾍﾞｽﾄ16)(男子単)　竹村　純
第９位(ﾍﾞｽﾄ16)(男子複)　松本　章/竹村　純

第４８回大会（平成１７年１０月３０日～１１月４日）東京体育館・武蔵野総合体育館

MS	3回戦	○	関野有起	2-0	山崎	（神奈川）
(293)	3回戦	○	橋村竜彦	2-0	赤祖父	（埼玉県）
	3回戦	○	松本　章	2-0	西村	（京都府）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	西山	（愛知県）
	4回戦	○	関野有起	2-1	遠藤	（山形県）
	4回戦	●	橋村竜彦	0-2	川口	（東京都）
	4回戦	●	松本　章	1-2	中村	（北海道）
	4回戦	○	竹村　純	2-0	陶山	（東京都）
	5回戦	●	関野有起	0-2	早坂	（東京都）
	5回戦	○	竹村　純	2-0	古川	（大阪府）
	6回戦	●	竹村　純	1-2	新開	（東京都）
WS	1回戦	○	田中美与子	ｷｹﾝ	山口	（愛知県）
(110)	2回戦	○	田中美与子	2-0	小野塚	（埼玉県）
	2回戦	●	平林千佳	0-2	高野	（兵庫県）
	3回戦	●	田中美与子	0-2	寺本	（広島県）

MD	2回戦	○	橋村 / 鈴木	2-0	宮本/村上	（東京都）
(228)	2回戦	○	小野 /（菅原）	2-0	合田/清水	（東京都）
	3回戦	○	橋村 / 鈴木	2-0	原田/加藤	（京都府）
	3回戦	○	小野 /（菅原）	0-2	平山/川元	（秋田県）
	4回戦	○	松本 / 多田	2-0	大石/土田	（山梨・熊本）
	4回戦	○	橋村 / 鈴木	2-0	清水/佐藤	（鳥取県）
	4回戦	○	竹村 / 関野	2-0	吉川/小川	（富山・神奈川）
	5回戦	●	松本 / 多田	0-2	舛田/大束	（富山県）
	5回戦	●	橋村 / 鈴木	0-2	櫻井/川口	（大阪府）
	5回戦	○	竹村 / 関野	2-0	簑　/平山	（東京都）
	6回戦	●	竹村 / 関野	0-2	坂本/仲尾	（東京・埼玉）
WD	2回戦	●	早山 / 平林	0-2	小坂/今井	（東京都）
(111)	3回戦	○	田中 / 阿野	2-0	萩山/土屋	（東京都）
	4回戦	●	田中 / 阿野	0-2	赤尾/松田	（千葉県）
XD	1回戦	○	鈴木 / 阿野	2-0	袖山/齋藤	（東京都）
(92)	2回戦	○	多田 / 早山	2-0	石坂/牧井	（栃木県）
	2回戦	○	鈴木 / 阿野	2-0	小金井/木村	（神奈川）
	3回戦	○	多田 / 早山	2-0	佐藤/野中	（東京都）
	3回戦	○	鈴木 / 阿野	ｷｹﾝ	棟居/秋本	（京都府）
	4回戦	●	多田 / 早山	0-2	山下/山崎	（佐賀・秋田）
	4回戦	●	鈴木 / 阿野	0-2	小宮山/松田	（神奈川・千葉）

第９位(ﾍﾞｽﾄ16)(男子単)　竹村　純
第９位(ﾍﾞｽﾄ16)(男子複)　竹村　純/関野有起
ベスト３２　(男子複)　橋村竜彦/鈴木知道
ベスト３２　(女子複)　田中美与子/阿野加代子
ベスト３２　(混合複)　多田亮太/早山里子
ベスト３２　(混合複)　鈴木知道/阿野加代子

＊　菅原　亮（ＲＳスガワラ）

全日本社会人バドミントン選手権大会

NO2

第４９回大会（平成１８年９月１５日～２０日）石川県金沢市総合体育館・石川県体育館

MS	1回戦	○	鈴木知道	2-0	郷間	（栃木県）
(321)	1回戦	○	橋村竜彦	2-0	谷	（徳島県）
	1回戦	○	多田亮太	2-0	大田	（東京都）
	2回戦	○	鈴木知道	2-0	浅野	（愛知県）
	2回戦	○	橋村竜彦	2-0	近藤	（宮城県）
	2回戦	○	多田亮太	2-0	浅野	（石川県）
	3回戦	○	鈴木知道	ｷｹﾝ	大橋	（埼玉県）
	3回戦	○	橋村竜彦	2-1	平田	（富山県）
	3回戦	○	松本　章	2-1	松尾	（大阪府）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	鈴木	（神奈川）
	3回戦	○	多田亮太	2-1	仲尾	（埼玉県）
	3回戦	○	関野有起	2-0	南野	（京都府）
	4回戦	●	鈴木知道	1-2	銭谷	（神奈川）
	4回戦	○	橋村竜彦	2-0	吉本	（高知県）
	4回戦	○	松本　章	2-1	草井	（宮城県）
	4回戦	○	竹村　純	2-0	林	（大阪府）
	4回戦	●	多田亮太	1-2	菊田	（富山県）
	4回戦	○	関野有起	2-0	和田	（愛知県）
	5回戦	○	橋村竜彦	2-1	稲垣	（愛知県）
	5回戦	●	松本　章	0-2	新関	（東京都）
	5回戦	○	竹村　純	2-0	伊藤	（兵庫県）
	5回戦	●	関野有起	1-2	川前	（東京都）
	6回戦	●	橋村竜彦	0-2	池田	（東京都）
	6回戦	○	竹村　純	2-0	菊田	（富山県）
	7回戦	●	竹村　純	0-2	佐伯	（東京都）
WS	1回戦	○	木村有里	2-1	飯島	（群馬県）
(133)	1回戦	○	田中美与子	2-0	江本	（富山県）
	1回戦	●	平林千佳	0-2	北尾	（愛知県）
	1回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	安徳	（香川県）
	1回戦	●	阿野加代子	0-2	下崎	（秋田県）
	2回戦	●	木村有里	0-2	野口	（宮城県）
	2回戦	○	田中美与子	2-0	稲田	（愛知県）
	2回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	関	（埼玉県）
	3回戦	●	田中美与子	0-2	岩脇	（東京都）
	3回戦	●	佐藤あゆみ	0-2	吉岡	（広島県）

MD	1回戦	●	小野 / (菅原)	ｷｹﾝ	稲田/濱本	（兵庫県）
(210)	4回戦	○	松本 / 多田	2-0	小崎/大塚	（茨城・東京）
	4回戦	○	橋村 / 竹村	2-0	磯貝/百丸	（愛知県）
	4回戦	●	関野 / 鈴木	1-2	栄代/徳坂	（石川県）
	5回戦	●	松本 / 多田	0-2	福井/廣部	（埼玉・東京）
	5回戦	●	橋村 / 竹村	0-2	木下/廣瀬	（石川県）
WD	1回戦	●	平林 / 木村	0-2	坂本/村崎	（神奈川）
(108)	1回戦	○	早山 / 佐藤	2-0	堅田/笠井	（栃木県）
	2回戦	○	田中 / 阿野	2-0	阿部/飯高	（宮城県）
	2回戦	●	早山 / 佐藤	1-2	西川/丸岡	（島根県）
	3回戦	●	田中 / 阿野	0-2	吉岡/寺本	（広島県）

第５位(ﾍﾞｽﾄ 8)(男子単)	竹村　純
第９位(ﾍﾞｽﾄ16)(男子単)	橋村竜彦
第９位(ﾍﾞｽﾄ16)(男子単)	松本　章
ベスト32　(男子単)	関野有起
ベスト32　(男子単)	松本　章/多田亮太
ベスト32　(男子単)	橋村竜彦/竹村　純


田中美与子/阿野加代子


竹村 純/橋村竜彦組

第５０回大会（平成１９年９月２２日～２６日）鳥取県民体育館・鳥取産業体育館

MS	1回戦	○	多田亮太	ｷｹﾝ	松田	（大分県）
(355)	1回戦	●	鈴木知道	0-2	芳賀	（愛知県）
	1回戦	○	松本　章	2-0	吉野	（愛知県）
	2回戦	○	多田亮太	2-0	長谷川	（愛知県）
	2回戦	○	松本　章	2-0	川上	（岡山県）
	3回戦	○	多田亮太	2-1	小堀	（東京都）
	3回戦	●	松本　章	1-2	岩脇	（東京都）
	3回戦	○	橋村竜彦	2-1	竹川	（香川県）
	3回戦	○	関野有起	2-0	大田	（東京都）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	酒井	（愛知県）
	4回戦	○	多田亮太	2-1	山下	（神奈川）
	4回戦	●	橋村竜彦	1-2	藤本	（東京都）
	4回戦	○	関野有起	2-1	茶谷	（石川県）
	4回戦	○	竹村　純	2-0	森	（富山県）
	5回戦	○	多田亮太	2-1	石原	（東京都）
	5回戦	●	関野有起	0-2	菊田	（富山県）
	5回戦	○	竹村　純	2-0	左村	（大分県）
	6回戦	●	多田亮太	0-2	大島	（宮城県）
	6回戦	○	竹村　純	2-0	土田	（熊本県）
	7回戦	○	竹村　純	2-1	菊田	（富山県）
	準決	●	竹村　純	0-2	池田	（東京都）
WS	1回戦	●	佐藤あゆみ	ｷｹﾝ	藤澤	（兵庫県）
(140)	1回戦	●	木村有里	ｷｹﾝ	岩田	（富山県）
	1回戦	○	後藤佳代	ｷｹﾝ	大村	（愛知県）
	2回戦	○	後藤佳代	2-1	工藤	（東京都）
	2回戦	●	阿野加代子	0-2	中村	（兵庫県）
	3回戦	●	後藤佳代	0-2	山田	（島根県）

MD	2回戦	○	橋村 / 多田	2-1	土田/武山	（熊本県）
(230)	2回戦	○	松本 / 竹村	2-0	中川/田中	（兵庫県）
	3回戦	○	橋村 / 多田	2-0	田宮/本沢	（神奈川）
	3回戦	●	松本 / 竹村	0-2	會澤/仲澤	（東京・千葉）
	4回戦	●	橋村 / 多田	1-2	松本/山口	（東京都）
	4回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	遠藤/伊藤	（山形県）
	5回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	大滝/有田	（愛知県）
	6回戦	●	関野 / 鈴木	0-2	米　/平田	（富山県）
WD	2回戦	○	阿野 / 後藤	2-0	丸山/浦野	（京都府）
(118)	3回戦	○	阿野 / 後藤	2-0	小川/服部	（宮城県）
	4回戦	○	阿野 / 後藤	2-0	井山/谷口	（岡山県）
	5回戦	●	阿野 / 後藤	0-2	今井/佐伯	（熊本県）

第　３　位　(男子単)	竹村　純
第９位(ﾍﾞｽﾄ16)(男子単)	多田亮太
第９位(ﾍﾞｽﾄ16)(男子複)	関野有起/鈴木知道
第９位(ﾍﾞｽﾄ16)(女子複)	阿野加代子/後藤佳代


阿野加代子/後藤佳代




多田亮太


竹村 純

全日本社会人バドミントン選手権大会

NO3

第５１回大会（平成２０年８月２９日～９月３日）福島県会津若松市鶴ヶ城体育館・あいづ総合体育館

MS (350)

１回戦	●	橋村竜彦	ｷｹﾝ	宮下	（神奈川）
２回戦	○	小林徹太郎	2-0	田中	（栃木県）
３回戦	○	関野有起	2-0	伊藤	（千葉県）
３回戦	○	竹村　純	2-0	浅野	（愛知県）
３回戦	●	多田亮太	0-2	松浦	（兵庫県）
３回戦	○	小林徹太郎	2-0	近藤	（大分県）
４回戦	○	関野有起	2-1	井上	（大分県）
４回戦	○	竹村　純	2-0	中村	（大阪府）
４回戦	●	小林徹太郎	1-2	菊田	（富山県）
５回戦	●	関野有起	0-2	数野	（東京都）
５回戦	○	竹村　純	2-0	大橋	（栃木県）
６回戦	○	竹村　純	2-0	新開	（東京都）
７回戦	○	竹村　純	2-1	山口	（東京都）
準決	●	竹村　純	1-2	佐々木	（秋田県）

WS (144)

１回戦	○	工藤亜紀	2-0	真鍋	（愛媛県）
１回戦	●	川口美与子	0-2	広岡	（東京都）
２回戦	○	工藤亜紀	2-0	古川	（茨城県）
２回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	海上	（千葉県）
２回戦	●	木村有里	1-2	磯下	（茨城県）
３回戦	●	工藤亜紀	1-2	伊東	（東京都）
３回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	山崎	（福井県）
４回戦	●	佐藤あゆみ	0-2	幡谷	（熊本県）

MD (234)

２回戦	○	多田 / 鈴木	2-0	栗　/尾崎	（静岡県）
２回戦	●	橋村 / 関野	ｷｹﾝ	田中/三村	（滋賀県）
２回戦	●	松本 / 小林	1-2	酒井/横山	（石川県）
３回戦	○	多田 / 鈴木	2-0	伊藤/遠藤	（山形県）
４回戦	●	多田 / 鈴木	0-2	平田/黒瀬	（富山県）

WD (124)

２回戦	○	佐藤 / 阿野	2-1	岩田/今泉	（富山県）
２回戦	○	後藤 / 工藤	2-1	矢田/北條	（神奈川）
２回戦	●	川口 / 木村	0-2	佐野/綿引	（茨城県）
３回戦	●	佐藤 / 阿野	0-2	藤澤/中村	（兵庫県）
３回戦	●	後藤 / 工藤	0-2	岡　/浜中	（熊本県）

XD (101)

１回戦	○	松本 / 阿野	2-0	渡辺/北山	（三重県）
２回戦	○	松本 / 阿野	ｷｹﾝ	伊田/伊田	（京都府）
２回戦	○	鈴木 / 後藤	2-0	松本/小嶋	（岐阜県）
３回戦	●	松本 / 阿野	0-2	川前/田井	（東京都）
３回戦	○	鈴木 / 後藤	2-0	川口/本田	（東京都）
４回戦	○	鈴木 / 後藤	2-0	金子/島村	（神奈川）
５回戦	○	鈴木 / 後藤	2-0	中島/樋口	（東京都）
６回戦	●	鈴木 / 後藤	0-2	廣部/金森	（東京都）

第　３　位　（男子単）　竹村　純
第５位(ﾍﾞｽﾄ8)（混合複）　鈴木知道/後藤佳代
ベスト32　（男子単）　関野有起

第５２回大会（平成２１年９月７日～９月１１日）千葉県ポートアリーナ・千葉公園体育館・県体育館

MS (347)

１回戦	○	牧野公亮	2-0	川西	（兵庫県）
１回戦	○	小林徹太郎	2-0	鈴木	（栃木県）
２回戦	○	牧野公亮	2-0	平井	（千葉県）
２回戦	○	小林徹太郎	2-0	山田	（愛知県）
３回戦	○	関野有起	2-1	岩田	（岐阜県）
３回戦	○	早坂幸平	2-0	岡野	（京都府）
３回戦	○	竹村　純	2-0	菅野	（秋田県）
３回戦	●	牧野公亮	0-2	平山	（秋田県）
３回戦	●	小林徹太郎	1-2	新開	（東京都）
４回戦	○	関野有起	2-0	日下	（大阪府）
４回戦	○	早坂幸平	2-0	渡邊	（福島県）
４回戦	○	竹村　純	2-0	中野	（岐阜県）
５回戦	○	早坂幸平	2-0	関野	（JR北海道）
５回戦	○	竹村　純	2-0	藤田	（東京都）
６回戦	○	早坂幸平	2-1	山口	（東京都）
６回戦	○	竹村　純	2-0	菊田	（宮城県）
７回戦	●	早坂幸平	0-2	佐々木	（富山県）
７回戦	○	竹村　純	2-0	古財	（富山県）
準決	○	竹村　純	2-1	佐々木	（富山県）
決勝	●	竹村　純	0-2	佐藤	（東京都）

WS (130)

１回戦	●	中川まどか	0-2	赤尾	（大分県）
２回戦	●	佐藤あゆみ	1-2	吉岡	（島根県）
２回戦	○	永野陽子	2-0	合田	（秋田県）
３回戦	○	永野陽子	2-0	垣岩	（鳥取県）
４回戦	○	永野陽子	2-0	亀谷	（千葉県）
５回戦	●	永野陽子	1-2	村松	（大阪府）

MD (259)

１回戦	○	竹村 / 早坂	2-0	高木/安村	（岐阜県）
１回戦	○	多田 / 小林	2-1	大石/筒井	（兵庫県）
１回戦	○	松本 / 牧野	2-0	森　/河田	（岡山県）
２回戦	○	竹村 / 早坂	2-0	藤本/小堀	（東京都）
２回戦	○	多田 / 小林	2-0	高橋/田添	（神奈川）
２回戦	○	松本 / 牧野	2-0	佐藤/馬詰	（埼玉県）
２回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	堀田/池端	（大阪府）
３回戦	○	竹村 / 早坂	2-0	岡田/多谷	（大阪府）
３回戦	○	多田 / 小林	2-1	笠井/戸野塚	（栃木県）
３回戦	○	松本 / 牧野	2-0	成毛/久保	（東京都）
３回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	山田/進藤	（宮城県）
４回戦	○	竹村 / 早坂	2-0	竹村/毛利	（新潟県）
４回戦	●	多田 / 小林	0-2	大滝/有田	（愛知県）
４回戦	○	松本 / 牧野	2-1	中野/黒田	（岐阜県）
４回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	篠岡/宮下	（神奈川）
５回戦	○	松本 / 牧野	2-0	仲澤/竹中	（千葉県）
５回戦	○	竹村 / 早坂	2-0	横山/浦窪	（石川県）
５回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	山本/　森	（富山県）
６回戦	●	松本 / 牧野	0-2	佐藤/川前	（東京都）
６回戦	●	竹村 / 早坂	ｷｹﾝ	平田/橋本	（富山県）
６回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	新開/川内	（東京都）
７回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	平田/橋本	（富山県）
準決	●	関野 / 鈴木	0-2	小宮山/廣部	（東京都）

WD (134)

１回戦	○	後藤 / 阿野	2-0	樋口/松村	（東京都）
１回戦	○	佐藤 / 中川	2-0	田中/垣岩	（鳥取県）
１回戦	○	永野 / 工藤	2-0	藤原/中村	（香川県）
２回戦	○	後藤 / 阿野	2-0	真鍋/立田	（愛媛県）
２回戦	○	佐藤 / 中川	2-0	飯田/飯田	（三重県）
２回戦	○	永野 / 工藤	2-0	鈴木/宮澤	（神奈川）
３回戦	○	後藤 / 阿野	2-1	寺本/井上	（広島県）
３回戦	●	佐藤 / 中川	0-2	林　/吉村	（岐阜県）
３回戦	○	永野 / 工藤	2-0	石川/二口	（千葉県）
４回戦	●	後藤 / 阿野	0-2	末綱/前田	（熊本県）
４回戦	●	永野 / 工藤	0-2	栗原/打田	（東京都）

XD (127)

１回戦	●	松本 / 阿野	1-2	木村/寺本	（愛知・広島）
１回戦	○	多田 / 工藤	2-0	鈴木/対馬	（千葉県）
２回戦	○	多田 / 工藤	2-0	松尾/羽鳥	（東京都）
３回戦	○	多田 / 工藤	2-1	山下/日野	（佐賀・広島）
４回戦	○	鈴木 / 後藤	2-1	草井/高橋	（宮城県）
４回戦	○	多田 / 工藤	2-0	本澤/小金井	（神奈川県）
５回戦	●	鈴木 / 後藤	ｷｹﾝ	黒瀬/　森	（富山・大阪）
５回戦	○	多田 / 工藤	2-1	大滝/服部	（愛知・宮城）
６回戦	●	多田 / 工藤	1-2	池田/潮田	（東京・大阪）

準　優　勝　（男子単）　竹村　純
第　３　位　（男子複）　関野有起/鈴木知道
第５位(ﾍﾞｽﾄ 8)（男子単）　早坂幸平
第５位(ﾍﾞｽﾄ 8)（混合複）　多田亮太/工藤亜紀
第９位(ﾍﾞｽﾄ16)（女子単）　永野陽子
第９位(ﾍﾞｽﾄ16)（男子複）　竹村　純/早坂幸平
第９位(ﾍﾞｽﾄ16)（男子複）　松本　章/牧野公亮
第９位(ﾍﾞｽﾄ16)（混合複）　鈴木知道/後藤佳代


早坂幸平


関野有起/鈴木知道組

全日本社会人バドミントン選手権大会

NO4

第５３回大会（平成２２年９月３日～９月９日）広島県立総合体育館・広島市中区・東区スポセン

MS (484)

１回戦	○	牧野公亮	2-0	土屋	（神奈川）
１回戦	○	関野有起	2-1	木村	（熊本県）
１回戦	○	小林徹太郎	2-0	高橋	（千葉県）
１回戦	○	高島雅彦	2-1	鈴木	（神奈川）
２回戦	○	牧野公亮	2-0	堀	（京都府）
２回戦	○	関野有起	2-0	高橋	（神奈川）
２回戦	●	早坂幸平	ｷｹﾝ	大岡	（福井県）
２回戦	○	小林徹太郎	2-1	鎌田	（三重県）
２回戦	○	竹村　純	2-0	岸	（神奈川）
２回戦	○	高島雅彦	2-1	河村	（山口県）
３回戦	○	牧野公亮	2-0	小町谷	（宮城県）
３回戦	○	関野有起	2-1	永井	（岡山県）
３回戦	○	小林徹太郎	2-0	伊深	（愛知県）
３回戦	○	竹村　純	2-0	山下	（静岡県）
３回戦	●	高島雅彦	1-2	笠井	（栃木県）
４回戦	○	牧野公亮	2-1	伊東	（石川県）
４回戦	●	関野有起	0-2	園田	（富山県）
４回戦	●	小林徹太郎	0-2	佐藤	（東京都）
４回戦	○	竹村　純	2-0	米能	（茨城県）
５回戦	●	牧野公亮	0-2	佐々木	（富山県）
５回戦	○	竹村　純	2-0	福田	（栃木県）
６回戦	○	竹村　純	2-1	佐伯	（東京都）
７回戦	●	竹村　純	0-2	佐藤	（東京都）

WS (139)

１回戦	○	中川まどか	2-0	市川	（群馬県）
１回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	山本	（栃木県）
２回戦	●	中川まどか	0-2	平山	（東京都）
２回戦	○	永野陽子	2-0	川原	（神奈川）
２回戦	●	佐藤あゆみ	0-2	野尻野	（東京都）
３回戦	○	永野陽子	2-1	綿引	（茨城県）
４回戦	●	永野陽子	0-2	伊東	（熊本県）

MD (353)

２回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	市橋/曽我	（京都府）
２回戦	○	竹村 / 牧野	2-0	笹島/三橋	（神奈川）
２回戦	○	早坂 / 高島	2-0	藤城/中澤	（東京都）
２回戦	○	多田 / 小林	2-0	藤原/奥本	（岡山県）
３回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	山田/山口	（愛知県）
３回戦	○	竹村 / 牧野	2-0	朝稲/山東	（和歌山）
３回戦	○	早坂 / 高島	2-0	平子/片岡	（埼玉県）
３回戦	●	多田 / 小林	0-2	佐藤/川前	（東京都）
４回戦	○	関野 / 鈴木	2-1	橋村/亀ヶ森	（東京・新潟）
４回戦	○	竹村 / 牧野	2-0	野田/松本	（岐阜県）
４回戦	●	早坂 / 高島	ｷｹﾝ	丸永/山田	（福井県）
５回戦	○	関野 / 鈴木	2-1	諸多/山田	（宮城県）
５回戦	●	竹村 / 牧野	0-2	松沢/黒瀬	（熊本県）
６回戦	●	関野　鈴木	0-2	平田/橋本	（富山県）

WD (168)

１回戦	○	佐藤 / 中川	2-0	石川/澤木	（埼玉県）
２回戦	○	後藤 / 阿野	2-0	橋本/吉沢	（神奈川）
２回戦	●	永野 / 工藤	0-2	落合/水口	（香川県）
２回戦	●	佐藤 / 中川	1-2	多谷/福万	（大阪府）
３回戦	●	後藤 / 阿野	0-2	脇田/江藤	（岐阜県）

XD (176)

２回戦	○	(亀ヶ森) 阿野	2-1	梅林/山崎	（福井県）
２回戦	○	多田 / 工藤	2-0	武田/梅澤	（東京都）
２回戦	○	鈴木 / 後藤	2-0	松田/川下	（広島県）
３回戦	○	(亀ヶ森) 阿野	2-0	車　/中村	（石川・兵庫）
３回戦	○	多田 / 工藤	2-0	平山/田井	（秋田県）
３回戦	○	鈴木 / 後藤	2-0	吉本/鈴木	（神奈川）
４回戦	○	(亀ヶ森) 阿野	2-0	牛島/横田	（東京都）
４回戦	●	多田 / 工藤	0-2	桜井/吉村	（大阪・岐阜）
４回戦	○	鈴木 / 後藤	2-1	山浦/小野	（福岡県）
５回戦	●	(亀ヶ森) 阿野	0-2	小松崎/新玉	（宮城県）
５回戦	●	鈴木 / 後藤	0-2	数野/金森	（東京都）

第５位(ﾍﾞｽﾄ 8)(男子単)	竹村　純
第９位(ﾍﾞｽﾄ16)(男子複)	関野有起/鈴木知道
第９位(ﾍﾞｽﾄ16)(混合複)	鈴木知道/後藤佳代
第９位(ﾍﾞｽﾄ16)(混合複)	(亀ヶ森)/阿野加代子


工藤亜紀/永野陽子


小林徹太郎

第５４回大会（平成２３年９月９日～９月１５日）愛知県一宮市総合体育館

MS (435)

２回戦	○	早坂幸平	2-0	菊田	（愛知県）
２回戦	○	牧野公亮	2-0	糸瀬	（香川県）
２回戦	○	関野有起	2-0	谷口	（東京都）
２回戦	○	竹村　純	2-0	水口	（埼玉県）
２回戦	○	小林徹太郎	2-0	花堂	（愛知県）
３回戦	○	早坂幸平	2-0	佐野	（静岡県）
３回戦	○	牧野公亮	2-0	市橋	（京都府）
３回戦	○	関野有起	2-0	平山	（秋田県）
３回戦	○	竹村　純	2-0	寺田	（福島県）
３回戦	●	小林徹太郎	1-2	伊藤	（京都府）
４回戦	●	早坂幸平	0-2	星野	（石川県）
４回戦	●	牧野公亮	0-2	武山	（愛知県）
４回戦	○	関野有起	2-1	竹川	（香川県）
４回戦	○	竹村　純	2-0	栗	（静岡県）
５回戦	●	関野有起	0-2	園田	（富山県）
５回戦	○	竹村　純	2-0	笠井	（栃木県）
６回戦	○	竹村　純	2-0	坂井	（東京都）
７回戦	○	竹村　純	2-1	松川	（神奈川）
準決	○	竹村　純	2-0	佐伯	（東京都）
決勝	●	竹村　純	0-2	古財	（富山県）

WS (144)

２回戦	○	永野陽子	2-1	安念	（山口県）
２回戦	●	中川まどか	0-2	城口	（熊本県）
２回戦	●	佐藤あゆみ	1-2	大迫	（兵庫県）
３回戦	○	永野陽子	2-0	下崎	（秋田県）
４回戦	●	永野陽子	0-2	野尻野	（東京都）

MD (330)

２回戦	○	小林 / 牧野	2-0	平山/縄田	（岐阜県）
２回戦	○	早坂 / 高島	2-0	林　/生沢	（兵庫県）
２回戦	○	関野 / 多田	2-0	杉川/松本	（鳥取県）
３回戦	○	小林 / 牧野	2-0	花堂/松田	（愛知県）
３回戦	○	早坂 / 高島	2-0	栗　/山下	（静岡県）
３回戦	○	関野 / 多田	2-0	平子/川崎	（埼玉県）
４回戦	○	小林　牧野	2-1	川下/樋口	（愛知県）
４回戦	○	早坂　高島	2-0	有田/江崎	（静岡県）
４回戦	○	関野 / 多田	2-0	菅野/佐々木	（秋田県）
５回戦	○	小林 / 牧野	2-1	竹内/大越	（東京都）
５回戦	●	早坂 / 高島	1-2	櫻井/川口	（大阪府）
５回戦	○	関野 / 多田	2-0	細野/井手	（東京都）
６回戦	○	小林 / 牧野	2-0	長原/中尾	（神奈川県）
６回戦	●	関野　多田	1-2	舘田/海野	（神奈川県）
７回戦	●	小林 / 牧野	0-2	藤田/松井	（東京都）

WD (160)

２回戦	○	工藤 / 永野	2-0	久野/前田	（愛知県）
２回戦	○	阿野 / 後藤	2-0	浦川/鈴木	（東京都）
２回戦	○	佐藤 / 中川	2-0	今泉/十田	（富山）
３回戦	●	工藤 / 永野	1-2	小椋/大迫	（兵庫県）
３回戦	○	阿野 / 後藤	2-0	丸岡/新藤	（島根県）
３回戦	●	佐藤 / 中川	0-2	橋本/菊山	（広島県）
４回戦	●	阿野 / 後藤	1-2	今別府/小池	（東京・広島）

XD (180)

２回戦	○	多田 / 工藤	2-0	野村/野村	（神奈川県）
２回戦	○	高島 / 後藤	2-0	池上/浜渦	（神奈川県）
３回戦	○	多田　工藤	2-0	小峯/浦川	（東京都）
３回戦	○	高島 / 後藤	2-0	佐藤/橋本	（愛知・広島）
４回戦	○	多田 / 工藤	2-0	穴吹/安藤	（香川県）
４回戦	○	高島 / 後藤	2-0	五島/小野	（福岡県）
５回戦	●	多田 / 工藤	0-2	青山/小玉	（石川・埼玉）
５回戦	○	高島 / 後藤	2-0	大滝/服部	（愛知・宮城）
６回戦	○	高島 / 後藤	2-1	堂本/藤原	（鳥取県）
準決	●	高島 / 後藤	0-2	小松崎/新玉	（東京都）

準　優　勝	（男子単）	竹村　純
第　３　位	（混合複）	高島雅彦/後藤佳代
第５位(ﾍﾞｽﾄ 8)	(男子複)	小林徹太郎/牧野公亮
第９位(ﾍﾞｽﾄ16)	(男子複)	関野有起/多田亮太
第９位(ﾍﾞｽﾄ16)	(混合複)	多田亮太/工藤亜紀

全日本社会人バドミントン選手権大会

NO5

第５５回大会（平成２４年９月７日～９月１２日）北海道旭川大雪アリーナ・旭川市総合体育館他

MS (347)

２回戦	○	渡邊一磨	2-0	馬詰	（埼玉県）
２回戦	○	早坂幸平	2-0	板垣	（神奈川）
２回戦	○	田淵雄喜	ｷｹﾝ	松田	（愛知県）
２回戦	○	竹村　純	2-0	武石	（神奈川）
２回戦	○	渡部　大	2-0	菅野	（秋田県）
３回戦	○	渡邊一磨	2-0	田村	（愛知県）
３回戦	○	早坂幸平	2-0	中口	（愛知県）
３回戦	●	田淵雄喜	1-2	青山	（宮城県）
３回戦	○	竹村　純	2-0	今橋	（東京都）
３回戦	○	渡部　大	2-0	酒井	（愛知県）
４回戦	○	渡邊一磨	2-0	藤野	（東京都）
４回戦	○	早坂幸平	2-0	大越	（東京都）
４回戦	○	竹村　純	2-0	松浦	（兵庫県）
４回戦	○	渡部　大	2-1	甲谷	（神奈川）
５回戦	●	渡邊一磨	0-2	佐々木	（富山県）
５回戦	●	早坂幸平	0-2	古財	（富山県）
５回戦	○	竹村　純	2-0	大橋	（埼玉県）
５回戦	●	渡部　大	0-2	山田	（東京都）
６回戦	○	竹村　純	2-1	松川	（神奈川）
準々	○	竹村　純	2-0	園田	（富山県）
準決	○	竹村　純	2-0	武下	（富山県）
決勝	○	竹村　純	2-1	坂井	（東京都）

WS (124)

１回戦	○	中川まどか	2-0	大森	（千葉県）
１回戦	○	永野陽子	2-0	吉田	（佐賀県）
１回戦	○	平敷祥子	2-0	藤井	（栃木県）
２回戦	●	中川まどか	0-2	峰	（熊本県）
２回戦	○	永野陽子	2-0	濱崎	（島根県）
２回戦	●	平敷祥子	0-2	稲葉	（山口県）
３回戦	●	永野陽子	1-2	伊東	（熊本県）

MD (240)

１回戦	○	竹村 / 渡邊	2-0	前田/中村	（神奈川）
１回戦	○	牧野 / 渡部	2-0	坂本/三上	（東京・千葉）
１回戦	○	関野 / 田淵	2-0	高橋/白藤	（千葉・東京）
２回戦	○	竹村 / 渡邊	2-1	山本/玉澤	（富山県）
２回戦	○	牧野 / 渡部	2-0	長屋/中口	（愛知県）
２回戦	○	早坂 / 高島	2-0	山崎/山本	（奈良県）
２回戦	○	関野 / 田淵	2-0	武石/久光	（神奈川）
３回戦	○	竹村 / 渡邊	2-0	中野/吉田	（岐阜県）
３回戦	○	牧野 / 渡部	2-0	細野/井手	（東京都）
３回戦	○	早坂 / 高島	2-0	菊池/鈴木	（神奈川）
３回戦	●	関野 / 田淵	0-2	小町谷/鈴木	（宮城県）
４回戦	●	竹村 / 渡邊	0-2	竹内/川前	（東京都）
４回戦	●	牧野 / 渡部	0-2	井谷/高階	（大阪府）
４回戦	○	早坂 / 高島	2-1	平戸/西村	（千葉・愛知）
５回戦	○	早坂 / 高島	2-1	黒瀬/銭谷	（富山県）
準々	●	早坂 / 高島	1-2	小町谷/鈴木	（宮城県）

WD (143)

２回戦	●	平敷 / 中川	0-2	地神/下農	（鳥取県）
２回戦	○	後藤 / 阿野	2-0	池田/中口	（石川・愛知）
２回戦	○	工藤 / 永野	2-0	浦野/森山	（京都府）
３回戦	●	後藤 / 阿野	1-2	丸岡/笹間	（島根県）
３回戦	●	工藤 / 永野	0-2	幡谷/杉山	（宮城県）

XD (140)

２回戦	○	牧野 / 阿野	2-0	伊藤/西川	（兵庫県）
２回戦	○	高島 / 後藤	2-0	山縣/竹内	（山口県）
２回戦	○	(亀ヶ森) 工藤	2-0	土居/樋渡	（福井・島根）
３回戦	●	牧野 / 阿野	0-2	藤本/石橋	（東京都）
３回戦	○	高島 / 後藤	2-0	小椙/水間	（東京都）
３回戦	○	(亀ヶ森) 工藤	2-0	篠岡/潮田	（神奈川）
４回戦	○	高島 / 後藤	2-0	斎藤/鈴木	（神奈川）
４回戦	○	(亀ヶ森) 工藤	2-0	吉本/　楠	（神奈川）
５回戦	○	高島 / 後藤	2-1	嘉村/米元	（富山・大阪）
５回戦	●	(亀ヶ森) 工藤	0-2	垉畑/高橋	（東京都）
準々	○	高島 / 後藤	2-1	山東/木村	（石川県）
準決	●	高島 / 後藤	0-2	数野/江淵	（東京都）

優　勝	(男子単)	竹村　純
第３位	(混合複)	高島雅彦/後藤佳代
第 ５位	(男子複)	早坂幸平/高島雅彦
第 ９位	(混合複)	(亀ヶ森)/工藤亜紀


優勝の瞬間：竹村 純



優勝(男子単)
竹村 純


第３位：後藤佳代/高島雅彦


勝利の
ガッツポーズ



第５位(男子複)
早坂幸平/高島雅彦組


選手宣誓：高島雅彦・後藤佳代



第3位(混合複)
後藤佳代/高島雅彦組

全日本社会人バドミントン選手権大会（2012）
竹村 純（男子単）が故郷・旭川で悲願の初優勝
高島雅彦／後藤佳代（混合複）が第3位入賞

2012年（平成24年）9月13日（木曜日）
北海道新聞

竹村、地元で初V
佐々木は準決勝敗退

バドミントン 全日本社会人選手権（12日・旭川大雪アリーナ）最終日は男女シングルス、混合ダブルスの準決勝、決勝を行った。男子シングルス決勝は竹村純（JR北海道）が坂井一将（東京）を2―1で破り、初優勝した。

ロンドン五輪5位の佐々木翔（トナミ運輸、北斗上磯中出）は準決勝で坂井に1―2で敗れ、2年ぶり3度目の優勝はならなかった。混合ダブルスの高島雅彦・後藤佳代組（JR北海道）は準決勝で敗れ3位だった。（記録は関係分）

▽男子シングルス準決勝
坂井（東京）2（21―23、15―12、17―21）1 佐々木（トナミ運輸）
竹村（JR北海道）2（23―21、21―11）0 武下（富山）
▽決勝


キレのある動きで坂井を破り初優勝した竹村

同学年の活躍に奮起

竹村

初の旭川開催となった大会を制したのは、地元・旭工高出身の竹村だった。

決勝では、準決勝で佐々木を破った坂井相手に、キレのあるスマッシュを左右に打ち分け、丁寧なネットプレーで振り回した。22歳の坂井が終盤足をつった一方、先月30歳になったベテランは最後まで動きが落ちなかった。「昔はがむしゃらにプレーして体力を消耗したが、今は精神的に落ち着いている。動きにメリハリをつけスタミナを温存できた」と分析する。

佐々木とは同学年で、中学時代から何度も対戦している。佐々木の五輪の試合はテレビで観戦した。「うらやましかった。見ているだけの自分が悔しかった」。ライバルの活躍もいい刺激になった。

全国大会優勝は今年5月の全日本ランキングサーキットに続き2度目。「ただ、有力選手が勢ぞろいする全国大会でまだ優勝していない」と言い、決して満足はしていない。

次の目標は、日本トップクラスが集う12月の全日本総合選手権や、所属するJR北海道のエースとして戦う日本リーグ（来月開幕）で勝つことだ。

（福田講平）




ベスト4●高島雅彦（左）／後藤佳代（JR北海道） 今年のランキングサーキッ

2012年（平成24年）9月13日（木曜日）
道新スポーツ

地元 竹村 JR北海道 初優勝

全日本社会人バドミントン選手権 最終日（12日・旭川大雪アリーナ）

今季国内2勝目

男子シングルスで地元・旭川出身の竹村純（30、JR北海道）が初優勝。ロンドン五輪5位で同い年のライバル・佐々木翔（30、トナミ運輸、北斗上磯中出）から刺激を受け、今季国内大会2勝目と優在をアピールした。佐々木は準決勝で敗れたが、12月の全日本総合選手権（東京）で5年ぶりの優勝を目指して調整していく。

衰え知らず30歳

中学時代からのライバル・佐々木から刺激


同い年のライバル・佐々木の活躍を糧に初優勝を果たした竹村

笑顔に師の初優勝だった。「地元で勝てて良かった」と竹村の声が弾む。16日に三十路（みそじ）を迎えても衰え知らずの竹村より4つ上の5位だ。

旭川豊里中時代から佐々木としのぎを削ってきた竹村。ロンドンで輝く佐々木の姿に、寝不足でテレビにくぎ付けになった。

中学時代からのライバル・佐々木から刺激

で22歳の坂井一将（東京）より切れのあるスマッシュを連発。コート狭しと走り回るプレーは、先月16日に三十路（みそじ）を迎えても衰え知らずの竹村より4つ上の5位だ。

決勝
【男子】▽シングルス
坂井（東京）2（21―23、15―12、17―21）1 佐々木（トナミ運輸）
竹村（JR北海道）2（23―21、21―11）0 武下（富山）
▽西決勝
▽北海道関係分

Action This Month
9月7日～12日●北海道・旭川大雪アリーナほか
全日本社会人選手権
取材・文●堀 順行

ベテラン竹村、地元でうれしい初優勝





生まれ故郷での初タイトルは神展古滝の神のごほうび

2012年（平成24年）9月11日
あさひかわ新聞

熱戦が続く

12日まで、全日本社会人バドミントン選手権大会

バドミントンの第五十六回全日本社会人選手権大会は七日、大雪アリーナで開会式が行われ、開幕した。ロンドンオリンピックで五位入賞を果


宣誓する高島（左）と後藤選手


旭川出身の渡部（左）・牧野も元気にプレー

たした北北出身の佐々木翔選手（トナミ）ら、五輪に出場した日本代表選手が参加。旭川初開催の大会に花を添えた。

日本バドミントン協会（福井貞雄会長）の主催、全日本バドミントンファンクラブ連盟の後援。全国各地のトッププレーヤーが日本一を争い、国内最高峰の大会。五輪選手の佐々木選手、佐藤翔治、川前直樹（両選手ともに北斗市出）を含め、約八百人がエントリー。男女のシングルスとダブルス、混合ダブルスの五種目が行われる。

開会式では、参加選手を代表して、JR北海道バドミントン部主将の高橋健選手と後藤佳代選手が「全国に栄光を」と力強く誓いました。十二日まで、大会がスタート。十二日まで、大雪アリーナをメイン会場にして開かれている。

全日本総合バドミントン選手権大会

◎ 2003(H15)年度大会（11/4～9）　愛知県名古屋市千種スポーツセンター

MS 1回 ● 竹村　純 0-2 新開　（日本大学）
WD 予選 ○ 西村/山[illegible] 2-1 高木/早川（立命館大学）
1回 ● 西村/山[illegible] 0-2 赤綱/中内（NEC九州）
XD 1回 ○ 小倉/西[illegible] 2-0 平井/鬼池（NTT西/三洋）
2回 ● 小倉/西[illegible] 0-2 今井/中山（トナミ/三洋）
MD 予選 ○ 松本 / 竹村 2-0 森山/浦川（長崎県）
1回 ● 小倉 / 橋村 0-2 多谷/早川（比叡山高）
1回 ○ 松本 / 竹村 2-1 川前/新開（日本大学）
2回 ● 松本 / 竹村 1-2 佐伯/斉藤（日本大学）

◎ 2004(H16)年度大会（11/9～14）　大阪府守口市民体育館

MS 予選 ○ 竹村　純 2-1 中村　（NTT北海道）
1回 ● 竹村　純 0-2 佐藤　（MMGｱﾛｰｽﾞ）
MD 予選 ● 松本 / 竹村 1-2 木下/安村（トナミ運輸）
XD 予選 ● 竹村 / 早山 1-2 福井/長瀬（ﾕﾆｼｽ･七十七銀）

◎ 2005(H17)年度大会（11/29～12/4）　兵庫県宝塚市立総合体育館

MS 予選 ○ 橋村竜彦 2-0 早崎　（比叡山高）
予選 ○ 竹村　純 2-0 小町谷（中央大学）
1回 ● 橋村竜彦 0-2 遠藤　（日本体育大）
1回 ○ 竹村　純 2-0 早坂　（日本ユニシス）
2回 ● 竹村　純 0-2 佐藤　（NTT東日本）
MD 予選 ● 竹村 / 関野 1-2 大滝/山口（近畿大学）
予選 ● 橋村 / 鈴木 0-2 黒田/中尾（日本大学）

◎ 2006(H18)年度大会（11/14～11/19）　東京都駒沢体育館

MS 予選 ● 関野有起 0-2 有田　（日本大学）
1回 ○ 竹村　純 2-0 長原　（日立通信エ）
2回 ○ 竹村　純 2-0 新開　（NTT東日本）
3回 ○ 竹村　純 2-1 田児　（埼玉栄高校）
準決 ● 竹村　純 0-2 中西　（日本ユニシス）
第3位(男子単)　竹村 純
MD 予選 ○ 橋村 / 竹村 2-1 梅林/浦窪（近畿大学）
予選 ● 橋村 / 竹村 0-2 小林/宮崎（八代YKK）
XD 予選 ○ 竹村 / 田中 2-0 大滝/新藤（立命館大学）
1回 ○ 竹村 / 田中 2-0 箕　/西条（ﾐﾉﾔS･NTT東）
2回 ● 竹村 / 田中 1-2 松本/田井（NTT東日本）

◎ 2007(H19)年度大会（11/13～11/18）　東京都代々木第二体育館

MS 予選 ● 多田亮太 0-2 廣瀬　（石川ﾄﾖﾍﾟｯﾄ）
1回 ○ 竹村　純 2-0 廣瀬　（石川ﾄﾖﾍﾟｯﾄ）
2回 ○ 竹村　純 2-0 岩脇　（日本ユニシス）
3回 ○ 竹村　純 2-1 遠藤　（日本体育大）
準決 ● 竹村　純 1-2 佐藤　（NTT東日本）
WS 予選 ● 左藤あゆみ 0-2 関谷　（早稲田大学）
第3位(男子単)　竹村 純
MD 予選 ○ 関野 / 鈴木 2-0 岡田/伊藤（RSLJ･大和製衡）
予選 ● 関野 / 鈴木 1-2 嘉村/園田（八代東高）
予選 ○ 橋村 / 竹村 2-0 高島/三橋（日本体育大学）
1回 ● 橋村 / 竹村 0-2 堀川/藤田（法政大学）
WD 予選 ○ 阿野 / 後藤 2-0 山崎/西島（セーレン）
予選 ○ 阿野 / 後藤 2-0 倉満/高井（トヨタ自動車）
1回 ● 阿野 / 後藤 0-2 日野/小池（広島ガス）

◎ 2008(H20)年度大会（11/31～11/16）　東京都代々木第二体育館

MS 予選 ● 関野有起 0-2 工藤　（北都銀行）
1回 ○ 竹村　純 2-1 佐藤　（埼玉栄高校）
3回 ● 竹村　純 0-2 山田　（日本体育大）
MD 予選 ● 松本 / 小林 1-2 松丸/山崎（日本大学）
XD 予選 ○ 多田 / 工藤 2-0 松井/尾崎（大阪･岐阜ﾄﾘﾊﾟｿ）
予選 ● 多田 / 工藤 0-2 堂本/藤原（鳥取三洋電機）
1回 ● 鈴木 / 後藤 1-2 堂本/藤原（鳥取三洋電機）

◎ 2009(H21)年度大会（12/1～12/5）　東京都代々木第二体育館

MS 予選 ● 牧野公亮 0-2 松川　（日本大学）
1回 ● 竹村　純 1-2 有田　（東海興業）
1回 ○ 早坂幸平 2-0 銭谷　（中央大学）
2回 ● 早坂幸平 1-2 山田　（日本ユニシス）
WS 予選 ● 永野陽子 0-2 奥　（NTT東日本）
MD 予選 ● 松本 / 牧野 0-2 松尾/山平（宇部興産）
予選 ○ 竹村 / 早坂 2-0 嘉村/坂中（八代東高）
予選 ● 竹村 / 早坂 1-2 高木/安村（丸杉）
1回 ● 関野 / 鈴木 0-2 高島/三橋（日本体育大）
WD 予選 ● 永野 / 工藤 0-2 馬上/田井（北都銀行）
XD 予選 ● 松本 / 阿野 0-2 山口/岩脇（NTT東日本）
2回 ● 鈴木 / 後藤 0-2 平田/前田（トナミ・NEC）
2回 ● 多田 / 工藤 1-2 大滝/服部（東海興業･七七銀）

◎ 2010(H22)年度大会（12/8～12/12）　東京都代々木第二体育館

MS 予選 ● 早坂幸平 0-2 山口　（NTT東日本）
1回 ○ 竹村　純 2-0 甲谷　（法政大学）
2回 ○ 竹村　純 2-1 川内　（NTT東日本）
3回 ● 竹村　純 1-2 山田　（日本ユニシス）
WS 予選 ● 永野陽子 1-2 後藤　（広島ガス）
MD 予選 ● 関野/鈴木 0-2 鈴木/小町谷（宇部興産）
1回 ● 早坂/高島 0-2 佐藤/川前（NTT東日本）
WD 予選 ● 永野/工藤 1-2 吉岡/新藤（山陰合同銀）
XD 予選 ○ 牧野 / 阿野 2-1 宮本/小池（広島ガス）
予選 ○ 牧野 / 阿野 2-0 江崎/高原（西日本ｼﾃｨ銀行）
予選 ○ 鈴木 / 後藤 2-1 天野/松村（ﾀﾀﾞﾉ･高松木太中）
予選 ○ 多田 / 工藤 2-0 長戸/美濃（松戸市役所）
1回 ○ 牧野 / 阿野 2-1 土居/実光（立命館大学）
1回 ○ 鈴木 / 後藤 2-0 村上/村上（石川・北國銀行）
2回 ● 牧野 / 阿野 1-2 平田/前田（トナミ・ﾙﾈｻｽ）
2回 ● 鈴木 / 後藤 0-2 橋本/藤井（トナミ・ﾙﾈｻｽ）
2回 ● 多田 / 工藤 0-2 川前/田井（NTT東日本）

◎ 2011(H23)年度大会（12/6～12/11）　東京都代々木第二体育館

MS 1回 ○ 竹村　純 2-0 松川　（日立通信E）
2回 ● 竹村　純 0-2 桃田　（富岡高校）
MD 予選 ● 関野/多田 1-2 長原/中尾（日立通信）
予選 ○ 早坂/高島 2-1 車　/青山（金沢学院ク）
1回 ○ 早坂/高島 2-0 井上/金子（埼玉栄高）
1回 ○ 小林/牧野 2-1 園田/嘉村（ﾄﾅﾐ・早稲田）
2回 ● 早坂/高島 0-2 平田/橋本（トナミ運輸）
2回 ● 小林/牧野 0-2 黒瀬/銭谷（トナミ運輸）
XD 予選 ○ 牧野 / 阿野 2-1 濵水/芦川（神奈川県）
予選 ○ 牧野 / 阿野 2-0 松尾/皆川（宇部興産･SAIKYO）
予選 ○ 多田 / 工藤 2-1 有田/木村（東海興業･豊田通商）
1回 ● 牧野 / 阿野 0-2 諸田/今井（東北ﾏｰｸｽ･七十七銀）
1回 ○ 高島 / 後藤 2-1 櫻井/吉村（大阪･岐阜ﾄﾘﾊﾟｿ）
2回 ● 多田 / 工藤 0-2 数野/金森（日本ユニシス）
2回 ● 高島 / 後藤 0-2 早川/高橋（日本ユニシス）

◎ 2012(H24)年度大会（12/3～12/9）　東京都代々木第二体育館

MS 予選 ● 早坂幸平 0-2 星野　（金沢学院ク）
1回 ○ 竹村　準 2-1 古賀　（富岡高校）
2回 ● 竹村　準 1-2 桃田　（富岡高校）
MD 予選 ○ 牧野/渡部 2-1 木村/佐藤（ジェイテクト）
1回 ● 牧野/渡部 0-2 佐伯/垰畑（日本ユニシス）
1回 ● 早坂/高島 0-2 松居/三浦（富岡高・東奥学園）
XD 予選 ● 関野 / 平敷 0-2 車　/中村（金学院ク･三菱電機）
予選 ● 亀ヶ森 工藤 1-2 鈴木/大森（東北ﾏｰｸｽ･七十七銀）
予選 ○ 牧野 / 阿野 2-0 天野/安藤（タダノ・百十四銀）
1回 ○ 牧野 / 阿野 2-0 大嶋/小森（日立情報・北都銀）
2回 ● 牧野 / 阿野 0-2 佐藤/西山（ＮＴＴ東日本）
2回 ● 高島 / 後藤 ｷｹﾝ 川前/新玉（ＮＴＴ東日本）

NBA

全日本大会個人戦（一般・年齢別）入賞者（1958～2002

NO1

開催年	大会名	開催地	種目	シングルス(MS･WS)	ダブルス(MD･WD･XD)
1958 (S33)	第８回全日本実業団	北海道札幌市	一般	熊倉昭二　(第９位)	熊倉昭二/島　辰雄　(第５位)
1959 (S34)	第９回全日本実業団	香川県善通寺市	一般	平沢啓裕　(第５位)	平沢啓裕/有路信彦　(第９位) 熊倉昭二/島　辰雄　(第９位)
1960 (S35)	第10回全日本実業団	愛知県名古屋市	一般		熊倉昭二/島　辰雄　(第４位) 平沢啓裕/有路信彦　(第５位)
1961 (S36)	第11回全日本実業団	岡山県倉敷市	一般		熊倉昭二/島　辰雄　(第９位) 平沢啓裕/有路信彦　(第９位) 渋井　明/大石興徳　(第９位)
1962 (S37)	第12回全日本実業団	熊本県熊本市	一般	渋井　明　(第５位) 島　辰雄　(第９位)	青山繁樹/大石興徳　(第９位) 島　辰雄/有路信彦　(第９位)
1963 (S38)	第13回全日本実業団	新潟県三条市	一般		平沢啓裕/伊藤善夫　(第９位) 熊倉昭二/島　辰雄　(第９位) 渋井　明/大石興徳　(第９位)
1964 (S39)	第14回全日本実業団	愛媛県松山市	一般		伊藤善夫/福島智徳　(第９位) 大石興徳/田中昭夫　(第９位)
1965 (S40)	第15回全日本実業団	福岡県北九州市	一般	伊藤善夫　(第５位) 高森幸子　(第５位)	高森幸子/村田泰子　(第５位) 平沢啓裕/田中昭夫　(第９位) 伊藤善夫/福島智徳　(第９位)
1966 (S41)	第16回全日本実業団	大阪府大阪市	一般		伊藤善夫/福島智徳　(第９位)
1967 (S42)	第17回全日本実業団	福井県勝山市	一般	村田泰子　(第９位)	伊藤善夫/福島智徳　(第９位)
1969 (S44)	第19回全日本実業団	岩手県釜石市	一般		福島智徳/柴田賢治　(第９位)
1970 (S45)	第20回全日本実業団	香川県高松市	年齢別(30歳)	渋井　明　(準優勝)	
	第13回全日本社会人	千葉県千葉市	一般		乙武重丸/柴田賢治　(第９位) 柴田 充/(清水敏子)　(第９位)
1971 (S46)	第21回全日本実業団	鹿児島県鹿児島市	年齢別(30歳)	渋井　明　(第５位)	
1972 (S47)	第22回全日本実業団	千葉県茂原市	年齢別(30歳)	渋井　明　(第５位)	渋井　明/(大川 浩)　(第５位)
1973 (S48)	第23回全日本実業団	茨城県石岡市	一般		山田好明/山田　元　(第９位)
1980 (S55)	第30回全日本実業団	愛媛県新居浜市	年齢別(30歳)	山本晴通　(準優勝)	
1981 (S56)	第24回全日本社会人	北海道登別市	年齢別(40歳)	渋井　明　(第５位)	山田好明/山本晴通　(第３位)
1985 (S60)	第33回全日本実業団	神奈川県藤沢市	年齢別(30歳)		山田好明/山本晴通　(第３位)
1994 (H6)	第４回全日本混合複	東京都台東区	一般		馬木貴之(岩崎美香)　(第９位)
1995 (H7)	第38回全日本社会人	広島県三原市	一般		馬木貴之(岩崎美香)　(第９位)
1996 (H8)	第46回全日本実業団	東京都武蔵野市	年齢別(45歳)		藤田富雄/山田好明　(優勝)
1999 (H11)	全日本総合選手権	大阪府守口市	一般		小倉隆司/西村美香　(第５位)
2001 (H13)	第44回全日本社会人	高知県南国市	一般		小倉隆司/竹村　純　(第９位)
2002 (H14)	第45回全日本社会人	愛知県小牧市	一般		松本　章/竹村　純　(第３位)
	全日本総合選手権	東京都渋谷区	一般		松本　章/竹村　純　(第９位)

第３位＝ベスト４　　第５位＝ベスト８　　第９位＝ベスト１６

全日本個人戦（一般）入賞者（2003～2012）

開催年	大会名	開催地	種目	シングルス(MS･WS)	ダブルス(MD･WD･XD)
2003 (H15)	第46回全日本社会人	埼玉県春日部市	一般	竹村　純　(第３位)	小倉隆司/西村美香　(第５位) 小倉隆司/橋村竜彦　(第９位)
	全日本総合選手権	愛知県名古屋市	一般		松本　章/竹村　純　(第９位) 小倉隆司/西村美香　(第９位)
2004 (H16)	ランキングサーキット	神奈川県横須賀市	一般		松本　章/竹村　純　(第９位)
	第47回全日本社会人	広島県広島市	一般	竹村　純　(第９位)	松本　章/竹村　純　(第９位)
2005 (H17)	ランキングサーキット	兵庫県宝塚市	一般	竹村　純　(第９位)	
	第48回全日本社会人	東京都	一般	竹村　純　(第９位)	竹村　純/関野有起　(第９位)
	全日本総合選手権	兵庫県宝塚市	一般	竹村　純　(第９位)	
2006 (H18)	ランキングサーキット	神奈川県横浜市	一般	竹村　純　(準優勝)	
	第49回全日本社会人	石川県金沢市	一般	竹村　純　(第５位) 松本　章　(第９位) 橋村竜彦　(第９位)	
	全日本総合選手権	東京都世田谷区	一般	竹村　純　(第３位)	竹村 純/田中美与子　(第９位)
2007 (H19)	ランキングサーキット	神奈川県藤沢市	一般	竹村　純　(第９位)	
	第50回全日本社会人	鳥取県鳥取市	一般	竹村　純　(第３位) 多田亮太　(第９位)	関野有起/鈴木知道　(第９位) 阿野加代子/後藤佳代　(第９位)
	全日本総合選手権	東京都渋谷区	一般	竹村　純　(第３位)	
2008 (H20)	ランキングサーキット	埼玉県幸手市	一般	竹村　純　(準優勝)	
	第51回全日本社会人	福島県会津若松市	一般	竹村　純　(第３位)	鈴木知道/後藤佳代　(第５位)
	全日本総合選手権	東京都渋谷区	一般	竹村　純　(第９位)	
2009 (H21)	ランキングサーキット	埼玉県さいたま市	一般	竹村　純　(第３位) 早坂幸平　(第５位)	
	第52回全日本社会人	千葉県千葉市	一般	竹村　純　(準優勝) 早坂幸平　(第５位) 永野陽子　(第９位)	関野有起/鈴木知道　(第３位) 多田亮太/工藤亜紀　(第５位) 竹村　純/早坂幸平　(第９位) 松本　章/牧野公亮　(第９位) 鈴木知道/後藤佳代　(第９位)
	全日本総合選手権	東京都渋谷区	一般	早坂幸平　(第９位)	鈴木知道/後藤佳代　(第９位) 多田亮太/工藤亜紀　(第９位)
2010 (H22)	ランキングサーキット	埼玉県さいたま市	一般	竹村　純　(準優勝)	多田亮太/工藤亜紀　(第５位) 早坂幸平/高島雅彦　(第９位) 鈴木知道/後藤佳代　(第９位)
	第53回全日本社会人	広島県広島市	一般	竹村　純　(第５位)	関野有起/鈴木知道　(第９位) 鈴木知道/後藤佳代　(第９位) (亀ヶ森)/阿野加代子　(第９位)
	全日本総合選手権	東京都渋谷区	一般		牧野公亮/阿野加代子　(第９位) 鈴木知道/後藤佳代　(第９位) 多田亮太/工藤亜紀　(第９位)
2011 (H23)	ランキングサーキット	埼玉県さいたま市	一般	竹村　純　(第３位)	早坂幸平/高島雅彦　(第３位) 牧野公亮/阿野加代子　(第５位) 多田亮太/工藤亜紀　(第９位) (亀ヶ森)/後藤佳代　(第９位)
	第54回全日本社会人	愛知県一宮市	一般	竹村　純　(準優勝)	高島雅彦/後藤佳代　(第３位) 小林徹太郎/牧野公亮　(第５位) 関野有起/多田亮太　(第９位) 多田亮太/工藤亜紀　(第９位)
	全日本総合選手権	東京都渋谷区	一般	竹村　純　(第９位)	早坂幸平/高島雅彦　(第９位) 小林徹太郎/牧野公亮　(第９位) 多田亮太/工藤亜紀　(第９位) 高島雅彦/後藤佳代　(第９位)
2012 (H24)	ランキングサーキット	埼玉県さいたま市	一般	竹村　純　(優勝) 永野陽子　(第９位)	高島雅彦/後藤佳代　(準優勝) 早坂幸平/高島雅彦　(第９位) 牧野公亮/阿野加代子　(第９位) (亀ヶ森)/工藤亜紀　(第９位)
	第55回全日本社会人	北海道旭川市	一般	竹村　純　(優勝)	高島雅彦/後藤佳代　(第３位) 早坂幸平/高島雅彦　(第５位) (亀ヶ森)/工藤亜紀　(第９位)
	全日本総合選手権	東京都渋谷区	一般	竹村　純　(第９位)	牧野公亮/阿野加代子　(第９位) 高島雅彦/後藤佳代　(第９位)
2013 (H25)	ランキングサーキット	埼玉県さいたま市	一般	竹村　純　優勝	早坂幸平/高島雅彦　(第９位) 高島雅彦/後藤佳代　(第９位)

第3位＝ベスト4　　第5位＝ベスト8　　第9位＝ベスト16

国民体育大会バドミントン競技北海道予選会
兼 北海道体育大会バドミントン競技会

第５８回大会（平成１５年５月９日～１１日）　苫小牧市総合体育館

MS	１回戦	○	松本　章	2-0	大沢	（苫小牧高専）
	１回戦	○	橋村竜彦	2-0	竹内	（道教育大旭川）
	１回戦	○	竹村　純	2-0	池添	（道教育大旭川）
	１回戦	○	小倉隆司	2-0	高畠	（道教育大旭川）
	１回戦	●	小野敏和	1-2	谷川	（札幌大学）
	２回戦	●	松本　章	1-2	中村	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	橋村竜彦	2-0	星	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	竹村　純	2-0	細田	（浅井学園大学）
	２回戦	●	小倉隆司	0-2	三上	（ＮＴＴ北海道）
	３回戦	○	橋村竜彦	2-1	水澤	（ＮＴＴ北海道）
	３回戦	○	竹村　純	2-1	三上	（ＮＴＴ北海道）
	準決	○	橋村竜彦	2-1	長原	（中央大学）
	準決	●	竹村　純	0-2	吉川	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	●	竹村　純	0-2	長原	（中央大学）
	決勝	●	橋村竜彦	0-2	吉川	（ＮＴＴ北海道）
LS	１回戦	●	早山里子	0-2	福井	（浅井学園大学）
	１回戦	●	平林千佳	1-2	阿野	（浅井学園大学）
	１回戦	●	山重直美	0-2	山田	（浅井学園大学）
	１回戦	●	高橋律恵	1-2	三浦	（浅井学園大学）
	２回戦	●	佐藤あゆみ	0-2	吉岡	（ＮＴＴ北海道）

MD	２回戦	●	小野／(長原)	0-2	細田/清野	（浅井学園大学）
	２回戦	○	小倉／橋村	2-0	山田/高階	（浅井学園大学）
	２回戦	○	松本／竹村	2-0	浅井/盛	（苫工教・厚真高）
	３回戦	●	小倉／橋村	0-2	吉川/中村	（ＮＴＴ北海道）
	３回戦	○	松本／竹村	2-0	谷川/比内	（札大・苫駒沢大）
	準決	○	松本／竹村	2-0	星/井野	（ＮＴＴ北海道）
	決勝	●	松本／竹村	1-2	水澤/三上	（ＮＴＴ北海道）
LD	１回戦	●	平林／佐藤	1-2	疋田/野崎	（浅井学園大学）
	１回戦	●	早山／高橋	0-2	中島/山田	（NTT北・浅井学園）
	２回戦	○	西村／山重	2-1	本田/標	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	西村／山重	0-2	黒川/吉岡	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	●	西村／山重	1-2	本田/三浦	（浅井学園大学）

準優勝（男子単）　橋村竜彦
準優勝（男子複）　松本　章/竹村　純

＊ 長原正博（中央大学）

第５９回大会（平成１６年５月７日～９日）　岩見沢市総合体育館

MS	１回戦	●	多田亮太 ｷｹﾝ		工藤	（中央大学）
	１回戦	○	小倉隆司	2-0	小野寺	（日本体育大学）
	１回戦	○	松本　章	2-0	松浦	（近畿大学）
	１回戦	●	小野敏和	0-2	中野	（立命館大学）
	２回戦	●	小倉隆司	0-2	井野	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	●	松本　章	0-2	水澤	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	竹村　純	2-0	山田	（浅井学園大学）
	２回戦	○	橋村竜彦	2-0	一宮	（ＮＴＴ北海道）
	３回戦	○	竹村　純	2-0	井野	（ＮＴＴ北海道）
	３回戦	○	橋村竜彦	2-0	中村	（ＮＴＴ北海道）
	準決	○	竹村　純	2-0	吉川	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	橋村竜彦	0-2	長原	（ＮＴＴ北海道）
	決勝	●	竹村　純	0-2	長原	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	○	橋村竜彦	2-0	吉川	（ＮＴＴ北海道）
WS	１回戦	○	早山里子	2-1	田中	（浅井学園大学）
	１回戦	●	平林千佳	0-2	野嶋	（浅井学園大学）
	１回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	福井	（浅井学園大学）
	１回戦	●	田中美与子	0-2	八木	（東海女子短大）
	２回戦	●	早山里子	0-2	中	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	●	佐藤あゆみ	0-2	吉岡	（ＮＴＴ北海道）

MD	２回戦	○	小野／多田	2-0	今/谷地元	（苫小牧駒沢大学）
	２回戦	○	小倉／橋村	2-1	浅井/盛	（苫工高教・厚真高）
	２回戦	○	松本／竹村	2-0	小野寺/松浦	（日体大・近畿大）
	３回戦	●	小野／多田	0-2	水澤/三上	（ＮＴＴ北海道）
	３回戦	○	小倉／橋村	2-0	工藤/中野	（中央大・立命館大）
	３回戦	○	松本／竹村	2-0	吉川/長原	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	小倉／橋村	1-2	水澤/三上	（ＮＴＴ北海道）
	準決	○	松本／竹村	2-0	井野/中村	（ＮＴＴ北海道）
	決勝	○	松本／竹村	2-1	水澤/三上	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	●	小倉／橋村	0-2	井野/中村	（ＮＴＴ北海道）
WD	１回戦	○	早山／佐藤	2-0	田中/福井	（浅井学園大学）
	１回戦	●	高橋／平林	0-2	山田/野嶋	（浅井学園大学）
	１回戦	○	西村／田中	2-1	木村/八木	（東海女子短大）
	２回戦	●	早山／佐藤	0-2	中/岩松	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	●	西村／田中	0-2	本田/三浦	（浅井学園大学）

優　勝（男子複）　松本　章/竹村　純
準優勝（男子単）　竹村　純
第３位（男子単）　橋村竜彦

第６０回大会（平成１７年５月１３日～１５日）　旭川大雪アリーナ

MS	１回戦	○	関野有起	2-1	松浦	（近畿大学）
	１回戦	○	小野敏和	2-0	高畠	（教育大旭川）
	１回戦	○	鈴木知道	2-0	池添	（教育大旭川）
	２回戦	●	松本　章	1-2	三上	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	関野有起	2-0	井野	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	●	小野敏和	0-2	吉川	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	橋村竜彦	2-1	中野	（立命館大学）
	２回戦	●	鈴木知道	0-2	中村	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	竹村　純	2-0	山田	（浅井学園大学）
	２回戦	●	関野有起	1-2	吉川	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	橋村竜彦	2-0	中村	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	竹村　純	2-0	米	（ＮＴＴ北海道）
	準決	○	橋村竜彦	2-0	竹村	（ＪＲ北海道）
	決勝	●	橋村竜彦	0-2	吉川	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	●	竹村　純	0-2	長原	（ＮＴＴ北海道）
WS	１回戦	●	平林千佳	0-2	西	（浅井学園大学）
	１回戦	○	田中美与子	2-0	木村	（東海女子大）
	１回戦	●	阿野加代子	0-2	高橋	（浅井学園大学）
	２回戦	●	田中美与子	0-2	吉岡	（ＮＴＴ北海道）

＊　福井早紀（ＲＳスガワラ）
＊　山田光夫（浅井学園大学）

MD	１回戦	○	橋村／多田	2-0	吹田/高野	（ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ・蘭越高）
	１回戦	○	松本／鈴木	2-0	池添/高畠	（教育大旭川）
	１回戦	○	小野／(山田)	2-0	中野/三瓶	（立命館大学）
	１回戦	○	竹村／関野	2-0	東谷/下田	（関東学院大学）
	２回戦	●	橋村／多田	1-2	井野/中村	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	●	松本／鈴木	0-2	一宮/古川	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	●	小野／(山田)	1-2	三上/米	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	竹村／関野	2-0	吉川/長原	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	松本／鈴木	0-2	井野/中村	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	竹村／関野	1-2	三上/米	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	○	竹村／関野 ｷｹﾝ		松本/鈴木	（ＪＲ北海道）
WD	１回戦	○	西村／早山	2-0	和泉/鈴木	（教育大旭川）
	１回戦	●	平林／(福井)	0-2	高橋/大田	（浅井学園大学）
	２回戦	●	田中／阿野	0-2	宮崎/永野	（ＮＴＴ・早稲田大）
	２回戦	●	西村／早山	1-2	柴山/吉岡	（ＮＴＴ北海道）

準優勝（男子単）　橋村竜彦
第３位（男子複）　竹村　純/関野有起

国民体育大会バドミントン競技北海道予選会

NO2

第６１回大会（平成１８年5月１２日～１４日）　小樽市総合体育館

MS	1回戦	○	多田亮太	2-0	小野寺	（日本体育大学）
	1回戦	○	関野有起	2-0	小林	（旭川工業高校）
	1回戦	○	松本　章	2-0	山田	（浅井学園大学）
	1回戦	●	鈴木知道	0-2	工藤	（中央大学）
	2回戦	●	多田亮太	1-2	松浦	（近畿大学）
	2回戦	○	関野有起	2-0	浅井	（苫小牧工業高校）
	2回戦	○	竹村　純	2-0	一宮	（ＮＴＴ北海道）
	2回戦	●	松本　章	0-2	中村	（ＮＴＴ北海道）
	2回戦	○	橋村竜彦	2-0	安川	（女満別高校）
	3回戦	○	関野有起	2-0	高島	（日本体育大学）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	中村	（ＮＴＴ北海道）
	3回戦	○	橋村竜彦	2-0	米	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	関野有起	0-2	吉川	（ＮＴＴ北海道）
	準決	○	竹村　純	2-0	橋村	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	竹村　純	2-0	吉川	（ＮＴＴ北海道）
	3位決	○	関野有起	2-0	橋村	（ＪＲ北海道）
WS	1回戦	●	阿野加代子	0-2	岡崎	（浅井学園大学）
	1回戦	○	木村有里	2-1	竹内	（浅井学園大学）
	2回戦	●	平林千佳	0-2	大田	（浅井学園大学）
	2回戦	●	木村有里	0-2	吉岡	（ＮＴＴ北海道）
	2回戦	●	田中美与子	0-2	高橋	（浅井学園大学）

MD	1回戦	○	松本／多田	2-0	上原/小野寺	（浅井学園大学）
	1回戦	○	橋村／竹村	2-0	原田/三浦	（浅井学園大学）
	1回戦	○	関野／鈴木	2-0	木津/小野寺	（浅井学園大学）
	2回戦	●	松本／多田	0-2	三上/米	（ＮＴＴ北海道）
	2回戦	○	橋村／竹村	2-0	工藤/小野寺	（中央大・日本体育大）
	2回戦	○	関野／鈴木	2-1	一宮/吉川	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	橋村／竹村	1-2	三上/米	（ＮＴＴ北海道）
	準決	○	関野／鈴木	2-0	井野/中村	（ＮＴＴ北海道）
	決勝	●	関野／鈴木	0-2	三上/米	（ＮＴＴ北海道）
	3位決	○	橋村／竹村	2-0	井野/中村	（ＮＴＴ北海道）
WD	1回戦	●	早山／木村	1-2	竹内/高橋	（浅井学園大学）
	1回戦	○	田中／阿野	2-0	遠藤/内井	（浅井学園大学）
	2回戦	●	田中／阿野	1-2	太田/西	（浅井学園大）

優　勝（男子単）	竹村　純
準優勝（男子複）	関野有起/鈴木知道
第３位（男子単）	関野有起
第３位（男子複）	橋村竜彦/竹村　純



第６２回大会（平成１９年5月１１日～１３日）　道立北見体育センター(二次選考会 6/23 JR体育館)

MS	1回戦	○	鈴木知道	ｷｹﾝ	山田	（青山学院大）
	2回戦	●	竹村　純	ｷｹﾝ	加藤	（北翔大学）
	2回戦	○	多田亮太	2-0	田垣	（日本体育大学）
	2回戦	●	鈴木知道	1-2	松浦	（近畿大学）
	2回戦	○	橋村竜彦	2-0	松原	（教育大旭川）
	2回戦	●	松本　章	0-2	中野	（立命館大学）
	2回戦	○	関野有起	2-0	藤谷	（北翔大学）
	3回戦	○	多田亮太	2-1	松浦	（近畿大学）
	3回戦	○	橋村竜彦	2-0	中野	（立命館大学）
	3回戦	○	関野有起	2-0	工藤	（中央大学）
	準決	○	多田亮太	2-0	高島	（日本体育大学）
	準決	○	関野有起	2-0	橋村	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	関野有起	2-0	多田	（ＪＲ北海道）
	3位決	●	橋村竜彦	1-2	高島	（日本体育大学）
	選考	○	竹村　純	2-1	関野	（ＪＲ北海道）
WS	2回戦	○	阿野加代子	2-1	遠藤	（北翔大学）
	2回戦	●	佐藤あゆみ	1-2	村山	（北翔大学）
	2回戦	●	田中美与子	1-2	宮下	（北翔大学）
	2回戦	●	木村有里	0-2	内井	（北翔大学）
	2回戦	○	後藤佳代	2-0	竹内	（北翔大学）
	3回戦	●	阿野加代子	0-2	永野	（早稲田大学）
	3回戦	○	後藤佳代	2-1	内井	（北翔大学）
	準決	○	後藤佳代	2-1	高橋	（北翔大学）
	決勝	●	後藤佳代	0-2	永野	（早稲田大学）

MD	2回戦	○	関野／鈴木	2-0	高島/小野寺	（日本体育大学）
	2回戦	○	橋村／多田	2-0	田垣/片岡	（日本体育大学）
	2回戦	○	松本／竹村	2-0	小野寺/田内	（北翔大学）
	準決	○	関野／鈴木	2-0	松浦/中野	（近畿大・立命館大）
	準決	○	橋村／多田	2-0	松本/竹村	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	橋村／多田	2-1	関野/鈴木	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	松本／竹村	2-0	松浦/中野	（近畿大・立命館大）
WD	2回戦	○	田中／佐藤	2-1	遠藤/内井	（北翔大学）
	2回戦	●	木村／(永野)	0-2	竹内/村山	（北翔大学）
	2回戦	○	阿野／後藤	2-1	幡谷/宮下	（北翔大学）
	準決	●	田中／佐藤	1-2	高橋/澤村	（北翔大学）
	準決	●	阿野／後藤	0-2	竹内/村山	（北翔大学）
	3位決	○	阿野／後藤	2-0	田中/佐藤	（ＪＲ北海道）

優　勝（男子単）	関野有起
優　勝（男子複）	橋村竜彦/多田亮太
準優勝（男子単）	多田亮太
準優勝（男子複）	関野有起/鈴木知道
準優勝（女子単）	後藤佳代
第３位（男子複）	松本　章/竹村　純
第３位（女子複）	阿野加代子/後藤佳代



＊　永野陽子（早稲田大学）

第６３回大会（平成２０年5月９日～１１日）　帯広市総合体育館

MS	1回戦	○	松本　章	2-0	加納	（北翔大学）
	1回戦	○	橋村達彦	2-0	後藤	（北翔大学）
	1回戦	○	小林徹太郎	2-0	田渕	（明治大学）
	1回戦	○	鈴木知道	2-1	田内	（北翔大学）
	2回戦	○	竹村　純	2-0	桐山	（根室西高教）
	2回戦	●	松本　章	0-2	中鉢	（苫小牧駒澤大学）
	2回戦	○	橋村達彦	2-1	小野寺	（明治大学）
	2回戦	○	多田亮太	2-0	角谷	（北翔大学）
	2回戦	○	小林徹太郎	2-0	松原	（教育大旭川）
	2回戦	●	鈴木知道	1-2	斉藤	（苫小牧駒澤大学）
	2回戦	○	関野有起	2-0	成田	（明治大学）
	3回戦	○	竹村　純	2-1	中鉢	（苫小牧駒澤大学）
	3回戦	●	橋村達彦	0-2	高島	（日本体育大学）
	3回戦	○	小林徹太郎	2-1	多田	（ＪＲ北海道）
	3回戦	○	関野有起	2-0	斉藤	（苫小牧駒澤大学）
	準決	○	竹村　純	2-1	高島	（日本体育大学）
	準決	○	関野有起	2-0	小林	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	関野有起	2-0	竹村	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	小林徹太郎	2-0	高島	（日本体育大学）
WS	1回戦	○	工藤亜紀	2-0	竹内	（北翔大学）
	1回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	宮下	（北翔大学）
	1回戦	●	阿野加代子	0-2	八木	（北翔大学）
	1回戦	●	木村有里	0-2	幡谷	（北翔大学）
	2回戦	●	工藤亜紀	1-2	永野	（早稲田大学）
	2回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	高橋	（北翔大学）
	2回戦	●	後藤佳代	0-2	幡谷	（北翔大学）
	準決	●	佐藤あゆみ	1-2	永野	（早稲田大学）
	3位決	●	佐藤あゆみ	0-2	八木	（北翔大学）

MD	1回戦	○	松本／多田	2-0	松原/入江	（教育大旭川）
	2回戦	○	橋村／関野	2-0	阿部/斉藤	（苫小牧駒澤大学）
	2回戦	○	松本／多田	2-0	田渕/小野寺	（明治大学）
	2回戦	○	鈴木／竹村	2-0	田内/加納	（北翔大学）
	準決	○	橋村／関野	2-0	高島/成田	（日本体育大・明治大）
	準決	○	鈴木／竹村	2-1	松本/多田	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	橋村／関野	2-1	鈴木/竹村	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	松本／多田	2-0	高島/成田	（日本体育大・明治大）
WD	1回戦	○	佐藤／阿野	2-0	澤村/宮口	（北翔大学）
	1回戦	●	川口／木村	0-2	高橋/幡谷	（北翔大学）
	1回戦	○	後藤／工藤	2-1	宮下/八木	（北翔大学）
	準決	○	佐藤／阿野	2-1	竹内/村山	（北翔大学）
	準決	○	後藤／工藤	2-0	高橋/幡谷	（北翔大学）
	決勝	○	後藤／工藤	2-0	佐藤/阿野	（ＪＲ北海道）

優　勝（男子単）	関野有起
優　勝（男子複）	橋村竜彦/関野有起
優　勝（女子複）	後藤佳代/工藤亜紀
準優勝（男子単）	竹村　純
準優勝（男子複）	鈴木知道/竹村　純
準優勝（女子複）	佐藤あゆみ/阿野加代子
第３位（男子単）	小林徹太郎
第３位（男子複）	松本　章/多田亮太



国民体育大会バドミントン競技北海道予選会

NO3

第６４回大会（平成２１年５月８日～１０日）　室蘭市体育館

MS	1回戦	○	松本　章	2-0	渋井	（苫小牧工教）
	2回戦	○	関野有起	2-0	小浜	（祝梅クラブ）
	2回戦	●	牧野公亮	1-2	中鉢	（苫小牧駒澤大）
	2回戦	○	多田亮太	2-0	後藤	（北翔大学）
	2回戦	●	松本　章	0-2	高島	（日本体育大学）
	2回戦	○	小林徹太郎	2-1	長原	（自衛隊北海道）
	2回戦	○	鈴木知道	2-0	駒井	（近畿大学）
	2回戦	○	竹村　純	2-0	佐藤	（北翔大学）
	2回戦	○	早坂幸平	2-0	桐山	（根室西高校教）
	3回戦	○	関野有起	2-0	中鉢	（苫小牧駒澤大）
	3回戦	●	多田亮太	0-2	高島	（日本体育大学）
	3回戦	○	早坂幸平	2-0	小林	（ＪＲ北海道）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	鈴木	（ＪＲ北海道）
	準決	○	関野有起	2-0	高島	（日本体育大学）
	準決	○	竹村　純	2-0	早坂	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	竹村　純	2-0	関野	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	早坂幸平	2-0	高島	（日本体育大学）
WS	1回戦	○	中川まどか	2-1	村山	（北翔大学）
	1回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	宮下	（北翔大学）
	1回戦	○	阿野加代子	2-1	阿部	（北翔大学）
	1回戦	○	工藤亜紀	2-0	内井	（北翔大学）
	2回戦	○	永野陽子	2-0	木下	（東海学院大）
	2回戦	○	佐藤あゆみ	2-1	中川	（ＪＲ北海道）
	2回戦	●	阿野加代子	1-2	八木	（北翔大学）
	2回戦	●	工藤亜紀	0-2	幡谷	（北翔大学）
	準決	○	永野陽子	2-0	佐藤	（ＪＲ北海道）
	決勝	●	永野陽子	0-2	幡谷	（北翔大学）
	3位決	●	佐藤あゆみ	0-2	八木	（北翔大学）

MD	2回戦	○	竹村 / 関野	2-0	原田/小野寺	（自衛隊北海道）
	2回戦	●	松本 / 小林	1-2	中鉢/佐々	（苫小牧駒澤大）
	2回戦	○	多田 / 鈴木	2-0	佐藤/長原	（自衛隊北海道）
	2回戦	○	早坂 /(高島)	2-0	田内/駒井	（北翔大・近畿大）
	準決	○	竹村 / 関野	2-0	中鉢/佐々	（苫小牧駒澤大）
	準決	●	多田 / 鈴木	0-2	早坂/高島	（JR北海道・日体大）
	決勝	●	竹村 / 関野	1-2	早坂/高島	（JR北海道・日体大）
	3位決	○	多田 / 鈴木	2-0	中鉢/佐々	（苫小牧駒澤大）
WD	2回戦	○	佐藤 / 阿野	2-1	八木/宮下	（北翔大学）
	2回戦	○	工藤 / 永野	2-0	武者/蜜石	（北翔大学）
	2回戦	●	中川 / (高橋	0-2	村山/幡谷	（北翔大学）
	準決	○	佐藤 / 阿野	2-0	澤村/山内	（北翔大学）
	準決	○	工藤 / 永野	2-0	村山/幡谷	（北翔大学）
	決勝	○	工藤 / 永野	2-0	佐藤/阿野	（ＪＲ北海道）

＊　高橋清絵(モアスポーツ北海道)

優　勝（男子単）	竹村　純
優　勝（男子複）	早坂幸平/高島雅彦（日体大）
優　勝（女子複）	工藤亜紀/永野陽子
準優勝（男子単）	関野有起
準優勝（女子単）	永野陽子
準優勝（男子複）	竹村　純/関野有起
準優勝（女子複）	佐藤あゆみ/阿野加代子
第３位（男子単）	早坂幸平



第６５回大会（平成２２年５月１４日～１６日）　函館市民体育館

MS	1回戦	●	鈴木知道	1-2	坂本	（苫小牧駒澤大学）
	1回戦	○	小林徹太郎	2-0	中木	（明治大学）
	1回戦	○	高島雅彦	2-0	谷内	（帝京大学）
	1回戦	○	早坂幸平	2-0	梅村	（室蘭工業大学）
	1回戦	○	牧野公亮	2-1	遠藤	（帝京大学）
	2回戦	○	竹村　純	2-0	小野寺	（明治大学）
	2回戦	○	小林徹太郎	2-1	尾野	（法政大学）
	2回戦	○	高島雅彦	2-0	斉藤	（苫小牧駒澤大学）
	2回戦	○	早坂幸平	2-0	駒井	（近畿大学）
	2回戦	○	牧野公亮	2-0	柿崎	（苫小牧駒澤大学）
	2回戦	○	関野有起	2-0	成田	（明治大学）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	坂本	（苫小牧駒澤大学）
	3回戦	○	高島雅彦	2-1	小林	（ＪＲ北海道）
	3回戦	○	早坂幸平	2-0	中鉢	（苫小牧駒澤大学）
	3回戦	○	関野有起	2-0	牧野	（ＪＲ北海道）
	準決	○	竹村　純	2-0	高島	（ＪＲ北海道）
	準決	○	関野有起	2-0	早坂	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	竹村　純	2-0	関野	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	早坂幸平	2-1	高島	（ＪＲ北海道）
WS	1回戦	●	阿野加代子	0-2	福田	（北翔大学）
	1回戦	○	工藤亜紀	2-0	平敷	（北翔大学）
	1回戦	○	佐藤あゆみ	2-1	伊藤	（北翔大学）
	1回戦	○	後藤佳代	2-0	八木	（北翔大学）
	1回戦	○	中川まどか	2-1	大久保	（北翔大学）
	1回戦	○	永野陽子	2-0	奥村	（北翔大学）
	2回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	工藤	（ＪＲ北海道）
	2回戦	○	後藤佳代	2-1	中川	（ＪＲ北海道）
	2回戦	○	永野陽子	2-1	村山	（北翔大学）
	準決	●	佐藤あゆみ	0-2	幡谷	（北翔大学）
	準決	○	永野陽子	2-0	後藤	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	永野陽子	2-0	幡谷	（北翔大学）
	3位決	○	後藤佳代	2-0	佐藤	（ＪＲ北海道）

MD	2回戦	○	竹村 / 早坂	2-0	中木/遠藤	（明大・帝京大）
	2回戦	●	高島 / 牧野	ｷｹﾝ	長谷川/柿崎	（苫小牧駒澤大学）
	2回戦	○	多田 / 小林	2-0	角谷/高野	（北翔大学）
	2回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	中川原/島田	（北翔大学）
	3回戦	○	竹村 / 早坂	2-0	斉藤/佐々	（苫小牧駒澤大）
	3回戦	○	多田 / 小林	2-0	中鉢/坂本	（苫小牧駒澤大）
	3回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	田渕/尾野	（明治大学・法政大学）
	準決	○	竹村 / 早坂	2-0	成田/小野寺	（明治大学）
	準決	○	関野 / 鈴木	2-0	多田/小林	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	竹村 / 早坂	2-0	関野/鈴木	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	多田 / 小林	2-1	成田/小野寺	（明治大学）
WD	2回戦	○	永野 / 工藤	2-0	奥村/清崎	（北翔大学）
	2回戦	○	阿野 / 後藤	2-1	森 / 林	（北翔大学）
	2回戦	○	佐藤 / 中川	2-1	蜜石/福田	（北翔大学）
	3回戦	○	永野 / 工藤	2-0	平敷/大久保	（北翔大学）
	3回戦	○	阿野 / 後藤	2-1	八木/宮下	（北翔大学）
	3回戦	●	佐藤 / 中川	1-2	幡谷/村山	（北翔大学）
	準決	○	永野 / 工藤	2-1	竹内/宮田	（北翔大学）
	準決	●	阿野 / 後藤	0-2	幡谷/村山	（北翔大学）
	決勝	○	永野 / 工藤	2-1	幡谷/村山	（北翔大学）
	3位決	●	阿野 / 後藤	1-2	竹内/宮田	（北翔大学）

優　勝（男子単）	竹村　純
優　勝（男子複）	竹村　純/早坂幸平
優　勝（女子単）	永野陽子
優　勝（女子複）	永野陽子/工藤亜紀
準優勝（男子単）	関野有紀
準優勝（男子複）	関野有起/鈴木知道
第３位（男子単）	早坂幸平
第３位（女子単）	後藤佳代
第３位（男子複）	多田亮太/小林徹太郎





国民体育大会バドミントン競技北海道予選会

第６６回大会（平成２３年５月１３日～１５日）　アスクゲートネクサス北見体育センター

MS	1回戦	●	多田亮太	0-2	中木（明治大学）
	1回戦	○	小林徹太郎	2-0	鈴木（苫小牧駒澤大）
	2回戦	○	竹村　純	2-0	佐藤（北翔大学）
	2回戦	○	牧野公亮	2-1	吉原（北翔大学）
	2回戦	●	高島雅彦	0-2	遠藤（帝京大学）
	2回戦	○	早坂幸平	2-1	藤井（明治大学）
	2回戦	○	小林徹太郎	2-0	島谷（法政大学）
	2回戦	○	関野有紀	2-0	太田（苫小牧駒澤大）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	尾野（法政大学）
	3回戦	○	牧野公亮	2-0	遠藤（帝京大学）
	3回戦	○	小林徹太郎	2-1	早坂（ＪＲ北海道）
	3回戦	●	関野有紀	1-2	田渕（明治大学）
	準決	○	竹村　純	2-0	牧野（ＪＲ北海道）
	準決	●	小林徹太郎	1-2	田渕（明治大学）
	決勝	○	竹村　純	2-1	田渕（明治大学）
	3位決	○	牧野公亮	2-1	小林（ＪＲ北海道）
WS	1回戦	●	阿野加代子	0-2	伊藤（北翔大学）
	1回戦	●	中川まどか	1-2	上本（北翔大学）
	1回戦	●	工藤亜紀	0-2	末松（北翔大学）
	2回戦	○	永野陽子	2-0	伊藤（北翔大学）
	2回戦	○	佐藤あゆみ	2-1	末松（北翔大学）
	2回戦	○	後藤佳代	2-0	阿部（北翔大学）
	準決	○	永野陽子	2-1	福田（北翔大学）
	準決	○	佐藤あゆみ	2-1	後藤（ＪＲ北海道）
	決勝	○	永野陽子	2-0	佐藤（ＪＲ北海道）
	3位決	●	後藤佳代	0-2	福田（北翔大学）

MD	1回戦	○	早坂／高島	2-0	金子/糟川（北翔大学）
	1回戦	○	小林／牧野	2-0	中川原/佐藤（北翔大学）
	1回戦	○	関野／多田	2-0	桐山/浅井（根西高教・苫工高教）
	2回戦	○	早坂／高島	2-0	中木/島谷（明治大・法政大）
	2回戦	●	小林／牧野	0-2	小野寺/田渕（明治大学）
	2回戦	○	関野／多田	2-0	鈴木/銅（苫小牧駒澤大）
	準決	○	早坂／高島	2-0	尾野/佐久間（法政大・筑波大）
	準決	○	関野／多田	2-0	小野寺/田渕（明治大学）
	決勝	○	関野／多田	2-1	早坂/高島（ＪＲ北海道）
WD	1回戦	○	工藤／永野	2-0	奥村/原田（北翔大学）
	1回戦	○	佐藤　中川	2-0	大久保/森（北翔大学）
	1回戦	○	後藤／阿野	2-0	上本/清崎（北翔大学）
	準決	○	工藤／永野	2-0	阿部/伊藤（北翔大学）
	準決	○	後藤／阿野	2-0	佐藤/中川（ＪＲ北海道）
	決勝	○	工藤／永野	2-0	後藤/阿野（ＪＲ北海道）
	3位決	●	佐藤／中川	1-2	阿部/伊藤（北翔大学）

優　勝（男子単）	竹村　純
優　勝（男子複）	多田亮太/関野有紀
優　勝（女子単）	永野陽子
優　勝（女子複）	永野陽子/工藤亜紀
準優勝（男子複）	早坂幸平/高島雅彦
準優勝（女子単）	佐藤あゆみ
準優勝（女子複）	後藤佳代/阿野加代子
第３位（男子単）	牧野公亮



第６７回大会（平成２４年７月１５日～１６日）　苫小牧暇沢大学体育館

MS	1回戦	○	渡部　大	2-0	鈴木（苫駒澤大）
	1回戦	○	渡邊一磨	2-0	田沼（龍谷大学）
	1回戦	○	高島雅彦	2-1	岡村（北翔大学）
	2回戦	○	竹村　純	2-0	南澤（苫駒澤大）
	2回戦	●	渡部　大	1-2	中川（青山学院大）
	2回戦	○	早坂幸平	2-0	住友（東海学院大）
	2回戦	○	渡邊一磨	2-0	布川（北翔大学）
	2回戦	○	田淵雄喜	2-1	清水（北翔大学）
	2回戦	○	高島雅彦	2-0	大田（苫駒澤大）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	中川（青山学院大）
	3回戦	○	早坂幸平	2-0	遠藤（帝京大学）
	3回戦	○	渡邊一磨	2-0	小林（ラッキーボーイ）
	3回戦	○	高島雅彦	2-1	田淵（ＪＲ北海道）
	準決	○	竹村　純	2-0	早坂（ＪＲ北海道）
	準決	○	高島雅彦	2-1	渡邊（ＪＲ北海道）
	決勝	○	竹村　純	2-0	高島（ＪＲ北海道）
	3位決	○	早坂幸平	2-1	渡邊（ＪＲ北海道）
WS	1回戦	●	阿野加代子	0-2	柴本（北翔大学）
	1回戦	○	中川まどか	2-0	清崎（北翔大学）
	1回戦	●	工藤亜紀	0-2	本田（北翔大学）
	1回戦	○	平敷祥子	2-0	奥村（北翔大学）
	2回戦	○	永野陽子	2-0	柴本（北翔大学）
	2回戦	○	中川まどか	2-1	阿部（北翔大学）
	2回戦	○	平敷祥子	ｷｹﾝ	後藤（ＪＲ北海道）
	準決	○	永野陽子	2-0	中川（ＪＲ北海道）
	準決	●	平敷祥子	0-2	本田（北翔大学）
	決勝	○	永野陽子	2-0	本田（北翔大学）
	3位決	○	平敷祥子	ｷｹﾝ	中川（ＪＲ北海道）

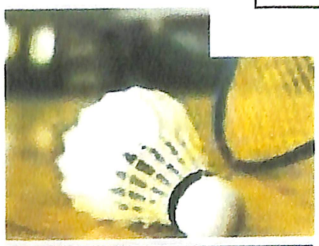
MD	2回戦	○	早坂／高島	2-0	亀岡/住友（金学・東学大）
	2回戦	○	竹村／渡邊	2-0	柿崎/大田（苫駒澤大）
	2回戦	○	牧野／渡部	2-0	高野/奥山（壮瞥・萩野小）
	2回戦	○	関野／田淵	2-0	高島/佐藤（DOFREE）
	3回戦	●	早坂／高島	1-2	吉原/布川（北翔大学）
	3回戦	○	竹村／渡邊	2-0	中川/小場（青学大・中大）
	3回戦	○	牧野／渡部	2-0	村山/速水（教育大旭川）
	3回戦	●	関野／田淵	1-2	銅　/遠藤（苫駒・帝京大）
	準決	○	竹村／渡邊	2-1	吉原/布川（北翔大学）
	準決	○	牧野／渡部	2-0	銅　/遠藤（苫駒・帝京大）
	決勝	○	牧野／渡部	2-1	竹村/渡邊（ＪＲ北海道）
WD	2回戦	○	工藤／永野	2-0	安藤/山家（学園大・日大）
	2回戦	○	平敷／中川	2-0	阿部/伊藤（北翔大学）
	2回戦	○	後藤／阿野	2-0	原田/山中（北翔大学）
	準決	●	工藤／永野	1-2	野村/本田（北翔大学）
	準決	○	平敷／中川	ｷｹﾝ	後藤/阿野（ＪＲ北海道）
	決勝	●	平敷／中川	1-2	野村/本田（北翔大学）

優　勝（男子単）	竹村　純
優　勝（男子複）	牧野公亮/渡部　大
優　勝（女子単）	永野陽子
準優勝（男子単）	高島雅彦
準優勝（男子複）	竹村　純/渡邊一磨
準優勝（女子複）	平敷祥子/中川まどか
第３位（男子単）	早坂幸平
第３位（女子単）	平敷祥子
第３位（女子複）	工藤亜紀/永野陽子



東日本復興支援

がんばろう日本



がんばろう日本

advisory staff



阿久津博將 氏
ミズノ(株)



菅原 亮 氏
(有)RSｽﾀﾞﾜﾗ



末高正幸 氏
ミズノ専属ストリンガー

国民体育大会バドミントン競技北海道予選会

NO5

第６８回大会（平成２５年５月１０日～１２日）　函館市民体育館

MS	1回戦	○	田淵雄喜	2-0	浅井（苫小牧工高）
	1回戦	○	牧野公亮	2-1	八木（北翔大学）
	1回戦	○	渡部　大	2-0	秋田（青山学院大）
	2回戦	●	田淵雄喜	0-2	島田（日本体育大）
	2回戦	●	牧野公亮	0-2	遠藤（帝京大学）
	2回戦	○	竹村　純	2-0	小山（北翔大学）
	2回戦	○	渡邊一磨	2-0	三枝（青山学院大）
	2回戦	○	渡部　大	2-0	布川（北翔大学）
	2回戦	○	早坂幸平	2-0	宇野（法政大学）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	松尾（青山学院大）
	3回戦	○	渡邊一磨	2-0	小野（北翔大学）
	3回戦	○	早坂幸平	2-0	渡部（ＪＲ北海道）
	準決	○	竹村　純	2-0	島田（日本体育大）
	準決	○	早坂幸平	2-1	渡邊（ＪＲ北海道）
	決勝	○	竹村　純	2-0	早坂（ＪＲ北海道）
	3位決	○	渡邊一磨	2-0	島田（日本体育大）
WS	1回戦	○	工藤亜紀	ｷｹﾝ	皆木（北翔大学）
	1回戦	○	中川まどか	2-0	定宗（北翔大学）
	1回戦	○	平敷祥子	2-0	原田（北翔大学）
	1回戦	○	後藤佳代	2-0	奥村（北翔大学）
	1回戦	○	鈴木麻友	2-0	清崎（北翔大学）
	2回戦	●	中川まどか	0-2	野村（北翔大学）
	2回戦	○	平敷祥子	2-0	後藤（ＪＲ北海道）
	2回戦	●	鈴木麻友	0-2	本田（北翔大学）
	2回戦	○	永野陽子	2-0	工藤（ＪＲ北海道）
	準決	●	平敷祥子	0-2	本田（北翔大学）
	準決	○	永野陽子	2-1	野村（北翔大学）
	決勝	○	永野陽子	2-0	本田（北翔大学）
	3位決	●	平敷祥子	1-2	野村（北翔大学）

MD	1回戦	○	早坂／田淵	2-0	清本/田中（北翔大学）
	2回戦	○	牧野／渡部	2-0	長船/小山（北翔大学）
	2回戦	○	早坂／田淵	2-0	遠藤/　銅（帝大・苫駒大）
	2回戦	○	竹村／渡邊	2-0	小野/八木（北翔大学）
	準決	○	牧野／渡部	2-0	秋田/宇野（青学大・法大）
	準決	○	竹村／渡邊	2-1	早坂/田淵（ＪＲ北海道）
	決勝	○	牧野／渡部	2-1	竹村/渡邊（ＪＲ北海道）
	3位決	●	早坂／田淵	1-2	秋田/宇野（青学大・法大）
WD	2回戦	○	後藤／工藤	2-1	清崎/清水（北翔大学）
	2回戦	○	永野／鈴木	2-1	前田/定宗（北翔大学）
	2回戦	●	平敷／中川	1-2	庄山/渡辺（札大・早稲田）
	準決	●	後藤／工藤	0-2	本田/野村（北翔大学）
	準決	○	永野／鈴木	2-1	庄山/渡辺（札大・早稲田）
	決勝	●	永野／鈴木	0-2	本田/野村（北翔大学）
	3位決	○	後藤／工藤	2-0	庄山/渡辺（札大・早稲田）

優　勝（男子単）	竹村　純
優　勝（男子複）	牧野公亮/渡部　大
優　勝（女子単）	永野陽子
準優勝（男子単）	早坂幸平
準優勝（男子複）	竹村　純/渡邊一磨
準優勝（女子複）	永野陽子/鈴木麻友
第３位（男子単）	渡邊一磨
第３位（女子複）	後藤佳代/工藤亜紀





JR北海道グループ

旭川ターミナルビル㈱
（ロワジールホテル旭川）

札建工業㈱

札新開発㈱
（桑園自動車学校）

札幌駅総合開発㈱
（アピア／エスタ／パセオ／札幌ステラプレイス）

札幌工営㈱

札幌交通機械㈱

ジェイ・アール道東トラベルサービス㈱

ジェイ・アールはこだて開発㈱
（函館駅ビアポ／クロフォード・イン大沼）

ジェイ・アール北海道バス㈱

ＪＲ北海道ホテルズ㈱
（JRタワーホテル日航札幌／JRイン札幌
ホテル日航ノースランド帯広／JRイン帯広）

ジェイアール北海道レンタリース㈱
（駅レンタカー／カーリース）

㈱ドウデン

北海道軌道施設工業㈱

北海道キヨスク㈱

北海道クリーン・システム㈱

北海道ジェイ・アール運輸サポート㈱

㈱北海道ジェイ・アール・エージェンシー

㈱北海道ジェイアール・コンサルタンツ

㈱北海道ジェイ・アール・サービスネット

北海道ジェイ・アール・サイバネット㈱

㈱北海道ジェイ・アール・システム開発

㈱北海道ジェイ・アール商事

北海道ジェイ・アール都市開発㈱

㈱北海道ジェイ・アール・ビルト

㈱北海道ジェイ・アール・フレッシュネス・リテール
（ジェイ・アール生鮮市場）

北海道リネンサプライ㈱

北海道旅客鉄道株式会社

北海道バドミントン選手権大会

第５６回大会（平成１５年８月１５日～１７日）　滝川スポーツセンター

MS	２回戦	○	松本　章	2-0	高畠	（教育大旭川）
	２回戦	○	橋村竜彦	2-0	川島	（教育大旭川）
	２回戦	○	竹村　純	2-0	池添	（教育大旭川）
	２回戦	○	小倉隆司	ｷｬﾝ	柿崎	（浅井学園大）
	２回戦	○	小野敏和	2-0	高階	（浅井学園大）
	３回戦	○	松本　章	2-0	山田	（浅井学園大）
	３回戦	○	橋村竜彦	2-0	井野	（ＮＴＴ北海道）
	３回戦	○	竹村　純	2-0	中村	（ＮＴＴ北海道）
	３回戦	●	小倉隆司	1-2	細田	（浅井学園大）
	３回戦	●	小野敏和	0-2	吉川	（ＮＴＴ北海道）
	４回戦	●	松本　章	0-2	長原	（中央大学）
	４回戦	○	橋村竜彦	2-0	三上	（ＮＴＴ北海道）
	４回戦	○	竹村　純	2-0	水澤	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	橋村竜彦	0-2	長原	（中央大学）
	準決	○	竹村　純	2-0	吉川	（ＮＴＴ北海道）
	決勝	●	竹村　純	0-2	長原	（中央大学）
	３位決	●	橋村竜彦	ｷｬﾝ	吉川	（ＮＴＴ北海道）
WS	１回戦	●	高橋律恵	0-2	若松	（浅井学園大）
	１回戦	○	山重直美	2-1	福井	（浅井学園大）
	１回戦	○	早山里子	2-1	野嶋	（浅井学園大）
	２回戦	●	平林千佳	0-2	本田	（浅井学園大）
	２回戦	●	西村美香	0-2	黒川	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	●	山重直美	1-2	三浦	（浅井学園大）
	２回戦	○	佐藤あゆみ	ｷｬﾝ	疋田	（浅井学園大）
	２回戦	●	早山里子	1-2	中島	（ＮＴＴ北海道）
	３回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	三浦	（浅井学園大）
	準決	●	佐藤あゆみ	1-2	吉岡	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	○	佐藤あゆみ	2-1	黒川	（ＮＴＴ北海道）

＊ 金本真也（札幌市役所）

MD	１回戦	○	小野 / (金本)	2-0	中西/佐藤	（札幌大学）
	２回戦	○	小野 / (金本)	2-0	吹田/佐藤	（プロジェクト）
	２回戦	○	小倉 / 橋村	2-0	田中/金澤	（後志学園・上磯ク）
	２回戦	○	松本 / 竹村	2-0	大居/上田	（TBC）
	３回戦	●	小野 / (金本)	0-2	水澤/三上	（ＮＴＴ北海道）
	３回戦	○	小倉 / 橋村	2-1	古川/長原	（NTT北・中央大）
	３回戦	○	松本 / 竹村	2-0	星 /吉川	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	小倉 / 橋村	0-2	水澤/三上	（ＮＴＴ北海道）
	準決	○	松本 / 竹村	2-0	井野/中村	（ＮＴＴ北海道）
	決勝	○	松本 / 竹村	2-0	水澤/三上	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	●	小倉 / 橋村	ｷｬﾝ	井野/中村	（ＮＴＴ北海道）
WD	１回戦	●	早山 / 高橋	0-2	疋田/野嶋	（浅井学園大）
	１回戦	●	平林 / 佐藤	0-2	福井/若松	（浅井学園大）
	２回戦	○	西村 / 山重	2-0	田中/山田	（浅井学園大）
	準決	○	西村 / 山重	2-0	本田/ 標	（ＮＴＴ北海道）
	決勝	●	西村 / 山重	1-2	本田/三浦	（浅井学園大）
XD	１回戦	●	小野 / 山重	0-2	井野/岩松	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	竹村 / 西村	2-0	星 / 標	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	松本 / 早山	2-0	中村/吉岡	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	●	小倉 / 佐藤	1-2	水澤/本田	（ＮＴＴ北海道）
	準決	○	竹村 / 西村	2-0	松本/早山	（ＪＲ北海道）
	決勝	●	竹村 / 西村	0-2	三上/黒川	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	○	松本 / 早山	2-1	水澤/本田	（ＮＴＴ北海道）

優　勝（男子複）　松本　章/竹村　純
準優勝（男子単）　竹村　純　（混合複）竹村　純/西村美香
準優勝（女子複）　西村美香/山重直美
第３位（女子単）　佐藤あゆみ（混合複）松本　章/早山里子

第５７回大会（平成１６年８月２０日～２２日）　釧路町総合体育館

MS	１回戦	○	小野敏和	2-0	工藤	（釧路市役所）
	２回戦	○	松本　章	2-1	一宮	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	橋村竜彦	2-0	井野	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	●	小野敏和	0-2	水澤	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	竹村　純	2-0	浅井	（苫小牧工業高教）
	３回戦	●	松本　章	0-2	長原	（ＮＴＴ北海道）
	３回戦	○	橋村竜彦	2-0	三上	（ＮＴＴ北海道）
	３回戦	●	竹村　純	0-2	中村	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	橋村竜彦	0-2	長原	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	●	橋村竜彦	ｷｬﾝ	吉川	（ＮＴＴ北海道）
WS	１回戦	○	田中美与子	2-1	三浦	（浅井学園大）
	１回戦	●	早山里子	0-2	黒川	（ＮＴＴ北海道）
	１回戦	○	佐藤あゆみ	ｷｬﾝ	田中	（浅井学園大）
	１回戦	●	平林千佳	0-2	柴山	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	田中美与子	2-1	福井	（浅井学園大）
	２回戦	●	佐藤あゆみ	0-2	宮崎	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	田中美与子	0-2	黒川	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	●	田中美与子	0-2	宮崎	（ＮＴＴ北海道）

MD	２回戦	○	松本 / 竹村	2-0	長原/ 星	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	●	小野 / 橋村	1-2	一宮/吉川	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	松本 / 竹村	1-2	井野/中村	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	○	松本 / 竹村	2-0	一宮/吉川	（ＮＴＴ北海道）
WD	１回戦	○	高橋 / 平林	ｷｬﾝ	吉岡/宮崎	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	●	高橋 / 平林	0-2	本田/三浦	（浅井学園大）
	２回戦	●	早山 / 佐藤	0-2	黒川/柴山	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	西村 / 田中	2-0	田中/福井	（浅井学園大）
	準決	●	西村 / 田中	0-2	阿野/後藤	（浅井学園大）
	３位決	○	西村 / 田中	ｷｬﾝ	黒川/柴山	（ＮＴＴ北海道）
XD	１回戦	○	松本 / 佐藤	2-1	中村/宮崎	（ＮＴＴ北海道）
	１回戦	●	小野 / 平林	0-2	一宮/ 中	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	松本 / 佐藤	1-2	三上/黒川	（ＮＴＴ北海道）
	準決	○	竹村 / 早山	2-1	一宮/ 中	（ＮＴＴ北海道）
	決勝	●	竹村 / 早山	0-2	三上/黒川	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	○	松本 / 佐藤	2-1	一宮/ 中	（ＮＴＴ北海道）

準優勝（混合複）　竹村　純/早山里子
第３位（混合複）　松本　章/佐藤あゆみ

第５８回大会（平成１７年９月２日～４日）　岩見沢市総合体育館・岩見沢スポーツセンター

MS	１回戦	○	鈴木知道	2-0	松尾	（虎杖浜小）
	２回戦	○	関野有起	2-0	一宮	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	橋村竜彦	2-0	浅井	（苫小牧工業高校）
	２回戦	●	鈴木知道	1-2	吉川	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	●	松本　章	0-2	米	（ＮＴＴ北海道）
	３回戦	○	関野有起	2-1	長原	（ＮＴＴ北海道）
	３回戦	○	橋村竜彦	2-0	三上	（ＮＴＴ北海道）
	準決	○	橋村竜彦	2-0	関野	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	橋村竜彦	2-1	吉川	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	●	関野有起	0-2	米	（ＮＴＴ北海道）
WS	１回戦	●	平林千佳	1-2	堤	（浅井学園大）
	２回戦	●	田中美与子	1-2	後藤	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	阿野加代子	2-0	瀬戸	（北海道大学）
	３回戦	●	阿野加代子	0-2	黒川	（ＮＴＴ北海道）

MD	１回戦	○	松本 / 多田	2-0	一ノ関/上山	（エスポワール）
	１回戦	○	橋村 / 鈴木	2-0	桑田/竹島	（北星学園・道工大）
	２回戦	●	松本 / 多田	1-2	井野/中村	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	橋村 / 鈴木	2-0	長原/古川	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	橋村 / 鈴木	1-2	井野/中村	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	○	橋村 / 鈴木	2-1	一宮/吉川	（ＮＴＴ北海道）
WD	１回戦	●	早山 / 平林	1-2	野嶋/遠藤	（浅井学園大）
	２回戦	○	田中 / 阿野	ｷｬﾝ	大田/ 西	（浅井学園大）
	準決	●	田中 / 阿野	0-2	岩松/ 中	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	○	田中 / 阿野	2-0	野嶋/遠藤	（浅井学園大）
XD	１回戦	●	松本 / 早山	0-2	井野/後藤	（ＮＴＴ北海道）
	１回戦	○	鈴木 / 阿野	2-1	古川/宮崎	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	鈴木 / 阿野	0-2	米 / 中	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	●	鈴木 / 阿野	0-2	井野/後藤	（ＮＴＴ北海道）

優　勝（男子単）　橋村竜彦
第３位（男子複）　橋村　竜彦/鈴木　知道
第３位（女子複）　田中美与子/阿野加代子

※　竹村　純は台湾サテライト大会（日本代表）に出場のため本大会は不参加

北海道バドミントン選手権大会

NO2

第５９回大会（平成１８年８月１８日～２０日）　帯広市総合体育館

MS	１回戦	○	鈴木知道	2-0	中鉢	（帯広大谷高）
	２回戦	○	橋村竜彦	2-0	一宮	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	●	松本　章	1-2	中村	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	関野有紀	2-1	田渕	（札幌第一高）
	２回戦	●	鈴木知道	1-2	米	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	○	竹村　純	2-0	鈴木	（札幌第一高）
	２回戦	●	多田亮太	0-2	山田	（浅井学園大学）
	３回戦	○	橋村竜彦	2-1	中村	（ＮＴＴ北海道）
	３回戦	○	関野有紀	2-1	三上	（ＮＴＴ北海道）
	３回戦	○	竹村　純	2-1	米	（ＮＴＴ北海道）
	準決	○	関野有紀	2-1	橋村	（ＪＲ北海道）
	準決	○	竹村　純	2-1	吉川	（ＮＴＴ北海道）
	決勝	○	竹村　純	2-1	関野	（ＪＲ北海道）
	３位決	○	橋村竜彦	2-1	吉川	（ＮＴＴ北海道）
WS	１回戦	●	木村有里	0-2	中川	（とわの森三愛高）
	１回戦	●	平林千佳	0-2	八木	（とわの森三愛高）
	１回戦	○	田中美与子	2-0	高橋	（浅井学園大学）
	１回戦	●	佐藤あゆみ	0-2	内井	（浅井学園大学）
	２回戦	●	阿野加代子	0-2	宮下	（札幌静修高）
	２回戦	●	田中美与子	0-2	太田	（浅井学園大学）

MD	２回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	田渕/小野寺	（札幌第一高校）
	２回戦	○	橋村 / 竹村	2-0	上山/木村	（エスポワール）
	２回戦	○	松本 / 多田	2-0	後藤/　盛	（札西陵高・厚真高）
	３回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	田内/梅原	（北海学園大学）
	３回戦	○	橋村 / 竹村	2-0	一宮/吉川	（ＮＴＴ北海道）
	３回戦	●	松本 / 多田	1-2	井野/中村	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	関野 / 鈴木	1-2	三上/　米	（ＮＴＴ北海道）
	準決	○	橋村 / 竹村	2-1	井野/中村	（ＮＴＴ北海道）
	決勝	●	橋村 / 竹村	1-2	三上/　米	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	●	関野 / 鈴木	0-2	井野/中村	（ＮＴＴ北海道）
WD	１回戦	○	平林 / 木村	2-0	松本/鈴木	（旭川北都商業高）
	１回戦	○	早山 / 佐藤	2-0	高橋/澤村	（浅井学園大学）
	２回戦	●	平林 / 木村	0-2	黒川/後藤	（ＮＴＴ北海道）
	２回戦	●	早山 / 佐藤	0-2	高橋/西	（浅井学園大学）
	２回戦	○	田中 / 阿野	2-0	遠藤/竹内	（浅井学園大学）
	準決	●	田中 / 阿野	0-2	吉岡/宮崎	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	●	田中 / 阿野	0-2	高橋/西	（浅井学園大学）
XD	１回戦	○	鈴木 / 平林	2-0	関野/木村	（ＪＲ北海道）
	準決	●	鈴木 / 平林	1-2	三上/黒川	（ＮＴＴ北海道）
	準決	○	竹村 / 田中	2-1	多田/阿野	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	竹村 / 田中	2-0	三上/黒川	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	○	鈴木 / 平林	2-1	多田/阿野	（ＪＲ北海道）



優　勝（男子単）　竹村　純
優　勝（混合複）　竹村　純 田中美与子
準優勝（男子単）　関野有起
準優勝（男子複）　橋村竜彦/竹村　純
第３位（男子単）　橋村竜彦
第３位（混合複）　鈴木知道/平林千佳

第６０回大会（平成１９年８月１７日～１９日）　滝川市スポーツセンター

MS	１回戦	○	鈴木知道	2-0	浅井	（苫小牧工業高教）
	１回戦	●	松本　章	0-2	今	（苫小牧駒澤大学）
	２回戦	○	竹村　純	2-0	安福	（　音　更）
	２回戦	○	鈴木知道	2-0	牧野	（旭川実業高校）
	２回戦	○	多田亮太	2-0	中村	（札幌第一高校）
	２回戦	○	橋村竜彦	2-1	比内	（MOAｽﾎｰﾂ北海道）
	２回戦	○	関野有起	2-1	桐山	（根室西高校教）
	３回戦	○	竹村　純	2-0	中鉢	（苫小牧駒澤大学）
	３回戦	○	多田亮太	2-1	鈴木	（ＪＲ北海道）
	３回戦	○	橋村竜彦	2-1	松浦	（近畿大学）
	３回戦	○	関野有起	2-0	鈴木	（札幌第一高校）
	準決	○	竹村　純	2-0	多田	（ＪＲ北海道）
	準決	○	関野有起	2-1	橋村	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	竹村　純	2-0	関野	（ＪＲ北海道）
	３位決	○	多田亮太	2-1	橋村	（ＪＲ北海道）
WS	１回戦	●	木村有里	ｷｹﾝ	内田	（北翔大学）
	１回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	中川	（とわの森三愛高校）
	２回戦	○	後藤佳代	2-0	長瀬	（ＳＭＣ）
	２回戦	○	阿野加代子	2-0	小久保	（札幌静修高校）
	２回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	村山	（北翔大学）
	３回戦	○	後藤佳代	2-0	内井	（北翔大学）
	３回戦	●	阿野加代子	1-2	高橋	（北翔大学）
	３回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	佐藤	（旭川実業高校）
	準決	●	後藤佳代	1-2	幡谷	（北翔大学）
	準決	○	佐藤あゆみ	2-0	高橋	（北翔大学）
	決勝	○	佐藤あゆみ	2-1	幡谷	（北翔大学）
	３位決	○	後藤佳代	ｷｹﾝ	高橋	（北翔大学）

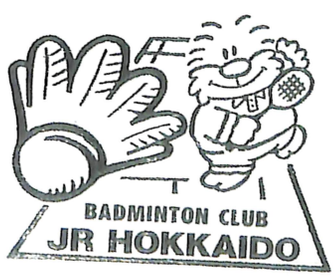
MD	２回戦	○	橋村 / 竹村	2-0	平池/駒井	（札幌第一高校）
	２回戦	○	松本 / 多田	2-0	牧野/鈴木	（旭川実業高校）
	２回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	藤谷/原田	（北翔大学）
	３回戦	○	橋村 / 竹村	2-0	高野/吹田	（旭工高教/利礼資材）
	３回戦	○	松本 / 多田	2-0	谷地元/中鉢	（苫小牧駒澤大学）
	３回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	佐藤/斎藤	（苫小牧駒澤大学）
	準決	○	橋村 / 竹村	2-0	水戸/佐々	（苫小牧駒澤大学）
	準決	○	関野 / 鈴木	2-1	松本/多田	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	橋村 / 竹村	2-0	関野/鈴木	（ＪＲ北海道）
	３位決	○	松本 / 多田	2-1	水戸/佐々	（苫小牧駒澤大学）
WD	１回戦	●	佐藤 / 木村	ｷｹﾝ	佐伯/武者	（北翔大学）
	２回戦	○	阿野 / 後藤	2-0	中川/本間	（とわの森三愛高校）
	準決	●	阿野 / 後藤	1-2	村山/幡谷	（北翔大学）
	３位決	○	阿野 / 後藤	2-0	高橋/宮下	（北翔大学）
XD	１回戦	●	松本 / 木村	ｷｹﾝ	角谷/村山	（NTT北OB/北翔大学）
	１回戦	○	関野 / 佐藤	2-0	藤谷/遠藤	（北翔大学）
	１回戦	●	鈴木 / 後藤	1-2	亀ヶ森/高橋	（法政大OB/北翔大学）
	準決	○	多田 / 阿野	2-0	角谷/村山	（NTT北OB/北翔大学）
	準決	●	関野 / 佐藤	0-2	亀ヶ森/高橋	（法政大OB/北翔大学）
	決勝	●	多田 / 阿野	0-2	亀ヶ森/高橋	（法政大OB/北翔大学）
	３位決	○	関野 / 佐藤	2-0	角谷/村山	（NTT北OB/北翔大学）



優　勝（男子単）　竹村　純
優　勝（女子単）　佐藤あゆみ
優　勝（男子複）　橋村竜彦 竹村　純
準優勝（男子単）　関野有起
準優勝（男子複）　関野有起/鈴木知道
準優勝（混合複）　多田亮太/阿野加代子
第３位（男子単）　多田亮太
第３位（女子単）　後藤佳代
第３位（男子複）　松本　章/多田亮太
第３位（女子複）　阿野加代子/後藤佳代
第３位（混合複）　関野有起/佐藤あゆみ








橋村竜彦


関野有起

北海道バドミントン選手権大会

NO3

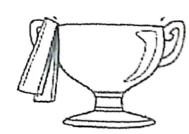
第６１回大会（平成２０年８月１５日～１７日）　札幌市豊平区体育館

MS	2回戦	●	竹村　純	ｷｹﾝ	駒井	（札幌第一高校）
	2回戦	○	小林徹太郎	2-0	加納	（北翔大学）
	2回戦	○	鈴木知道	2-1	大島	（札幌龍谷高教）
	2回戦	●	橋村竜彦	ｷｹﾝ	福寿	（ウイードスピリット）
	2回戦	●	多田亮太	0-2	中木	（旭川実業高校）
	2回戦	○	松本　章	2-1	阿部	（苫小牧駒澤大学）
	2回戦	○	関野有起	2-0	佐藤	（本別農大）
	3回戦	●	小林徹太郎	0-2	牧野	（旭川実業高校）
	3回戦	○	鈴木知道	2-0	中村	（札幌第一高校）
	3回戦	●	松本　章	0-2	佐久間	（札幌第一高校）
	3回戦	○	関野有起	2-0	入江	（教育大旭川）
	4回戦	○	鈴木知道	2-1	田内	（北翔大学）
	4回戦	○	関野有起	2-0	佐久間	（札幌第一高校）
	準決	○	鈴木知道	2-1	牧野	（旭川実業高校）
	準決	○	関野有起	2-0	平池	（札幌第一高校）
	決勝	○	関野有起	ｷｹﾝ	鈴木	（ＪＲ北海道）
WS	1回戦	●	木村有里	0-2	竹内	（北翔大学）
	1回戦	○	工藤亜紀	2-0	内田	（北翔大学）
	1回戦	○	後藤佳代	2-0	森	（北翔大学）
	1回戦	○	阿野加代子	2-0	平敷	（北翔大学）
	1回戦	○	川口美与子	2-1	山内	（北翔大学）
	2回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	宮田	（北翔大学）
	2回戦	○	工藤亜紀	2-0	中川	（とわの森三愛高）
	2回戦	○	後藤佳代	2-0	宮下	（北翔大学）
	2回戦	●	阿野加代子	1-2	村山	（北翔大学）
	2回戦	●	川口美与子	0-2	幡谷	（北翔大学）
	3回戦	○	佐藤あゆみ	2-1	竹内	（北翔大学）
	3回戦	○	工藤亜紀	2-0	遠藤	（北翔大学）
	3回戦	●	後藤佳代	0-2	内井	（北翔大学）
	準決	○	佐藤あゆみ	2-0	工藤	（ＪＲ北海道）
	決勝	●	佐藤あゆみ	0-2	幡谷	（北翔大学）
	3位決	●	工藤亜紀	0-2	内井	（北翔大学）

MD	2回戦	○	橋村 / 関野	2-0	加納/宮田	（北翔大学）
	2回戦	○	松本 / 小林	2-0	佐藤/佐々	（苫小牧駒澤大学）
	2回戦	○	鈴木 / 多田	2-0	諏訪内/中村	（札幌第一高校）
	3回戦	○	橋村 / 関野	2-0	尾野/佐久間	（札幌第一高校）
	3回戦	○	松本 / 小林	2-1	平池/小場	（札幌第一高校）
	3回戦	○	鈴木 / 多田	2-0	阿部/斉藤	（苫小牧駒澤大学）
	準決	○	橋村 / 関野	2-1	三上/亀ヶ森	（苫駒澤大職/JRﾌｰｽﾞ）
	準決	○	松本 / 小林	2-1	鈴木/多田	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	松本 / 小林	2-1	橋村/関野	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	鈴木 / 多田	2-0	三上/亀ヶ森	（苫駒澤大職/JRﾌｰｽﾞ）
WD	2回戦	●	川口 / 木村	0-2	遠藤/内井	（北翔大学）
	2回戦	○	佐藤 / 阿野	ｷｹﾝ	武者/蜜石	（北翔大学）
	2回戦	○	後藤 / 工藤	2-0	福田/平敷	（北翔大学）
	3回戦	○	佐藤 / 阿野	2-0	高橋/幡谷	（北翔大学）
	3回戦	○	後藤 / 工藤	2-0	澤村/宮田	（北翔大学）
	準決	○	佐藤 / 阿野	2-0	宮下/八木	（北翔大学）
	準決	●	後藤 / 工藤	0-2	竹内/村山	（北翔大学）
	決勝	●	佐藤 / 阿野	0-2	竹内/村山	（北翔大学）
	3位決	○	後藤 / 工藤	2-0	宮下/八木	（北翔大学）
XD	1回戦	●	小林 / 木村	1-2	亀ヶ森/高橋	（JRフーズ・北翔大）
	1回戦	○	松本 / 阿野	2-0	鈴木/後藤	（ＪＲ北海道）
	1回戦	○	多田 / 工藤	2-0	関野/佐藤	（ＪＲ北海道）
	1回戦	○	橋村 / 川口	2-0	後藤/西尾	（西陵高教・G･CLUB）
	準決	●	松本 / 阿野	0-2	亀ヶ森/高橋	（JRフーズ・北翔大）
	準決	○	多田 / 工藤	2-0	橋村/川口	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	多田 / 工藤	2-1	亀ヶ森/高橋	（JRフーズ・北翔大）
	3位決	○	松本 / 阿野	2-1	橋村/川口	（ＪＲ北海道）

優　勝（男子単）　関野有起
優　勝（男子複）　松本　章/小林徹太郎
優　勝（混合複）　多田亮太/工藤亜紀
準優勝（男子単）　鈴木知道
準優勝（男子複）　橋村竜彦/関野有起
準優勝（女子単）　佐藤あゆみ
準優勝（女子複）　佐藤あゆみ/阿野加代子

第３位（男子複）　多田亮太/鈴木知道
第３位（女子複）　後藤佳代/工藤亜紀
第３位（混合複）　松本　章/阿野加代子



第６２回大会（平成２１年８月２１日～２３日）　小樽市総合体育館

MS	2回戦	○	関野有起	2-0	金子	（北翔大学）
	2回戦	○	小林徹太郎	2-0	阿部	（苫小牧駒澤大学）
	2回戦	○	牧野公亮	2-0	工藤	（釧路市役所）
	3回戦	○	関野有起	2-0	斉藤	（苫小牧駒澤大学）
	3回戦	●	小林徹太郎	1-2	中木	（旭川実業高校）
	3回戦	○	牧野公亮	2-0	佐藤	（苫小牧駒澤大学）
	4回戦	○	関野有起	2-0	島谷	（旭川実業高校）
	4回戦	○	牧野公亮	2-0	中鉢	（苫小牧駒澤大学）
	準決	●	関野有起	1-2	尾野	（札幌第一高校）
	準決	○	牧野公亮	2-1	佐久間	（札幌第一高校）
	決勝	○	牧野公亮	ｷｹﾝ	尾野	（札幌第一高校）
	3位決	○	関野有起	ｷｹﾝ	佐久間	（札幌第一高校）
WS	1回戦	○	後藤佳代	2-0	鈴木	（とわの森三愛高）
	1回戦	○	中川まどか	2-1	伊藤	（北翔大学）
	1回戦	○	工藤亜紀	2-0	柏木	（北翔大学）
	1回戦	○	永野陽子	2-0	平敷	（北翔大学）
	1回戦	●	阿野加代子	0-2	武者	（北翔大学）
	1回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	大久保	（北翔大学）
	2回戦	○	後藤佳代	2-0	福田	（北翔大学）
	2回戦	●	中川まどか	0-2	八木	（北翔大学）
	2回戦	○	工藤亜紀	2-0	宮田	（北翔大学）
	2回戦	○	永野陽子	2-0	堀田	（旭川実業高）
	2回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	宮下	（北翔大学）
	3回戦	●	後藤佳代	0-2	幡谷	（北翔大学）
	3回戦	○	工藤亜紀	2-0	八木	（北翔大学）
	3回戦	●	永野陽子	0-2	内井	（北翔大学）
	3回戦	●	佐藤あゆみ	1-2	村山	（北翔大学）
	準決	●	工藤亜紀	1-2	幡谷	（北翔大学）
	3位決	○	工藤亜紀	2-1	内井	（北翔大学）

MD	2回戦	○	関野 / 鈴木	2-1	大西/庄司	（ほくでん）
	2回戦	○	松本 / 政野	2-0	浅井/桐山	（苫工高・根室西高）
	2回戦	○	多田 / 小林	2-0	小浜/工藤	（祝梅ク・釧路市役所）
	3回戦	●	関野 / 鈴木	1-2	高田/小澤	（旭川実業高校）
	3回戦	○	松本 / 牧野	2-1	小野/広坂	（札幌龍谷高校）
	3回戦	○	多田 / 小林	2-1	阿部/斉藤	（苫小牧駒澤大学）
	準決	○	多田 / 小林	2-1	松本/牧野	（ＪＲ北海道）
	決勝	●	多田 / 小林	0-2	尾野/佐久間	（札幌第一高校）
	3位決	○	松本 / 牧野	2-0	高田/小澤	（旭川実業高校）
WD	2回戦	○	佐藤 / 中川	2-0	平敷/　森	（北翔大学）
	2回戦	○	後藤 / 阿野	2-1	澤村/内田	（北翔大学）
	2回戦	○	永野 / 工藤	2-0	庄山/渡辺	（札幌静修高校）
	3回戦	●	佐藤 / 中川	0-2	八木/宮下	（北翔大学）
	3回戦	●	後藤 / 阿野	1-2	竹内/宮田	（北翔大学）
	3回戦	○	永野 / 工藤	2-0	阿部/伊藤	（北翔大学）
	準決	○	永野 / 工藤	2-1	幡谷/村山	（北翔大学）
	決勝	●	永野 / 工藤	1-2	竹内/宮田	（北翔大学）
XD	1回戦	○	鈴木 / 後藤	2-0	田内/村山	（北翔大学）
	準決	○	鈴木 / 後藤	2-0	多田/工藤	（ＪＲ北海道）
	準決	○	竹村 / 永野	2-1	松本/阿野	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	鈴木 / 後藤	2-0	竹村/永野	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	多田 / 工藤	2-1	松本/阿野	（ＪＲ北海道）

優　勝（男子単）　牧野公亮
優　勝（混合複）　鈴木知道/後藤佳代
準優勝（男子複）　多田亮太/小林徹太郎
準優勝（女子複）　永野陽子/工藤亜紀
準優勝（混合複）　竹村　純/永野陽子
第３位（男子単）　関野有起
第３位（女子単）　工藤亜紀
第３位（男子複）　松本　章/牧野公亮
第３位（混合複）　多田亮太/工藤亜紀







北海道バドミントン選手権大会

NO4

第６３回大会（平成２２年８月２０日～２２日）　室蘭市体育館

MS	2回戦	○	牧野公亮	2-0	銅	（苫小牧駒澤大）
	2回戦	○	早坂幸平	2-0	佐藤	（苫小牧駒澤大）
	2回戦	○	竹村　純	2-0	高田	（旭川実業高）
	2回戦	○	高島雅彦	2-0	鈴木	（苫小牧駒澤大）
	2回戦	○	小林徹太郎	2-0	柿崎	（苫小牧駒澤大）
	3回戦	○	牧野公亮	2-0	山家	（北翔大学）
	3回戦	○	早坂幸平	2-1	坂本	（苫小牧駒澤大）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	斉藤	（苫小牧駒澤大）
	3回戦	○	高島雅彦	2-0	西條	（帯広大谷高）
	3回戦	○	小林徹太郎	2-0	高野	（北翔大学）
	4回戦	○	牧野公亮	2-0	山本	（札幌第一高）
	4回戦	○	早坂幸平	2-0	渡部	（旭川実業高）
	4回戦	○	高島雅彦	ｷｬﾝ	竹村	（ＪＲ北海道）
	4回戦	○	小林徹太郎	2-1	中鉢	（苫小牧駒澤大）
	準決	○	早坂幸平	2-0	牧野	（ＪＲ北海道）
	準決	○	高島雅彦	2-1	小林	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	早坂幸平	2-0	高島	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	牧野公亮	2-1	小林	（ＪＲ北海道）
WS	1回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	山中	（北翔大学）
	1回戦	●	阿野加代子	0-2	平敷	（北翔大学）
	1回戦	●	後藤佳代	0-2	福田	（北翔大学）
	1回戦	○	中川まどか	2-1	山下	（北翔大学）
	2回戦	○	佐藤あゆみ	2-1	伊藤	（北翔大学）
	2回戦	○	永野陽子	2-1	奥村	（北翔大学）
	2回戦	●	工藤亜紀	1-2	佐々木	（北翔大学）
	2回戦	○	中川まどか	2-0	福田	（北翔大学）
	3回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	幡谷	（北翔大学）
	3回戦	○	永野陽子	2-0	牧野	（深川西高）
	3回戦	●	中川まどか	1-2	村山	（北翔大学）
	準決	○	永野陽子	2-0	佐藤	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	永野陽子	2-0	八木	（北翔大学）
	3位決	○	佐藤あゆみ	2-1	村山	（北翔大学）

MD	1回戦	○	早坂 / 高島	2-0	富樫/伊藤	（網走・函館）
	1回戦	○	竹村 / 牧野	2-0	大西/庄司	（ほくでん）
	2回戦	○	多田 / 小林	2-0	桐山/浅井	（根室西高・苫小牧工業）
	2回戦	○	早坂 / 高島	2-0	角谷/高野	（北翔大学）
	2回戦	○	関野 / 鈴木	2-1	畑本/吉原	（札幌第一高）
	2回戦	○	竹村 / 牧野	2-0	長谷川/柿崎	（苫小牧駒澤大）
	3回戦	○	多田 / 小林	2-0	中鉢/坂本	（苫小牧駒澤大）
	3回戦	○	早坂 / 高島	ｷｬﾝ	藤井/山本	（札幌第一高）
	3回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	斉藤/佐々	（苫小牧駒澤大）
	3回戦	○	竹村 / 牧野	2-0	高田/小澤	（旭川実業高）
	準決	○	早坂 / 高島	2-0	多田/小林	（ＪＲ北海道）
	準決	○	関野 / 鈴木	2-1	竹村/牧野	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	関野 / 鈴木	2-0	早坂/高島	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	竹村 / 牧野	2-1	多田/小林	（ＪＲ北海道）
WD	2回戦	○	後藤 / 阿野	2-0	山下/山中	（北翔大学）
	2回戦	○	佐藤 / 中川	2-0	森　/柏木	（北翔大学）
	2回戦	○	永野 / 工藤	2-0	服部/　林	（北翔大学）
	3回戦	●	後藤 / 阿野	0-2	幡谷/村山	（北翔大学）
	3回戦	●	佐藤 / 中川	0-2	八木/宮下	（北翔大学）
	3回戦	○	永野 / 工藤	2-0	阿部/伊藤	（北翔大学）
	準決	○	永野 / 工藤	2-1	八木/宮下	（北翔大学）
	決勝	●	永野 / 工藤	1-2	幡谷/村山	（北翔大学）
XD	1回戦	○	牧野 / 阿野	ｷｬﾝ	鈴木/後藤	（ＪＲ北海道）
	1回戦	○	高島 / (竹内)	2-0	多田/工藤	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	牧野 / 阿野	2-0	高島/竹内	（ＪＲ北海道・北翔大）
	3位決	○	多田 / 工藤	ｷｬﾝ	鈴木/後藤	（ＪＲ北海道）

優　勝（男子単）	早坂幸平
優　勝（女子単）	永野陽子
優　勝（男子複）	関野有起/鈴木知道
優　勝（混合複）	牧野公亮/阿野加代子
準優勝（男子単）	高島雅彦
準優勝（男子複）	早坂幸平/高島雅彦
準優勝（女子複）	永野陽子/工藤亜紀
準優勝（混合複）	高島雅彦/(竹内由佳利：北翔大学)



第３位（男子単）	牧野公亮
第３位（女子単）	佐藤あゆみ
第３位（男子複）	竹村　純/牧野公亮
第３位（混合複）	多田亮太/工藤亜紀

第６４回大会（平成２３年８月５日～７日）　美唄市体育館

5.27石勝線でおおぞら14号がトンネルで脱線火災事故により活動自粛。大会出場辞退。

第６５回大会（平成２４年８月１７日～１９日）　旭川市総合体育館

MS	2回戦	○	田淵雄喜	2-0	清本	（北翔大学）
	3回戦	○	田淵雄喜	2-0	岩鼻	（旭川実業）
	4回戦	○	田淵雄喜	2-1	小林	（ﾗｯｷｰﾎﾟｰｲ）
	4回戦	○	渡部　大	2-1	西方	（北翔大学）
	4回戦	○	渡邊一磨	2-0	大田	（苫駒沢大）
	4回戦	○	早坂幸平	2-0	松本	（ﾗｯｷｰﾎﾟｰｲ）
	4回戦	○	高島雅彦	2-0	布川	（北翔大学）
	5回戦	●	渡部　大	1-2	渡邊	（札幌第一）
	5回戦	○	早坂幸平	2-0	水間	（札幌第一）
	5回戦	○	渡邊一磨	2-0	田淵	（ＪＲ北海道）
	5回戦	●	高島雅彦	1-2	三枝	（札幌第一）
	準決	○	渡邊一磨	2-1	渡邊	（札幌第一）
	準決	○	早坂幸平	2-0	三枝	（札幌第一）
	決勝	○	早坂幸平	2-1	渡邊	（ＪＲ北海道）
WS	2回戦	●	阿野加代子	1-2	布川	（旭川実業）
	2回戦	○	工藤亜紀	2-0	松田	（根室）
	3回戦	○	平敷祥子	2-0	泥川	（札幌静修）
	3回戦	○	永野陽子	2-0	伊藤	（とわの森高）
	3回戦	○	中川まどか	2-0	桂	（札幌静修）
	3回戦	○	工藤亜紀	2-0	鈴木	（旭川実業）
	4回戦	○	平敷祥子	2-0	藤田	（とわの森高）
	4回戦	○	永野陽子	2-0	伊藤	（北翔大学）
	4回戦	●	中川まどか	0-2	阿部	（北翔大学）
	4回戦	●	工藤亜紀	0-2	本田	（北翔大学）
	準決	○	平敷祥子	2-0	永野	（ＪＲ北海道）
	決勝	●	平敷祥子	1-2	本田	（北翔大学）
	3位決	●	永野陽子	ｷｬﾝ	阿部	（北翔大学）

MD	1回戦	○	関野 / 田淵	ｷｬﾝ	前崎/小川	（釧東・釧路工）
	2回戦	○	関野 / 田淵	2-1	澤井/小山	（苫駒沢大）
	3回戦	○	早坂 / 高島	2-0	玉置/小山	（旭川実業高）
	3回戦	○	関野 / 田淵	2-0	渡邊/本間	（札幌第一高）
	3回戦	○	竹村 / 渡邊	2-1	村山/速水	（教育大旭川）
	3回戦	○	牧野 / 渡部	2-0	権代/山田	（苫駒沢大）
	4回戦	○	早坂 / 高島	2-0	田中/羽田	（北翔大学）
	4回戦	●	関野 / 田淵	0-2	岡村/　榊	（北翔大学）
	4回戦	○	竹村 / 渡邊	2-0	見澤/西方	（北翔大学）
	4回戦	○	牧野 / 渡部	2-0	松本/渡部	（ﾗｯｷｰﾎﾟｰｲ）
	準決	○	早坂 / 高島	2-0	岡村/　榊	（北翔大学）
	準決	○	牧野 / 渡部	2-1	竹村/渡邊	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	早坂 / 高島	2-1	牧野/渡部	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	竹村 / 渡邊	2-0	岡村/　榊	（北翔大学）
WD	3回戦	○	後藤 / 阿野	2-0	中條/中條	（旭川実業高）
	3回戦	○	工藤 / 永野	2-0	宮川/臼杵	（岩緑陵・岩農高）
	3回戦	○	平敷 / 中川	2-0	栃原/林田	（札幌静修高）
	4回戦	○	工藤 / 永野	2-1	後藤/阿野	（ＪＲ北海道）
	4回戦	○	平敷 / 中川	2-1	鈴木/佐々木	（旭川実業高）
	準決	●	工藤 / 永野	0-2	阿部/伊藤	（北翔大学）
	準決	●	平敷 / 中川	0-2	野村/本田	（北翔大学）
	3位決	○	工藤 / 永野	2-0	平敷/中川	（ＪＲ北海道）
XD	準決	○	牧野 / 阿野	2-0	西尾/田中	（遊羽クラブ）
	準決	○	高島 / 後藤	2-0	関野/平敷	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	高島 / 後藤	2-0	牧野/阿野	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	関野 / 平敷	2-0	西尾/田中	（遊羽クラブ）

優　勝（男子単）	早坂幸平
優　勝（男子複）	早坂幸平/高島雅彦
優　勝（混合複）	高島雅彦 後藤佳代
第３位（男子複）	竹村　純/渡邊一磨
第３位（女子複）	工藤亜紀/永野陽子
第３位（混合複）	関野有起/平敷祥子



準優勝（男子単）	渡邊一磨
準優勝（女子単）	平敷祥子
準優勝（男子複）	牧野公亮/渡部　大
準優勝（混合複）	牧野公亮/阿野加代子



北海道バドミントン選手権大会

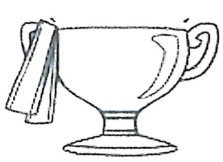
NO5

第６６回大会（平成２５年８月２３日～２５日）　苫小牧市総合体育館

MS	２回戦	●	田淵雄喜	0-2	清水	（北翔大学）
	４回戦	●	早坂幸平	ｷｹﾝ	青木	（旭川実業高）
	４回戦	○	内藤浩司	2-0	布川	（北翔大学）
	４回戦	○	竹村　純	2-0	八木	（苫小牧工業高）
	４回戦	○	渡部　大	2-0	岩泉	（旭川実業高）
	４回戦	○	渡邊一磨	2-0	八木	（北翔大学）
	５回戦	○	内藤浩司	2-0	青木	（旭川実業高）
	５回戦	○	竹村　純	2-0	西方	（北翔大学）
	５回戦	○	渡部　大	2-0	吉川	（旭川実業高）
	５回戦	○	渡邊一磨	2-0	吉原	（北翔大学）
	準決	○	竹村　純	2-1	内藤	（ＪＲ北海道）
	準決	○	渡部　大	2-1	渡邊	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	竹村　純	2-0	渡部	（ＪＲ北海道）
	３位決	○	内藤浩司	ｷｹﾝ	渡邊	（ＪＲ北海道）
WS	１回戦	○	鈴木麻友	2-0	斉藤	（平取高）
	１回戦	○	中川まどか	2-0	佐藤	（岩見沢西高）
	２回戦	○	鈴木麻友	2-1	大塚	（札幌静修高）
	２回戦	○	中川まどか	2-0	清水	（北翔大学）
	２回戦	○	後藤佳代	2-1	柴本	（北翔大学）
	３回戦	○	鈴木麻友	ｷｹﾝ	本田	（北翔大学）
	３回戦	●	中川まどか	0-2	松本	（とわの森三愛高）
	３回戦	○	永野陽子	2-0	定宗	（北翔大学）
	３回戦	○	後藤佳代	2-0	松本	（帯広大谷高）
	３回戦	○	平敷祥子	2-0	原田	（北翔大学）
	４回戦	●	鈴木麻友	0-2	田岸	（北翔大学）
	４回戦	○	永野陽子	2-0	野口	（旭川実業高）
	４回戦	○	平敷祥子	2-1	後藤	（ＪＲ北海道）
	準決	○	永野陽子	2-1	平敷	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	永野陽子	2-0	松本	（とわの森三愛高）
	３位決	●	平敷祥子	ｷｹﾝ	田岸	（北翔大学）

MD	３回戦	○	早坂 / 高島	2-0	木村/岸田	（旭川実業高）
	３回戦	○	田淵 / 内藤	2-0	森山/高島	（ＤＯＦＲＥＥ）
	３回戦	○	竹村 / 渡邊	2-0	速水/岡崎	（旭川実業･旭川工業高）
	３回戦	○	牧野 / 渡部	2-0	布川/羽田	（北翔大学）
	４回戦	○	早坂 / 高島	2-0	山口/渡邊	（札幌第一高）
	４回戦	○	田淵 / 内藤	2-1	岡村/　榊	（北翔大学）
	４回戦	○	竹村 / 渡邊	2-0	吉原/西方	（北翔大学）
	４回戦	○	牧野 / 渡部	2-0	吉川/青木	（旭川実業高）
	準決	○	早坂 / 高島	2-0	田淵/内藤	（ＪＲ北海道）
	準決	○	牧野 / 渡部	2-1	竹村/渡邊	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	牧野 / 渡部	2-0	早坂/高島	（ＪＲ北海道）
	３位決	○	竹村 / 渡邊	2-0	田淵/内藤	（ＪＲ北海道）
WD	２回戦	○	中川 / 鈴木	2-1	石澤/古澤	（札幌静修高）
	２回戦	○	永野 / 平敷	2-0	櫛山/川島	（RSｽｶﾜﾗ･岩見沢ﾄﾞﾙﾌｨﾝ）
	２回戦	○	後藤 / 工藤	2-0	清崎/原田	（北翔大学）
	３回戦	●	中川 / 鈴木	0-2	野村/本田	（北翔大学）
	３回戦	○	永野 / 平敷	2-0	松谷/定免	（とわの森三愛高）
	３回戦	○	後藤 / 工藤	2-0	長瀬/上坂	（とわの森・帯広大谷）
	準決	●	永野 / 平敷	0-2	野村/本田	（北翔大学）
	準決	○	後藤 / 工藤	2-0	松本/松本	（帯広大谷・とわの森）
	決勝	●	後藤 / 工藤	0-2	野村/本田	（北翔大学）
	３位決	●	永野 / 平敷	0-2	松本/松本	（帯広大谷・とわの森）

優　勝（男子単）	竹村　純
優　勝（女子単）	永野陽子
優　勝（男子複）	牧野公亮/渡部　大
準優勝（男子単）	渡部　大
準優勝（男子複）	早坂幸平/高島雅彦
準優勝（女子複）	後藤佳代/工藤亜紀
第３位（男子単）	内藤浩司
第３位（男子複）	竹村　純/渡邊一磨







Twinkle Plaza

■ ツインクルプラザ札幌支店 …… 011-222-6133
■ ツインクルプラザ札幌南口支店 … 011-231-9908
■ ツインクルプラザ桑園支店 …… 011-737-2881
■ ツインクルプラザ琴似支店 …… 011-613-1955
■ ツインクルプラザ手稲支店 …… 011-685-2918
■ ツインクルプラザ新札幌支店 …… 011-895-1070
■ JR北海道法人旅行札幌支店 …… 011-231-8938
■ ツインクルプラザ小樽支店 …… 0134-22-6584
■ ツインクルプラザ岩見沢支店 …… 0126-23-3755
■ ツインクルプラザ東室蘭支店 …… 0143-43-8411
■ ツインクルプラザ苫小牧支店 …… 0144-34-8140
■ ツインクルプラザ千歳支店 …… 0123-27-1885
■ ツインクルプラザ滝川支店 …… 0125-24-7744
■ ツインクルプラザ釧路支店 …… 0154-25-4890
■ ツインクルプラザ帯広支店 …… 0155-25-4410
■ ツインクルプラザ旭川支店 …… 0166-22-8180
■ ツインクルプラザ北見支店 …… 0157-23-8104
■ ツインクルプラザ網走支店 …… 0152-45-1513
■ ツインクルプラザ名寄支店 …… 01654-3-0415
■ ツインクルプラザ函館支店 …… 0138-23-4436
■ JR北海道プラザ東京支店 …… 03-3215-1490
■ JR北海道プラザ大阪支店 …… 06-6345-8222
■ JR北海道プラザ仙台支店 …… 022-261-8051

北海道社会人バドミントン選手権大会

第47回大会（平成15年9月27日～28日）　千歳市開基記念総合武道館

MS
2回戦 ○ 橋村竜彦 2-0 星 （ＮＴＴ北海道）
2回戦 ● 小倉隆司 0-2 井野 （ＮＴＴ北海道）
2回戦 ○ 竹村　純 2-0 田中 （ハイミートたなか）
2回戦 ● 小野敏和 0-2 吉川 （ＮＴＴ北海道）
2回戦 ○ 松本　章 2-0 菊田 （自衛隊北海道）
3回戦 ○ 橋村竜彦 2-0 水澤 （ＮＴＴ北海道）
3回戦 ○ 竹村　純 2-1 井野 （ＮＴＴ北海道）
3回戦 ● 松本　章 1-2 中村 （ＮＴＴ北海道）
準決 ○ 竹村　純 2-1 橋村 （ＪＲ北海道）
決勝 ● 竹村　純 1-2 吉川 （ＮＴＴ北海道）
3位決 ● 橋村竜彦 0-2 中村 （ＮＴＴ北海道）

LS
1回戦 ○ 佐藤あゆみ 2-0 伴 （ノースメティコ）
1回戦 ● 平林千佳 0-2 本田 （ＮＴＴ北海道）
1回戦 ● 早山里子 0-2 吉岡 （ＮＴＴ北海道）
1回戦 ● 山重直美 0-2 黒川 （ＮＴＴ北海道）
2回戦 ● 佐藤あゆみ 0-2 岩松 （ＮＴＴ北海道）
2回戦 ● 西村美香 ｷｸｿ 本田 （ＮＴＴ北海道）

MD
1回戦 ○ 小野 /(金本) 2-0 佐藤/菊田 （自衛隊北海道）
1回戦 ○ 小倉 / 橋村 2-1 首藤/高橋 （釧市役所・釧北中）
2回戦 ● 小野 /(金本) 0-2 水澤/三上 （ＮＴＴ北海道）
2回戦 ○ 小倉 / 橋村 2-0 星 /田村 （伊達・三菱製鋼）
2回戦 ○ 松本 / 竹村 2-0 星 /吉川 （ＮＴＴ北海道）
準決 ● 小倉 / 橋村 1-2 水澤/三上 （ＮＴＴ北海道）
準決 ● 松本 / 竹村 1-2 井野/中村 （ＮＴＴ北海道）
3位決 ○ 松本 / 竹村 ｷｸｿ 小倉/橋村 （ＪＲ北海道）

LD
1回戦 ● 西村 / 山重 ｷｸｿ 数田/加藤 （チザキ）
1回戦 ● 早山 / 佐藤 0-2 黒川/吉岡 （ＮＴＴ北海道）
1回戦 ● 高橋 / 平林 0-2 本田/ 標 （ＮＴＴ北海道）

準優勝（男子単）　竹村　純
第3位（男子複）　松本　章/竹村　純



第48回大会（平成16年10月2日～3日）　札幌市豊平体育館

MS
1回戦 ○ 松本　章 2-0 水澤 （ＮＴＴ北海道）
1回戦 ● 橋村竜彦 ｷｸｿ 菅原 （ＲＳスガワラ）
1回戦 ● 小野敏和 0-2 長原 （ＮＴＴ北海道）
1回戦 ○ 竹村　純 2-0 一宮 （ＮＴＴ北海道）
2回戦 ● 松本　章 0-2 吉川 （ＮＴＴ北海道）
2回戦 ○ 竹村　純 2-0 三上 （ＮＴＴ北海道）
準決 ○ 竹村　純 2-0 中村 （ＮＴＴ北海道）
決勝 ● 竹村　純 1-2 吉川 （ＮＴＴ北海道）

WS
1回戦 ● 平林千佳 0-2 柴山 （ＮＴＴ北海道）
2回戦 ● 佐藤あゆみ 0-2 宮崎 （ＮＴＴ北海道）
2回戦 ○ 田中美与子 2-1 黒川 （ＮＴＴ北海道）
準決 ● 田中美与子 0-2 中 （ＮＴＴ北海道）
3位決 ● 田中美与子 0-2 宮崎 （ＮＴＴ北海道）

MD
2回戦 ● 小野 / 橋村 ｷｸｿ 星 /長原 （ＮＴＴ北海道）
2回戦 ○ 松本 / 竹村 2-0 一宮/吉川 （ＮＴＴ北海道）
準決 ○ 松本 / 竹村 2-0 首藤/岩渕 （釧路市役所）
決勝 ○ 松本 / 竹村 2-1 水澤/三上 （ＮＴＴ北海道）

WD
1回戦 ● 早山 / 佐藤 0-2 中島/宮崎 （ＮＴＴ北海道）
1回戦 ● 高橋 / 平林 0-2 黒川/柴山 （ＮＴＴ北海道）
準決 ● 西村 / 田中 0-2 黒川/柴山 （ＮＴＴ北海道）
3位決 ● 西村 / 田中 0-2 中島/宮崎 （ＮＴＴ北海道）

優　勝（男子複）　松本　章/竹村　純
準優勝（男子単）　竹村　純



第49回大会（平成17年9月24日～25日）　千歳市スポーツセンター

MS
1回戦 ○ 鈴木知道 2-0 菅原 （ＲＳスガワラ）
1回戦 ● 松本　章 1-2 米 （ＮＴＴ北海道）
1回戦 ○ 関野有起 2-0 浅井 （苫小牧工業高）
1回戦 ● 多田亮太 0-2 中村 （ＮＴＴ北海道）
1回戦 ● 橋村竜彦 1-2 三上 （ＮＴＴ北海道）
1回戦 ○ 竹村　純 2-0 一宮 （ＮＴＴ北海道）
2回戦 ● 鈴木知道 0-2 吉川 （ＮＴＴ北海道）
2回戦 ● 関野有起 1-2 米 （ＮＴＴ北海道）
2回戦 ○ 竹村　純 2-0 長原 （ＮＴＴ北海道）
準決 ○ 竹村　純 2-0 中村 （ＮＴＴ北海道）
決勝 ● 竹村　純 1-2 吉川 （ＮＴＴ北海道）

WS
1回戦 ● 平林千佳 0-2 後藤 （ＮＴＴ北海道）
1回戦 ● 阿野加代子 0-2 黒川 （ＮＴＴ北海道）
1回戦 ● 田中美与子 0-2 吉岡 （ＮＴＴ北海道）

MD
1回戦 ○ 松本 / 多田 2-0 浅井/桐山 （苫工・釧路東高）
2回戦 ○ 松本 / 多田 2-1 一宮/吉川 （ＮＴＴ北海道）
2回戦 ● 橋村 / 鈴木 1-2 三上/ 米 （ＮＴＴ北海道）
2回戦 ○ 竹村 / 関野 2-0 古川/長原 （ＮＴＴ北海道）
準決 ● 松本 / 多田 0-2 三上/ 米 （ＮＴＴ北海道）
準決 ● 竹村 / 関野 0-2 井野/中村 （ＮＴＴ北海道）
3位決 ○ 竹村 / 関野 2-0 松本/多田 （ＪＲ北海道）

WD
1回戦 ● 西村 / 早山 1-2 吉岡/宮崎 （ＮＴＴ北海道）
1回戦 ● 平林 /(福井) 0-2 黒川/後藤 （ＮＴＴ北海道）
準決 ● 田中 / 阿野 1-2 黒川/後藤 （ＮＴＴ北海道）
3位決 ● 田中 / 阿野 0-2 岩松/ 中 （ＮＴＴ北海道）

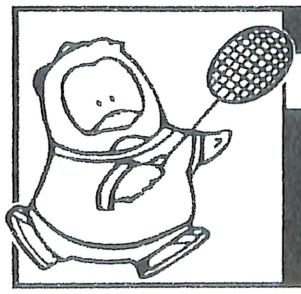
準優勝（男子単）　竹村　純
第3位（男子複）　竹村　純/関野有起



日本バドミントン専門店会 加盟店

当加盟店は、バドミントンに関して熟知しているプロのスタッフやアドバイザーが皆様のご来店をお待ちしております。個人の技術相談、地域の活性化から日本バドミントン界のレベルアップまでお手伝いさせて頂きます。

札幌市



http://www.rs-sugawara.co.jp
TENNIS & BADMINTON SHOP
S-U-G-A-W-A-R-A

(有) ラケットショップ
スガワラ
〒060-0061
札幌市中央区南1条西11丁目
第3一条ビル
Tel (011) 271-3855
Fax (011) 290-1668

北海道社会人バドミントン選手権大会

NO2

第50回大会（平成１８年９月２３日～２４日）　千歳市開基記念総合武道館

MS	ﾘｰｸﾞ	●	多田亮太	0-2	吉川	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	多田亮太	2-0	福寿	（ｳｨｰﾄﾞｽﾋﾟﾘｯﾄ）
	ﾘｰｸﾞ	○	竹村　純	2-0	菅原	（ﾗｹｯﾄｼｮｯﾌﾟｽｶﾞﾜﾗ）
	ﾘｰｸﾞ	○	竹村　純	2-0	一宮	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	●	松本　章	0-2	中村	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	松本　章	2-0	桐山	（釧路東高校）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野有起	2-0	中村	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野有起	2-0	松本	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野有起	2-0	桐山	（釧路東高校）
	ﾘｰｸﾞ	●	橋村竜彦	1-2	米	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	橋村竜彦	2-0	浅井	（苫小牧工業高校）
	ﾘｰｸﾞ	●	鈴木知道	0-2	米	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	鈴木知道	2-0	橋村	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	鈴木知道	2-0	浅井	（苫小牧工業高校）
	準決	○	関野有起	2-0	竹村	（ＪＲ北海道）
	決勝	●	関野有起	1-2	米	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	○	竹村　純	2-0	吉川	（ＮＴＴ北海道）
WS	ﾘｰｸﾞ	●	木村有里	0-2	宮崎	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	●	田中美与子	0-2	宮崎	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	田中美与子	2-1	木村	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	●	阿野加代子	0-2	宮崎	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	阿野加代子	2-0	木村	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	阿野加代子	2-1	田中	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	●	平林千佳	0-2	吉岡	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	平林千佳	2-1	佐藤	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	●	平林千佳	0-2	後藤	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	●	佐藤あゆみ	0-2	吉岡	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	●	佐藤あゆみ	1-2	後藤	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	○	阿野加代子	ｷｹﾝ	吉岡	（ＮＴＴ北海道）

MD	ﾘｰｸﾞ	○	松本 / 多田	2-0	桐山/浅井	（釧路東高・苫小牧工）
	ﾘｰｸﾞ	●	松本 / 多田	1-2	井野/ 米	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	●	橋村 / 竹村	0-2	三上/中村	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	橋村 / 竹村	2-0	一宮/吉川	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野 / 鈴木	2-0	三上/中村	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野 / 鈴木	2-0	橋村/竹村	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野 / 鈴木	2-0	一宮/吉川	（ＮＴＴ北海道）
	決勝	○	関野 / 鈴木	2-1	井野/ 米	（ＮＴＴ北海道）
	３位決	●	松本 / 多田	1-2	三上/中村	（ＮＴＴ北海道）
WD	ﾘｰｸﾞ	●	平林 / 木村	0-2	黒川/後藤	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	●	平林 / 木村	0-2	吉岡/宮崎	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	●	早山 / 佐藤	0-2	黒川/後藤	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	早山 / 佐藤	2-1	平林/木村	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	●	早山 / 佐藤	0-2	吉岡/宮崎	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	●	田中 / 阿野	0-2	黒川/後藤	（ＮＴＴ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	田中 / 阿野	2-0	平林/木村	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	田中 / 阿野	2-0	早山/佐藤	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	●	田中 / 阿野	0-2	吉岡/宮崎	（ＮＴＴ北海道）

優　勝（男子複）	関野有紀/鈴木知道
準優勝（男子単）	関野有紀
第３位（男子単）	竹村　純
第３位（女子単）	阿野加代子
第３位（女子複）	田中美与子/阿野加代子



第51回大会（平成１９年９月１日～２日）　千歳市開基記念総合武道館

MS	ﾘｰｸﾞ	○	関野有起	2-0	亀ヶ森	（法政大ＯＢ）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野有起	2-0	浅井	（苫小牧工業教）
	ﾘｰｸﾞ	○	松本　章	2-1	吉川	（NTTﾄﾞｺﾓ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	松本　章	2-1	桐山	（釧路地区協会）
	ﾘｰｸﾞ	○	多田亮太	2-0	福寿	（ｳｨｰﾄﾞｽﾋﾟﾘｯﾄ）
	ﾘｰｸﾞ	○	多田亮太	2-1	鈴木	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	鈴木知道	2-0	福寿	（ｳｨｰﾄﾞｽﾋﾟﾘｯﾄ）
	準決	○	松本　章	2-0	多田	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	関野有起	2-0	松本	（ＪＲ北海道）
WS	ﾘｰｸﾞ	○	後藤佳代	2-0	長瀬	（ＳＭＣ）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤佳代	2-1	佐藤	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤佳代	2-0	塩崎	（ﾗｹｯﾄｼｮｯﾌﾟｽｶﾞﾜﾗ）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤佳代	2-0	阿野	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤あゆみ	2-0	長瀬	（ＳＭＣ）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤あゆみ	2-0	塩崎	（ﾗｹｯﾄｼｮｯﾌﾟｽｶﾞﾜﾗ）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤あゆみ	2-1	阿野	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	阿野加代子	2-0	長瀬	（ＳＭＣ）
	ﾘｰｸﾞ	○	阿野加代子	2-0	塩崎	（ﾗｹｯﾄｼｮｯﾌﾟｽｶﾞﾜﾗ）

MD	ﾘｰｸﾞ	○	関野 / 鈴木	2-0	浅井/桐山	（苫工高教・釧根協会）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野 / 鈴木	2-0	吹田/近藤	（利礼資材）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野 / 鈴木	2-0	松本/多田	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	松本 / 多田	2-0	浅井/桐山	（苫工高教・釧根協会）
	ﾘｰｸﾞ	○	松本 / 多田	2-0	吹田/近藤	（利礼資材）
WD	ﾘｰｸﾞ	○	阿野 / 後藤	2-0	石井/長瀬	（ＳＭＣ）
	ﾘｰｸﾞ	○	阿野 / 後藤	2-1	佐藤/(塩崎)	（JR北海道・RSｽｶﾞﾜﾗ）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤 /(塩崎)	2-0	石井/長瀬	（ＳＭＣ）

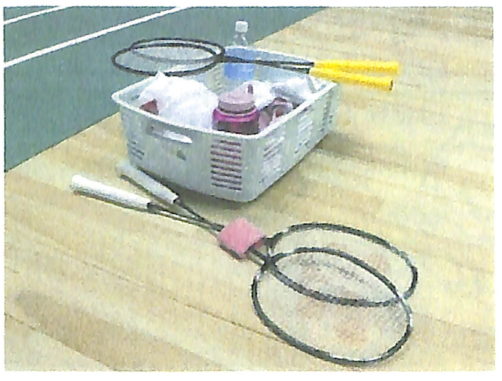
優　勝（男子単）	関野有紀
優　勝（女子単）	後藤佳代
優　勝（男子複）	関野有起/鈴木知道
優　勝（女子複）	阿野加代子/後藤佳代
準優勝（男子単）	松本　章
準優勝（女子単）	佐藤あゆみ
準優勝（男子複）	松本　章/多田亮太
準優勝（女子複）	佐藤あゆみ/(塩崎沙織:RSｽｶﾞﾜﾗ)
第３位（男子単）	多田亮太
第３位（女子単）	阿野加代子




佐藤あゆみ


阿野加代子


木村有里




鈴木知道

北海道社会人バドミントン選手権大会

第52回大会（平成２０年９月６日～７日）　千歳市スポーツセンター

MS	ﾘｰｸﾞ	○	関野有起	2-0	桐山	（根室西高教）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野有起	2-0	鈴木	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	鈴木知道	2-0	桐山	（根室西高教）
	ﾘｰｸﾞ	○	竹村　純	2-0	松本	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	竹村　純	2-0	福寿	（ｳｨｰﾄﾞｽﾋﾟﾘｯﾄ）
	ﾘｰｸﾞ	●	松本　章	1-2	福寿	（ｳｨｰﾄﾞｽﾋﾟﾘｯﾄ）
	ﾘｰｸﾞ	○	小林徹太郎	2-0	多田	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	小林徹太郎	2-0	浅井	（苫小牧工業高校教）
	ﾘｰｸﾞ	○	多田亮太	2-0	浅井	（苫小牧工業高校教）
	１回戦	○	多田亮太	2-0	福寿	（根室西高教）
	１回戦	○	小林徹太郎	2-1	鈴木	（ＪＲ北海道）
	準決	○	関野有起	2-0	多田	（ＪＲ北海道）
	準決	○	小林徹太郎	2-0	竹村	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	小林徹太郎	2-1	関野	（ＪＲ北海道）
	３位決	○	竹村　純	2-0	多田	（ＪＲ北海道）
WS	ﾘｰｸﾞ	○	後藤佳代	2-1	木村	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤佳代	ｷｹﾝ	阿野	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	木村有里	ｷｹﾝ	阿野	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤あゆみ	2-0	杉本	（Whimsy Optimist）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤あゆみ	2-0	川口	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤あゆみ	2-0	工藤	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	川口美与子	2-0	杉本	（Whimsy Optimist）
	ﾘｰｸﾞ	○	工藤亜紀	2-1	川口	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	工藤亜紀	2-0	杉本	（Whimsy Optimist）
	準決	○	後藤佳代	2-0	工藤	（ＪＲ北海道）
	準決	○	佐藤あゆみ	2-0	木村	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	佐藤あゆみ	2-0	後藤	（ＪＲ北海道）
	３位決	○	工藤亜紀	2-0	木村	（ＪＲ北海道）

MD	ﾘｰｸﾞ	○	竹村 / 関野	2-0	桐山/浅井	（根西高教・苫工高教）
	ﾘｰｸﾞ	○	竹村 / 関野	2-0	佐藤/瀬戸	（ＭＯＩＷＡ）
	ﾘｰｸﾞ	○	多田 / 鈴木	2-0	吹田/近藤	（利礼資材）
	ﾘｰｸﾞ	○	多田 / 鈴木	2-0	南 / 南	（Whimsy Optimist）
	ﾘｰｸﾞ	○	松本 / 小林	2-0	山田/鎌野	（苫市体協・苫クラブ）
	ﾘｰｸﾞ	○	松本 / 小林	2-0	新井/杉下	（乾杯ク・ｽﾏｯｼｭｽﾌﾟﾘｯﾄ）
	１回戦	○	松本 / 小林	2-0	佐藤/瀬戸	（ＭＯＩＷＡ）
	準決	○	竹村 / 関野	2-0	吹田/近藤	（利礼資材）
	準決	○	多田 / 鈴木	2-1	松本/小林	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	竹村 / 関野	2-0	多田/鈴木	（ＪＲ北海道）
	３位決	○	松本 / 小林	2-0	吹田/近藤	（利礼資材）
WD	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤 / 阿野	ｷｹﾝ	鈴木/吉田	（直栄物産）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤 / 阿野	2-0	川口/木村	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤 / 阿野	2-0	佐藤/加藤	（ホワイトシャトル）
	ﾘｰｸﾞ	○	川口 / 木村	ｷｹﾝ	鈴木/吉田	（直栄物産）
	ﾘｰｸﾞ	○	川口 / 木村	2-0	佐藤/加藤	（ホワイトシャトル）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤 / 工藤	2-0	佐藤/阿野	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤 / 工藤	ｷｹﾝ	鈴木/吉田	（直栄物産）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤 / 工藤	2-0	川口/木村	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤 / 工藤	2-0	佐藤/加藤	（ホワイトシャトル）

優　勝（男子単）	小林徹太郎
優　勝（女子単）	佐藤あゆみ
優　勝（男子複）	竹村　純/関野有起
優　勝（女子複）	後藤佳代/工藤亜紀
準優勝（男子単）	関野有起
準優勝（女子単）	後藤佳代
準優勝（男子複）	多田亮太/鈴木知道
準優勝（女子複）	佐藤あゆみ/阿野加代子
第３位（男子単）	竹村　純
第３位（女子単）	工藤亜紀
第３位（男子複）	松本　章/小林徹太郎
第３位（女子複）	川口美与子/木村有里



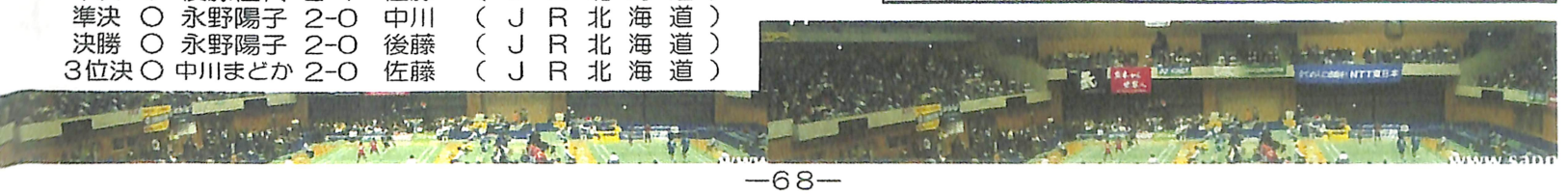


第53回大会（平成２１年９月１２日～１３日）　千歳市開基記念総合武道館

MS	ﾘｰｸﾞ	○	小林徹太郎	2-1	上山	（エスポワール）
	ﾘｰｸﾞ	○	小林徹太郎	2-0	福寿	（ｳｨｰﾄﾞｽﾋﾟﾘｯﾄ）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野有起	2-0	佐々木	（士別）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野有起	2-0	浅井	（苫工高教諭）
	ﾘｰｸﾞ	○	多田亮太	2-0	藤谷	（ヨネックス）
	ﾘｰｸﾞ	○	牧野公亮	2-0	多田	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	牧野公亮	2-0	藤谷	（ヨネックス）
	ﾘｰｸﾞ	●	鈴木知道	ｷｹﾝ	比内	（ﾓｱｽﾎﾟｰﾂ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	早坂幸平	ｷｹﾝ	鈴木	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	早坂幸平	2-0	比内	（ﾓｱｽﾎﾟｰﾂ北海道）
	１回戦	○	小林徹太郎	2-0	多田	（ＪＲ北海道）
	１回戦	○	早坂幸平	2-0	浅井	（苫小牧工業高）
	１回戦	○	牧野公亮	2-0	上山	（エスポワール）
	１回戦	○	関野有起	2-0	比内	（ﾓｱｽﾎﾟｰﾂ北海道）
	準決	○	早坂幸平	2-0	小林	（ＪＲ北海道）
	準決	○	関野有起	2-1	牧野	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	早坂幸平	2-0	関野	（ＪＲ北海道）
	３位決	○	小林徹太郎	2-0	牧野	（ＪＲ北海道）
WS	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤あゆみ	2-0	中川	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤あゆみ	2-0	阿野	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	中川まどか	2-0	阿野	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤佳代	2-1	工藤	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	永野陽子	2-0	後藤	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	永野陽子	2-1	工藤	（ＪＲ北海道）
	準決	○	後藤佳代	2-1	佐藤	（ＪＲ北海道）
	準決	○	永野陽子	2-0	中川	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	永野陽子	2-0	後藤	（ＪＲ北海道）
	３位決	○	中川まどか	2-0	佐藤	（ＪＲ北海道）

MD	ﾘｰｸﾞ	●	関野 / 鈴木	ｷｹﾝ	吹田/近藤	（利礼資材）
	ﾘｰｸﾞ	●	関野 / 鈴木	ｷｹﾝ	原田/小野寺	（自衛隊北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	多田 / 小林	2-0	秋山/高橋	（釧路フライト）
	ﾘｰｸﾞ	○	多田 / 小林	2-0	松本/牧野	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	松本 / 牧野	2-0	秋山/高橋	（釧路フライト）
	準決	○	松本 / 牧野	2-0	原田/小野寺	（自衛隊北海道）
	準決	○	多田 / 小林	2-0	吹田/近藤	（利礼資材）
	決勝	○	多田 / 小林	2-1	松本/牧野	（ＪＲ北海道）
WD	ﾘｰｸﾞ	○	後藤 / 工藤	2-0	永野/中川	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	永野 / 中川	2-1	佐藤/阿野	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤 / 阿野	2-1	後藤/工藤	（ＪＲ北海道）

優　勝（男子単）	早坂幸平
優　勝（女子単）	永野陽子
優　勝（男子複）	多田亮太/小林徹太郎
優　勝（女子複）	後藤佳代/工藤亜紀
準優勝（男子単）	関野有起
準優勝（女子単）	後藤佳代
準優勝（男子複）	松本　章/牧野公亮
準優勝（女子複）	佐藤あゆみ/阿野加代子
第３位（男子単）	小林徹太郎
第３位（女子単）	中川まどか
第３位（女子複）	永野陽子/中川まどか



北海道社会人バドミントン選手権大会

NO4

第54回大会（平成22年9月11日～12日）　千歳市開基記念総合武道館

MS	ﾘｰｸﾞ	●	早坂幸平	ｷｹﾝ	工藤	（尾山スポーツ）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野有起	2-0	福寿	（ｳｲｰﾄﾞｽﾋﾟﾘｯﾄ）
	ﾘｰｸﾞ	○	高島雅彦	2-0	藤谷	（ヨネックス）
	ﾘｰｸﾞ	○	小林徹太郎	2-0	浅井	（苫小牧工業高）
	ﾘｰｸﾞ	●	竹村　純	1-2	比内	（ﾓｱｽﾎﾟｰﾂ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	牧野公亮	2-1	工藤	（尾山スポーツ）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野有起	2-0	藤谷	（ヨネックス）
	ﾘｰｸﾞ	○	高島雅彦	2-0	福寿	（ｳｲｰﾄﾞｽﾋﾟﾘｯﾄ）
	ﾘｰｸﾞ	○	小林徹太郎	2-0	比内	（ﾓｱｽﾎﾟｰﾂ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	●	竹村　純	ｷｹﾝ	浅井	（苫小牧工業高）
	ﾘｰｸﾞ	○	牧野公亮	ｷｹﾝ	早坂	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野有起	2-0	高島	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	小林徹太郎	ｷｹﾝ	竹村	（ＪＲ北海道）
	1回戦	○	高島雅彦	2-1	比内	（ﾓｱｽﾎﾟｰﾂ北海道）
	1回戦	○	小林徹太郎	2-1	工藤	（尾山スポーツ）
	準決	○	高島雅彦	2-1	牧野	（ＪＲ北海道）
	準決	○	関野有起	2-1	小林	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	関野有起	2-0	高島	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	牧野公亮	2-1	小林	（ＪＲ北海道）
WS	ﾘｰｸﾞ	○	永野陽子	2-0	中川	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤あゆみ	2-0	阿野	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤佳代	2-0	中川	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	工藤亜紀	2-0	阿野	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	永野陽子	2-0	後藤	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤あゆみ	2-0	工藤	（ＪＲ北海道）
	準決	○	永野陽子	2-0	工藤	（ＪＲ北海道）
	準決	○	佐藤あゆみ	2-0	後藤	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	永野陽子	2-0	佐藤	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	後藤佳代	2-0	工藤	（ＪＲ北海道）

MD	ﾘｰｸﾞ	○	多田 / 小林	2-0	高橋/樋渡	（白糠高・翔洋高）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野 / 鈴木	2-0	上山/境田	（ｴｽﾎﾟﾜｰﾙ・音更）
	ﾘｰｸﾞ	○	竹村 / 牧野	2-0	鎌野/山田	（苫小牧クラブ）
	ﾘｰｸﾞ	○	多田 / 小林	ｷｹﾝ	早坂/高島	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	●	早坂 / 高島	ｷｹﾝ	高橋/樋渡	（白糠高・翔洋高）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野 / 鈴木	2-0	阿部/秋山	（釧路フライト）
	ﾘｰｸﾞ	○	竹村 / 牧野	2-0	吹田/近藤	（利礼資材）
	1回戦	○	竹村 / 牧野	2-0	高橋/樋渡	（白糠高・厚岸翔洋高）
	準決	○	多田 / 小林	2-0	吹田/近藤	（利礼資材）
	準決	○	竹村 / 牧野	2-1	関野/鈴木	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	多田 / 小林	2-0	竹村/牧野	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	関野 / 鈴木	2-0	吹田/近藤	（利礼資材）
WD	ﾘｰｸﾞ	○	永野 / 工藤	2-0	修田/中田	（札北都小・札養護）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤 / 中川	2-0	大竹/　林	（　水　鳥）
	ﾘｰｸﾞ	○	永野 / 工藤	2-0	大竹/　林	（　水　鳥）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤 / 阿野	2-0	修田/中田	（札北都小・札養護）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤 / 阿野	2-1	佐藤/中川	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	永野 / 工藤	2-0	佐藤/中川	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤 / 阿野	2-0	大竹/　林	（　水　鳥）
	ﾘｰｸﾞ	○	永野 / 工藤	2-1	後藤/阿野	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤 / 中川	2-0	修田/中田	（札北都小・札養護）

優　勝（男子単）	関野有起
優　勝（女子単）	永野陽子
優　勝（男子複）	多田亮太/小林徹太郎
優　勝（女子複）	永野陽子/工藤亜紀
準優勝（男子単）	高島雅彦
準優勝（女子単）	佐藤あゆみ
準優勝（男子複）	竹村　純/牧野公亮
準優勝（女子複）	後藤佳代/阿野加代子
第3位（男子単）	牧野公亮
第3位（女子単）	後藤佳代
第3位（男子複）	関野有起/鈴木知道
第3位（女子複）	佐藤あゆみ/中川まどか



第55回大会（平成23年9月3日～4日）　千歳市開基記念総合武道館

MS	ﾘｰｸﾞ	○	関野有紀	2-0	福寿	（ｳｲｰﾄﾞｽﾌﾟﾘｯﾄ）
	ﾘｰｸﾞ	○	竹村　純	2-0	関野	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	竹村　純	2-0	福寿	（ｳｲｰﾄﾞｽﾌﾟﾘｯﾄ）
	ﾘｰｸﾞ	○	高島雅彦	2-1	上山	（MONSTERS）
	ﾘｰｸﾞ	○	小林徹太郎	2-1	上山	（MONSTERS）
	ﾘｰｸﾞ	○	小林徹太郎	2-0	高島	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	早坂幸平	2-1	工藤	（札幌第一高校）
	ﾘｰｸﾞ	○	早坂幸平	2-0	佐野	（千　歳）
	ﾘｰｸﾞ	○	早坂幸平	ｷｹﾝ	牧野	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	●	牧野公亮	ｷｹﾝ	工藤	（札幌第一高校）
	ﾘｰｸﾞ	●	牧野公亮	ｷｹﾝ	佐野	（千　歳）
	1回戦	○	高島雅彦	2-0	工藤	（札幌第一高校）
	1回戦	○	関野有起	2-0	早坂	（ＪＲ北海道）
	準決	○	竹村　純	2-1	高島	（ＪＲ北海道）
	準決	○	小林徹太郎	2-0	関野	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	竹村　純	2-0	小林	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	関野有起	2-0	高島	（ＪＲ北海道）
WS	ﾘｰｸﾞ	○	永野陽子	2-0	中川	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	永野陽子	2-0	後藤	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	中川まどか	2-0	後藤	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤あゆみ	2-1	工藤	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤あゆみ	2-0	杉本	（Optimist）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤あゆみ	2-0	阿野	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	阿野加代子	2-0	杉本	（Optimist）
	ﾘｰｸﾞ	○	工藤亜紀	2-0	阿野	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	工藤亜紀	2-0	杉本	（Optimist）
	準決	○	永野陽子	2-0	工藤	（ＪＲ北海道）
	準決	○	佐藤あゆみ	2-1	中川	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	佐藤あゆみ	2-0	永野	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	中川まどか	2-0	工藤	（ＪＲ北海道）

MD	ﾘｰｸﾞ	○	早坂 / 高島	2-0	佐藤/山本	（オルクス）
	ﾘｰｸﾞ	○	早坂 / 高島	2-0	佐野/松下	（千　歳）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野 / 多田	2-0	谷　/田辺	（ﾁｰﾑﾒｲｶﾞﾀ･札幌市役所）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野 / 多田	2-0	高橋/樋渡	（白糠高・翔洋高）
	ﾘｰｸﾞ	○	牧野 / 小林	2-0	宇野/佐藤	（札幌市役所）
	ﾘｰｸﾞ	○	牧野 / 小林	2-0	吹田/近藤	（利礼資材）
	1回戦	○	牧野 / 小林	2-0	佐藤/山本	（オルクス）
	準決	○	早坂 / 高島	2-0	吹田/近藤	（利礼資材）
	準決	○	関野 / 多田	2-1	牧野/小林	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	早坂 / 高島	2-0	関野/多田	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	牧野 / 小林	2-0	吹田/近藤	（利礼資材）
WD	ﾘｰｸﾞ	○	永野 / 工藤	2-0	出倉/和田	（オルクス）
	ﾘｰｸﾞ	○	永野 / 工藤	2-1	佐藤/中川	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	永野 / 工藤	2-0	杉本/金丸	（Optimist千歳信濃小）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤 / 中川	2-0	出倉/和田	（オルクス）
	ﾘｰｸﾞ	○	佐藤 / 中川	2-0	杉本/金丸	（Optimist千歳信濃小）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤 / 阿野	2-0	出倉/和田	（オルクス）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤 / 阿野	2-1	佐藤/中川	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤 / 阿野	2-0	杉本/金丸	（Optimist千歳信濃小）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤 / 阿野	2-1	永野/工藤	（ＪＲ北海道）

優　勝（男子単）	竹村　純
優　勝（女子単）	佐藤あゆみ
優　勝（男子複）	早坂幸平/高島雅彦
優　勝（女子複）	後藤佳代/阿野加代子
準優勝（男子単）	小林徹太郎
準優勝（女子単）	永野陽子
準優勝（男子複）	関野有起/多田亮太
準優勝（女子複）	永野陽子/工藤亜紀
第3位（男子単）	関野有起
第3位（女子単）	中川まどか
第3位（男子複）	牧野公亮/小林徹太郎
第3位（女子複）	佐藤あゆみ/中川まどか



北海道社会人バドミントン選手権大会

第56回大会（平成２４年９月１日～２日）　江別市民体育館

MS	ﾘｰｸﾞ	○	竹村　純	2-0	松本	（大谷地クラブ）
	ﾘｰｸﾞ	○	竹村　純	2-0	田淵	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	田淵雄喜	2-0	松本	（大谷地クラブ）
	ﾘｰｸﾞ	○	渡部　大	ｷｹﾝ	高島	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	渡部　大	2-0	金子	（奈井江町）
	ﾘｰｸﾞ	○	渡部　大	2-0	福寿	（ｳｨｰﾄﾞｽﾋﾟﾘｯﾄ）
	ﾘｰｸﾞ	●	高島雅彦	ｷｹﾝ	金子	（奈井江町）
	ﾘｰｸﾞ	●	高島雅彦	ｷｹﾝ	福寿	（ｳｨｰﾄﾞｽﾋﾟﾘｯﾄ）
	ﾘｰｸﾞ	○	早坂幸平	2-0	田口	（ハイテク）
	ﾘｰｸﾞ	○	早坂幸平	2-0	浅井	（苫小牧工高）
	ﾘｰｸﾞ	○	早坂幸平	2-0	渡邊	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	渡邊一磨	2-0	田口	（ハイテク）
	ﾘｰｸﾞ	○	渡邊一磨	2-0	浅井	（苫小牧工高）
	1回戦	○	渡邊一磨	2-0	福寿	（ｳｨｰﾄﾞｽﾋﾟﾘｯﾄ）
	1回戦	○	早坂幸平	2-0	田淵	（ＪＲ北海道）
	準決	○	竹村　純	2-0	渡邊	（ＪＲ北海道）
	準決	○	早坂幸平	2-0	渡部	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	竹村　純	2-0	早坂	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	渡部　大	2-0	渡邊	（ＪＲ北海道）
WS	ﾘｰｸﾞ	○	永野陽子	2-0	長瀬	（ＳＭＣ）
	ﾘｰｸﾞ	○	永野陽子	ｷｹﾝ	平敷	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	永野陽子	2-0	中川	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	●	平敷祥子	ｷｹﾝ	長瀬	（ＳＭＣ）
	ﾘｰｸﾞ	○	中川まどか	2-0	長瀬	（ＳＭＣ）
	ﾘｰｸﾞ	○	中川まどか	ｷｹﾝ	平敷	（ＪＲ北海道）

MD	ﾘｰｸﾞ	○	早坂／高島	2-0	田辺／谷	（札幌市役所・北大）
	ﾘｰｸﾞ	○	早坂／高島	2-0	松浦/大澤	（祝梅倶楽部）
	ﾘｰｸﾞ	○	牧野／渡部	2-0	樋渡/高橋	（翔洋高・白糠高）
	ﾘｰｸﾞ	○	牧野／渡部	2-0	吹田/丸一	（利礼資材）
	ﾘｰｸﾞ	○	関野／田淵	2-0	嶋村/吉本	（リフォーム若葉）
	ﾘｰｸﾞ	○	竹村／渡邊	2-1	関野/田淵	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	竹村／渡邊	2-0	嶋村/吉本	（リフォーム若葉）
	1回戦	○	関野／田淵	2-0	吹田/丸一	（利礼資材）
	1回戦	○	竹村／渡邊	2-0	松浦/大澤	（祝梅倶楽部）
	準決	○	早坂／高島	2-0	関野/田淵	（ＪＲ北海道）
	準決	○	竹村／渡邊	ｷｹﾝ	牧野/渡部	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	早坂／高島	2-0	竹村/渡邊	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	関野　田淵	ｷｹﾝ	牧野/渡部	（ＪＲ北海道）
WD	ﾘｰｸﾞ	○	後藤／阿野	2-0	櫛山/川島	（RSｽｶﾞﾜﾗ・岩見沢）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤／阿野	2-0	平敷/中川	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	後藤／阿野	2-0	菅井/松浦	（祝梅倶楽部）
	ﾘｰｸﾞ	○	平敷／中川	2-0	櫛山/川島	（RSｽｶﾞﾜﾗ・岩見沢）
	ﾘｰｸﾞ	○	平敷／中川	2-0	菅井/松浦	（祝梅倶楽部）
	ﾘｰｸﾞ	○	永野／工藤	2-1	後藤/阿野	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	永野／工藤	2-0	櫛山/川島	（RSｽｶﾞﾜﾗ・岩見沢）
	ﾘｰｸﾞ	○	永野／工藤	2-0	平敷/中川	（ＪＲ北海道）
	ﾘｰｸﾞ	○	永野／工藤	2-0	菅井/松浦	（祝梅倶楽部）

優　勝（男子単）	竹村　純
優　勝（女子単）	永野陽子
優　勝（男子複）	早坂幸平/高島雅彦
優　勝（女子複）	永野陽子/工藤亜紀
準優勝（男子単）	早坂幸平
準優勝（女子単）	中川まどか
準優勝（男子複）	竹村　純/渡邊
準優勝（女子複）	後藤佳代/阿野加代子
第３位（男子単）	渡部　大
第３位（男子複）	関野有起/田淵雄喜
第３位（女子複）	平敷祥子/中川まどか


中川まどか


平敷祥子

第57回大会（平成25年6月15日～16日）　江別市民体育館

MS	2回戦	○	竹村　純	2-0	松本	（ラッキーホーイ）
	2回戦	○	田淵雄喜	2-0	奥山	（HIDEクラブ）
	2回戦	○	渡邊一磨	2-0	高野	（壮瞥高校）
	2回戦	○	渡部　大	2-0	後藤	（自衛隊北海道）
	2回戦	○	内藤浩司	2-0	工藤	（札幌第一高校）
	2回戦	○	早坂幸平	2-0	松原	（HIDEクラブ）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	長原	（自衛隊北海道）
	3回戦	○	渡邊一磨	2-0	田淵	（ＪＲ北海道）
	3回戦	○	渡部　大	2-0	小林	（HIDEクラブ）
	3回戦	○	内藤浩司	2-1	早坂	（ＪＲ北海道）
	準決	○	竹村　純	2-1	渡邊	（ＪＲ北海道）
	準決	○	渡部　大	2-1	内藤	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	竹村　純	2-0	渡部	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	内藤浩司	2-0	渡邊	（ＪＲ北海道）
WS	準決	○	永野陽子	2-0	鈴木	（ＪＲ北海道）
	準決	○	平敷祥子	2-0	中川	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	永野陽子	2-1	平敷	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	中川まどか	2-0	鈴木	（ＪＲ北海道）

MD	2回戦	○	早坂／高島	2-0	長原/後藤	（自衛隊北海道）
	2回戦	●	田淵／内藤	0-2	鈴木/小林	（ラッキーホーイ）
	2回戦	○	牧野／渡部	2-0	丸一/松本	（石狩・ラッキーホーイ）
	2回戦	○	竹村／渡邊	2-0	細川/松原	（HIDEクラブ）
	準決	○	早坂／高島	2-1	鈴木/小林	（ラッキーホーイ）
	準決	○	竹村／渡邊	2-0	牧野/渡部	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	竹村／渡邊	2-1	早坂/高島	（ＪＲ北海道）
	3位決	●	牧野／渡部	ｷｹﾝ	鈴木/小林	（ラッキーホーイ）
WD	準決	○	後藤／工藤	2-0	櫛山/川島	（ｽｶﾞﾜﾗ・岩見沢）
	準決	○	永野／平敷	2-0	中川/鈴木	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	永野／平敷	2-1	後藤/工藤	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	中川／鈴木	2-1	櫛山/川島	（ｽｶﾞﾜﾗ・岩見沢）

優　勝（男子単）	竹村　純
優　勝（女子単）	永野陽子
優　勝（男子複）	竹村　純/渡邊一磨
優　勝（女子複）	永野陽子/平敷祥子
準優勝（男子単）	渡部　大
準優勝（女子単）	平敷祥子
準優勝（男子複）	早坂幸平/高島雅彦
準優勝（女子複）	後藤佳代/工藤亜紀
第３位（男子単）	内藤浩司
第３位（女子単）	中川まどか
第３位（女子複）	中川まどか/鈴木麻友


内藤浩司


鈴木麻友

札幌バドミントン選手権大会

平成１４年度大会（平成１５年１月２５日～２６日）　札幌市清田区体育館

MS	2回戦	○	松本　章	2-0	加納	（札幌第一高）
	2回戦	○	竹村　純	2-0	広岡	（花川中学校）
	3回戦	○	松本　章	2-0	妹尾	（とわの森高）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	三上	（ＮＴＴ北海道）
	準決	○	松本　章	2-1	井野	（ＮＴＴ北海道）
	準決	○	竹村　純	0-2	吉川	（ＮＴＴ北海道）
	決勝	●	松本　章	1-2	吉川	（ＮＴＴ北海道）
	3位決	●	竹村　純	1-2	井野	（ＮＴＴ北海道）
LS	1回戦	○	早山里子	2-0	及川	（札幌静修高）
	1回戦	○	高橋律恵	2-1	木村	（札幌第一高）
	2回戦	●	平林千佳	1-2	本田	（ＮＴＴ北海道）
	2回戦	●	早山里子	0-2	標	（ＮＴＴ北海道）
	2回戦	●	高橋律恵	0-2	中	（ＮＴＴ北海道）
	2回戦	●	山重直美	0-2	永野	（札幌静修高）
	2回戦	○	佐藤あゆみ	2-1	中島	（ＮＴＴ北海道）
	3回戦	●	佐藤あゆみ	1-2	本田	（浅井学園大）

MD	2回戦	○	寺尾 / 小野	2-0	加納/三瓶	（札幌第一高校）
	2回戦	○	松本 / 竹村	2-0	下田/木原	（札幌第一高校）
	3回戦	●	寺尾 / 小野	0-2	星　/井野	（ＮＴＴ北海道）
	3回戦	○	松本 / 竹村	2-0	吹田/丸一	（しらかば・石狩）
	準決	●	松本 / 竹村	0-2	水澤/三上	（ＮＴＴ北海道）
	3位決	○	松本 / 竹村	2-1	吉岡/吉川	（ＮＴＴ北海道）
LD	1回戦	●	早山 / 高橋	0-2	神田/阿野	（札幌静修高校）
	1回戦	○	山重 / 平林	2-1	嶋田/清水	（乾杯倶楽部）
	2回戦	●	山重 / 平林	1-2	中鉢/河井	（札幌静修高校）

準優勝（男子単）　松本　章
第3位（男子複）　松本　章/竹村　純



平成１５年度大会（平成１６年１月２４日～２５日）　札幌市豊平区体育館

MS	2回戦	○	小野敏和	2-0	鈴木	（札幌第一高）
	2回戦	○	竹村　純	2-0	小野寺	（札幌第一高校）
	2回戦	○	橋村竜彦	2-0	神田	（札幌第一高）
	2回戦	○	松本　章	2-0	富樫	（札幌第一高）
	3回戦	●	小野敏和	0-2	高島	（札幌第一高）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	山田	（札幌第一高）
	3回戦	○	橋村竜彦	2-1	中野	（札幌第一高）
	3回戦	○	松本　章	2-1	片岡	（札幌第一高）
	4回戦	●	竹村　純	0-2	中村	（ＮＴＴ北海道）
	4回戦	●	橋村竜彦	0-2	井野	（ＮＴＴ北海道）
	4回戦	●	松本　章	1-2	松浦	（札幌第一高）
LS	2回戦	●	平林千佳	ｷｹﾝ	澤村	（札幌静修高）
	2回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	及川	（札幌静修高）
	2回戦	○	早山里子	2-1	石崎	（札幌静修高）
	2回戦	●	山重直美	ｷｹﾝ	木村	（札幌静修高）
	3回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	遠藤	（とわの森高）
	3回戦	●	早山里子	0-2	標	（ＮＴＴ北海道）
	4回戦	○	佐藤あゆみ	2-1	後藤	（浅井学園大）
	準決	●	佐藤あゆみ	1-2	本田	（浅井学園大）
	3位決	●	佐藤あゆみ	0-2	黒川	（ＮＴＴ北海道）

MD	2回戦	○	松本 / 竹村	2-0	田内/成田	（札幌ジュニア）
	2回戦	○	小倉 / 小野	2-0	三瓶/加納	（札幌第一高）
	3回戦	○	松本 / 竹村	2-0	秋田/丸一	（プロジェクト石狩）
	3回戦	●	小倉 / 小野	0-2	星　/吉川	（ＮＴＴ北海道）
	準決	○	松本 / 竹村	2-0	水澤/一宮	（ＮＴＴ北海道）
	決勝	●	松本 / 竹村	1-2	井野/中村	（ＮＴＴ北海道）
LD	2回戦	●	早山 / 佐藤	0-2	八木/木村	（三愛高・第一高）
	2回戦	●	山重 / 平林	ｷｹﾝ	堤　/小寺	（とわの森三愛高校）

準優勝（男子複）　松本　章/竹村　純



平成１６年度大会（平成１７年１月２２日～２３日）　札幌市清田区体育館

MS	2回戦	○	竹村　純	2-0	中村	（山鼻中学校）
	2回戦	●	松本　章	0-2	一宮	（ＮＴＴ北海道）
	2回戦	○	橋村竜彦	2-0	成田	（札幌第一高校）
	3回戦	○	竹村　純	2-1	三上	（ＮＴＴ北海道）
	3回戦	○	橋村竜彦	2-1	中村	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	竹村　純	1-2	吉川	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	橋村竜彦	0-2	長原	（ＮＴＴ北海道）
	3位決	○	橋村竜彦	ｷｹﾝ	竹村	（ＪＲ北海道）
LS	1回戦	○	田中美与子	2-0	坂田	（札幌静修高校）
	1回戦	●	平林千佳	ｷｹﾝ	堤	（札幌静修高校）
	2回戦	●	田中美与子	1-2	八木	（とわの森高）
	2回戦	●	佐藤あゆみ	ｷｹﾝ	遠藤	（とわの森高）

MD	1回戦	○	橋村 / 多田	2-0	田中/松浦	（札幌第一高校）
	2回戦	○	松本 / 竹村	2-0	高野/伊藤	（プロジェクト）
	2回戦	○	橋村 / 多田	2-0	神田/十河	（札幌第一高校）
	準決	○	松本 / 竹村	2-1	一宮/吉川	（ＮＴＴ北海道）
	準決	●	橋村 / 多田	0-2	三上/中村	（ＮＴＴ北海道）
	決勝	●	松本 / 竹村	0-2	三上/中村	（ＮＴＴ北海道）
	3位決	●	橋村 / 多田	1-2	一宮/吉川	（ＮＴＴ北海道）
LD	2回戦	●	早山 / 佐藤	ｷｹﾝ	工藤/　林	（静修高・三愛高）
	2回戦	●	西村 / 田中	ｷｹﾝ	遠藤/竹内	（とわの森三愛高校）

準優勝（男子複）　松本　章/竹村　純
第3位（男子単）　橋村竜彦



平成１７年度大会（平成１８年１月２８日～２９日）　札幌市豊平区体育館

MS	1回戦	●	多田亮太	ｷｹﾝ	船倉	（　舞　羽　）
	1回戦	●	関野有起	ｷｹﾝ	松浦	（札幌第一高校）
	1回戦	○	鈴木知道	2-0	小野寺	（札幌第一高校）
	1回戦	○	松本　章	2-0	重元	（ＪＨＳ札幌）
	2回戦	○	鈴木知道	2-1	岩川	（手稲中学校）
	2回戦	○	松本　章	2-0	成田	（札幌第一高校）
	2回戦	●	橋村竜彦	ｷｹﾝ	米	（ＮＴＴ北海道）
	3回戦	●	鈴木知道	1-2	中村	（ＮＴＴ北海道）
	3回戦	●	松本　章	0-2	米	（ＮＴＴ北海道）
LS	1回戦	○	田中美与子	2-0	佐藤	（札幌静修高校）
	1回戦	●	平林千佳	ｷｹﾝ	小久保	（札幌静修高校）
	1回戦	○	阿野加代子	2-0	加島	（大麻中学校）
	2回戦	●	田中美与子	0-2	遠藤	（浅井学園大学）
	2回戦	●	阿野加代子	0-2	岡崎	（浅井学園大学）

MD	2回戦	●	関野 / 鈴木	ｷｹﾝ	鈴木/石川	（札幌第一高校）
	2回戦	○	松本 / 多田	2-0	加藤/田中	（札幌第一高校）
	3回戦	○	松本 / 多田	2-0	真岩/高野	（ヨネックス・利礼資材）
	準決	●	松本 / 多田	0-2	三上/　米	（ＮＴＴ北海道）
	3位決	○	松本 / 多田	2-1	吹田/丸一	（　利礼資材　）
LD	2回戦	●	田中 / 阿野	0-2	蜜石/櫛引	（札幌静修高校）

第3位（男子複）　松本　章/多田亮太



札幌バドミントン選手権大会

NO2

平成１８年度大会（平成１９年１月２７日～２８日）　札幌市豊平区体育館

MS	2回戦	○	竹村　純	2-0	田内	（札幌第一高校）
	2回戦	○	多田亮太	2-0	岩波	（稲北高校）
	2回戦	○	鈴木知道	2-0	中川	（札幌第一高校）
	2回戦	○	関野有起	2-0	堺	（札幌藻岩高校）
	2回戦	○	橋村竜彦	2-0	安井	（月寒高校）
	2回戦	○	松本　章	2-0	平池	（札幌第一高校）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	小野寺	（札幌第一高校）
	3回戦	○	多田亮太	2-0	小場	（札幌第一高校）
	3回戦	○	鈴木知道	2-0	駒井	（札幌第一高校）
	3回戦	○	関野有起	2-0	成田	（札幌第一高校）
	3回戦	○	橋村竜彦	2-0	中村	（札幌第一高校）
	3回戦	○	松本　章	2-0	諏訪内	（札幌第一高校）
	4回戦	○	竹村　純	2-1	鈴木	（札幌第一高校）
	4回戦	○	多田亮太	2-1	鈴木	（ＪＲ北海道）
	4回戦	○	関野有起	2-0	田渕	（札幌第一高校）
	4回戦	○	松本　章	2-0	橋村	（ＪＲ北海道）
	準決	○	竹村　純	2-0	多田	（ＪＲ北海道）
	準決	○	関野有起	2-1	松本	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	竹村　純	2-1	関野	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	多田亮太	2-0	松本	（ＪＲ北海道）
LS	1回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	小泉	（とわの森三愛高）
	2回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	本間	（とわの森三愛高）
	2回戦	○	阿野加代子	2-0	竹内	（とわの森三愛高）
	2回戦	○	木村有里	2-1	種市	（とわの森三愛高）
	2回戦	○	田中美与子	2-0	川岸	（札幌静修高校）
	3回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	高橋	（浅井学園大学）
	3回戦	●	阿野加代子	0-2	内井	（浅井学園大学）
	3回戦	●	木村有里	0-2	小久保	（札幌静修高校）
	3回戦	●	田中美与子	0-2	遠藤	（浅井学園大学）
	準決勝	○	佐藤あゆみ	2-0	内井	（浅井学園大学）
	決勝	○	佐藤あゆみ	2-1	小久保	（札幌静修高校）

MD	2回戦	○	松本 / 多田	2-0	小場/諏訪内	（札幌第一高校）
	2回戦	○	橋村 / 竹村	2-0	角谷/山本	（札幌第一高校）
	2回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	萬年/館岡	（札幌龍谷学園高校）
	3回戦	○	松本 / 多田	2-0	成田/田内	（札幌第一高校）
	3回戦	○	橋村 / 竹村	2-0	石川/鈴木	（札幌第一高校）
	3回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	藤谷/小野寺	（浅井学園大学）
	準決	○	橋村 / 竹村	2-0	松本/多田	（ＪＲ北海道）
	準決	○	関野 / 鈴木	2-0	小野寺/田渕	（札幌第一高校）
	決勝	○	橋村 / 竹村	2-0	関野/鈴木	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	松本 / 多田	2-0	小野寺/田渕	（札幌第一高校）
LD	1回戦	○	佐藤 / 木村	2-0	渡辺/笠井	（とわの森三愛高）
	2回戦	○	田中 / 阿野	2-1	小久保/小野地	（札幌静修高校）
	2回戦	○	佐藤 / 木村	2-1	中川/本間	（とわの森三愛高）
	準決	○	田中 / 阿野	2-0	島津/川岸	（札幌静修高校）
	準決	●	佐藤 / 木村	1-2	高橋/澤村	（浅井学園大学）
	決勝	●	田中 / 阿野	1-2	高橋/澤村	（浅井学園大学）
	3位決	○	佐藤 / 木村	2-0	島津/川岸	（札幌静修高校）

優　勝（男子単）	竹村　純
優　勝（男子複）	橋村竜彦/竹村　純
優　勝（女子単）	佐藤あゆみ
準優勝（男子単）	関野有起
準優勝（男子複）	関野有起/鈴木知道
準優勝（女子複）	田中美与子/阿野加代子
第３位（男子単）	多田亮太
第３位（男子複）	松本　章/多田亮太
第３位（女子複）	佐藤あゆみ/木村有里



平成１９年度大会（平成２０年１月２６日～２７日）　札幌市豊平区体育館

MS	1回戦	○	鈴木知道	2-0	西方	（平岡緑中学校）
	1回戦	●	多田亮太	ｷｹﾝ	倉橋	（新琴似北中学）
	1回戦	○	松本　章	2-0	渡辺	（札幌第一高校）
	1回戦	○	橋村竜彦	2-0	奥名	（手稲東中学校）
	2回戦	○	竹村　純	2-0	銅	（札幌第一高校）
	2回戦	○	鈴木知道	2-1	佐久間	（札幌第一高校）
	2回戦	○	松本　章	2-0	中川	（札幌第一高校）
	2回戦	○	橋村竜彦	2-0	尾野	（札幌第一高校）
	2回戦	○	関野有起	2-1	遠藤	（札幌第一高校）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	鈴木	（ＪＲ北海道）
	3回戦	○	橋村竜彦	2-1	松本	（ＪＲ北海道）
	3回戦	○	関野有起	2-1	吉川	（NTTﾄﾞｺ北海道）
	準決	○	竹村　純	2-0	鈴木	（札幌第一高校）
	準決	○	橋村竜彦	2-1	関野	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	竹村　純	2-0	橋村	（ＪＲ北海道）
	3位決	●	関野有起	1-2	鈴木	（札幌第一高校）
LS	2回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	密石	（北翔大学）
	2回戦	●	阿野加代子	ｷｹﾝ	内田	（北翔大学）
	2回戦	●	木村有里	0-2	武者	（北翔大学）
	2回戦	●	後藤佳代	0-2	村山	（北翔大学）
	3回戦	●	佐藤あゆみ	1-2	八木	（北翔大学）

MD	2回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	安井/渡辺	（札幌第一高校）
	2回戦	○	松本 / 竹村	2-0	尾野/佐久間	（札幌第一高校）
	2回戦	●	橋村 / 多田	ｷｹﾝ	田内/鈴木	（北翔大・札第一高）
	3回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	中川/駒井	（札幌第一高校）
	3回戦	○	松本 / 竹村	2-1	中村/諏訪内	（札幌第一高校）
	準決	○	関野 / 鈴木	2-1	石川/平池	（札幌第一高校）
	準決	○	松本 / 竹村	2-1	田内/鈴木	（北翔大・札第一高）
	決勝	○	関野 / 鈴木	2-1	松本/竹村	（ＪＲ北海道）
LD	2回戦	○	佐藤 / 木村	2-0	柏田/加賀谷	（札幌静修高校）
	2回戦	●	阿野 / 後藤	ｷｹﾝ	工藤/越坂	（札幌龍谷高校）
	3回戦	●	佐藤 / 木村	1-2	内井/内田	（北翔大学）

優　勝（男子単）	竹村　純
優　勝（男子複）	関野有起/鈴木知道
準優勝（男子単）	橋村竜彦
準優勝（男子複）	松本　章/竹村　純





札幌バドミントン選手権大会

NO3

平成２０年度大会（平成２１年１月２４日～２５日）　札幌市厚別区体育館

MS	2回戦	○	竹村　純	2-0	藤井	（札幌第一高校）
	2回戦	○	多田亮太	2-1	駒井	（札幌第一高校）
	2回戦	○	小林徹太郎	2-0	吉原	（札幌第一高校）
	2回戦	○	関野有起	2-0	諏訪内	（札幌第一高校）
	2回戦	○	松本　章	2-1	山本	（札幌第一高校）
	2回戦	●	鈴木知道	0-2	畑本	（札幌第一高校）
	2回戦	○	橋村竜彦	2-0	奥名	（札幌第一高校）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	渡辺	（札幌第一高校）
	3回戦	●	多田亮太	0-2	尾野	（札幌第一高校）
	3回戦	○	小林徹太郎	2-0	福寿	（ﾌｨｰﾄﾞｽﾋﾟﾘｯﾄ）
	3回戦	○	関野有起	2-0	遠藤	（札幌第一高校）
	3回戦	○	松本　章	2-0	秋田	（千歳北斗中）
	3回戦	○	橋村竜彦	2-0	小場	（札幌第一高校）
	4回戦	○	竹村　純	2-0	平池	（札幌第一高校）
	4回戦	○	小林徹太郎	2-1	尾野	（札幌第一高校）
	4回戦	○	関野有起	2-1	松本	（ＪＲ北海道）
	4回戦	○	橋村竜彦	2-0	中村	（札幌第一高校）
	準決	○	竹村　純	2-1	小林	（ＪＲ北海道）
	準決	○	関野有起	2-0	橋村	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	関野有起	2-0	竹村	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	小林徹太郎	2-1	橋村	（ＪＲ北海道）
LS	2回戦	●	阿野加代子	1-2	坂本	（札幌静修高校）
	2回戦	○	工藤亜紀	2-0	加賀	（札幌静修高校）
	2回戦	○	後藤佳代	2-0	奥村	（札幌静修高校）
	2回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	山内	（北翔大学）
	3回戦	○	工藤亜紀	2-0	平敷	（北翔大学）
	3回戦	●	後藤佳代	0-2	宮下	（北翔大学）
	3回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	渡辺	（札幌静修高校）
	準決	○	工藤亜紀	2-0	村山	（北翔大学）
	準決	○	佐藤あゆみ	2-0	宮下	（北翔大学）
	決勝	○	佐藤あゆみ	2-0	工藤	（ＪＲ北海道）

MD	2回戦	○	橋村 / 関野	2-0	渡辺/山本	（札幌第一高校）
	2回戦	○	松本 / 小林	2-0	駒井/中村	（札幌第一高校）
	2回戦	○	鈴木 / 多田	2-0	吉原/奥名	（札幌第一高校）
	3回戦	○	橋村 / 関野	2-1	銅　/遠藤	（札幌第一高校）
	3回戦	●	松本 / 小林	1-2	小場/中川	（札幌第一高校）
	3回戦	○	鈴木 / 多田	2-0	平池/田内	（札幌第一高校）
	準決	○	橋村 / 関野	2-0	吹田/丸一	（利礼資材）
	準決	○	鈴木 / 多田	2-0	小場/中川	（札幌第一高校）
	決勝	○	橋村 / 関野	2-0	鈴木/多田	（ＪＲ北海道）
LD	2回戦	○	佐藤 / 阿野	2-0	山内/阿部	（北翔大･札北斗高）
	2回戦	○	後藤 / 工藤	2-1	坂本/柗田	（札幌静修高校）
	3回戦	●	佐藤 / 阿野	0-2	高橋/中川	（北翔大･とわの森高）
	3回戦	○	後藤 / 工藤	2-1	澤村/宮田	（北翔大学）
	準決	○	後藤 / 工藤	2-1	宮下/平敷	（北翔大学）
	決勝	●	後藤 / 工藤	0-2	竹内/村山	（北翔大学）

優　勝（男子単）	関野有起
優　勝（女子複）	佐藤あゆみ
優　勝（男子複）	橋村竜彦/関野有起
準優勝（男子単）	竹村　純
準優勝（女子単）	工藤亜紀
準優勝（男子複）	鈴木知道/多田亮太
準優勝（女子複）	後藤佳代/工藤亜紀
第３位（男子単）	小林徹太郎



平成２１年度大会（平成２２年１月２３日～２４日）　札幌市豊平区体育館

MS	2回戦	○	関野有起	2-0	小山	（北海高校）
	2回戦	○	牧野公亮	2-0	奥名	（札幌第一高校）
	2回戦	○	早坂幸平	2-0	渡辺	（千歳富岡中）
	2回戦	○	小林徹太郎	2-0	佐野	（千歳富岡中）
	2回戦	○	竹村　純	2-0	岩泉	（東月寒中）
	3回戦	○	関野有起	2-0	松尾	（札幌第一高校）
	3回戦	●	牧野公亮	1-2	遠藤	（札幌第一高校）
	3回戦	○	早坂幸平	2-0	吉原	（札幌第一高校）
	3回戦	●	小林徹太郎	0-2	宮野	（北翔大学）
	3回戦	○	竹村　純	2-0	秋田	（札幌第一高校）
	4回戦	○	関野有起	2-0	遠藤	（札幌第一高校）
	4回戦	○	早坂幸平	2-0	吉川	（NTTﾄﾞｺﾓ）
	4回戦	○	竹村　純	2-0	渡辺	（札幌第一高校）
	準決	○	早坂幸平	2-1	関野	（ＪＲ北海道）
	準決	○	竹村　純	2-0	山本	（札幌第一高校）
	決勝	○	竹村　純	2-0	早坂	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	関野有起	2-0	山本	（札幌第一高校）
LS	1回戦	○	後藤佳代	2-0	岩島	（札幌静修高）
	1回戦	○	中川まどか	2-0	佐羽内	（札幌静修高）
	2回戦	○	佐藤あゆみ	2-0	高村	（聚富中）
	2回戦	●	阿野加代子	1-2	福田	（北翔大学）
	2回戦	○	永野陽子	2-0	中内	（札幌静修高）
	2回戦	●	後藤佳代	1-2	宮田	（北翔大学）
	2回戦	○	中川まどか	2-1	伊藤	（北翔大学）
	2回戦	○	工藤亜紀	2-0	長瀬	（幌東中）
	3回戦	●	佐藤あゆみ	1-2	福田	（北翔大学）
	3回戦	○	永野陽子	2-0	阿部	（北翔大学）
	3回戦	○	工藤亜紀	2-0	中川	（ＪＲ北海道）
	準決	○	永野陽子	2-0	福田	（北翔大学）
	準決	●	工藤亜紀	0-2	平敷	（北翔大学）
	決勝	○	永野陽子	2-0	平敷	（北翔大学）
	3位決	○	工藤亜紀	2-0	福田	（北翔大学）

MD	1回戦	○	松本 / 牧野	2-0	中野/金澤	（稲雲高・札幌西高）
	2回戦	○	松本 / 牧野	2-0	畑本/吉原	（札幌第一高）
	2回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	奥名/小坂	（札幌第一高）
	2回戦	○	多田 / 小林	2-0	市川/舟窪	（北翔大学）
	2回戦	○	竹村 / 早坂	2-0	木原/堀田	（篠路高校）
	3回戦	○	松本 / 牧野	2-0	吹田/丸一	（利礼資材）
	3回戦	○	関野 / 鈴木	2-0	藤井/山本	（札幌第一高）
	3回戦	●	多田 / 小林	1-2	尾野/遠藤	（札幌第一高）
	3回戦	○	竹村 / 早坂	2-0	佐久間/銅	（札幌第一高）
	準決	○	関野 / 鈴木	2-0	松本/牧野	（ＪＲ北海道）
	準決	○	竹村 / 早坂	2-0	尾野/遠藤	（札幌第一高）
	決勝	○	竹村 / 早坂	2-0	関野/鈴木	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	松本 / 牧野	2-0	尾野/遠藤	（札幌第一高）
LD	2回戦	○	工藤 / 永野	2-0	福田/柏木	（北翔大学）
	2回戦	○	佐藤 / 中川	2-0	鎧　/高島	（とわのもり三愛高）
	2回戦	○	阿野 / 後藤	2-0	松本/長瀬	（厚別南中・幌東中）
	3回戦	○	工藤 / 永野	2-0	山家/鈴木	（とわのもり三愛高）
	3回戦	○	佐藤 / 中川	2-0	阿部/伊藤	（北翔大学）
	3回戦	●	阿野 / 後藤	0-2	澤村/内田	（北翔大学）
	準決	○	工藤 / 永野	2-1	佐藤/中川	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	工藤 / 永野	2-0	宮下/八木	（北翔大学）
	3位決	●	佐藤 / 中川	1-2	澤村/内田	（北翔大学）

優　勝（男子単）	竹村　純
優　勝（女子単）	永野陽子
優　勝（男子複）	竹村　純/早坂幸平
優　勝（女子複）	工藤亜紀/永野陽子
準優勝（男子単）	早坂幸平
準優勝（男子複）	関野有起/鈴木知道
第３位（男子単）	関野有起
第３位（女子単）	工藤亜紀
第３位（男子複）	松本　章/牧野公亮



ＪＲ北海道バドミントン部ＯＢ会は現役選手のみなさんを応援しています。

札幌バドミントン選手権大会

NO4

平成２２年度大会（平成２３年１月２２日～２３日）　札幌市豊平区体育館

MS	2回戦	○	関野有起	2-0	福島	（発寒中学校）
	2回戦	○	小林徹太郎	2-0	柏原	（真栄中学校）
	2回戦	○	鈴木知道	2-0	松尾	（西岡北中学校）
	2回戦	○	高島雅彦	2-0	片沼	（向陵中学校）
	2回戦	○	牧野公亮	2-0	渡辺	（千歳富岡中）
	3回戦	○	関野有起	2-0	三枝	（札幌第一高校）
	3回戦	●	小林徹太郎	1-2	宇野	（札幌第一高校）
	3回戦	○	鈴木知道	2-0	藤谷	（ヨネックス）
	3回戦	○	高島雅彦	2-0	吉田	（札幌第一高校）
	3回戦	○	牧野公亮	2-1	秋田	（札幌第一高校）
	4回戦	○	関野有起	2-0	田沼	（龍谷学園高校）
	4回戦	○	鈴木知道	2-1	宇野	（札幌第一高校）
	4回戦	○	高島雅彦	2-0	工藤	（小樽協会）
	4回戦	○	牧野公亮	2-1	宮野	（北翔大学）
	準決	○	関野有起	2-1	鈴木	（ＪＲ北海道）
	準決	○	高島雅彦	2-1	牧野	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	関野有起	2-0	高島	（ＪＲ北海道）
	3位決	○	鈴木知道	2-0	牧野	（ＪＲ北海道）
LS	2回戦	●	中川まどか	ｷｹﾝ	倉橋	（新琴似中学校）
	2回戦	○	永野陽子	2-0	栃原	（札幌静修高校）
	2回戦	○	工藤亜紀	2-0	大柳	（厚別中学校）
	3回戦	○	永野陽子	2-0	清崎	（北翔大学）
	3回戦	○	工藤亜紀	2-0	山本	（札幌静修高校）
	4回戦	○	永野陽子	2-0	上本	（札幌静修高校）
	4回戦	●	工藤亜紀	0-2	幡谷	（北翔大学）
	準決	●	永野陽子	1-2	幡谷	（北翔大学）
	3位決	○	永野陽子	2-0	福田	（北翔大学）

MD	2回戦	○	鈴木 / 高島	2-0	大澤/中谷	（札幌第一高校）
	2回戦	○	小林 / 牧野	2-0	水間/渡邊	（札幌第一高校）
	2回戦	○	関野 / 多田	2-0	三枝/吉田	（札幌第一高校）
	3回戦	○	鈴木 / 高島	2-0	松尾/小坂	（札幌第一高校）
	3回戦	○	小林 / 牧野	2-0	秋田/宇野	（札幌第一高校）
	3回戦	●	関野 / 多田	1-2	藤井/吉原	（札幌第一高校）
	準決	○	鈴木 / 高島	2-1	山本/奥名	（札幌第一高校）
	準決	○	小林 / 牧野	2-0	藤井/吉原	（札幌第一高校）
	決勝	○	鈴木 / 高島	2-0	小林/牧野	（ＪＲ北海道）
LD	2回戦	●	佐藤 / 中川	ｷｹﾝ	鈴久/北野	（西岡北中学校）
	2回戦	○	工藤 / 永野	2-0	十二/梅村	（北海高校）
	2回戦	○	阿野 / 後藤	2-0	栃原/林田	（札幌静修高校）
	3回戦	○	工藤 / 永野	2-0	岩泉/山本	（札幌静修高校）
	3回戦	○	阿野 / 後藤	2-1	石澤/遠藤	（平岡中・月寒東中）
	4回戦	○	工藤 / 永野	2-0	平敷/宮田	（北翔大学）
	4回戦	●	阿野 / 後藤	0-2	幡谷/村山	（北翔大学）
	準決	●	工藤 / 永野	1-2	阿部/伊藤	（北翔大学）
	3位決	○	工藤 / 永野	2-0	福田/山下	（北翔大学）

優　勝（男子単）	関野有起
優　勝（男子複）	鈴木知道/高島雅彦
準優勝（男子単）	高島雅彦
準優勝（男子複）	小林徹太郎/牧野公亮
第３位（男子単）	鈴木知道
第３位（女子単）	永野陽子
第３位（女子複）	工藤亜紀/永野陽子



平成２３年度大会（平成２４年１月１４日～１５日）　札幌市南区体育館

MS	2回戦	○	関野有起	2-0	坂上	（北都中学校）
	2回戦	○	小林徹太郎	2-0	大村	（定山渓中学校）
	2回戦	○	早坂幸平	2-0	浅野	（平岡緑中学校）
	2回戦	●	牧野公亮	0-2	岩坂	（恵庭中学校）
	2回戦	○	竹村　純	2-0	水上	（北野台中学校）
	2回戦	○	高島雅彦	2-0	岩坂	（恵庭中学校）
	3回戦	○	関野有起	2-0	竹下	（Bee-Freez）
	3回戦	○	小林徹太郎	2-0	清水	（南が丘中学校）
	3回戦	○	早坂幸平	2-0	西方	（平岡緑中学校）
	3回戦	○	竹村　純	2-1	小坂	（札幌第一高）
	3回戦	○	高島雅彦	2-0	原田	（自衛隊北海道）
	4回戦	○	関野有起	2-1	長原	（自衛隊北海道）
	4回戦	○	小林徹太郎	2-0	早坂	（ＪＲ北海道）
	4回戦	○	竹村　純	2-0	岩坂	（恵庭中学校）
	4回戦	●	高島雅彦	0-2	宇野	（札幌第一高）
	準決	○	小林徹太郎	2-0	関野	（ＪＲ北海道）
	準決	●	竹村　純	1-2	宇野	（札幌第一高）
	決勝	○	小林徹太郎	2-1	宇野	（札幌第一高）
	3位決	○	関野有起	ｷｹﾝ	竹村	（ＪＲ北海道）
WS	2回戦	○	永野陽子	2-0	山家	（丘珠中学校）
	2回戦	○	中川まどか	2-0	今増	（平岡中央中）
	2回戦	○	工藤亜紀	2-0	山崎	（恵庭中学校）
	3回戦	○	永野陽子	2-0	大柳	（厚別中学校）
	3回戦	○	中川まどか	2-0	山家	（とわの森高校）
	3回戦	○	工藤亜紀	2-0	永原	（とわの森高校）
	準決	○	永野陽子	2-0	中川	（ＪＲ北海道）
	準決	●	工藤亜紀	1-2	鈴木	（とわの森高校）
	決勝	○	永野陽子	2-0	鈴木	（とわの森高校）
	3位決	○	工藤亜紀	2-0	中川	（ＪＲ北海道）

MD	2回戦	○	小林 / 牧野	2-0	市川/吉谷	（北翔大・函未来大）
	2回戦	○	関野 / 竹村	2-0	浅野/遠藤	（平岡緑中・東月寒中）
	2回戦	○	早坂 / 高島	2-0	大村/小野寺	（定山渓中学校）
	3回戦	○	小林 / 牧野	2-0	吹田/丸一	（利礼資材）
	3回戦	○	関野 / 竹村	2-0	長原/片岡	（自衛隊・札苗中教）
	3回戦	○	早坂 / 高島	2-1	松尾/小坂	（札幌第一高）
	準決	●	小林 / 牧野	1-2	宇野/秋田	（札幌第一高）
	準決	○	早坂 / 高島	2-1	関野/竹村	（ＪＲ北海道）
	決勝	○	早坂 / 高島	2-0	宇野/秋田	（札幌第一高）
	3位決	○	関野 / 竹村	2-1	小林/牧野	（ＪＲ北海道）
WD	2回戦	○	後藤 / 阿野	2-0	山口/手嶋	（定山渓中学校）
	2回戦	○	工藤 / 中川	2-0	菊田/佐部田	（篠路西・あいの里中）
	3回戦	○	後藤 / 阿野	2-0	渡邊/林田	（新琴似中・篠路中）
	3回戦	○	工藤 / 中川	2-0	高村/倉橋	（聚富中・新琴似中）
	準決	○	後藤 / 阿野	2-1	阿部/伊藤	（北翔大学）
	準決	○	工藤 / 中川	2-0	鈴木/山家	（とわの森三愛高）
	決勝	○	後藤 / 阿野	2-1	工藤/中川	（ＪＲ北海道）

優　勝（男子単）	小林徹太郎
優　勝（女子単）	永野陽子
優　勝（男子複）	早坂幸平/高島雅彦
優　勝（女子複）	後藤佳代/阿野加代子
準優勝（女子複）	工藤亜紀/中川まどか
第３位（男子単）	関野有起
第３位（女子単）	工藤亜紀
第３位（男子複）	関野有起/竹村　純





NO1

北海道バドミントン選手権大会（一般）優勝者一覧

年	回	男子単	男子複	女子単	女子複	混合複
1949 (S24)	1	(佐藤　保)	(佐藤　保/石田　裕)	(片岡京子)	(片岡京子/伊藤絹代)	(葛西英俊/高木紀子)
1950 (S25)	2	(佐藤　保)	(佐藤　保/葛西英俊)	(片岡京子)	(片岡京子/伊藤絹代)	ー
1951 (S26)	3	(石田　裕)	(葛西英俊/野口俊二郎)	(荒井重子)	(荒井重子/梅津貴久江)	(木村敏二/矢野登茂子)
1952 (S27)	4	(石田　裕)	(西野泉三/斉藤高正)	(片岡京子)	(荒井重子/梅津貴久江)	(佐藤　保/片岡京子)
1953 (S28)	5	(神山豊州)	(葛西英俊/野口俊二郎)	(片岡京子)	(片岡京子/梅津貴久江)	(平沢　寛/安藤　栄)
1954 (S29)	6	(神山豊州)	(神山豊州/平沢　寛)	(梅津貴久江)	(岡本弘子/阿部悦子)	(平沢　寛/阿部悦子)
1955 (S30)	7	(島中貞夫)	(加藤正則/長谷川竜男)	(瀬戸睦子)	(荒井重子/梅津貴久江)	(島中貞夫/瀬戸睦子)
1956 (S31)	8	(島中貞夫)	(平沢　寛/小飼栄一)	(瀬戸睦子)	(瀬戸睦子/柳谷容子)	(島中貞夫/瀬戸睦子)
1956 (S31)	9	(島中貞夫)	(佐藤　保/柳原三郎)	(渡辺公子)	(渡辺公子/本庄惇子)	(島中貞夫/渡辺公子)
1957 (S32)	10	(島中貞夫)	(島中貞夫/星野嘉雄)	(本庄惇子)	(村本麗子/平野斐子)	(島中貞夫/高橋玲子)
1958 (S33)	11	(島中貞夫)	熊倉昭二/島　辰雄	(村本麗子)	(村本麗子/岩館誠子)	(島中貞夫/高橋玲子)
1959 (S34)	12	(島中貞夫)	(島中貞夫/長谷川竜	(村本麗子)	(村本麗子/平野斐子)	(島中貞夫/高橋玲子)
1960 (S35)	13	(高田嘉純)	平沢啓裕/有路信彦	(村本麗子)	(浅野恵子/佐藤光代)	(平沢　寛/浅野恵子)
1961 (S36)	14	渋井 明	平沢啓裕/有路信彦	(片桐栄子)	(今井恵子/加藤玲子)	(平沢　寛/片桐栄子)
1962 (S37)	15	渋井 明	渋井　明/大石興徳	(小山内信子)	(小山内信子/神原順子)	(小向利威/橋本　智)
1963 (S38)	16	渋井 明	伊藤善夫/平沢啓裕	(小山内信子)	(小山内信子/飯田八重子	渋井　明/(小山内信子)
1964 (S39)	17	渋井 明	(堺　栄一/村田和男)	村田泰子	村田泰子/(菊池義子)	渋井　明/(水上キミ子)
1965 (S40)	18	(中村富光)	(中村富光/伊村　隆)	高森幸子	村田泰子/高森幸子	平沢啓裕/村田泰子
1966 (S41)	19	(中村富光)	(岩崎昭郎/中村富光)	村田泰子	村田泰子/福田由美子	伊藤善夫/福田由美子
1967 (S42)	20	(土江田忠)	伊藤善夫/福島智徳	村田泰子	村田泰子/福田由美子	伊藤善夫/福田由美子
1968 (S43)	21	(土江田忠)	(岩崎昭郎/中村富光)	(山田陽子)	(清水敏子/丹野美知子)	(中村富光/丹野美知子)
1969 (S44)	22	(土江田忠)	(岩崎昭郎/中村富光)	(丹野美知子)	(清水敏子/丹野美知子)	(岩崎昭郎/清水敏子)
1970 (S45)	23	(小島一平)	渋井　明/(堺 栄一)	(田村静子)	(松田起早/谷浦久美子)	(堺　栄一/鎌田　)
1971 (S46)	24	(堺　栄一)	(岩崎昭郎/中村富光)	(田村静子)	(田村静子/今川喜佐子)	
1972 (S47)	25	(赤塚正三)	(中村徳光/木村敏男)	(田村静子)	(田村静子/今川喜佐子)	
1973 (S48)	26	(遠藤好男)	(木村敏男/遠藤好男)	(田村静子)	(田村静子/高野美千子)	山田好明/(田村静子)
1974 (S49)	27	(遠藤好男)	(木村敏男/遠藤好男)	(田村静子)	(田村静子/高野美千子)	山田好明/(田村静子)
1975 (S50)	28	(遠藤好男)	(木村敏男/遠藤好男)	(高野美千子)	(遠藤静子/高野美千子)	(佐藤/遠藤)
1976 (S51)	29	(遠藤好男)	(木村敏男/遠藤好男)	(藤島百子)	(児玉郁子/田垣恵美子)	(木村敏男/高野美千子)
1977 (S52)	30	(遠藤好男)	(木村敏男/遠藤好男)	(高野美千子)		(木村敏男/高野美千子)
1978 (S53)	31	(遠藤好男)	(木村敏男/遠藤好男)			(木村敏男/高野美千子)
1979 (S54)	32	(遠藤好男)	(高木勝弘/米山孝二)	(高野美千子)	(桟 利志子/山岸ひとみ	(田畑/小泉)
1980 (S55)	33	(遠藤好男)	(高木勝弘/米山孝二)	(星川喜恵子)	(星川喜恵子/中尾ひろみ	(木村敏男/島中玲子)
1981 (S56)	34	(遠藤好男)	(高木勝弘/米山孝二)	(和田美津子)	(佐藤朱美/和田美津子	山田好明/(遠藤静子)
1982 (S57)	35	(遠藤好男)	(遠藤好男/米山孝二)	(星川喜恵子)	(星川喜恵子/新田恵子)	高橋 進/(渡辺由美子)
1983 (S58)	36	(遠藤好男)	(遠藤好男/米山孝二)	(和田美津子)	(新田恵子/西岡孝子)	高橋 進/(渡辺由美子)
1984 (S59)	37	高橋 進	(遠藤好男/米山孝二)	(和田美津子)	(高橋真奈美/加藤洋子)	高橋 進/(渡辺由美子)
1985 (S60)	38	高橋 進	(遠藤好男/米山孝二)	(和田美津子)	(加藤洋子/小飼真弓)	松村徳市/(市川幸子)
1986 (S61)	39	(伊藤雅弘)	(米山孝二/伊藤雅弘)	(和田美津子)	(藤本三津子/小飼真弓)	松村徳市/(市川幸子)
1987 (S62)	40	(伊藤雅弘)	(米山孝二/伊藤雅弘)	(和田美津子)	(和田美津子/加藤洋子)	松岡　誠/(鈴木政子)
1988 (S63)	41	(伊藤雅弘)	(米山孝二/伊藤雅弘)	(森　久子)	(森　久子/捧　匡子)	高橋　進/(加藤洋子)
1989 (H 1)	42	(伊藤雅弘)	(伊藤雅弘/小飼清統)	(加藤洋子)	(加藤洋子/和田美津子	松村徳市/(加藤洋子)
1990 (H 2)	43	(伊藤雅弘)	(山尾克則/角谷淳一)	(田中範子)	(田中範子/小飼真弓)	松村徳市/(加藤洋子)
1991 (H 3)	44	(伊藤雅弘)	(伊藤雅弘/角谷淳一)	(田中範子)	(田中範子/小飼真弓)	(角谷淳一/田中範子)
1992 (H 4)	45	(伊藤雅弘)	(伊藤雅弘/角谷淳一)	(田中範子)	(田中範子/小笠原満)	(角谷淳一/田中範子)
1993 (H 5)	46	(伊藤雅弘)	(伊藤雅弘/古川英樹)	(田中範子)	(田中範子/日景真弓)	(古川英樹/佐藤京子)
1994 (H 6)	47	(伊藤雅弘)	(伊藤雅弘/佐藤嘉伸)	(日原恵美里)	(田中範子/佐藤京子)	馬木貴之/(岩崎美香)
1995 (H 7)	48	(古川英樹)	(村井秀樹/佐藤嘉伸)	(日原恵美里)	(日原恵美里/岩崎美香)	(星　拓真/田中範子)
1996 (H 8)	49	(古川英樹)	(村井秀樹/佐藤嘉伸)	(土屋留美子)	(土屋留美子/武田明美)	(佐藤嘉伸/高橋昌子)
1997 (H 9)	50	(水澤直哉)	(村井秀樹/佐藤嘉伸)	(武田明美)	(土屋留美子/武田明美)	(星　拓磨/本田　恵)
1998 (H10)	51	(古川英樹)	(水澤直哉/吉岡秀樹)	(李　　荔)	(後藤綾子/中井貴代美	(吉岡秀樹/後藤綾子)
1999 (H11)	52	(水澤直哉)	(吉岡秀樹/星　拓磨)	(標　千春)	(後藤綾子/本田　恵)	(星　拓磨/武田明美)
2000 (H12)	53	(井野嘉久)	(古川英樹/井野嘉久)	(岩松絵里子)	(武田明美/高橋昌子)	小倉隆司/西村美香
2001 (H13)	54	(井野嘉久)	(角谷淳一/村井秀樹)	(幡谷好美)	(本田いずみ/三浦ちひろ)	(吉岡秀樹/幡谷好美)
2002 (H14)	55	松本 章	(古川英樹/吉岡秀樹)	(岩松絵里子)	西村美香/山重直美	(後藤貴宏/西尾綾子)
2003 (H15)	56	(長原正博)	松本 章/竹村 純	(吉岡久美子)	(本田いずみ/三浦ちひろ)	(三上裕司/黒川真緒)
2004 (H16)	57	(長原正博)	(水澤直哉/三上裕司)	(岩松絵里子)	(本田いずみ/三浦ちひろ)	(三上裕司/黒川真緒)
2005 (H17)	58	橋村竜彦	(三上裕司/米　隆夫)	(岩松絵里子)	(黒川真緒/後藤佳代)	(米　隆夫/中麻依子)
2006 (H18)	59	竹村　純	(三上裕司/米　隆夫)	(黒川真緒)	(黒川真緒/後藤佳代)	竹村 純/田中美与子
2007 (H19)	60	竹村　純	橋村竜彦/竹村 純	佐藤あゆみ	(村山祐美/幡谷若菜)	(亀ヶ森有/高橋清絵)
2008 (H20)	61	関野有起	松本 章/小林徹太郎	(幡谷若菜)	(竹内由佳利/村山祐美)	多田亮太/工藤亜紀
2009 (H21)	62	牧野公亮	(尾野拓郎/佐久間浩平)	(幡谷若菜)	(竹内由佳利/宮田晶代)	鈴木知道/後藤佳代
2010 (H22)	63	早坂幸平	関野有起/鈴木知道	永野陽子	(幡谷若菜/村山祐美)	牧野公亮/阿野加代子
2011 (H23)	64	(渡部　大)	(渡部　大/川原共生)	(平敷祥子)	(宮田晶代/山下杏利)	(宮野一樹/福田知紗)
2012 (H24)	65	早坂幸平	早坂幸平/高島雅彦	(本田恵利奈)	(野村有美/本田恵利奈)	高島雅彦/後藤佳代
2013 (H25)	66	竹村　純	牧野公亮/渡部 大	永野陽子	(野村有美/本田恵利奈)	(橋場孝啓/櫛山久美子)

※2011(H23)大会は会社事情により出場辞退。

※2013(H25)大会(混合複)は会社事情により不参加。

NO2

国民体育大会北海道予選会・北海道社会人選手権 優勝者一覧(JR北海道発足以降)

年度	大会名	種目				
		男子単	男子複	女子単	女子複	混合複
1988 (S63)	国体道予選会	(伊藤雅弘)	(伊藤雅弘/山尾克則)	(和田美津子)	(和田美津子/加藤洋子)	—
	北海道社会人	(伊藤雅弘)	高橋　進/松村徳市	(加藤洋子)	(加藤洋子/和田美津子)	(山本晴道/渡辺由美子)
1989 (H1)	国体道予選会	(伊藤雅弘)	(伊藤雅弘/山尾克則)	(星　和枝)	(赤川恭子/星　和枝)	—
	北海道社会人	(伊藤雅弘)	高橋　進/松村徳市	(加藤洋子)	(加藤洋子/和田美津子)	高橋　進/(和田美津子)
1990 (H2)	国体道予選会	(角谷淳一)	(山尾克則/角谷淳一)	(田中範子)	(小飼真弓/田中範子)	—
	北海道社会人	(伊藤雅弘)	(伊藤雅弘/古川英樹)	(田中範子)	(小飼真弓/田中範子)	松村徳市/(加藤洋子)
1991 (H3)	国体道予選会	(伊藤雅弘)	(伊藤雅弘/角谷淳一)	(田中範子)	(小飼真弓/田中範子)	—
	北海道社会人	(角谷淳一)	(米山孝二/山尾克則)	(田中範子)	(小飼真弓/田中範子)	松村徳市/(星 加代子)
1992 (H4)	国体道予選会	(古川英樹)	(角谷淳一/古川英樹)	(田中範子)	(小笠原満/田中範子)	—
	北海道社会人	(伊藤雅弘)	(伊藤雅弘/山尾克則)	(田中範子)	(小笠原満/田中範子)	(佐藤　信/高橋雅子)
1993 (H5)	国体道予選会	(伊藤雅弘)	(伊藤雅弘/古川英樹)	(田中範子)	(日原恵美里/岩崎美香)	—
	北海道社会人	(古川英樹)	(角谷淳一/村井秀樹)	(日原恵美里)	(日原恵美里/岩崎美香)	(佐藤　信/高橋雅子)
1994 (H6)	国体道予選会	(古川英樹)	(村井秀樹/古川英樹)	(日原恵美里)	(日原恵美里/岩崎美香)	—
	北海道社会人	(伊藤雅弘)	(角谷淳一/伊藤隆宏)	(日原恵美里)	(土屋留美子/武田明美)	郷路一郎/(日原恵美里)
1995 (H7)	国体道予選会	(古川英樹)	(村井秀樹/佐藤嘉伸)	(田中範子)	(田中範子/佐藤京子)	—
	北海道社会人	(佐藤嘉伸)	(村井秀樹/佐藤嘉伸)	(田中範子)	(佐藤京子/武田明美)	米田紀興/(梶原夕子)
1996 (H8)	国体道予選会	(水澤直哉)	(村井秀樹/佐藤嘉伸)	(武田明美)	(梶原夕子/岩崎美香)	—
	北海道社会人	(古川英樹)	(村井秀樹/佐藤嘉伸)	(武田明美)	(土屋留美子/武田明美)	—
1997 (H9)	国体道予選会	(水澤直哉)	(村井秀樹/佐藤嘉伸)	(武田明美)	(後藤綾子/中井貴代美)	—
	北海道社会人	(古川英樹)	(村井秀樹/佐藤嘉伸)	(武田明美)	(武田明美/中井貴代美)	—
1998 (H10)	国体道予選会	(古川英樹)	(水澤直哉/吉岡秀樹)	(武田明美)	(後藤綾子/中井貴代美)	—
	北海道社会人	(古川英樹)	(村井秀樹/古川英樹)	(中井貴代美)	(武田明美/高橋昌子)	—
1999 (H11)	国体道予選会	(古川英樹)	(星　拓磨/吉岡秀樹)	(標　千春)	(後藤綾子/本田　恵)	—
	北海道社会人	(井野嘉久)	(星　拓磨/吉岡秀樹)	(標　千春)	(後藤綾子/本田　恵)	—
2000 (H12)	国体道予選会	(古川英樹)	(古川英樹/井野嘉久)	(後藤綾子)	(武田明美/後藤綾子)	—
	北海道社会人	(古川英樹)	(古川英樹/井野嘉久)	(後藤綾子)	(武田明美/後藤綾子)	—
200 1(H13)	国体道予選会	(水澤直哉)	(星　拓磨/井野嘉久)	(若松絵里子)	(本田いずみ/三浦ちひろ)	—
	北海道社会人	(井野嘉久)	(古川英樹/井野嘉久)	(岩松絵里子)	(西尾綾子/岩松絵里子)	—
2002 (H14)	国体道予選会	(長原正博)	(水澤直哉/三上祐司)	(若松絵里子)	西村美香/山重直美	——
	北海道社会人	(水澤直哉)	(星　拓磨/井野嘉久)	(中 麻衣子)	(中　麻衣子/標　千春)	—
2003 (H15)	国体道予選会	(吉川勇司)	(水澤直哉/三上祐司)	(中 麻衣子)	(黒川真緒/吉岡久美子)	—
	北海道社会人	(吉川勇司)	(水澤直哉/三上祐司)	(岩松絵里子)	(黒川真緒/吉岡久美子)	—
2004 (H16)	国体道予選会	(長原正博)	松本　章/竹村　純	(岩松絵里子)	(岩松絵里子/中 麻衣子)	—
	北海道社会人	(吉川勇司)	松本　章/竹村　純	(岩松絵里子)	(黒川真緒/柴山明子)	—
2005 (H17)	国体道予選会	(吉川勇司)	(三上祐司/米　隆夫)	(宮崎優花)	(岩松絵里子/中 麻衣子)	—
	北海道社会人	(吉川勇司)	(三上祐司/米　隆夫)	(宮崎優花)	(黒川真緒/後藤佳代)	—
2006 (H18)	国体道予選会	竹村　純	(三上祐司/米　隆夫)	(吉岡久美子)	(黒川真緒/後藤佳代)	—
	北海道社会人	(米 隆夫)	関野有起/鈴木知道	(宮崎優花)	(宮崎優花/吉岡久美子)	—
2007 (H19)	国体道予選会	関野有起	橋村竜彦/多田亮太	(永野陽子)	(竹内由佳利/村山祐美)	—
	北海道社会人	関野有起	関野有起/鈴木知道	後藤佳代	阿野加代子/後藤佳代	—
2008 (H20)	国体道予選会	関野有起	橋村竜彦/関野有起	(永野陽子)	後藤佳代/工藤亜紀	—
	北海道社会人	小林徹太郎	竹村　純/関野有起	佐藤あゆみ	後藤佳代/工藤亜紀	—
2009 (H21)	国体道予選会	竹村　純	早坂幸平/高島雅彦	(幡谷若菜)	工藤亜紀/永野陽子	—
	北海道社会人	早坂幸平	多田亮太/小林徹太郎	永野陽子	後藤佳代/工藤亜紀	—
2010 (H22)	国体道予選会	竹村　純	竹村　純/早坂幸平	永野陽子	工藤亜紀/永野陽子	—
	北海道社会人	関野有起	多田亮太/小林徹太郎	永野陽子	永野陽子/工藤亜紀	
2011 (H23)	国体道予選会	竹村　純	関野有起/多田亮太	永野陽子	工藤亜紀/永野陽子	
	北海道社会人	竹村　純	早坂幸平/高島雅彦	佐藤あゆみ	後藤佳代/阿野加代子	
2012 (H24)	国体道予選会	竹村　純	牧野公亮/渡部　大	永野陽子	(野村有美/本田恵利奈)	
	北海道社会人	竹村　純	早坂幸平/高島雅彦	永野陽子	工藤亜紀/永野陽子	
2013 (H25)	国体道予選会	竹村　純	牧野公亮/渡部　大	永野陽子	(野村有美/本田恵利奈)	
	北海道社会人	竹村　純	竹村　純/渡邊一磨	永野陽子	永野陽子/平敷祥子	—

道内のバドミントン競技の普及と競技力向上のため 年間十数回の講習会を休暇を利用して各地で実施

十勝毎日新聞 【スポーツ】

国内トップの技学ぶ

バドミントン協会 JR北海道招き練習

バドミントンの日本リーグに所属するトップ実業団チーム、JR北海道を招いた十勝高校生強化練習会が19、20の両日、帯広農業高で行われ、管内の高校生らがJR北海道の選手の動きを見ながら全国トップレベルの技術を学んだ。（大原嘉志）



管内中・高生30人が対戦

バドミントン協会（会長＝かるべ出版社長・中谷生計夫氏）主催、今年のトップ選手8人の招待選手による「十勝・帯広地区選抜チームとインターハイ出場への挑戦」が7日、帯広市の帯広農業高体育館で行われ、管内の中・高生30人が対戦した。





実業団と対戦 実戦通じ吸収 勉強に

JR北海道バドミントン講習会



JR北海道バドミントン講習会

2007年（平成19年）1月8日（月曜日） 十勝毎日新聞

実業団選手と対戦

北大会に向け高校生参加

十勝バドミントン協会（前田博史会長）主催による「強化練習会」が6、7日、帯広市内の体育館で行われた。日本リーグ2006のJR北海道の選手たちから指導を受けた。



竹村選手（右）から指導を受ける高校生たち

2008年（平成20年）1月15日（火曜日） 十勝毎日新聞

実業団選手と対戦

高校生選手ら40人が参加

十勝バドミントン協会（前田博史会長）主催の「JR北海道バドミントン部講習会」が12、13の2日間、帯広市内の体育館で開かれ、18日から旭川市で開かれる第60回国民体育大会（国体）バドミントン競技成年の部に出場するJR北海道の選手たちが、高校生選手ら40人に実戦形式で技術を教えた。



講習会で高校生の質問に答えるJR北海道の鈴木知道選手（右）

2008年（平成20年）1月15日（火曜日） 北海道新聞



高校生（手前）と試合をするJR北海道の選手

2005年（平成17年）2月12日（土曜日） 十勝毎日新聞

練習法熱心に学ぶ

JR北海道バドミントンチーム合宿 管内中・高生ら参加

【幕別】バドミントン女人気ある帯広農業高バドミントン部の木幡浩督監督が10日から幕別で強化のつどで、JR北海道トレーニングセンター、帯広農業高体育館などで行っている。合宿には今年に入社の新人を含む12人の選手が参加し、筋力、体力の強化に努めている。管内の中・高生約30人も参加させてもらい、国内トップレベルの選手の練習法などを学んだ。

JR北海道は昨年11月下旬から12月末に掛けられた日本リーグに出場。しかし故障者が多く男子がJ部7位（1勝6敗）、女子は2部4位（1勝3敗）に終わった。そのため「けがは努力が足りないことが原因」（松村健市監督）と、この時期は徹底的にトレーニング中心の合宿を敢行した。合宿は松村監督と



次々とシャトルを打ち返すリーグの選手をJR北海道の選手。管内の中・高生もメモを取りながら熱心に見入る

実業団の技術を披露

JR北海道羽球チーム 十勝の高校生指導



JR北海道の小野監督（左）の助言を聞く高校生選手たち＝帯広農業高体育館

実業団の技術を披露

JR北海道バドミントン部 十勝の高校生指導

帯広

バドミントンの実業団チームが、二つの招待試合と一帯広大会前の合同練習チームJR北海道の選手たちが十二日から三日間、帯広入りし、帯広農業高で開催。帯広大会を主催した十勝バドミントン協会の強化選手らと練習試合を通じ、スピードあるプレーや動きなどを学んだ。

JR北海道の選手たちは高校生と試合形式で技術を教えた。

JR北海道バドミントン部が...

2013/02/12掲載（北見市／スポーツ・教育）

端野で管内小中高生に講習

トップチーム 基本を指導

JR北海道バドミントン部による講習会が9、10の両日、北見市端野町農業者トレセンで開かれ、オホーツク管内の小中高校生100人が日本リーグで活躍する選手達から基本を学んだ。



東日本復興支援 by abode

地域の方々との交流を図るとともに地域スポーツ振興に努めています。

部員名簿　平成２５年度　大会日程

☆は新就任

役　職		氏　名	会社役職	協会・連盟役職
オーナー	☆	野島　誠	代表取締役社長	
部　長		小山 俊幸	常務取締役総合企画本部長	北海道バドミントン協会副会長
副部長	☆	長縄 誠司	財務部長	
		高橋　進	新札幌地区駅副駅長	北海道実業団バドミントン連盟副理事長

役　職		背番	氏　名	所　属	出身校	出身地
総監督兼女子監督			松岡　誠	札幌保線所	札幌第一高	北海道 札幌市
男子監督		☆	関野 有起	営業部お客様コールセンター	作新学院高ー法政大学	栃木県宇都宮市
コーチ			松本　章	苗穂工場	旭川工業高	北海道 旭川市
			鈴木知道	法人旅行札幌支店	宮城県工高ー法政大学	宮城県 塩竈市
選手兼コーチ		6	早坂 幸平	法人旅行札幌支店	札幌第一高ー筑波大学	北海道 旭川市
主将(男子)		2	高島 雅彦	旅行センター札幌支店	札幌第一高ー日本体育大学	北海道 島牧村
主将(女子)		11	後藤 佳代	工務部工務技術センター	青森山田高ー浅井学園短大	北海道 壮瞥町
選手	男子	7	竹村　純	苗穂工場	旭川工業高	北海道 旭川市
		4	田淵 雄喜	札幌駅	札幌第一高ー明治大学	北海道 札幌市
		8	渡邊 一磨	苗穂工場	水島工業高ー日本大学	岡山県 倉敷市
		10	牧野 公亮	苗穂工場	旭川実業高	北海道 旭川市
		1	渡部　大	苗穂工場	旭川実業高	北海道 旭川市
	☆	0	内藤 浩司	開発事業本部	福島富岡高ー日本体育大学	神奈川県相模原市
	女子	12	工藤 亜紀	法人旅行札幌支店	札幌静修高	北海道 札幌市
		17	永野 陽子	工務部管理課	札幌静修高ー早稲田大学	北海道 札幌市
		15	平敷 祥子	営業部お客様コールセンター	沖縄糸満高ー北翔大学	沖縄県 糸満市
		13	中川まどか	北海道軌道施設工業	とわの森三愛高	北海道 豊頃町
	☆	14	鈴木 麻友	ジェイアール・コンサルタンツ	旭川実業高	北海道 旭川市

新 オーナー
野島　誠



新 副部長
長縄誠司



新 男子監督
関野有起



※ 期待の大型新人選手

ないとう　こうじ
内藤浩司

178cm/73kg　右利き
2012全日本学生(単)優勝



※ 期待の新人選手

すずき まゆ
鈴木麻友

157cm/52kg　右利き
2012北海道高体連(複)優勝



種目
(S)　＝シングルス
(W)　＝ダブルス
(XD)＝ミックス
　　ダブルス

大会名	開催期日	開催地	戦(種目)
大阪インターナショナルチャレンジ2013	4/ 3～ 4/ 7	大阪府 守口市	個人(S･W･XD)
第64回北海道実業団バドミントン選手権大会	4/20～ 4/21	北海道 札幌市	団体(W=2･S=3)
第68回国民体育大会北海道予選会	5/10～ 5/12	北海道 函館市	個人(S･W)
日本ランキングサーキット2013	6 /1～ 6/ 6	埼玉県さいたま市	個人(S･W･XD)
第57回北海道社会人バドミントン選手権大会	6/15～ 6/16	北海道 江別市	個人(S･W)
第63回全日本実業団バドミントン選手権大会	7/ 3～ 7/ 7	北海道 札幌市	団体(W=2･S=3)
第66回北海道バドミントン選手権大会	8/23～ 8/25	北海道苫小牧市	個人(S･W･XD)
第56回全日本社会人バドミントン選手権大会	8/31～ 9 /4	大阪府 大阪市	個人(S･W･XD)
第68回国民体育大会バドミントン競技会	10/ 4～10/ 7	東京都 町田市	団体(W=1･S=2)
バドミントン日本リーグ2013(1部)	10/12～12/29	全国各地	団体(W=2･S=1)
(札幌大会)	10/27	北海道 札幌市	
第25回全ＪＲバドミントン大会	11/上旬	福岡県北九州市	団体(W=3･S=2)
バドミントン日本リーグ2013(2部)	11/22～11/24	長崎県 長崎市	団体(W=2･S=1)
平成25年度全日本総合バドミントン選手権大会	12/ 2～12/ 8	東京都 渋谷区	個人(S･W･XD)
平成25年度札幌バドミントン選手権大会	H26. 2/ 1～ 2 /2	北海道 札幌市	個人(S･W)

＝今回の掲載分

日本の頂点を目指して
バドミントン日本リーグ2013
1部リーグ(男子)

節	開催日	対戦相手	女子の部	開催地	開催会場
開幕戦	9/29(日)	VS ＮＴＴ東日本	全チーム	富山県高岡市	高岡市民体育館
第２節	10/27(日)	VS 日立情報通信エンジニアリング	NTT東日本 岐阜ﾄﾘｯｷｰﾊﾟﾝﾀﾞｰｽ	北海道札幌市	道立総合体育センター
第３節	11/３(日)	VS 日本ユニシス	ルネサス 北都銀行	秋田県横手市	横手市横手体育館
第４節	12/15(日)	VS トナミ運輸	日本ユニシス 岐阜ﾄﾘｯｷｰﾊﾟﾝﾀﾞｰｽ	沖縄県那覇市	那覇市民体育館
第５節	12/22(日)	VS トリッキーパンダース	ルネサス ヨネックス	熊本県熊本市	熊本市総合体育館
第６節	12/28(土)	VS 金沢学院クラブ	全チーム	東京都墨田区	墨田区総合体育館
最終戦	12/29(日)	VS 丸杉			

1部リーグ昇格を目指して
バドミントン日本リーグ2013
2部リーグ(女子)

節	開催日	対戦相手	男子の部	開催地	開催会場
開幕戦 ～ 最終戦	11/22(金) ～ 11/24(日)	VS 広島ガス	東北マークス ジェイテクト 宇部興産 東海興業 三菱自動車京都 セーレン トヨタ自動車 トヨタ自動車九州	長崎県長崎市	長崎市民体育館
		VS 三菱電機			
		VS 日立化成			
		VS ACT SAIKYO			
		VS パナソニック鳥取			
		VS 北國銀行			
		VS トヨタ自動車			

10.27 道立総合体育センター「きたえ～る」に ＯＢ揃って応援に行こう

ＪＲ北海道バドミントン部
創部６０周年記念事業
記念祝賀会・記念誌発行

創部６０周年記念祝賀会は9月13日(金)にＪＲタワーホテル日航札幌３６階で計画しておりましたが会社事情により無期延期となりました。
ご了承願います。

創部６０周年記念誌
『シャトルの軌跡６０』

編集・製本：乙武重丸
(前ＪＲ北海道バドミントン部副部長)

発行：ＪＲ北海道バドミントン部

編集後記

創部３０、４０、５０周年の記念事業にかかわり、前回の５０周年の記念誌発行の編集後記に次回は後輩に託すと記しましたし、２０１２年３月末で退社した私としては、６０周年の記念事業には一切関わるつもりはありませんでしたが、社会人生活のほとんどをバドミントン部とともに歩み、人生のほとんどをバドミントン競技と過ごしたた私が、部の活動状況を後輩に正しく伝える責任があると考え直し、年齢的にも今回を最後として、記念誌の編集に取り組むことにしました。

５０周年後はＪＲ北海道バドミントン部としては大きく変わる時期でした。部の指針を「挑戦」とし、各大会、各試合は勿論のこと、仕事と部活の両立など、すべてに「挑戦する心」で向き合おうと決め、チーム一丸となって目標に向かうことにしました。その結果、北海道実業団大会では覇権を奪還し男子は、９年連続、女子が５年連続優勝を果たし、全日本実業団では男子が２００３年から５年連続を含め６回の３位入賞と結果を残し、2010年には日本実業団バドミントン連盟から50回以上出場(JR北海道は５５回)で特別功労賞を受賞しました。日本リーグでは男子が2003年に2部優勝を果たし、翌年から１部参戦を実現し、4度のＡクラスと１部定着を果たし、全国各地で多くのＪＲ北海道ファンが、競技会場に応援に駆けつけていただき、選手の成長を一番に支えていただきました。

個人では竹村 純選手が日本代表として、２０の国際大会に出場し、準優勝２回、全日本では優勝３回、準優勝５回とチームの歴史で一番の成績。競技に向かう姿勢と努力には改めて敬意を表します。
その他に高島雅彦、後藤佳代組が全日本で準優勝と３位入賞。松本 章、竹村 純組、関野有起、鈴木知道組、早坂幸平、高島雅彦組が３位入賞と結果を残し、仕事をしながら全日本のトップレベルを維持していることは、全国のＪＲのアスリートに勇気と希望を与えていると思います。これは、個々の選手の成長とチームのまとまりがなし得た結果であり、仕事と部活の両立を体現した瞬間でも有り嬉しい限りです。

２０２０年オリンピックの東京開催が決定しました。次に続く有望な若手達に、東京オリンピック出場を果たしてもらい、応援している自分の姿を夢見ています。

私の世代で奪われた北海道の覇権を３９年かかって奪還し、古豪復活をなし得え、さらに前進させたのは、ＯＢの切なる思いと、小倉隆司前男子監督の手腕によるところが大であり、感謝しております。

ＪＲ北海道バドミントン部は、昨今の運動部を取り巻く環境とは一線をかくし創部以来の仕事優先、部活との両立を貫き「バドミントン選手である前に社会人であれ、企業人であれ」を実践し、常に質の高い練習と何事にも自分で考えて学んで行動する「自主創造」の精神を選手自身が正しく理解し実践できたことが、国内有数の歴史を持ち続け、尚且つ、成績を残すことができる企業チームに成長できたことだと思い、歴代の部員には感謝しています。

活動の記録をまとめていると、活動の日々が、ひとつひとつの試合の模様が蘇ってきます。ライバルに何度も何度も撥ね返されたり、日本リーグ１部になかなか手が届かず後から2部リーグに参戦したチームに先を越されたり、新人選手の入部もなくベテラン選手だけのぎりぎりの人数になったこと、最大の危機は分割民営化の荒波にもまれ、選手と３ヶ月間出向もしたが、部員の新会社への採用もわからず、チームの存続もわからない状況が続いたことです。何とか再スタートできたものの活動拠点の体育館を失い、学校開放の体育館等を転々としたこと、ライバルのＮＴＴ北海道、地崎の休部、東日本大震災、石勝線トンネルル脱線事故等により全日本実業団の出場辞退でシード権を失ったこと、全ＪＲ大会の北海道開催を返上するなどが鮮やかに蘇ってきます。

この三十数年間に休部や廃部となった強豪のチームをたくさん見てきましたので地に足のついた活動の大切さを身にしみて感じ、継続することのむずかしさを改めて勉強させられ、「守成なりがたし」、なにかを創るのも大変だが、それを守って成していくことの方が難しいし大切なことだと考え、先を急がずに一歩一歩着実に前へ進んでいくことにしました。私の考え方が後の人に理解され、支持されるかどうかはわかりませんが、是非、「挑戦」「仕事との両立」「自主創造」を継続し、「感謝」の気持ちを持って「守成なりがたし」の言葉をかみしめ、バドミントン部が未来永劫、歴史を刻み続けることを望みます。

バドミントン競技を愛する人達がいて、練習の相手をしてくれる仲間がいて、試合で対戦するライバル達がいて、活動を理解し支援してくれる会社の上司、同僚がいて、いつも応援してくれるファンがいて、どんなときにも見守りつづけてくれる家族がいて、多くの人達の支えがあって、そして、自分に誇れる仕事があって、今、自分の好きなことができる環境を作ってもらって、はじめて活動が可能となることに感謝し、挑戦し続けてくれることを現役選手、これからの選手に切に願っています。

５０周年以降、８月までの試合数は公式戦の団体戦で1,086、個人戦で2,440、合計3,526試合あり、その全ての試合結果を掲載しました。選手、スタッフ、ファン、全ての人達の汗と努力の結晶です。

何分にも機械に弱いもので、何度も後戻りを繰り返しながらも何とか祝賀会でお渡しできるように進めてきましたが、残念ながら、特急列車の出火事故等の会社事情により祝賀会が延期となりました。しかし、後の人のためにも記念誌だけは発行しようと考え、今回は編集から製本までのすべてを手作りに挑戦してみました。

今日までバドミントン部の活動を支えていただいた会社幹部、社員、グループ会社の役員社員の皆様、日本バドミントン協会、日本実業団バドミントン連盟、全ＪＲバドミントン連盟、北海道バドミントン協会、各地区協会、北海道実業団バドミントン連盟、各連盟、高校、大学、地域の指導者、報道各社、バドミントンマガジン様、さらには、ご支援をいただいておりますミズノ様、ラケットショップスガワラ様を含め数多くの関係者の皆様、そして、1984年に部長就任以来29年間にわたりご指導いただきました前オーナー代行の栗原　進様と古豪復活に13年間も多大なご尽力をいただきました前部長の一條昌幸様、お二人には、今日のバドミントン部を作り上げていただいたことを、心から感謝いたしております。

ＪＲ北海道バドミントン部、さらには、北海道バドミントン界の発展のために、今後ともご指導、ご支援をお願いしまして、編集後記とさせていただきます。



前ＪＲ北海道バドミントン部副部長　　乙武